SHARP

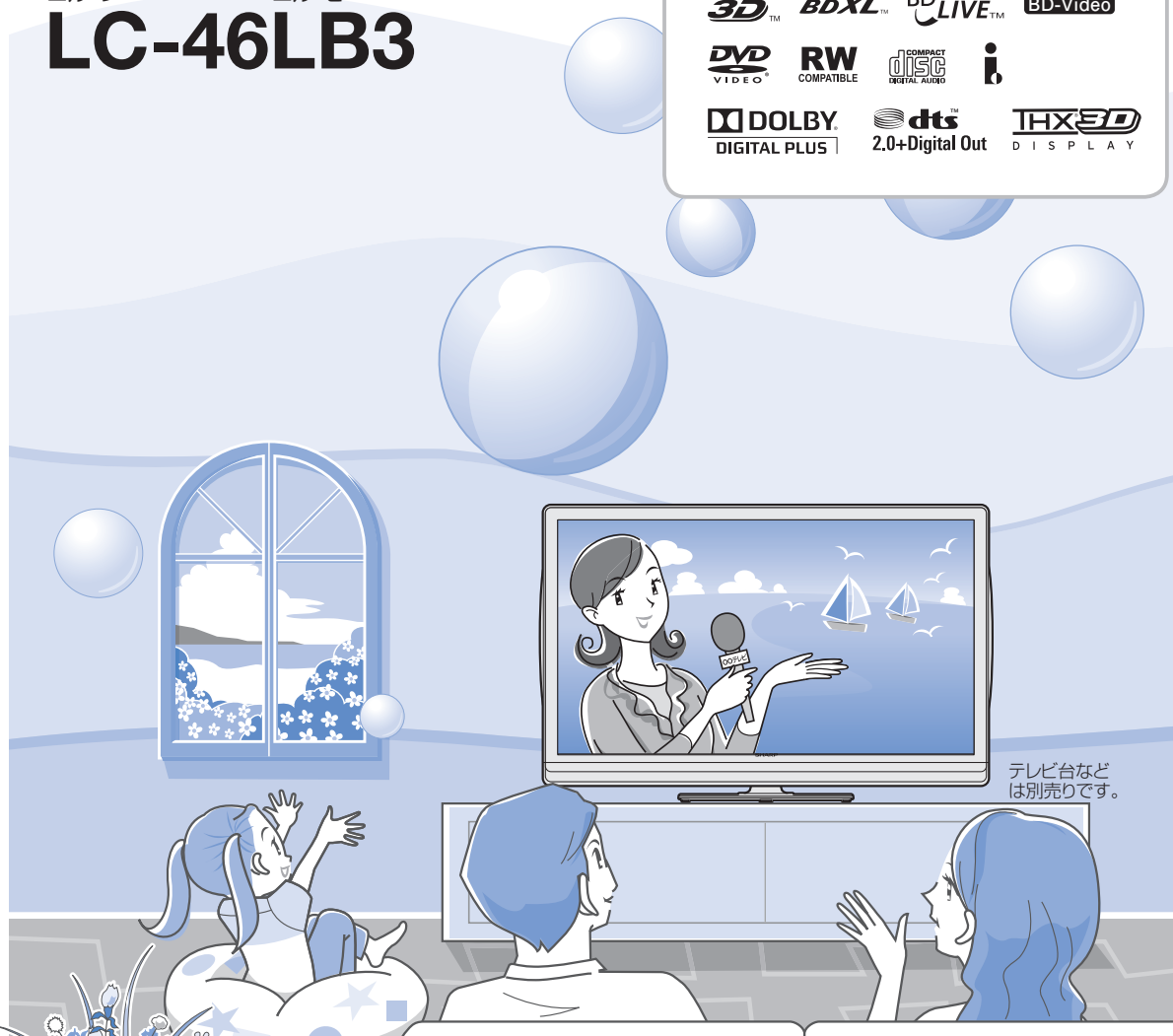
AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル シー　エル ビー
LC-52LB3
エル シー　エル ビー
LC-46LB3

はじめにお読みください
テレビを見る／便利な使いかた
録画・再生
ファミリンク
3D映像を見る
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（19ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-52LB3で記載しています。

オーナーズラウンジAQUOS.jp
AQUOSと暮らす喜びがもっと広がります。http://aquos.jp/にアクセスし会員登録してください。

受信できる放送と再生について

視聴・再生

● 本機は、以下の放送を視聴できます。

- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送
- 110 度 CS デジタル放送
- 地上アナログ放送
- パススルー方式での CATV（ケーブルテレビ）
- 専用受信機を使う方式での CATV（ケーブルテレビ）
  - お使いの専用受信機の説明書をご覧ください。
- IPTV（ひかり TV）

● 本機は、以下の映像を視聴・再生できます。

- お手持ちのレコーダーやプレーヤー（ビデオデッキ、DVD プレーヤー、HDD/DVD レコーダーなど）
- アクトビラ　ビデオ／アクトビラ　ビデオ・フル

● 本機は、BD（ブルーレイディスク）/DVD/CD プレーヤーとしても使えます。
以下のディスクを再生できます。

- 市販の BD ビデオ※1、DVD ビデオ※1、CD
- 本機の内蔵 BD レコーダー機能で録画した BD-RE ／ BD-R
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE ／ BD-R※2
- AVCHD 方式のデジタルビデオカメラで録画した 8cm の DVD-RW ／ DVD-R ／ DVD-RAM※3
- 他の機器で録画し、再生できるように処理（ファイナライズ）した DVD-RW ／ DVD-R ／ DVD+RW ／ DVD+R
- JPEG ファイルの記録された CD-R/CD-RW/DVD-RW※4
- 音楽用 CD フォーマットされた音楽用 CD/CD-R/CD-RW

※ 1　BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。本機では、BD ビデオはリージョンコード「A」または「All Region（オールリージョン）」、DVD ビデオはリージョンコード「2」または「All（オール）」のソフトが再生できます。
※ 2　一部再生できないディスクもあります。
※ 3　カートリッジから取り出せるタイプ。
※ 4　DVD-RW に JPEG ファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。

BD ビデオの再生についてのお知らせ

① 新しい BD ビデオの中には最新の TV 本体ソフトでないと再生できないものがあります。それらに対応するためテレビ本体ソフトのバージョンアップデートが必要な場合があります。
アップデートは、地上デジタルや BS デジタル放送で行われますので、必ずデジタル放送が受信できていることが必要です。
また、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「ダウンロード設定」で「する」に設定（工場出荷時の設定）しておくと、デジタル放送波を利用したソフトウェアのダウンロードが自動的に行われ、常に最新のソフトウェアにアップデートされます。
② テレビ本体ソフトのバージョンアップデートについては、シャープホームページの AQUOS サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/aquos/）からご覧いただけます。

録画・録画予約について

DVD ディスクには
録画・録画予約できません。

● 本機は、BD-RE ／ BD-R に以下の放送を録画・録画予約し、再生できます。

- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送
- 110 度 CS デジタル放送
- 地上アナログ放送
- パススルー方式での CATV（ケーブルテレビ）

◆ IPTV（ひかり TV）は、録画・録画予約できません。
◆録画禁止の放送は、録画・録画予約できません。

● 本機は、以下の放送・映像について、本機の外部入力端子４（映像・音声）に接続した録画制限のないアナログ映像・音声をBD-RE ／ BD-R に録画・録画予約し、再生できます。
（本機の D 端子からの入力および録画制限のある放送は、録画できません。）

- お手持ちのレコーダーやプレーヤー（ビデオデッキ、DVD プレーヤー、HDD/DVD レコーダーなど）
- 専用受信機を使う方式での CATV（ケーブルテレビ）

・お使いの専用受信機の説明書をご覧ください。

録画用には、包装に以下の表示のある BD ディスクをご購入ください。

例）包装のおもて面

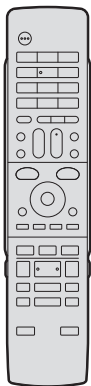
例）包装のうら面

BD-RE の場合：2.1
3.0(XL 3 層)

BD-R の場合：1.1
（右記のいずれか）
1.2、1.2 LTH
1.3、1.3 LTH
2.0(XL 3 層)
2.0(XL 4 層)

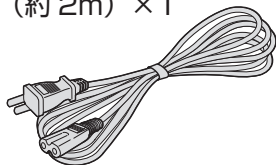
付属品
（別売品については⇒ 311 ページ）

• 安全と性能維持のため、同梱の電源コードを必ずご使用ください。

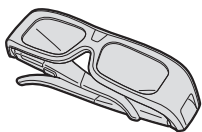
リモコン ×1

リモコン用乾電池※
（単 3 形乾電池）×2

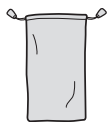
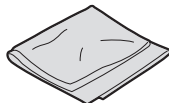
※ アルカリ乾電池を
ご使用ください。

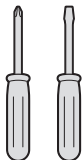
乾電池を入れて
使います。
⇒ **36** ページ

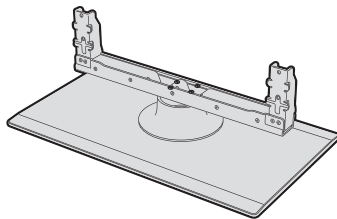
電源コード※
（約 2m）×1

※ **付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。**
※ イラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

本機に電源を供給します。
⇒ **333** ページ

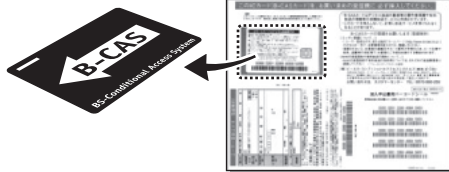
3D メガネ ×1

メガネケース ×1

ノーズパッド大 ×1
ノーズパッド小 ×1

メガネ拭き用クロス ×1

精密プラスドライバー ×1
精密マイナスドライバー ×1

3D メガネ固定バンド ×1

3D で見るときに使います。
⇒ **212** ページ

スタンド ×1

スタンド取付ネジ（M5）×4

本機に取り付けます。
⇒ **312** ページ

B-CAS カード ×1　B-CASカードの台紙

• B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている **B-CAS パンフレットの袋の中の台紙**についています。
• 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

デジタル放送を見るときに
使います。⇒ **316** ページ

取扱説明書※（本書）×1

かんたん !! ガイド※ ×1

保証書 ×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-52LB3 を例にとって説明しています。LC-46LB3 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **399** ページ）

はじめに

次のページに続く

テレビを見る

次のページに続く

本機に内蔵のBD（ブルーレイディスク）レコーダー機能で録画・録画予約する

（・本書では、「BD（ブルーレイディスク）レコーダー」を「BD レコーダー」と、記載しています。「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。）

本機に内蔵のBD(ブルーレイディスク)レコーダー機能で再生する

(・本書では、「BD (ブルーレイディスク) レコーダー」を「BD レコーダー」と、記載しています。「BD」は、「ブルーレイディスク」の略称です。)

次のページに続く

BD(ブルーレイディスク)にダビングする

BDディスクを管理する

USBハードディスクをつないで録る・見る

ファミリンク機能を使って録画・再生・視聴する

次のページに続く

３D映像を見る

レコーダーやプレーヤー、パソコンなどをつなぐ

インターネットで楽しむ

次のページに続く

テレビを見るための準備をする

次のページに続く

困ったときのお役立ち情報

次のページに続く

仕様・用語・索引

English Guide

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DTS 2.0＋Digital Outは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0+ Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc™は商標です。
- “Blu-ray 3D”およびBlu-ray 3D™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BDXL™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BD LIVE™は、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- BONUSVIEW™はBlu-ray Disc Associationの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- AVCHDはパナソニック（株）とソニー（株）の商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機は、THX※社が定めるホームシアター用のディスプレイ規格（THX Certified Display Standard）に準拠した映像品位を実現しました。（本機の映画　THXモード、映画　THX（3D）モード使用時。）
  ※ THXおよびTHXロゴはいくつかの管轄区において登録されているTHX Ltd.の商標です。
  THX 3Dロゴは、THX Ltd.がすべての権利を保有している商標です。

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

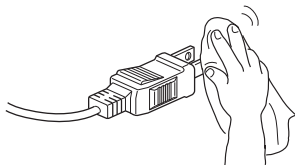
気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

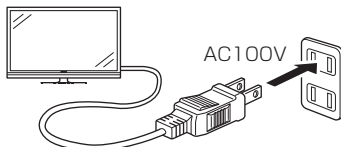
しなければならないことを表しています。

⚠警告

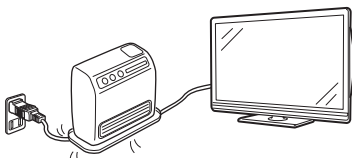
電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

100 ボルト以外禁止

- 火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

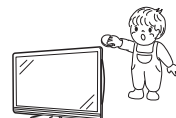
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

異物を入れない

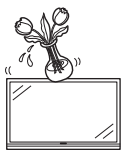
禁止

- 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

次のページに続く

⚠警告

不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

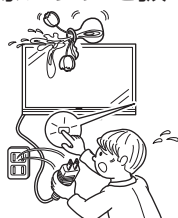
本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

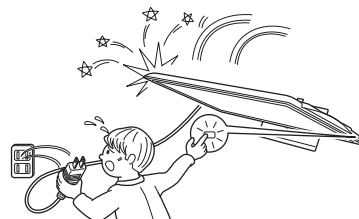
テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

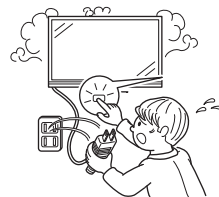
- 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

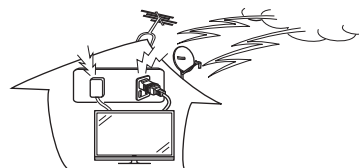
風呂やシャワー室では使用しない

- 火災・感電の原因となります。

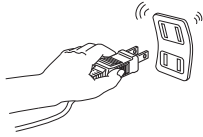
内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

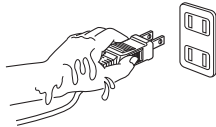
落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

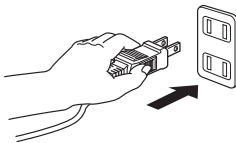
煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

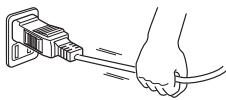
雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

- 感電の原因となります。

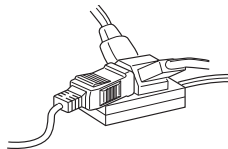
⚠注意

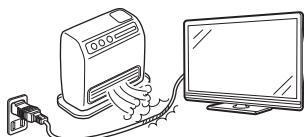
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

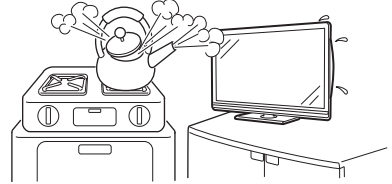
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

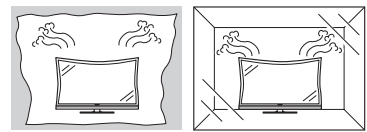
電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

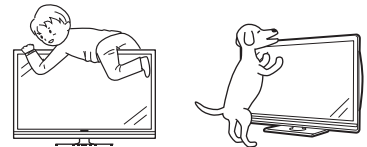
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

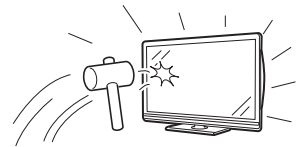
タコ足配線をしない

- 火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

- 調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

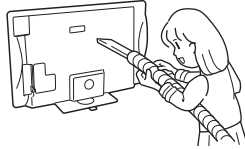
- 手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

次のページに続く

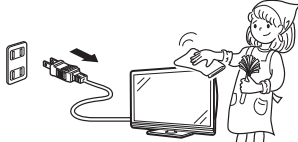
⚠注意

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

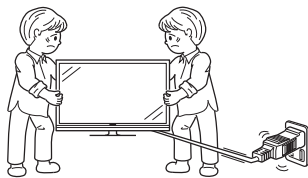
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

指のケガに注意

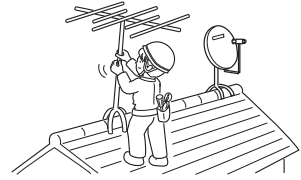
- 小さなお子さまがディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。BD ユニットの故障の原因にもなり、ディスクが取り出せなくなります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110 度 CS デジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠注意

アルカリ電池についての安全上のご注意

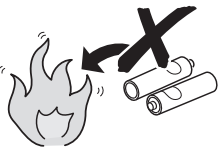
- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

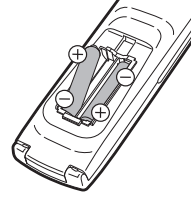
電池は幼児の手の届く所に置かない

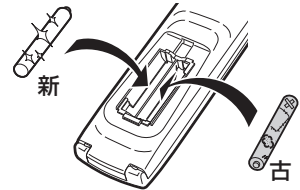
- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

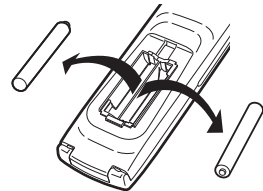
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所および湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

次のページに続く

⚠警告

3D メガネについての安全上のご注意

雷が鳴り出したら、USB 電源供給での 3D メガネ使用を中止し、テレビ本体の USB 端子と 3D メガネの電源供給用端子から USB ケーブルを外す

・感電の原因となります。

■ 誤飲防止について

電池や付属のノーズパッドは、お子様の手の届く場所に置かない

・電池を交換するときは、お子様を近づけないでください。誤って飲み込む恐れがあります。

・万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 分解禁止について

3D メガネを分解したり、改造しない

・火災や視聴時の異常による体調不良の原因となります。

■ コイン型リチウム電池の取り扱いについて

電池を火の中に入れたり、加熱したりしない

・破裂して事故の原因となります。

電池を交換するときは、日立マクセル製コイン型リチウム電池（CR2032）を使用する

・指定以外の電池をご使用になった場合には、電池の破裂、液もれによる火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

・電池を入れたままにしておくと、電池を漏液させる恐れがあります。この液が目に入ったときは、失明など障害の恐れがありますので、こすらずに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

3D メガネについての安全上のご注意

■ 3D メガネについて

3D メガネに物を落としたり、力を加えたり、踏んだり、落としたりしない

・ガラス部分などが破損してけがの原因となることがあります。

・メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

3D メガネを装着時は、フレームの先端に注意する

・目をついてけがの原因となることがあります。

3D メガネのヒンジ部に指をはさまないようにする

・けがの原因となることがあります。

・特にお子様にご注意ください。

⚠注意

■ コイン型リチウム電池の取り扱いについて

極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れない

- 間違えると電池の破損、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。（⇒ **213** ページ）

指定以外の電池を使用しない

- 間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

■ 3D 映像の視聴について

- 3D 映像の見え方には個人差があります。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は 3D メガネを使用しない

- 病状悪化の原因となることがあります。

体調がすぐれないときは、3D の視聴は控える

3D メガネで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止する

- そのまま視聴すると体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
- 休憩をとっても疲労感、不快感が取れない場合は、使用を中止してください。

3D 映像（映画、ゲーム、パソコン等）をご覧になる場合は、1 時間程度を目安に適度に休憩をとる

- 長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。
- 休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。

3D メガネを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかない

- 3D 映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因となることがあります。

3D の映像を見るときは 3D メガネを使用する

3D メガネは、両目を水平に近い状態で視聴する

近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで 3D メガネを使用する

3D メガネを装着中も映像が2重に見える状態が続くとき、立体感が感じにくいときは使用を中止する

- 長時間の使用による目の疲れの原因となることがあります。

画面の有効高さの 3 倍程度の視距離で見る

（推奨距離）：　52V 型　1.9m 程度
　　　　　　　46V 型　1.7m 程度

- 推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

次のページに続く

⚠注意

■ 3D メガネの使用について

・ 3D メガネやレンズは精密部品です。取り扱いには十分ご注意ください。

3D メガネでの視聴年齢については、5～6 歳以上を目安にする

お子様が 3D メガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴する

・ お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
・ お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D メガネを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かない

・ 3D 映像を実際のものに間違えて身体を動かし、周囲のものを破損してけがの原因となることがあります。

3D メガネをかけたまま移動しない

・ 周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因となることがあります。

3D メガネは、指定の用途以外には使用しない

3D メガネを割れた状態で使用しない

・ けがや目の疲れの原因となることがあります。

3D メガネに異常・故障があったときは直ちに使用を中止する

・ そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因となることがあります。

肌に異常を感じたら 3D メガネの使用を中止する

・ ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因となることがあります。

鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら 3D メガネの使用を中止する

・ 長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因となることがあります。

使用上のご注意

重要　必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は**……… 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。

■ **録画（録音）内容の補償はできません**……… 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ **著作権について**……………… あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

■ **録画防止機能について**…… 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

■ **保証について**…………………… 本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ **再生の制限について**……… 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

・お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

・汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
・硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿､ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
・キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがあります。
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

次のページに続く

守っていただきたいこと

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOSクリーニングクロス
推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布(綿、ネル等)を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。

3D メガネのお手入れのしかた

- お手入れの際は、付属のメガネ拭き用クロスをご使用ください。クロスにほこりなどが付着していると、製品に傷がつきます。ご使用前にほこりなどをはらってください。なお、ベンジンやシンナーなどは、塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
- お手入れの際に、3D メガネを水などの液体につけないでください。
- 保管の際は、湿度の高いところや、温度が高くなるところを避けてください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

本機を傾けて設置しないでください

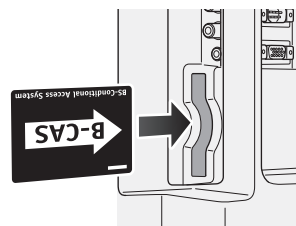
- 傾けて設置せず垂直になるよう設置してください。BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができなくなったり、故障の原因となります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

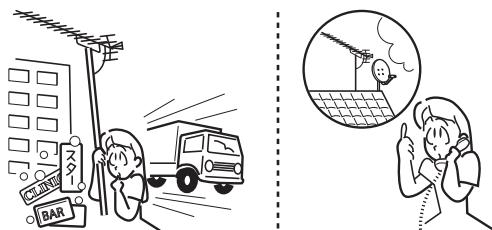
守っていただきたいこと

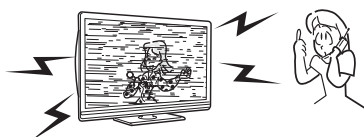
長期間ご使用にならないとき

・長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

・長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・電源プラグを抜くときの手順は⇒**398**ページをご覧ください。

アンテナについて

・妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ずBS·110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）を使用してください。
・アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

使用温度について

注意

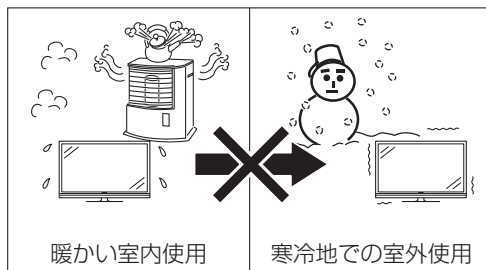
・室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

結露（つゆつき）について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

注意

・本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

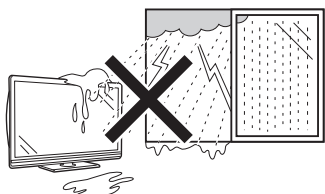
急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

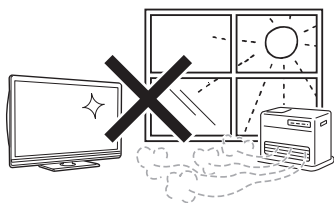
次のページに続く

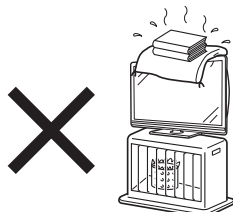
守っていただきたいこと

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。（使用温度：5℃～ 35℃）

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

磁気について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

壁掛け設置をするときは

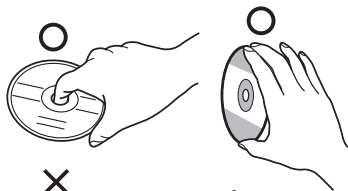
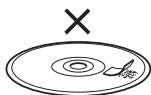
- ディスクを取り出してから設置してください。また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

ディスクを入れるときは

- ディスク挿入口にディスクを入れるときは、無理に入れないでください。すでにディスクが入っているときにもう１枚挿入しようとすると、故障の原因になります。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD·CD）の取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD·CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。修理は、お買いあげの販売店またはお客様相談センター(⇒**421** ページ)にご依頼ください。

ディスク（BD・DVD·CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

つゆつきについて

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと

- ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

- ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

特殊な CD について

- 特殊形状（ハート形や六角形など）のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

録画中に停電になったときは

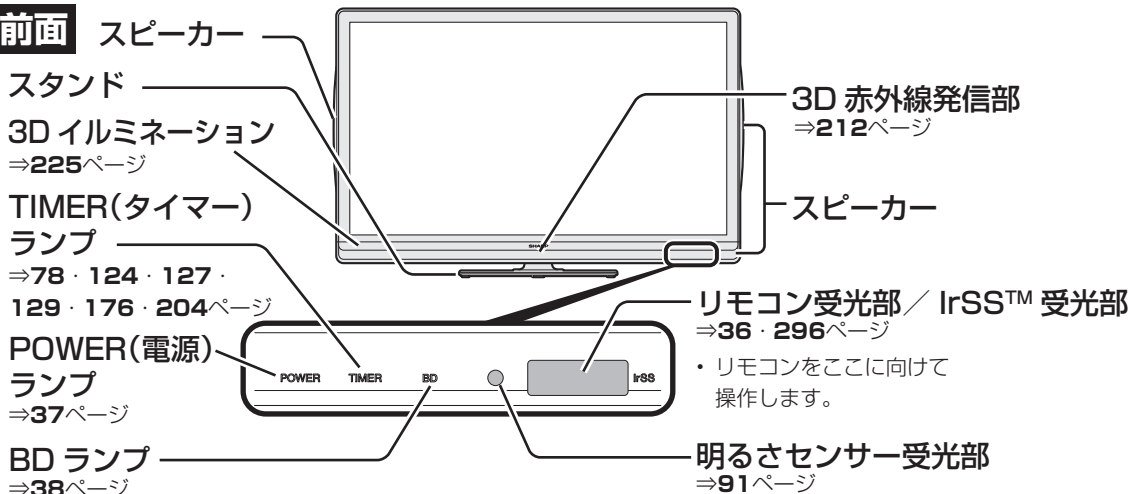
- 録画中に停電になったときは、録画の内容が損なわれることがあります。また、BD が使用できなくなる場合があります。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体各部

- LC-52LB3 を例に説明していますが、LC-46LB3 も端子の配置は同じです。
- 3Dメガネについては、**212**～**214**ページをご覧ください。

前面

BD ランプ
⇒**38**ページ

- 赤点灯：BD／USB-HDDに録画中
- 青点灯：ディスクを再生中
- 白点灯：ディスクが入っているとき（待機中・停止中）／ディスクの初期化中
- 消　灯：ディスクが入っていないとき

右側面

ディスク挿入口

ディスク取出しボタン

電源スイッチ
⇒**37**ページ

ホーム（メニュー）ボタン
⇒**40**ページ

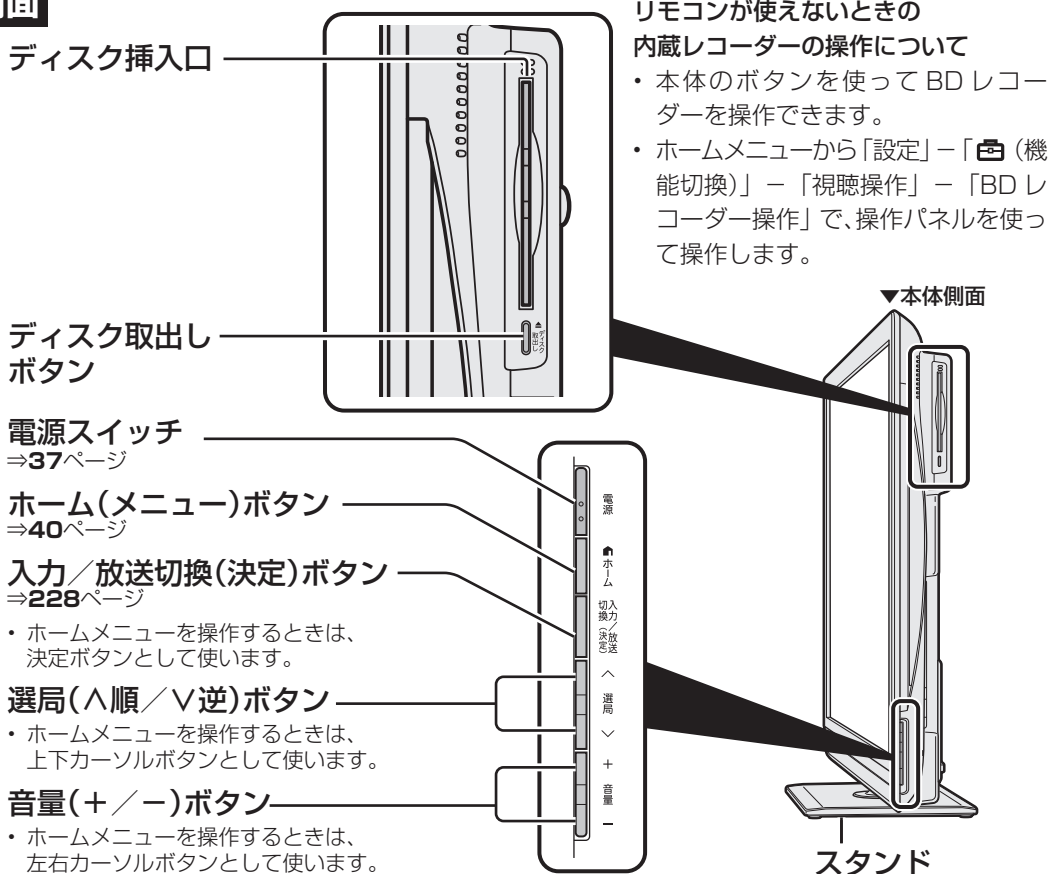
入力／放送切換（決定）ボタン
⇒**228**ページ

- ホームメニューを操作するときは、決定ボタンとして使います。

選局（∧順／∨逆）ボタン

- ホームメニューを操作するときは、上下カーソルボタンとして使います。

音量（＋／－）ボタン

- ホームメニューを操作するときは、左右カーソルボタンとして使います。

リモコンが使えないときの内蔵レコーダーの操作について

- 本体のボタンを使って BD レコーダーを操作できます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」－「BD レコーダー操作」で、操作パネルを使って操作します。

▼本体側面

スタンド

背面

LAN端子（通常）（10BASE-T/100BASE-TX）
⇒**243**・**269**ページ
- インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信で使用します。（LAN：ローカルエリアネットワークの略称）

i.LINK（TS入力）S400
⇒**332**ページ
- i.LINK出力機能の付いた外部機器からの入力専用になります。

HDMI 対応機器をつなぐ

入力1・入力2（HDMI）
⇒**210**・**322**・**324**・**326**・**327**・**328**・**330**ページ

入力4（D5）
⇒**322**・**325**・**328**・**332**ページ
- 外部入力信号を本機で録画する場合は、入力4に接続してください。

※D端子からの入力および録画制限のある映像は録画できません。

コントロール（RS-232C）端子
⇒**331**ページ

パソコンをつなぐ

入力7（アナログRGB）
⇒**331**ページ

外付けハードディスクや USB 無線 LAN アダプターをつなぐ

USB 端子
⇒**164**・**246**・**302**・**303**・**397**ページ
- USB メモリーを挿入したまま本機の角度を調整（⇒**311**ページ）するときは、周囲にぶつかるものがないか、確認してください。

HDMI 対応機器をつなぐ

入力 3（HDMI）
⇒**210**・**322**・**324**・**326**・**327**・**328**・**330**ページ

入力 5（D5・映像・音声 ）
⇒**322**・**325**・**328**ページ

ヘッドホン端子
- ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。（ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える⇒**98**ページ）

外部機器を一時的につなぐのに、便利な端子です。

入力6（映像・S2映像・音声）／音声出力
⇒**322**・**325**・**328**・**329**ページ
- 入力と出力を切換えられる端子です。出力に切換えた場合は、音声のみの出力になります。「入力／音声出力設定」で切換えます。（⇒**232**ページ）
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。
- 映像端子とS映像端子は、入力専用です。

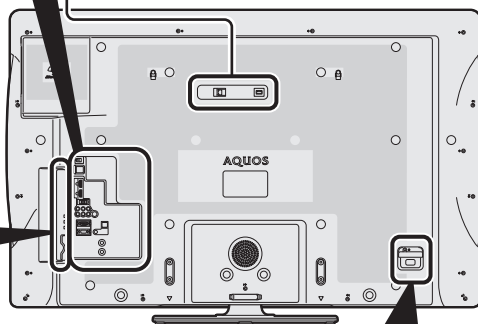
デジタル音声出力（光）端子
⇒**327**・**329**ページ

入力7/入力2 音声入力端子
⇒**330**・**331**ページ

アンテナをつなぐ

アンテナ入力 BS・110度 CSデジタル
⇒**318**〜**321**ページ

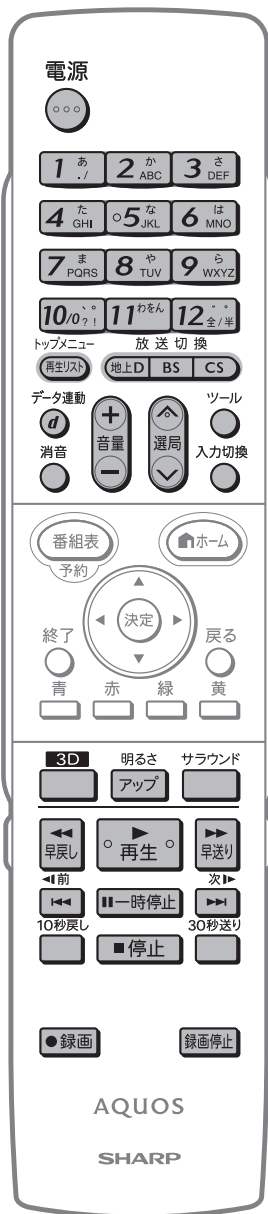
アンテナ入力 地上デジタル 地上アナログ (VHF・UHF)
⇒**318**〜**321**ページ

BD-LIVE専用外部メモリー USB端子 ⇒**144**ページ
BD-LIVE専用通信端子（10BASE-T/100BASE-TX）
⇒**142**・**243**ページ
- BD-LIVE対応のディスクを楽しむために接続する端子です。
- USB メモリーを挿入したまま本機の角度を調整（⇒**311**ページ）するときは、周囲にぶつかるものがないか、確認してください。

B-CAS カード挿入口
⇒**316**ページ

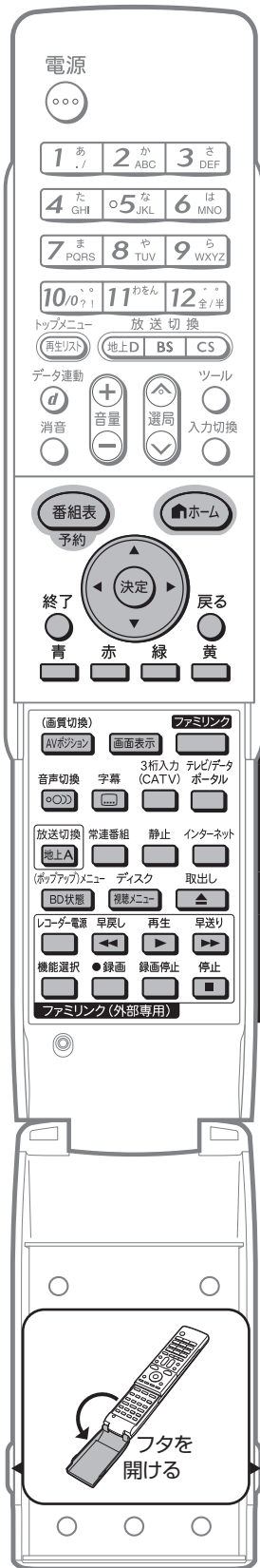
B-CAS カードは必ず挿入してください。
- B-CAS カードはデジタル信号の暗号化を解除する「鍵」のような役割をしていますので、B-CAS カードが挿入されていないと、デジタル放送が視聴できません。

電源コードをつなぐ

電源入力（AC100V）端子
⇒**333**ページ

リモコンのボタン

ボタン	ボタン名	ページ
電源	電源	37
1〜12	チャンネル（数字） ・チャンネルの選局 ・IPTV（ひかり TV）の選局 ・文字や数字の入力、再生リスト、インターネットを見る画面の操作、本機の設定操作にも使います。	 46 274
トップメニュー 再生リスト	トップメニュー（再生リスト）	135･139･141
地上D BS CS	放送切換 （地上デジタル／ BS デジタル／ 110 度 CS デジタル） ・初めて CS チャンネルを操作するときの操作	46 340
データ連動 d	データ連動	49･150･275
消音	消音	46･274
音量	音量	46･274
選局	選局 ・地上デジタル放送の、選局の順番の変更 ・CATV チャンネルのスキップ解除の操作（工場出荷時設定からの変更）	46･274 57 357
ツール	ツール	44･72･74･139･259
入力切換	入力切換 ・ゲーム機、パソコン、ホームネットワークなどの入力に切換える操作にも使います。	228･235･286･291･294
3D	3D	218 ～ 220･222･227
明るさ アップ	3D 明るさアップ	224
サラウンド	3D サラウンド	224
早戻し 再生 早送り 前 一時停止 次 10秒戻し 停止 30秒送り	再生操作 ・再生中の操作 ・再生リストを呼び出して行う操作にも使います。	138･140･141 145･146
●録画	録画	119 ～ 122
録画停止	録画停止	119 ～ 122

◇**おしらせ**◇

・リモコンを使うと他の機器が動作してしまうとき ⇒ **401** ページ

ボタン	ボタン名	ページ
番組表 予約	**番組表（予約）** ・番組表からの予約操作 ・番組表から行う操作にも使います。	**59** **123・202**
ホーム	**ホーム（メニュー）**	**40・41**
決定	**カーソル（上／下／左／右）／決定** ・文字入力、再生リスト、インターネットを見る画面の操作にも使います。	**40・41**
終了	**終了** ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
戻る	**戻る** ・ホームメニュー、文字入力、インターネットを見る画面の操作などに使います。	
青 赤 緑 黄	**カラー（青／赤／緑／黄）** ・連動データ放送の操作 ・文字入力の操作 ・インターネットを見る画面の操作にも使います。	**60・61** **49** **104**
（画質切換） AVポジション	**AV ポジション**	**85**
画面表示	**画面表示** ・リモコン番号変更画面を表示	**50・51** **402**
ファミリンク	**ファミリンク**	**173・181・186・198・210・221**
音声切換 字幕	**音声切換／字幕** ・音声切換／字幕ボタンは、IPTV（ひかり TV）のテレビサービスにも使います。	**69・70・150・151・275**
3桁入力（CATV）	**3 桁入力（CATV）**	**48**
テレビ/データ ポータル	**メディア切換（テレビ／データ／ポータル）**	**46・49**
地上A	**放送切換（地上アナログ）**	**46**
常連番組	**常連番組**	**66～68**
静止	**静止**	**54**
インターネット	**インターネット**	**259・274・278・282**
（ポップアップ）メニュー BD状態	**BD 状態 ポップアップメニュー**	**116・139**
ディスク 視聴メニュー	**視聴メニュー**	**152・153**
取出し	**取出し**	**39**
レコーダー電源 早戻し 再生 早送り 機能選択 ●録画 録画停止 停止	**ファミリンク操作**	**200・201・205～208**

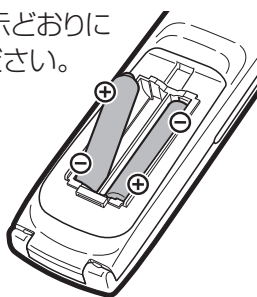
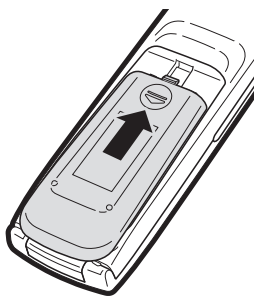
リモコンの電池の入れかたと操作範囲について ⇒**次**ページ

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

△部分を軽く押しながら、カバーを矢印の方向にスライドします。

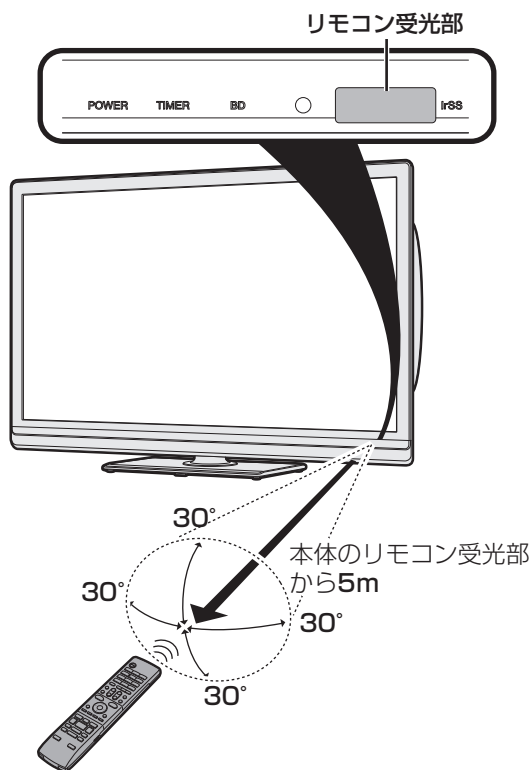
2 付属の単3形乾電池（アルカリ）を入れる

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 電池カバーを元どおりに閉める

◇**おしらせ**◇

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単 3 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

- リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

◇**おしらせ**◇

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- 水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（⇒ **401** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

電源の入れかた

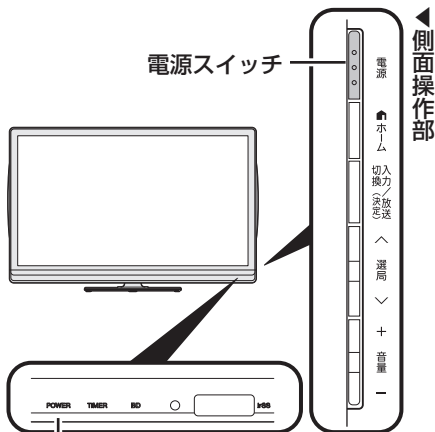
電源を入れる

- すべての接続を終了してから、電源を入れてください。

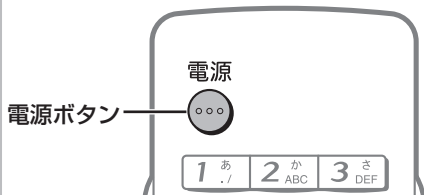
接続などの基本的な準備のながれ

- ⇒ **308** ページをご覧ください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチを押し、電源を入れる

- POWER（電源）ランプが緑色に点灯します。

2 リモコンの電源ボタンで電源を入／切する

電源 を押す

◆ 重 要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、⇒**398**ページの手順に従ってください。手順どおりに操作を行わないと、次に電源を入れたときに、BD（ブルーレイディスク）が読めなくなる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。

◇**おしらせ**◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
- 「電源スイッチ設定」（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

消費電力について

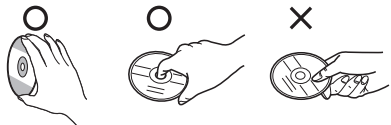
- 電源スイッチ設定が「モード 1」の場合は、本体の電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（⇒ 53 ページ）

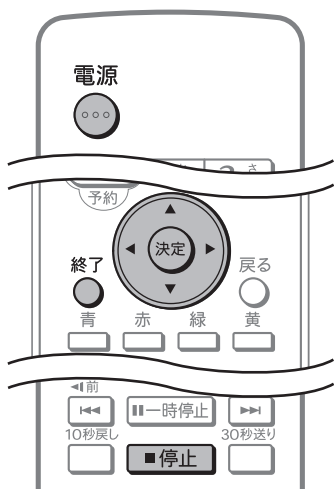
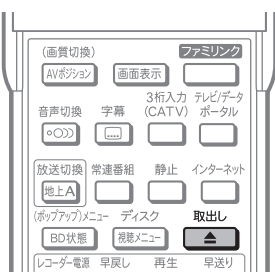
- リモコンで電源を入れたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

ディスクの入れかた・出しかた

ディスクの持ちかた

・ディスクを持つときは、光っている面に指紋や汚れなどが付かないようにご注意ください。

・ディスクの光っている面に、指紋や汚れが付着していないことを確かめてから挿入してください。
・汚れなどが付着しているときは、「ディスク（BD・DVD・CD）のお手入れについて」（⇒ **31** ページ）を参考に汚れを拭き取ってください。
・ディスク（BD・DVD・CD）に紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

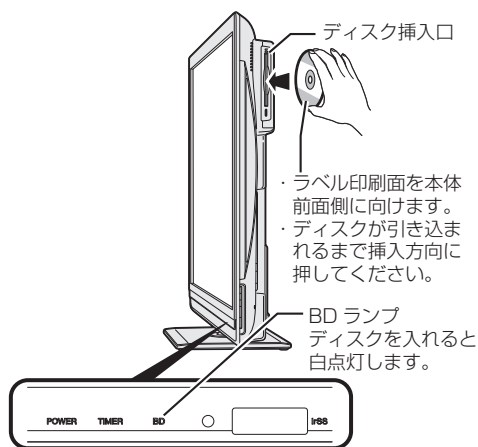
8cm アダプターは使用できません

・再生用の 8cm 盤 DVD ディスクや CD ディスクを本機で再生するときは、そのままディスク挿入口に入れてください。

ディスクの入れかた

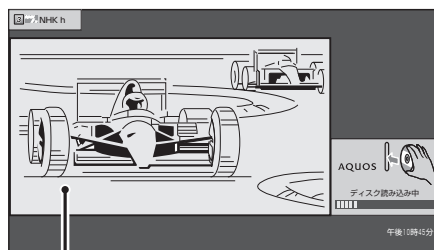
・ディスクの挿入時や取り出し時には、指紋やホコリなどの汚れが付かないように、十分ご注意願います。
・ディスクの記録（再生）面に指紋やホコリなどの汚れが付着すると、録画に失敗したり、再生時に、画像の乱れや音飛びが発生します。

1 本機の電源を入れる

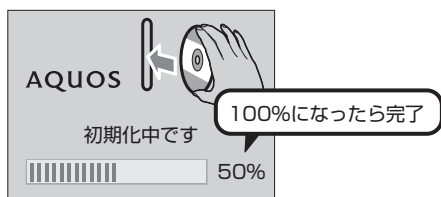
電源 を押す

2 ディスク挿入口にディスクを入れる

・ラベル印刷面を図の向きにして入れます。
・両面記録の DVD ディスクは、再生したい面をテレビ背面側にして入れます。

▼

・ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了するまでお待ちください。

ディスクを入れたときの表示例▲

新品の BD-RE ／ BD-R ディスクを入れた場合

- 録画に使えるようにするための処理「初期化」が自動的に始まります。

- 新品の BD-RE または BD-R でも、ディスクメーカーによっては「初期化する」「ディスク取り出し」と表示される場合があります。

初期化しますか？
初期化する　ディスク取り出し

- 初期化をする場合は左右カーソルボタン※で「初期化する」を選びます。

  ※ 本体右側面のボタンでも操作できます。(⇒**32**ページ)

- 初期化が完了すると、BD への録画ができるようになります。

番組を録画した BD を入れた場合

- 読み込みが終わると再生リストが表示されます。ただし、本機の状態によっては表示されないことがあります。

市販の BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合

- BD ランプが白色に点灯します。
- BD ビデオ・DVD ビデオディスクを挿入した場合は、自動的に再生※が始まるディスクがあります。

  ※　オートプレイ対応ディスク挿入時。

◆　重　要　◆

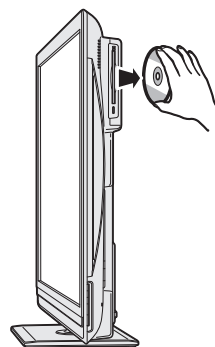
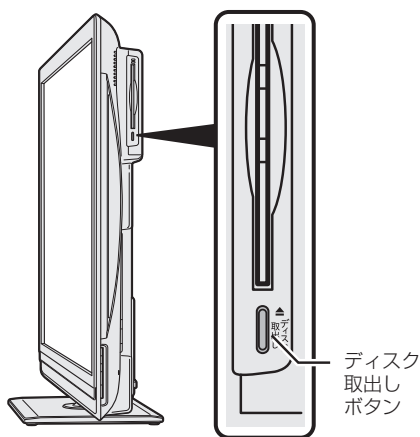
- 電源プラグを抜くときは、⇒**398**ページの手順に従ってください。手順どおりに操作を行わないと、次に電源を入れたときに、BD（ブルーレイディスク）が読めなくなったり、BD の読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。
- 8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化や録画ができません。新品（未初期化）の 8cm 盤 BD-RE/BD-R を本機に挿入した場合は、ディスクが自動的に取り出されます。

ディスクの取り出しかた

1 **本機の電源を入れた状態で、終了 または ■停止 を押す**

2 **リモコンの 取出し ⏏ を押す**

- ディスクが途中まで出ます。

3 **途中まで出たディスクを手で取り出す**

- ディスクが出た後はすみやかに取り出してください。
- ディスクが出た状態で本体を揺すったりするとディスクが落ちる場合があります。
- 途中まで出たディスクを再度挿入するときは、ディスクを一度取り出してから入れ直してください。
- 終了ボタンまたは停止ボタンを押した後、本体のディスク取出しボタンを押してもディスクが出ます。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

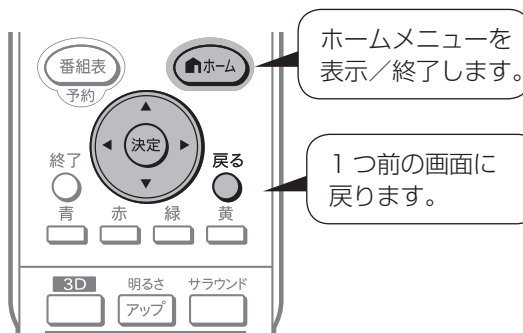
ホームメニュー項目

ガイド表示
- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目
（ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。）
- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。

番組タイトルと番組情報
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

視聴中の画面
- ホームメニューを呼び出すと、視聴中の画面は縮小表示されます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び
決定
を押す

例：レコーダー接続時

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。

3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

例：「設定」の場合

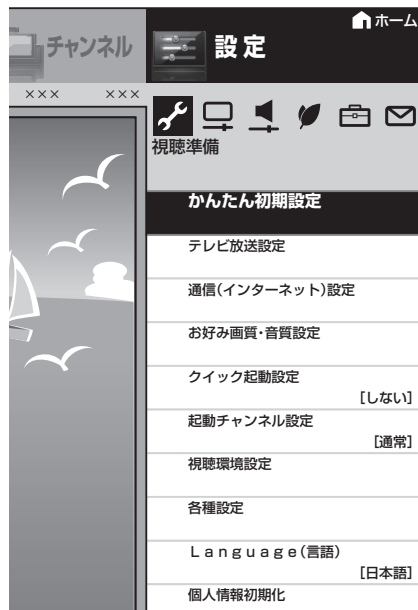
4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び
決定
を押す

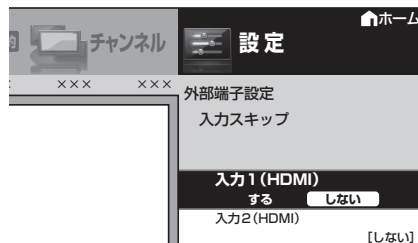
- 表示される項目は、状況によって異なります。
- 各項目については、**42 ～ 45** ページをご覧ください。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び
決定
を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

▼設定画面の例

ホームメニューの項目一覧
⇒ **42 ～ 45** ページ

ホームメニューの項目一覧

チャンネル ⇒47

- ホームメニューから放送の種類→番組（またはチャンネル）の順に選んで視聴できます。

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

（2010年10月現在）

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK 総合・東京	011
2	NHK 教育・東京	021
3	–	–
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京 MX テレビ	091
10	–	–
11	–	–
12	放送大学	121

BS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	–	–
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	–	–
4	BS 日テレ	141	–	–
5	BS 朝日 1	151	–	–
6	BS-TBS	161	–	–
7	BS ジャパン	171	–	–
8	BS フジ・181	181	–	–
9	WOWOW	191	–	–
10	スターチャンネル	200	–	–
11	BS 11	211	–	–
12	TwellV	222	–	–

110度CSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ
	チャンネル番号
1	100
2	001※
3	–
4	–
5	–
6	–
7	–
8	–
9	–
10	–
11	–
12	–

※ 2010年10月現在は、放送されていません。

◇**おしらせ**◇

- チャンネル一覧は変更されることがあります。

設定

- 本機をお使いになるためのさまざまな設定を行うことができます。

視聴準備

- 放送を視聴するための設定項目です。

項目	参照
かんたん初期設定	⇒**336**
テレビ放送設定	
チャンネル設定	⇒**56、345、346、348、356**
アンテナ設定	⇒**341**
地域設定	⇒**343～344**
通信（インターネット）設定	⇒**248～257、263、267、270、272、277**
お好み画質・音質設定	⇒**87、88**
クイック起動設定	⇒**53**
起動チャンネル設定	⇒**67**
視聴環境設定	
明るさセンサー（OPC）感度設定	⇒**86**
視聴環境設定（音声）	⇒**97**
各種設定	
暗証番号設定	⇒**102**
視聴年齢制限設定	⇒**103**
ダウンロード設定	⇒**396**
電源スイッチ設定	⇒**52**
時計設定	⇒**51、76**
リモコン番号設定	⇒**401**
Language（言語）	⇒**435**
個人情報初期化	
個人情報初期化	⇒**399**
BD ビデオ初期化	⇒**138、144**

映像調整

- お好みの映像に調整する項目です。

項目	参照
ＡＶポジション（画質切換）	⇒**85**
お好み画質	⇒**90、91**
お好み画質設定	⇒**89、90、91**
明るさセンサー（OPC）	⇒**90、91**
明るさ	⇒**90、91**
3D明るさアップ	⇒**90、91**
映像	⇒**90、91**
黒レベル	⇒**90、91**
色の濃さ	⇒**90、91**

色あい	⇒**90**、**91**
画質	⇒**90**、**91**
プロ設定	⇒**90**、**91**、**92**
リセット	⇒**90**、**91**

音声調整

- お好みの音声に調整する項目です。

オートボリューム	⇒**93**、**94**、**95**
高音	⇒**93**、**94**
低音	⇒**93**、**94**
バランス	⇒**93**、**94**
サラウンド	⇒**93**、**94**
3Dサラウンド	⇒**93**、**94**
音質補正	⇒**93**、**94**
リセット	⇒**93**、**94**
声の聞きやすさ	⇒**93**、**94**、**96**

安心・省エネ

- 電力資源を有効に使用するための設定項目です。

照明オフ連動	⇒**101**
オフタイマー	⇒**99**
おやすみタイマー	⇒**77**
おはようタイマー	⇒**78**
映像オフ	⇒**54**
無信号オフ	⇒**100**
無操作オフ	⇒**100**
ゲーム時間表示設定	⇒**231**
チャイルドロック	⇒**103**

機能切換

- 本機のいろいろな機能の設定項目です。

視聴操作	⇒**50**、**81**、**235**
BD設定	
(BD/DVD)再生設定	⇒**143**、**148**、**151**、**154**、**155**
BD録画設定	⇒**114**、**115**、**118**、**122**、**133**、**157**
ディスク管理	⇒**159**、**162**
3D設定	
3D自動切換	⇒**217**
2D→3D変換効果調整	⇒**222**
3D視聴時間お知らせ設定	⇒**225**
3Dイルミネーション設定	⇒**225**
3Dテスト	⇒**223**
ファミリンク設定	⇒**195**、**196**、**197**、**209**
外部端子設定	
ヘッドホン	⇒**98**
入力／音声出力設定	⇒**232**
デジタル音声設定	⇒**233**
パソコン入力	⇒**236**
入力音声選択	⇒**237**
入力スキップ	⇒**230**
入力選択	⇒**229**
入力表示	⇒**230**
HDMIコンテンツタイプ連動	⇒**84**
IrSS自動切換	⇒**298**
番組表設定	
番組表取得	⇒**64**
表示方式	⇒**65**
表示順	⇒**65**
スキップ設定	⇒**347**
ジャンルアイコン設定	⇒**64**
ジャンルおすすめ設定	⇒**47**
視聴履歴リセット	⇒**47**、**67**
常連番組3D優先設定	⇒**67**
検索設定	⇒**63**
優先予約設定	⇒**171**
画面表示設定	
文字サイズ	⇒**75**
表示色	⇒**75**
選局効果	⇒**55**
字幕表示	⇒**71**
番組名表示	⇒**55**
文字スーパー表示	⇒**149**
画面位置	⇒**81**
オートワイド	⇒**82**～**83**

次のページに続く

設定（つづき）

お知らせ

・ 本機が受信した情報を確認するための項目です。

受信機レポート	⇒**400**
放送局メッセージ	⇒**396**、**400**
ボード（CSデジタル）	⇒**315**、**400**
Ｂ－ＣＡＳカード	⇒**400**
システム動作テスト	⇒**394**
ソフトウェアの更新	⇒**397**

ツール

・ 便利な機能をショートカットメニューにまとめました。
・ リモコンのツールボタンを押しても表示できます。

2D→3D変換効果調整	⇒**222**
○○画面の操作	⇒**139**
２画面	⇒**72**
操作切換	⇒**74**
USB-HDD設定	
USB-HDDの選択	⇒**168**
機器の初期化	⇒**166**
機器の登録解除	⇒**167**
機器の取りはずし	⇒**165**
常連録画設定	⇒**179**
省エネ設定	⇒**169**
オートチャプター設定	⇒**172**
タイマー機能	
オフタイマー	⇒**99**
おやすみタイマー	⇒**77**
おはようタイマー	⇒**78**
AQUOS インフォメーション	⇒**267**
ＡＶポジション（画質切換）	⇒**85**
番組情報	⇒**50**
映像切換	⇒**70**、**151**
画面サイズ	⇒**81**
VOD操作	⇒**279**、**283**、**293**
お知らせ（受信機レポート）	⇒**400**

※ 本機の状態によっては表示される内容が変わります。

リンク操作

・外部機器とファミリンク接続している場合に、本機から外部機器の操作を行うことができます。

レコーダー電源入／切	⇒**197**
ファミリンクパネル	⇒**173**、**181**、**186**、**198**、**210**、**221**
録画リストから再生	⇒**207**
スタートメニュー表示	⇒**200**
機器のメディア切換	⇒**201**
リンク予約（録画予約）	⇒**205**
音声出力機器切換	⇒**208**
ファミリンク機器リスト	⇒**206**
ファミリンク設定	⇒**195**、**196**、**197**、**209**

リンク予約

・外部機器とファミリンク接続している場合に、外部レコーダーの番組表を呼び出して録画予約を行うことができます。

レコーダーの番組表を表示	⇒**205**

番組表（予約）

・放送の種類を選び、番組の検索や視聴／録画予約を行うことができます。

地上D 地上デジタル
BS BSデジタル
CS CSデジタル

番組表	⇒**59**
日時検索	⇒**60**
ジャンル検索	⇒**61**
番組詳細検索	⇒**61**～**63**
予約リスト	⇒**130**
常連番組	⇒**66**～**68**

IPTV IPTV（テレビ）

番組表	⇒**277**
日時検索	⇒**60**
ジャンル検索	⇒**61**
番組詳細検索	⇒**61**～**63**

アナログ アナログ

録画予約	⇒**128**

番組を選ぶ（基本的な選びかた）

数字ボタンや選局ボタンで番組を選ぶ

• リモコンの基本的なボタンを使って選局してみましょう。

◇おしらせ◇
• デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴できません。

ビーキャス
B-CASカード
⇒ **316** ページ

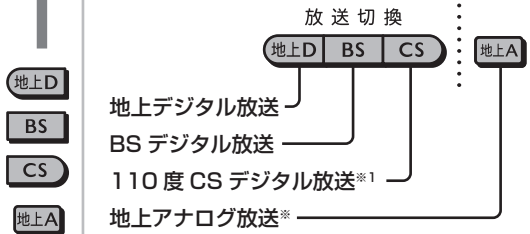
数字ボタン（チャンネルボタン）を使った選局と、放送切換ボタンについて
• チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくように設定できます。（⇒ **55** ページ）

電源を入れてから、操作を始めます。
本機の POWER（電源）ランプが赤色点灯のときに押すと、電源が入ります。

1 見たい放送の種類を選ぶ

地上D / BS / CS / 地上A のいずれかを押す

放送切換
地上D | BS | CS ・ 地上A

地上デジタル放送
BS デジタル放送
110 度 CS デジタル放送※1
地上アナログ放送※
※(2011 年 7 月までの放送)

• 地上A はリモコンのフタの中にあります。

※ 1　110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、⇒ **340** ページをご覧ください。

デジタル放送の場合
• テレビ/データ ポータル を押してメディアを選べます。

→ テレビ → ラジオ※2 → データ

※ 2　2010 年 10 月現在、BS デジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、上記の順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ

1 ～ 12 または 選局 を押す

• 数字ボタン（チャンネルボタン）または選局ボタンを押します。

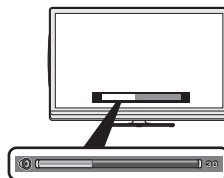
• 登録されているチャンネルの一覧を見る。（⇒ **56** ページ）

• 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。（⇒ **57** ページ）
• チャンネルの切り換え時に動きの効果をつけることができます。（⇒ **55** ページ）

3 音量を調整する

音量 や 消音 を押す

• 音量ボタンや消音ボタンで調整します。
• 入力ごとに別々の音量に設定できます。

•「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

消音
• 一時的に音を消せます。

ホームメニューから番組を選ぶ

・ホームメニューの番組一覧を表示して、番組名を確認しながら選局してみましょう。

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 見たい放送の種類を選ぶ

で選ぶ

3 見たい番組を選ぶ

で選び
決定
を押す

・選んだ番組に切り換わります。

・手順 **3** で、1～12のボタンを押しても選べます。

・手順 **3** で決定せずに 青 を押すと、番組情報が表示されます。アナログ放送では、放送局番号とチャンネル番号のみ表示されます。

おすすめアイコンを表示する

・ホームメニューから「チャンネル」で見たい番組を探すとき、あなたがよく見ているジャンルの番組の番組情報画面におすすめアイコンを表示します。

・番組情報画面は、番組を で選び、青 を押すと表示されます。

おすすめアイコン

・ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「ジャンルおすすめ設定」－「する」を選びます。

おすすめアイコンが 1 つも付いていない状態に戻すときは

・ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「視聴履歴リセット」－「する」を選びます。

3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

- 3 桁のチャンネル番号（デジタルチャンネル一覧⇒ **42** ページ）を入力しても選局できます。

1 デジタル放送の種類を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

2 3桁入力欄を表示する

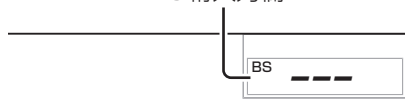
3桁入力(CATV) を押す

- 繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

3桁入力欄

BS ---

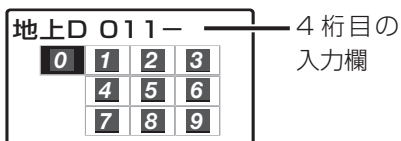
3 3桁チャンネル番号を入力する

1 〜 10/0 で入力

(例)BS デジタル放送の 161 チャンネル(BS-TBS)を選んでいるとき

BS 161

- 間違った番号を入力した場合は、3 桁入力ボタンを押してから入力をやり直します。
- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。

地上デジタル放送の場合は

- 地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ

- ケーブルテレビ（CATV）放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。
- CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた⇒ **357** ページ）
- 本機の CATV チャンネルは、C13 〜 C63 チャンネルの範囲で選局できます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

地上A を押す

2 CATVを選ぶ

3桁入力(CATV) を押す

3 チャンネル番号を入力する

1 〜 12 で入力

（例）C23 を選ぶとき

2、3 の順に押します。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、番組に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。

データ放送画面の基本操作
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。
- 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

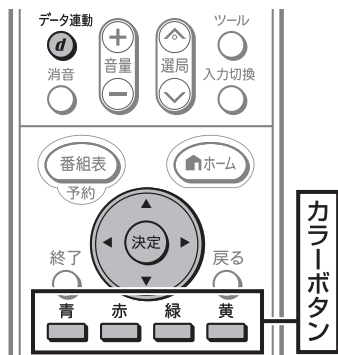
連動データ放送を表示する

データ連動 d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇
- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- 3D でない放送を 3D モードに切り換えると、データ放送が正しく表示されません。

独立データ放送の番組から選ぶ

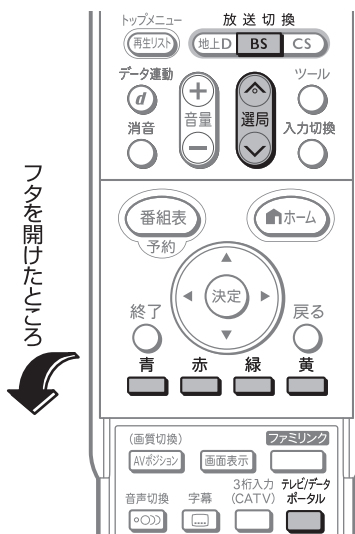
1 BSデジタル放送を選ぶ

BS を押す

2 放送の種類をデータ放送に切り換える

テレビ/データ ポータル を押す

3 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

を押す

フタを開けたところ

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

・放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

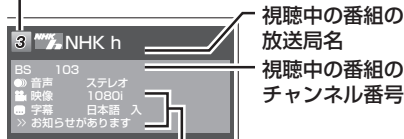
1 チャンネルサインを表示する

画面表示 を押す

▼テレビ番組のチャンネルサイン

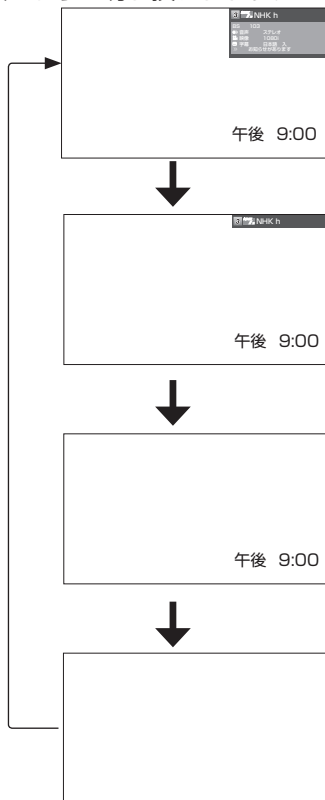
数字ボタン（チャンネルボタン）の番号
常連番組選局中は、常連番組アイコン(⇒67ページ）が表示されます。

視聴中の番組の放送局名

視聴中の番組のチャンネル番号

その他の情報
他にも情報がある場合に表示されます。
映像の種類と画質について（⇒ 422 ページ）

2 チャンネルサインの表示を切り換える

画面表示 を押す

・次のように切り換わります。

・上記は、「時刻表示」（⇒ 51 ページ）を「する」にしている場合です。

デジタル放送の番組の詳細を知りたいときは

・デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ

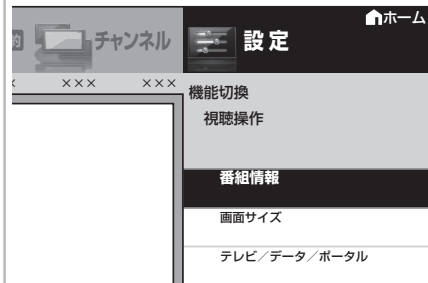
ホーム を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「番組情報」を選ぶ

で選び 決定 を押す

番組情報の画面例

他にも情報がある場合に表示されます。

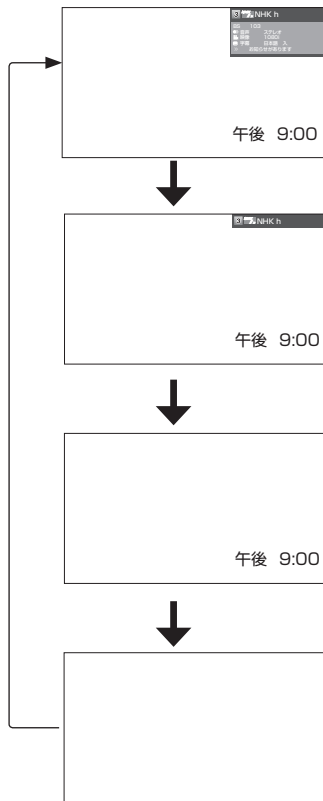
・番組情報の右側に◀▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
・終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

時刻を表示する／時刻表示のタイプを変える

時刻表示のしかたを選ぶ

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	• 画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30分ごと）	• 毎時 00 分と 30 分に現在時刻を表示します。
しない	• 表示しません。

- 「する」に設定したときは、画面表示 を押すごとに、以下のように表示が変わります。

◆　重　要　◆

- デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、「時刻設定」を行ってください。（⇒ **76** ページ）

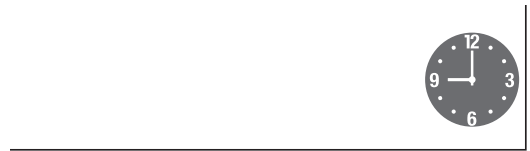
時刻表示のタイプを変える（時計タイプ）

- 時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時計タイプ」で設定します。

項目	内容
デジタル	• 画面にデジタルタイプの時計が表示されます。
アナログ	• 画面にアナログタイプの時計が表示されます。

時計タイプ「デジタル」の表示例

午後　9:00

時計タイプ「アナログ」の表示例

◇**おしらせ**◇

- 「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、ホームネットワークまたは USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。
- ホームネットワークまたは USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。

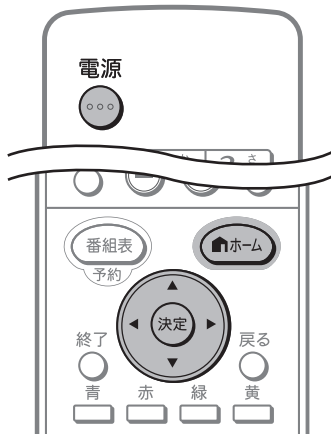
電源スイッチの設定をする

- 本体の電源スイッチを切ったとき、待機状態になるか電源オフになるかの設定ができます。
- 電源オフになると、予約や実行中の録画が中止されます。待機状態では、予約や実行中の録画は実行されます。

項目	内容
モード１	• 本体の電源スイッチを押すと、本機が「待機状態」になります。BD や USB ハードディスクへの録画中や録画予約設定中に本体の電源スイッチを押しても、録画が正常に行われるための設定です。
モード２	• 本体の電源スイッチを押すと、本機が電源オフになります。録画中の場合は録画が中断されます。録画予約が設定されている場合は録画予約が実行されません。

- お買い上げ時は、「モード 1」に設定されています。

◆ 重　要 ◆

- 「モード 1」に設定されていて本機が待機状態のときに電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。電源プラグを抜くときの操作については⇒**398**ページをご覧ください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「各種設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

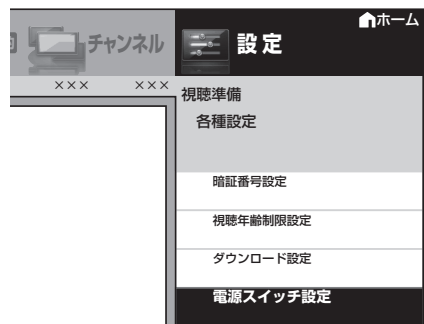
選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「電源スイッチ設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び
を押す

◇おしらせ◇

- リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源スイッチ設定に関わらず待機状態になり、予約や実行中の録画は継続されます。
- 電源オフや待機状態などを確認したい場合、POWER（電源）ランプ（⇒ **37** ページ）をご覧ください。

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする

クイック起動設定とは

- クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間や、BD レコーダー機能の起動時間を早くするための設定です。
- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「クイック起動設定」で設定します。

クイック起動を設定すると

- 例えば市販の BD ビデオを挿入したときに、自動的に再生が始まるまでの時間が早くなります。

項目	内容
しない	• クイック起動しません。
しない (BD は有効)	• BD ディスクを入れたときの BD レコーダー機能の起動時間を早くします。「しない」に設定したときより、消費電力が増えます。
する (常に BD は有効)	• 電源待機状態から、BD レコーダー機能の起動時間を早くします。 • 電源待機状態から、「電源を入れる」「番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」「再生リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと、録画や再生の操作がすぐに行えます。 •「しない」に設定したときより、待機時の消費電力が増えます。
する (2 時間のみ有効)	• 電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。

◆ 重　要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、クイック起動を「しない」に設定してください。
- クイック起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- ダウンロード(⇒**395**ページ)時は開始５分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。

◇おしらせ◇

- クイック起動を「しない（BD は有効）」または「する（常に BD は有効）」に設定した場合、BD レコーダー機能を常時待機状態にして、起動から録画や再生までの動作時間を短縮します。（BD レコーダー機能を常時待機状態にするので消費電力がアップします。工場出荷時は「しない」に設定されています。）
- クイック起動設定を「しない (BD は有効)」「する（常に BD は有効)」「する（2 時間のみ有効)」に設定した場合は、待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「クイック起動設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「しない」「しない(BDは有効)」「する(常にBDは有効)」「する(2時間のみ有効)」のいずれかを選ぶ

で選び

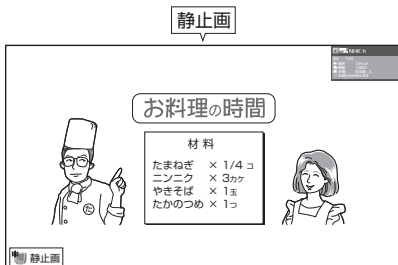
決定
を押す

画面を静止させる

- いま見ている放送や映像を静止できます。料理番組のメモをとったりするときに便利です。

1 静止 を押す

視聴中に映像を静止させる

- 視聴中の映像が静止画になります。

2 静止 を押す

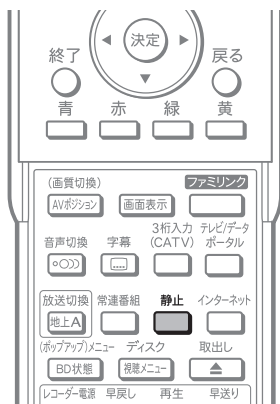
元に戻す

- 視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。
- 戻るボタンまたは終了ボタンを押しても元に戻せます。

次の場合は、静止画が解除されます。

- 選局や入力切換の操作をしたとき
- ホーム（メニュー）／ツール／機能選択／ファミリンクボタンなどを押したとき
- 映像を静止してから 30 分経過したとき

静止画表示中は次のことができません。

- 画面サイズの切り換え
- AV ポジションの切り換え
- 番組表、裏番組表、番組情報の表示
- 3D モードの切り換え

映像を消して音声だけを聞く（映像オフ）

- テレビの映像を消して、音声だけで楽しめます。

1

を押し

で選び 決定 を押す

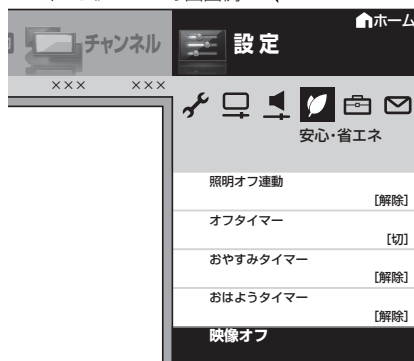
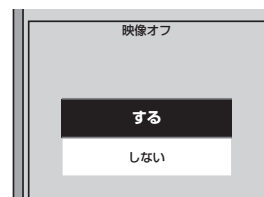
ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「映像オフ」を選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2

で選び

を押す

「する」または「しない」を選ぶ

項目	内容
する	• 映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	• 映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

◇おしらせ◇

- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

- 選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

番組名を表示する

- 選局したときに、番組名を表示するように設定することができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

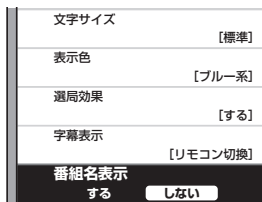
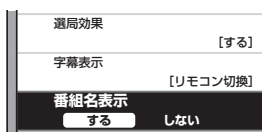
2 「番組名表示」を選ぶ

で選び
決定 を押す

文字サイズ ［標準］
表示色 ［ブルー系］
選局効果 ［する］
字幕表示 ［リモコン切換］
番組名表示 する しない

3 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

選局効果 ［する］
字幕表示 ［リモコン切換］
番組名表示 する しない

項目	内容
する	・選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が 2 分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	・番組名や放送時間は表示されません。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 2 画面で PinP 表示（⇒ **73** ページ）しているときは、子画面に次番組は表示されません。

チャンネルの切り換え時に動きの効果をつける

- チャンネルを切り換えたときに動きの効果がつくよう設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

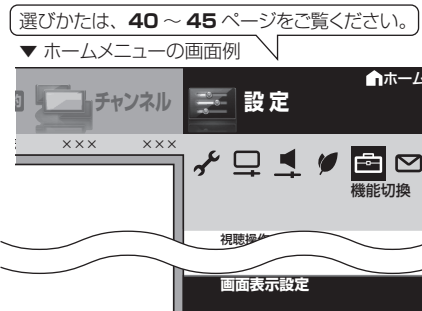
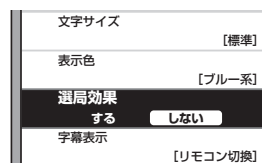
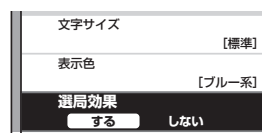
ホーム
チャンネル
設定
×××
×××
機能切換
視聴操作
画面表示設定

2 「選局効果」を選ぶ

で選び
決定 を押す

文字サイズ ［標準］
表示色 ［ブルー系］
選局効果 する しない
字幕表示 ［リモコン切換］

3 「する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

項目	内容
する	・選局効果を設定します。
しない	・選局効果を設定しません。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

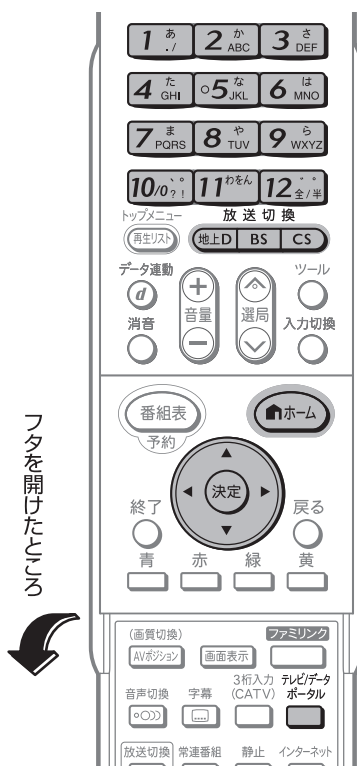
◇**おしらせ**◇

- 3D 映像視聴時は無効になります。

「する」に設定したときの画面の切り換わりかた

- 選局ボタンで選局したときは、画面の上または下から次のチャンネルに変わります。
- 放送切換ボタンで選局したときは、画面の左または右から次のチャンネルに変わります。
- チャンネルボタンや3桁入力（⇒ **48** ページ）などその他の手順で選局したときは、画面の外周または中央から次のチャンネルに切り換わります。

数字ボタンで選局できるチャンネルを確認・変更する（デジタル放送のみ）

• どの数字ボタン（チャンネルボタン）にどのチャンネルが登録されているかを確認できます。

登録チャンネルを確認する

1 **登録を確認したいデジタル放送に切り換える**

地上D BS CS のいずれかを押す

テレビ/データポータル を押す

• 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／BS デジタル放送／110 度 CS デジタル放送）やメディア（テレビ／データ）を選びます。

メディアを切り換える場合は、

• テレビ/データポータル を押して、メディア（テレビ／データ）を選びます。

2 **ホームメニューを表示して、「設定」–「（視聴準備）」–「テレビ放送設定」を選ぶ**

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

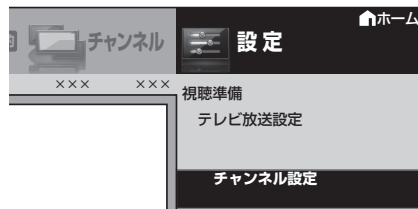
3 **「チャンネル設定」を選ぶ**

で選び

決定 を押す

ホーム
チャンネル
設定
×××
×××
視聴準備
テレビ放送設定
チャンネル設定

4 **「デジタル登録」を選ぶ**

で選び

決定 を押す

5 **「する」を選ぶ**

• チャンネルの一覧が表示されます。
• 終了する場合は、ホームボタンを押します。

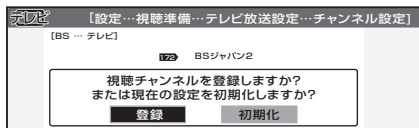
で選び

決定 を押す

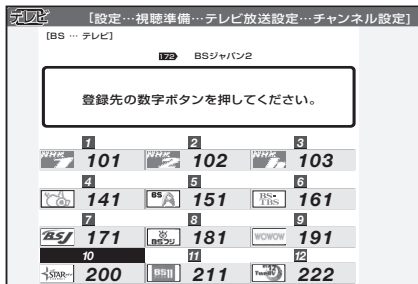
チャンネルを登録する

1 登録したいチャンネルを選局する

2 前ページの手順**2**～手順**5**を行う

3 「登録」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 登録したい数字ボタン(チャンネルボタン)を押す

1 ～ 12 を押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、ホームボタンを押します。(押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。)

◇おしらせ◇

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ）につき 12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **3** で「初期化」を選び、決定ボタンを押したあと左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
- 手順 **4** のデジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データ／ポータルボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のチャンネル一覧画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

選局ボタンの選局順を変更する（地上デジタル放送のみ）

工場出荷時は、3 桁のチャンネル番号順に選局されます。この順番を番組表 (⇒ **58** ページ) に表示されている順番に変更することもできます。

1 前ページ手順**1**で地上デジタル放送を選ぶ

2 前ページの手順**2**～手順**3**を行う

3 「地上デジタル」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「地上デジタル－選局順」を選ぶ

で選び

を押す

5 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び 決定 を押す

項目	内容
モード 1	• 放送局推奨の番組表並び順で選局できます。
モード 2	• チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます。

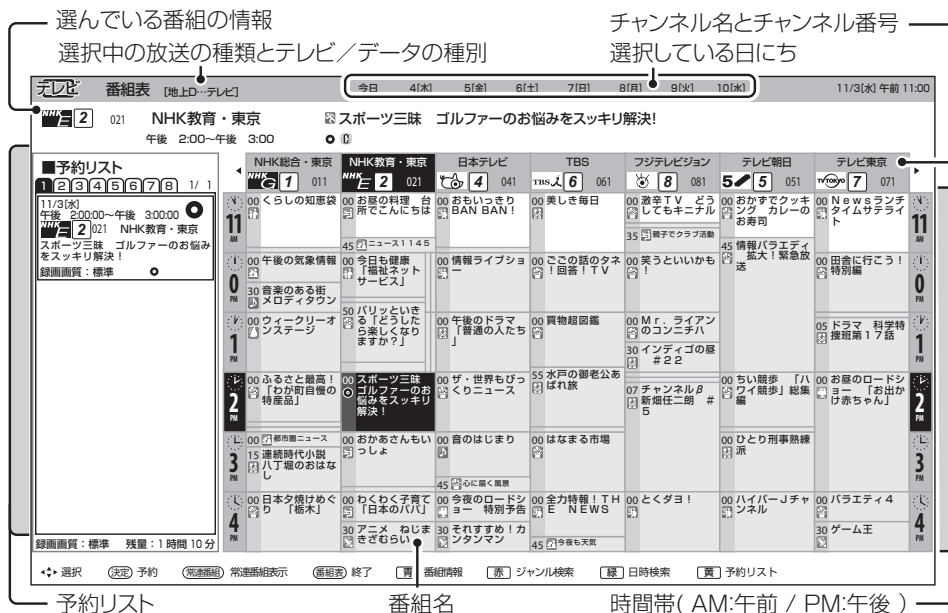
- 操作を終了する場合はホームボタンを押します。

番組表の使いかた

IPTV の番組表について

・⇒ **277** ページをご覧ください。

・テレビ画面にデジタル放送の番組表を表示して、その中から番組を選べます。（地上アナログ放送・外部ビデオ入力には番組表はありません。ホームメニューから選んでアナログ予約画面を呼び出せます。⇒ **129** ページ）

番組表の画面例

・予約リストとは、設定した録画予約や視聴予約の一覧です。

・予約リストは、1 ページ 4 番組・全 8 ページ (合計 32 番組）まで表示されます。

ジャンルを示すアイコン

番組情報を示すアイコン

表示される情報の期間

・テレビ放送……8 日分

・データ放送……最低 1 日分

・表示時間………3 時間または 6 時間（文字サイズの設定によって変わります。⇒ **75** ページ）

◇**おしらせ**◇

本書に記載の番組表の画面例について

・本書では、おもに地上デジタル放送の番組表の画面例で記載しています。

・本書に記載の番組表は、画面に情報を多く表示できるように設定したものを例にしています。「文字サイズ」(⇒ **75** ページ) を「標準」に、「表示方式」(⇒ **65** ページ) を「モード 1」に設定すると、画面に情報を多く表示できるようになります。

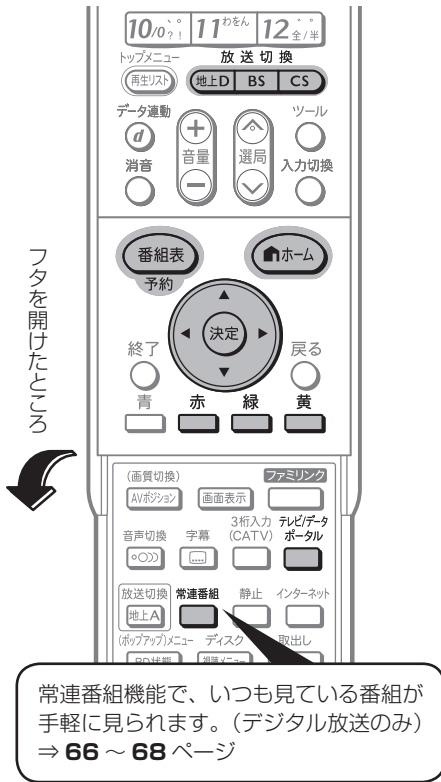
地上デジタル放送の番組表の取得について

・地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルから取得する必要があります。一度、各チャンネルを選局すれば番組表を取得できます。

・「番組表取得」の設定で、電源待機中に番組表を自動で取得することもできます。(⇒ **64** ページ)

番組表で番組を選ぶ

• 番組表を表示して、選局してみましょう。

常連番組機能で、いつも見ている番組が手軽に見られます。（デジタル放送のみ）
⇒ **66** ～ **68** ページ

◇**おしらせ**◇

番組表の表示中に次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。

• カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
• 放送切換ボタン（地上 D・BS・CS）で放送の種類を切り換えたとき
• 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
• 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
• 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき
• 常連番組の番組欄から通常の番組表に戻るとき

放送中の他の番組（裏番組）を調べることができます。

• 操作のしかたは、「ホームメニューから番組を選ぶ」（⇒ **47** ページ）をご覧ください。

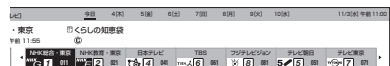
1 番組表を表示する

番組表 予約 を押す

• 放送切換ボタンやテレビ／データ／ポータルボタンで、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

モード 1 の画面例
（放送局名の表示は変更になることがあります。）

• 番組表の表示方式を切り換えることができます。（⇒ **65** ページ）

2 見たい番組を選ぶ

決定 で選ぶ

• 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

3 決定する

決定 を押す

• 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
• 放送予定の番組を選んだときは、録画予約が設定されます。（予約については⇒ **123**、**176**、**202** ページをご覧ください。）

• 番組表を閉じるときは、 を押して閉じます。
• 3D 映像視聴時に番組表から番組を選局した場合、3D モードは解除されます。

番組内容の紹介（番組情報）を見る

1 番組表を表示する

を押す

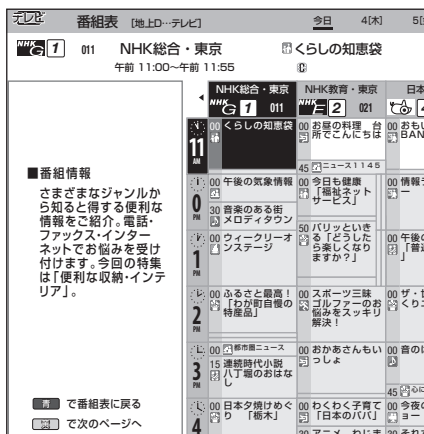
- 表示のしかた⇒ **59** ページ

2 内容を確認したい番組を選ぶ

で選ぶ

3 番組情報を見る

青

を押す

- 番組情報が表示されます。

- 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／データ／ポータルボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

視聴中の番組の情報を見るには

- （ホーム）を押してホームメニューを表示させると、画面下部に視聴中の番組情報が表示されます。

日時で番組を探す

1 番組表を表示する

を押す

- 表示のしかた⇒ **59** ページ

2 日時検索の画面を表示する

緑

を押す

3 時間帯を選ぶ

で選び

を押す

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

4 見たい番組を選ぶ

で選び

を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、録画予約が設定されます。（予約については⇒ **123**、**176**、**202** ページをご覧ください。）

ジャンルから番組を探す

1 番組表を表示する

番組表 予約 を押す

- 表示のしかた⇒ **59** ページ

2 ジャンル検索の画面を表示する

赤 を押す

ジャンル検索の画面例

選択している日にち

ジャンル　番組

3 見たいジャンルと日にちを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 上下カーソルボタンでジャンルを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。
- 「おすすめ」を選ぶと、過去の視聴履歴をもとにあなたへのおすすめ番組を検索します。

4 決定する

を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

5 番組を選ぶ

で選び

を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、録画予約が設定されます。
- 番組表 予約 で検索を終了します。

ジャンル検索と番組詳細検索の切り換えについて

- ジャンル検索画面でカラーボタン（赤）を押すと、番組詳細検索画面に切り換わります。ジャンル検索画面に戻るときは、戻るボタンを押してください。

検索条件を指定して番組を探す（特徴検索）

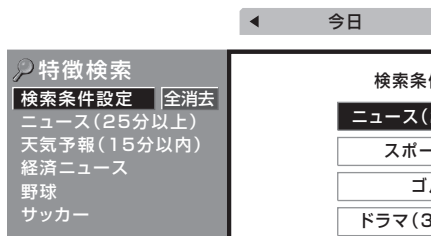
- 検索条件を選択し、その条件に当てはまる番組を検索できます。
- 特徴検索を初めてお使いになるときは、まず検索条件設定をする必要があります。
- 検索条件設定で検索条件を変えられます。

検索条件を設定する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 予約 を押し 赤 を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 「検索条件設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 検索条件を選ぶ

で選び
を押す

- ５つまで選べます。5つを超えた場合、古いものから削除されます。

検索条件を選んで変更するときは

- 手順 **2** で変更したい検索条件を選び、赤 を押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

検索条件を選んで消去するときは

- 手順 **2** で消去したい検索条件を選び、赤 を押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

検索条件をすべて消去するときは

- 手順 **2** で「全消去」を選び､決定します。次に、「する」を選んで決定します。

検索条件を指定して検索する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表 予約 を押し 赤 を２回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 検索条件と日にちを選ぶ

で選ぶ

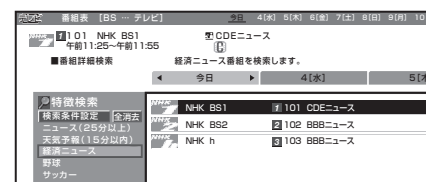
- 上下カーソルボタンで検索条件を、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

3 決定する

決定 を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

で選び
を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、録画予約が設定されます。
- 番組表 予約 で検索を終了します。

キーワードで番組を探す（キーワード検索）

- キーワードを入力し、キーワードを含む番組を検索できます。
- キーワード検索を初めてお使いになるときは、まずキーワード設定をする必要があります。
- キーワード設定でキーワードを変えられます。

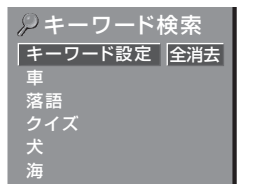
キーワードを設定する

1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表（予約）を押し 赤 を2回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 「キーワード設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 キーワードを入力する

- ソフトウェアキーボード(⇒ **104** ページ）を使って、キーワードを入力します。
- 全角20文字まで入力できます。（半角文字は入力できません。）
- 5つまで追加できます。5つを超えた場合、古いものから削除されます。

キーワードを選んで変更するときは

- 手順 **2** で変更したいキーワードを選び、赤 を押します。次に、「変更する」を選んで決定します。

キーワードを選んで消去するときは

- 手順 **2** で消去したいキーワードを選び、赤 を押します。次に、「消去する」を選んで決定します。

キーワードをすべて消去するときは

- 手順 **2** で「全消去」を選び､決定します。次に、「する」を選んで決定します。

キーワードを指定して検索する

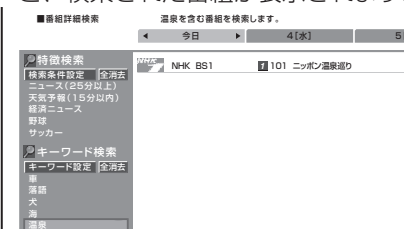
1 番組表を表示して、番組詳細検索の画面を表示する

番組表（予約）を押し 赤 を2回押す

- ジャンル検索→番組詳細検索に、画面が切り換わります。

2 キーワードと日にちを選ぶ

で選ぶ

- 上下カーソルボタンでキーワードを、左右カーソルボタンで日にちを選ぶと、検索された番組が表示されます。

3 決定する

決定 を押す

- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

4 番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 番組の情報が表示されます。
- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、録画予約が設定されます。
- 番組表（予約）で検索を終了します。

キーワード検索で、ひらがなとカタカナの区別をしたくないときは

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「検索設定」－「しない」を選びます。

地上デジタル放送の番組表をスムーズに表示させる

• 地上デジタル放送の番組表を、電源待機中に自動取得できます。自動取得しておくと、番組表の表示がスムーズになります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(機能切換)」–「番組表設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「番組表取得」を選ぶ

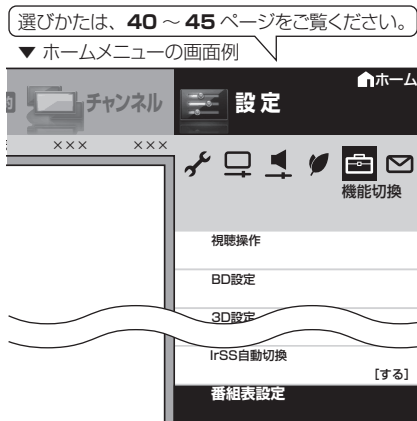
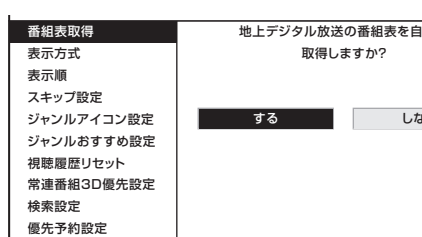
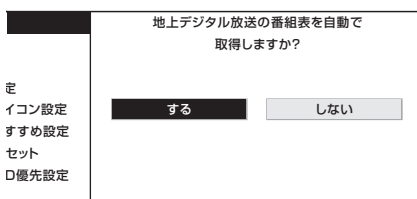
で選び
を押す

番組表取得
表示方式
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
視聴履歴リセット
常連番組3D優先設定
検索設定
優先予約設定

地上デジタル放送の番組表を自
取得しますか?
する　しな

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

地上デジタル放送の番組表を自動で
取得しますか?
する　しない

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

番組表取得を「する」に設定した場合は

• リモコンで電源を切っても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
• 「電源スイッチ設定」(⇒ **52** ページ)を「モード2」に設定している場合で、本体の電源スイッチで電源を切った場合は、自動取得できません。

番組表のジャンルアイコンの色を変える

• 番組表のジャンルを示すアイコン(⇒ **58** ページ)の色をお好みにより選択できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(機能切換)」–「番組表設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

で選び
を押す

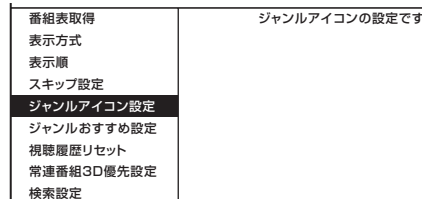
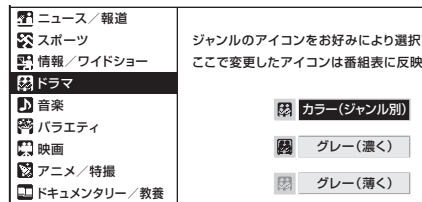
番組表取得
表示方式
表示順
スキップ設定
ジャンルアイコン設定
ジャンルおすすめ設定
視聴履歴リセット
常連番組3D優先設定
検索設定

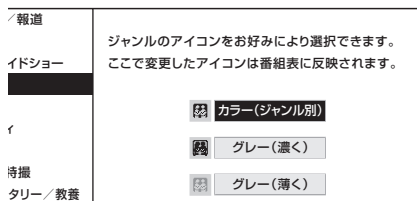
ジャンルアイコンの設定です

3 ジャンル名を選ぶ

で選び
を押す

ニュース/報道
スポーツ
情報/ワイドショー
ドラマ
音楽
バラエティ
映画
アニメ/特撮
ドキュメンタリー/教養

ジャンルのアイコンをお好みにより選択
ここで変更したアイコンは番組表に反映

4 「カラー(ジャンル別)」「グレー(濃く)」「グレー(薄く)」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組表の並べかたや表示範囲を変える（表示方式）

- 番組表に一度に表示できる範囲の設定ができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「(機能切換)」–「番組表設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

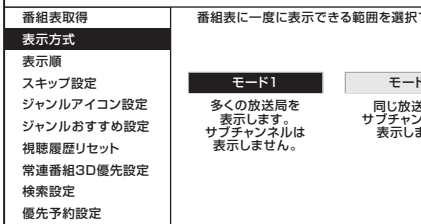
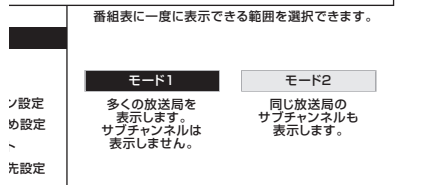
2 「表示方式」を選ぶ

で選び
を押す

3 「モード1」または「モード2」を選ぶ

で選び
決定
を押す

番組表に一度に表示できる範囲を選択できます。

モード1
多くの放送局を表示します。サブチャンネルは表示しません。

モード2
同じ放送局のサブチャンネルも表示します。

項目	内容
モード 1	• 多くのチャンネル※を同時表示します。
モード 2	• 同じ放送局のサブチャンネルも表示します。

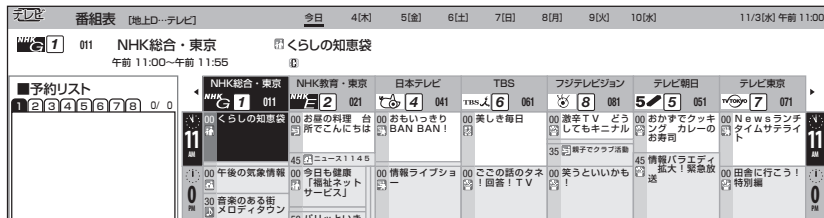
※文字サイズの設定が「標準」のときは、7 チャンネル分を表示します。文字サイズの設定が「大きな文字」のときは、5 チャンネル分を表示します。

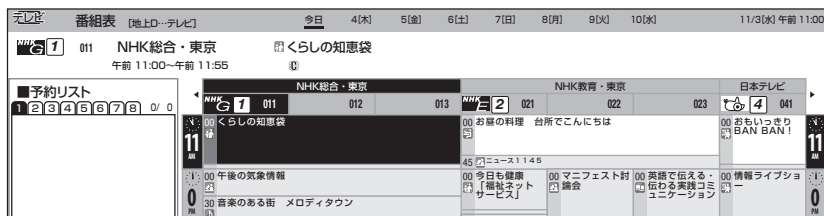
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

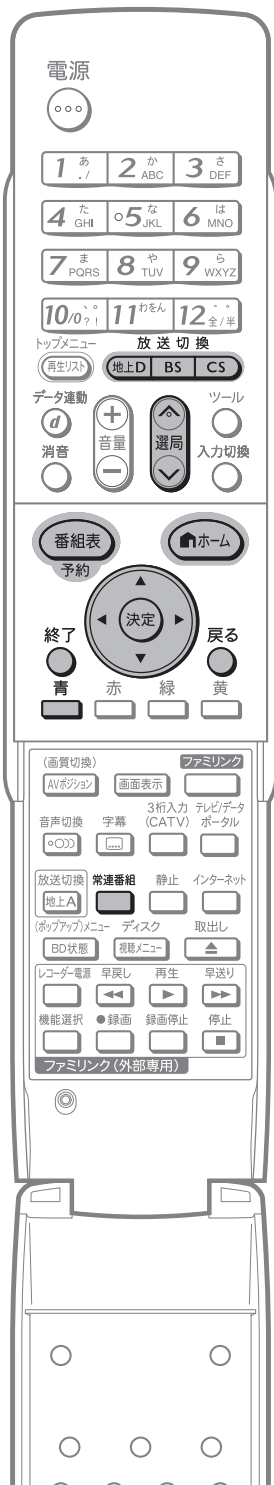
◇おしらせ◇

- 文字サイズ（⇒ **75** ページ）を「大きな文字」にしている場合は、「モード 2」を選択できません。
- 手順 **2** で「表示順」を選ぶと、番組表に表示されるチャンネルの順番を設定できます。
  モード 1：放送局推奨の並び順になります。
  モード 2：チャンネル番号順になります。

番組表「モード 1」の画面例

- 多くのチャンネルを表示できます。

番組表「モード 2」の画面例

- サブチャンネルを表示できます。

常連番組機能で番組を見る（デジタル放送のみ）

• 常連番組機能は、いつも見ている番組（デジタル放送の番組）が手軽に見られる便利な機能です。本機を使い込むうちに、その曜日時刻にいつも見ている番組をすぐに選局できるようになります。

◆ 重 要 ◆

• 常連番組機能は、デジタル放送に対応する機能です。
• 本機をご購入いただいて初めてお使いになる場合など視聴履歴がないときは、常連番組機能が正しく動作しません。

◇**おしらせ**◇

• 曜日と時間帯ごとによく見ていた番組（ジャンル）が常連番組の候補になります。
• 常連番組は、その時間帯に放送されている番組の中から選ばれます。

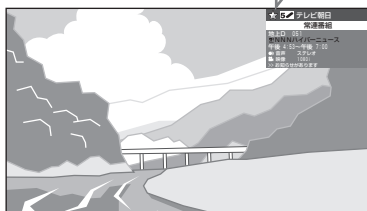
常連番組ボタンで常連番組を選局する

- リモコンの常連番組ボタンを押して、常連番組を選局できます。

1 常連番組を選局する

地上D BS CS のいずれかを押し 常連番組 を押す

- その時刻の常連番組（デジタル放送）が視聴できます。

常連番組視聴中にチャンネルサインを表示すると、**常連番組アイコン**が表示されます。

◇**おしらせ**◇

- 常連番組の視聴中に番組表を表示すると、常連番組の番組欄を含んだ番組表が表示されます。
- 常連番組の視聴中に常連番組ボタン以外の選局操作をすると、通常の視聴に戻ります。

常連番組の番組情報を見たいときは

- 常連番組の視聴中に ホーム を押してホームメニューを表示させると、画面下部に視聴中の番組情報が表示されます。

3D の番組を優先的に常連番組に加えたいときは

- 「3D」のキーワードを持つ番組を優先的に常連番組にすることができます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「常連番組3D 優先設定」－「する」を選びます。

本機の電源を入れると常連番組が自動で選局されるように設定する

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「起動チャンネル設定」で設定します。

項目	内容
通常	• 電源を切ったときのチャンネルを表示します。
常連番組	• 常連番組を表示します。

◇**おしらせ**◇

- 起動チャンネル設定を「常連番組」に設定している場合は、本機の電源を入れると、前回電源を切る直前に見ていたチャンネルが映り、その後に常連番組に切り換わります。
- 常連番組に切り換わる前に選局ボタンまたは終了ボタンを押すと、常連番組への切り換えは解除されます。
- 常連番組視聴中に BD レコーダー機能／ USB ハードディスクでの録画やファミリンク録画をすると、常連番組への切り換えは解除され、録画を開始します。
- 起動チャンネル設定を「常連番組」に設定していても、おはようタイマー、視聴予約、録画予約時は、常連番組に切り換わりません。
- 予約の準備中や実行中（⇒ **123**、**127**、**176**、**202**ページ）は、「起動チャンネル設定」の設定内容どおりに動作しない場合があります。
- 電源プラグを抜いたときには、視聴履歴の情報が記録されないことがあります。
- より正しく動作させるためには、番組表取得（⇒ **64** ページ）を「する」に設定して、リモコンで電源を切ることをおすすめします。

常連番組の視聴履歴を消したいときは

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「番組表設定」－「視聴履歴リセット」－「する」を選びます。

番組表で常連番組を選局する

• デジタル放送の番組表から、常連番組を選べます。

1 デジタル放送を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

• 常連番組機能は、デジタル放送のテレビ放送にだけ対応する機能です。

2 通常の番組表を表示する

番組表 予約 を押す

3 常連番組の番組欄を表示する

常連番組 を押す

• 番組表の中に、一つのチャンネルのように常連番組が表示されます。

濃い灰色表示は、常連番組としての優先順位が低い番組のため、その放送時間内でも優先順位の高い番組が始まると切り換わります。

4 常連番組の番組欄から、常連番組を選ぶ

で選び

を押す

• 放送中の番組を選ぶと、視聴できます。
• 放送予定の番組を選ぶと、録画予約が設定されます。（予約については ⇒ **123**、**176**、**202**ページをご覧ください。）
• 通常の番組表に戻りたいときは、常連番組ボタン／青ボタン／戻るボタンのいずれかを押して戻ります。
• 番組表ボタンまたは終了ボタンを押すと、通常の視聴に戻ります。

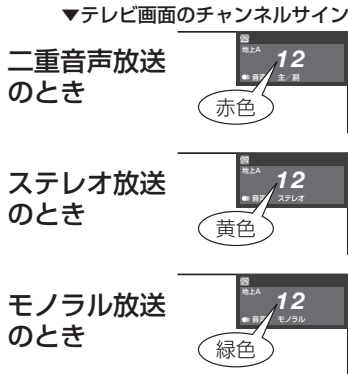
音声・映像・字幕を切り換える

地上アナログ放送で二重音声放送（二ヶ国語、主音声＋副音声、ステレオ）の音声を切り換える

・二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

◇おしらせ◇

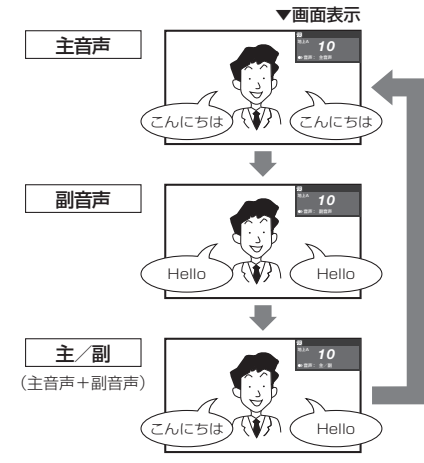
音声の見分けかた

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

二重音声放送の音声を切り換える

・ニュースや洋画などの二ヶ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

音声切換 を押す

お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

※ BD レコーダー機能を使って二重音声放送を録画する際は、視聴している状態の音声で記録されますので、二重音声で録画したい場合には、主／副に設定してください。

音声をモノラルで聞きたいときは

・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

・音声切換ボタンを押すと「モノラル」になります。ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

◇おしらせ◇

・雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

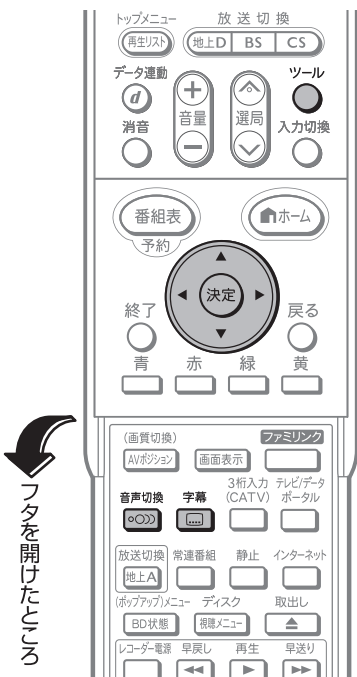
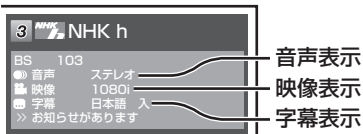
デジタル放送で映像・字幕・音声を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

を押し

で選び

を押す

映像を切り換える

- リモコンのツールボタンを押し「映像切換」を選びます。
- 映像切換を選んで決定ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、チャンネルサインに映像表示が出ます。
  ※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

音声１ ←→ 音声２～８※

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

→ 主 → 副 → 主／副 →

◇おしらせ◇

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

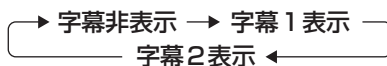
字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

字幕 を押す

字幕を表示する（切り換える）

「字幕表示」を「リモコン切換」に設定している場合

- リモコンふた内の字幕ボタンを押すたび次のように切り換わります。（字幕表示の入／切ができます。）

字幕が２種類あるとき

→ 字幕非表示 → 字幕１表示 → 字幕２表示 →

字幕が１種類のとき

字幕非表示 ←→ 字幕表示

「字幕表示」を「常時表示」「字幕下」「字幕上」「字幕下（自動切換）」「字幕上（自動切換）」のいずれかに設定している場合

- リモコンふた内の字幕ボタンを押すたび次のように切り換わります。（字幕表示の入／切はできません。）

字幕が２種類あるとき

字幕１表示 ←→ 字幕２表示

字幕が１種類のとき

字幕表示のまま、変化なし

字幕表示の設定について

- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「字幕表示」で、字幕の表示のしかたを設定します。
- 「リモコン切換」以外のいずれかに設定した場合は、リモコンふた内の字幕ボタンを押しても字幕表示の入／切を切り換えることができません。
- 「字幕下（自動切換）」または「字幕上（自動切換）」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。
- 録画した字幕放送番組を再生すると、「字幕表示」の設定に関係なく、常に字幕オンスクリーン表示となります。

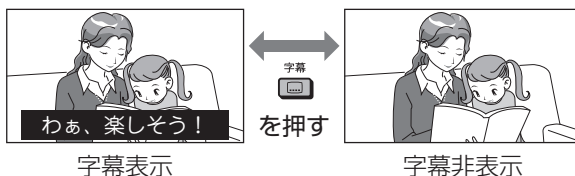
リモコン切換

字幕オンスクリーン

- 字幕放送では、リモコンふた内の字幕ボタンを押して、字幕表示の入／切を切り換えることができます。
- 字幕は映像に重なって表示されます。

字幕表示

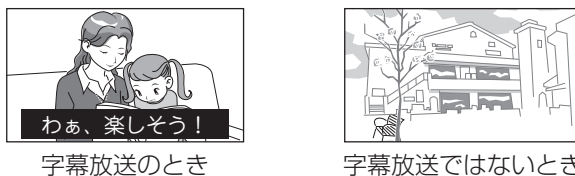
を押す

字幕非表示

常時表示

字幕オンスクリーン

- 字幕放送では、常に字幕が表示されます。
- 字幕は映像に重なって表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕下

字幕アウトスクリーン

- 映像が縮小されます。
- 字幕は映像の下側に表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕上

字幕アウトスクリーン

- 映像が縮小されます。
- 字幕は映像の上側に表示されます。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

字幕下（自動切換）

字幕アウトスクリーン

- 字幕放送では、自動的に「字幕下」と同じ表示になります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

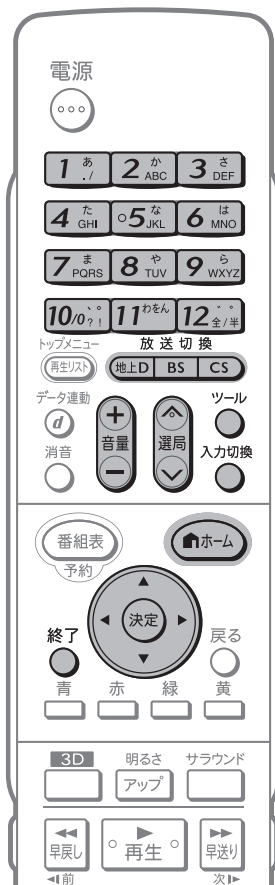
字幕上（自動切換）

字幕アウトスクリーン

- 字幕放送では、自動的に「字幕上」と同じ表示になります。

字幕放送のとき

字幕放送ではないとき

2つの画面を表示して見る

2 画面で見る

• 本機は 2 つの異なる映像を同時に表示できます。

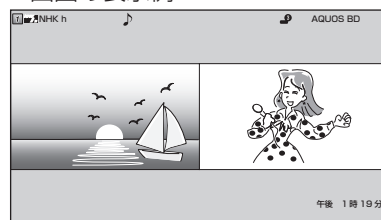
1 リモコンのツールボタンを押し､｢2画面｣を選ぶ

ツール
を押し
で選び
決定
を押す

2 表示のしかたを選ぶ

で選び
決定
を押す

• 2 画面表示になります。
•「サイズ切換」、「左右入換」は、2 画面表示のときに選べます。

2画面の表示例

• 2 画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整、サイズ変更ができます。
• 2 画面でヘッドホンを使用するときの音の出しかたを選べます。(⇒ **98** ページ)

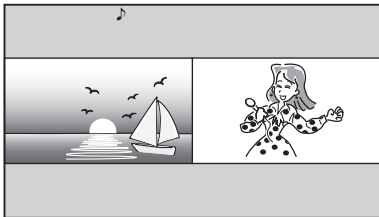
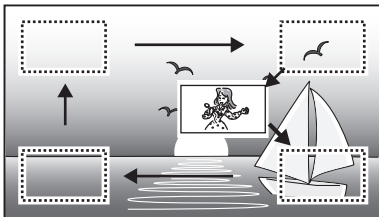
◇**おしらせ**◇

• 2 画面表示しているとき、次の操作はできません。
  • ホームメニューの表示
  • 番組表の表示
  • 画面サイズの切り換え
  • AV ポジションの切り換え
  • 画面の静止
  • 3D 映像への切り換え
• 3D 映像の視聴中は、2 画面にできません。
• 2 画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがあります。また、2 画面表示中に録画を行うと画面の映像が粗くなることがあります。
• ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を 2 画面にしたときは 16：9 表示になります。
• 2 画面表示中にアナログ放送の録画予約または視聴予約が開始されたときは、1 画面に戻ります。

2 画面表示の種類

❶ 1画面

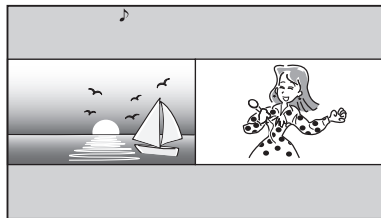
❷ 2画面

❸ PinP

- ❷のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- ❸ PinP のときは、上下左右のカーソルで子画面の位置を移動できます。
  また、決定ボタンで、子画面が一番近い 4 隅に移動します。子画面が 4 隅にある状態で決定ボタンを押すと、子画面が画面の 4 隅を移動します。
- ❸のときは、「左右入換」を選ぶと大きく表示されている画面と小画面が入れ換わります。

◇**おしらせ**◇

- 「左右入換」をしても、「♪」マークの付いた操作画面（⇒ **74** ページ）は変わりません。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小 2 画面、PinP 表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像 1 ／音声 1 に戻ります。（本体のスピーカーからは「♪」マークのついている側の音声が再生されます。）
- PinP のとき、子画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。
- 決定ボタンによる子画面の移動は、場合によっては、四隅のみの移動になります。

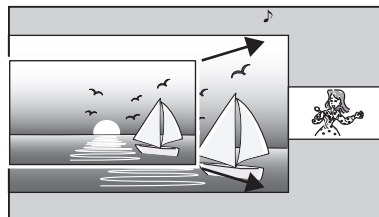
画面のサイズを変える

1 前ページの手順1～手順2の操作を行い、2画面またはPinP表示にする

2 前ページの手順1～手順2の操作を行い、2画面メニュー中の「サイズ切換」を選択する

3 画面のサイズを変える

を押す

2 画面にしている場合

- 右カーソルボタンで、左側画面のサイズを大きくできます。戻すときは左カーソルを使います。

を押す

PinP にしている場合

- 左右カーソルボタンで画面のサイズが変化します。

決定 を押す

終了 を押す

- 操作を終了する場合は、決定ボタンを押します。
- 1 画面に戻すには、終了ボタンを押します。

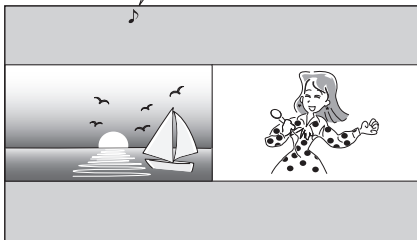
2 画面のうち操作する画面を選ぶ

• 2 画面表示中に、次の操作をします。

1 リモコンのツールボタンを押し、「操作切換」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

• 操作切換をするたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

2 画面の表示例

2 「♪」マークのある操作画面の音量を調整するには

• 音量ボタンを押して音量を調整します。

選局するには

• 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
• 操作画面の番組は、数字ボタン（チャンネルボタン）または選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できます。
• 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

3 1画面に戻す

終了

• 「♪」マークのある画面が 1 画面表示されます。
• 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

2 画面表示ができる組み合わせ

• 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

左画面（大画面）＼右画面（小画面）	地上デジタル	BS/CS	外部入力	BD 再生※2	USB-HDD 再生
地上デジタル	×	×	○※1	○※1	×
BS／CS	×	×	○※1	○※1	×
外部入力	○※1	○※1	×	×	○
BD再生※2	○※1	○※1	×	×	○
USB-HDD再生	×	×	○	○	×

※ 1　PinPのときのみデータ放送は表示できません。
※ 2　BD または DVD の再生時の組み合わせです。CD 再生時も 2 画面にできますが、CD の再生画面は表示されません。

• インターネット（HTML ブラウザで見られるサイト）との 2 画面は、⇒**259**ページの手順**2**で「テレビ＋インターネット」を選びます。
• ホームネットワーク、IrSS™、USB との 2 画面はできません。
• 3Dモードのときは2画面への切り換えはできません。
• 2画面表示中に、3Dモードへの切り換えはできません。
• 2画面表示中に、3D入力信号は表示できません。
• 地上アナログ放送との2画面はできません。

◇**おしらせ**◇

• PinPのときは一部のボタンは操作できません。
• テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2 画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
• 2 画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面や PinP 子画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作(⇒**73**ページ)により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

ホームメニューや番組表の設定を変える

ホームメニューや番組表などの文字を大きくする

・ホームメニューや番組表などに表示される文字を大きくすることができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「🧰(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

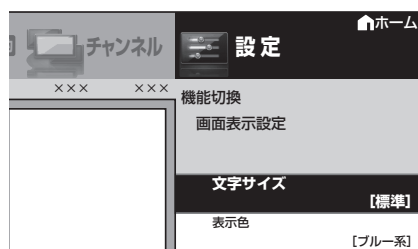
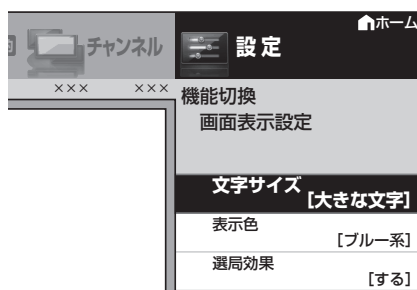
選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「文字サイズ」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「大きな文字」を選ぶ

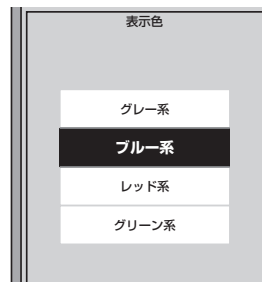
で選び
を押す

・ホームメニュー画面などの文字が大きな文字で表示されます。
・元へ戻したい場合は、「標準」を選びます。
・操作を終了する場合はホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

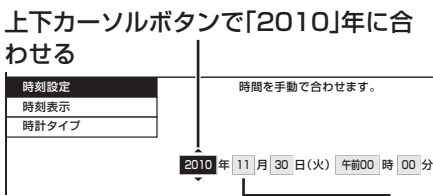
・「大きな文字」に設定すると、番組表の表示方式や表示されるチャンネル数が変わります。(⇒ **65** ページ)
表示方式が「モード 1」の場合、番組表に表示されるチャンネルが 5 チャンネル分になります。
表示方式が「モード 2」の場合、「モード 1」に変わります。

番組表やホームメニューなどの配色を変える（表示色）

・番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）、番組情報、ホームメニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を、「グレー系」「ブルー系」「レッド系」「グリーン系」の 4 種類から選べます。

・ホームメニューから「設定」－「🧰（機能切換）」－「画面表示設定」－「表示色」で設定します。

おはようタイマー・おやすみタイマーで電源を入／切する

時計を合わせる

- 画面に現在時刻を表示したり、おはようタイマー・おやすみタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。
- デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、「時刻設定」で合わせてください。

自動時刻設定機能について

- デジタル放送を受信している場合やインターネットに接続している場合は、自動的に時刻が設定されます。
- デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、「時刻が設定されていません。」と表示されます。この場合は、右記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

（例）2010 年 11 月 30 日　午前10時30分に合わせる

1 上下カーソルボタンで「2010」年に合わせる

2 右カーソルボタンを押す

3 上下カーソルボタンで「11」月に合わせる

4 右カーソルボタンを押す

5 同じようにして「日」「時」「分」を合わせる

6 決定ボタンを押す

◇**おしらせ**◇
- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日までです。
- 画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をやり直してください。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

• 指定した時刻に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「おやすみタイマー」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

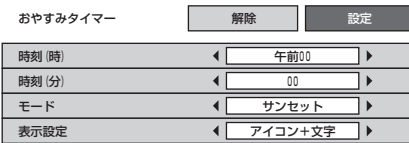
▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
安心･省エネ
照明オフ連動 ［解除］
オフタイマー ［切］
おやすみタイマー ［解除］

2 「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定に従い自動で電源を切ります。

おやすみタイマー	解除	設定
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
モード	サンセット	
表示設定	アイコン+文字	

サンセット：徐々に暗く、音量を小さくし、設定した時間に電源を切ります。

• 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

3 それぞれの項目を設定する

で選ぶ

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

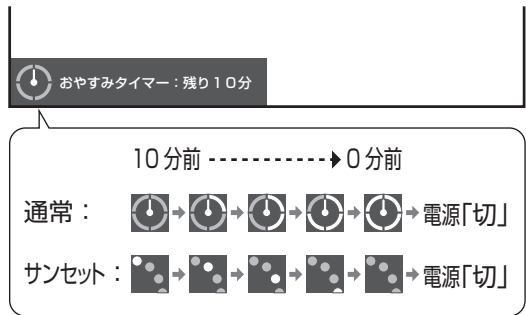
• それぞれの項目については、「おやすみタイマーの設定項目」（⇒**前ページ下**）をご覧ください。

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

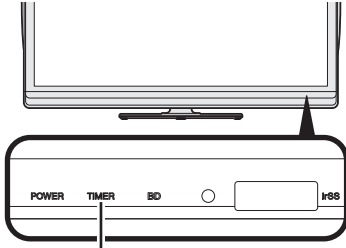
おやすみタイマー：残り10分

10分前 - - - - - - - - - - ▶ 0分前
通常：→→→→電源「切」
サンセット：→→→→電源「切」

• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとに残り時間が表示されます。

◇**おしらせ**◇

• 無操作オフや無信号オフ（⇒ **100** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
• おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
• テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

目覚ましとして使うなど タイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のTIMER（タイマー）ランプが赤色に点灯します。

TIMER（タイマー）ランプ

- 「タイマー1」～「タイマー4」まで、異なる設定のタイマーをセットできます。

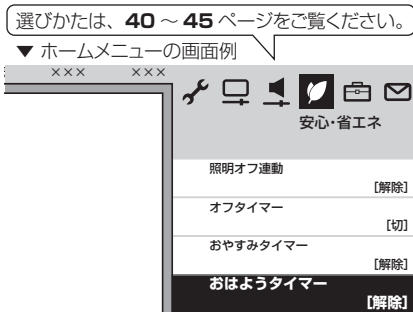
お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 本体の電源スイッチで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。
- 電源スイッチ設定を「モード1」にしている場合は、本体の電源スイッチで電源を切ってもおはようタイマーは動作します。(⇒**52**ページ)

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(安心・省エネ)」−「おはようタイマー」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 「タイマー1」～「タイマー4」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

設定した時間に電源を入れます。

		曜日	時刻	入力	CH	音量	モー
タイマー1	解除	毎日	午前 0時00分	地上D	1	30	サンラ
タイマー2	解除	毎日	午前 0時00分	地上D	1	30	通
タイマー3	解除	毎日	午前 0時00分	地上D	1	30	通
タイマー4	解除	毎日	午前 0時00分	地上D	1	30	通

3 「おはようタイマー」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

設定した時間に電源を入れます。

［タイマー1］

おはようタイマー	解除	設定
曜日	毎日	
時刻（時）	午前00	
時刻（分）	00	
入力	地上D	
CH	1 NHK 総合・東京	
音量	30	
モード	サンライズ	
表示設定	アイコン+文字	

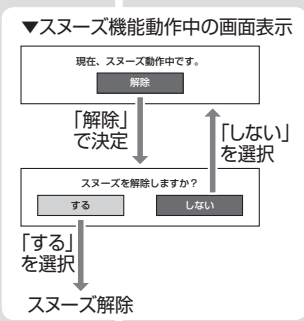
- 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。

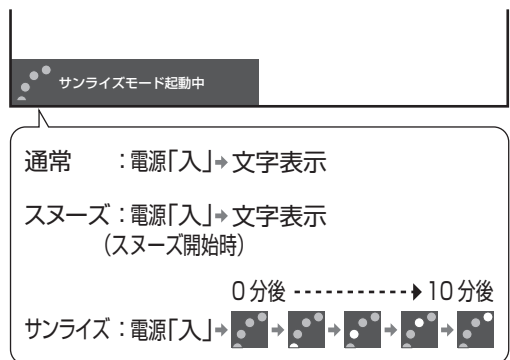
4 それぞれの項目を設定する

で選ぶ

- それぞれの項目については、「おはようタイマーの設定項目」（⇒**次ページ**）をご覧ください。

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼おはようタイマー「サンライズ」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

- サンライズの場合、表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。表示設定が「文字のみ」の場合は、1分ごとにメッセージが表示されます。
- 「通常」または「スヌーズ」に設定した場合の表示設定は、「文字のみ」となります。

おはようタイマーの設定項目

項目	内容
おはようタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。
曜日	• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。
時刻（時）	• タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
時刻（分）	• タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
入力	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、放送の種類（地上Ｄ、ＢＳ、ＣＳ、地上Ａ）、入力、またはディスク（内蔵の BD レコーダー機能) を選びます。 • 入力６は、「入力／音声出力設定」が「入力」に設定されているときのみ選べます。
CH	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、数字ボタン（チャンネルボタン）に割り振られた番号を選びます。
音量	• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。
モード	**通常** • 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。 **サンライズ** • 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。 **スヌーズ** • いったん電源を切っても、５分後に再度電源が入るようにします。 • 音量を下げた場合でも、５分後に元の音量に戻します。 • チャンネルや入力を切り換えても、５分後に元のチャンネルに戻します。 • 「解除」—「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 • 「解除」—「する」を選択しないかぎり、７回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。 • スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 • 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 • 本体の電源スイッチで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。
表示設定	**アイコン＋文字** • 画面にアイコンとメッセージを表示します。 **文字のみ** • 画面にメッセージを表示します。

◇おしらせ◇

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから２時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる５分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- 「タイマー 1」～「タイマー 4」のうち、同じ時刻が設定されている場合は、「曜日」が「1 回だけ」のタイマーが優先されます。次にタイマー番号の小さいものが優先されます。
- 「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

おはようタイマーで内蔵 BD を使用する場合には

- 「入力」をディスク（内蔵のBDレコーダー機能）に設定している場合には、あらかじめ本機に再生するディスクをセットしてください。本機にディスクが入っていないときは、ディスク（内蔵の BD レコーダー機能) 以外で最後に視聴したチャンネルまたは外部入力の画面で電源が入ります。

おはようタイマーのモードが「サンライズ」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作をしますと、操作時点での明るさと音量になります。
- 10 分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用状態に戻ります。

画面のサイズや映像を調整する

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは

- 放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。このような黒帯を消したいときは、「画面サイズ」の変更をしてください。映像の左右幅や上下幅を変えることで、黒帯を消すことができます。
- 映像の種類（⇒ **422** ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

画面サイズ切換の設定項目

項目	内容
ノーマル	• 通常のテレビ（4：3 サイズ）の映像をそのまま映します。
シネマ	• シネスコまたは 16：9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	• 16：9 から 4：3 に圧縮された映像を元の 16：9 に戻して画面いっぱいに映します。
スマートズーム	• 通常 4：3 映像をより自然に拡大して映します。
ワイド 4：3	• 通常 4：3 映像を画面いっぱいに映します。 • 16：9 映像の場合はこのように映ります。
ワイド 16：9	• 通常 4：3 映像の中央部を左右に拡大して映します。 • 通常 16：9 映像の中央部（4：3）を画面いっぱいに映します。入力信号が 16：9 で左右に黒帯の付いている映像を画面いっぱいに映したいときに便利です。
Dot by Dot アンダースキャン 16：9　16：9	• 入力信号どおりの映像で映します。

◆ 重　要 ◆

- 元の映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、画面位置（⇒ **81** ページ）で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 画面サイズを切り換えるときに画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 3D 入力映像視聴中に画面サイズの切り換えはできません。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「画面サイズ」を選ぶ

で選び
を押す

3 お好みの画面サイズを選ぶ

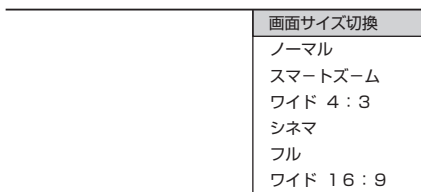
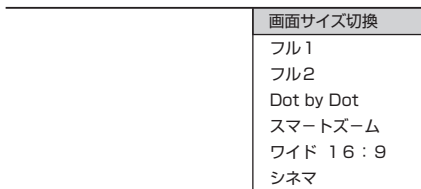
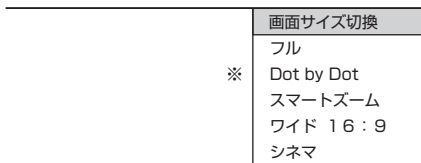
で選び
を押す

480i ／ 480p 映像の場合（地上アナログ放送、ビデオ映像など）

画面サイズ切換
- ノーマル
- スマートズーム
- ワイド 4：3
- シネマ
- フル
- ワイド 16：9

1080i 映像の場合（ハイビジョン）

画面サイズ切換
- フル1
- フル2
- Dot by Dot
- スマートズーム
- ワイド 16：9
- シネマ

1080p ／ 720p 映像の場合(ハイビジョン)

画面サイズ切換
- フル
- ※ Dot by Dot
- スマートズーム
- ワイド 16：9
- シネマ

※720p映像(ハイビジョン)の場合は、画面サイズ切換のDot by Dotはアンダースキャンに変わります。

◇**おしらせ**◇

- 「字幕表示」（⇒ **71** ページ）を字幕アウトスクリーンにした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「字幕表示」を字幕アウトスクリーン以外にする必要があります。
- 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

画面の位置がずれているときは（画面位置）

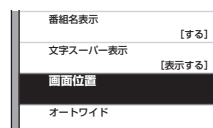
項目	内容
水平位置	• 画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	• 画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	• 工場出荷時の状態に戻します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「画面表示設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

2 「画面位置」を選ぶ

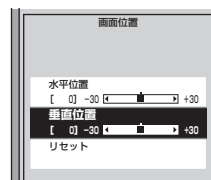
で選び
を押す

番組名表示 ［する］
文字スーパー表示 ［表示する］
画面位置
オートワイド

3 「水平位置」または「垂直位置」を選び、適切な位置に調整する

で選ぶ

- 調整をやり直す場合は、戻るボタンを押します。

4 画面の位置を確定する

を押す

◇**おしらせ**◇

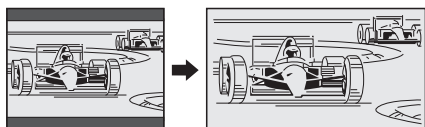
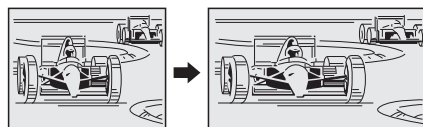
- 3D 入力映像視聴中に画面位置の調整はできません。
- インターネット閲覧時は設定できません。

映像を最適な大きさに自動で切り換える

- オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。（オートワイド機能）
- デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	• 受信している地上アナログ放送や入力１～６から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（⇒ **80** ページ）にします。
S2 対応 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	• 入力６の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	• 入力４・５の D 映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D- コンポーネント変換ケーブルのときは D 端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
HDMI 識別	• 入力１～３から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合(映像判別を除く)

1 放送や入力を切り換える

地上A や 入力切換 を押す

映像判別を設定するとき
- 地上アナログ放送を選局するか、入力１～６に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき
- HDMI ケーブルをつないだ入力１～３に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき
- D 端子ケーブルをつないだ入力４・５に切り換えます。

S2 対応を設定するとき
- S 端子ケーブルをつないだ入力６に切り換えます。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「オートワイド」を選ぶ

で選び
を押す

4 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定
を押す

する　：画面サイズを自動で最適化します。

しない：画面サイズの最適化機能は働きません。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

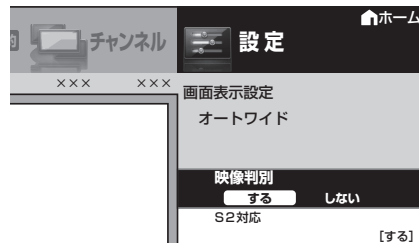
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 「映像判別」は、D端子から入力された映像が480p、1080i、720p、1080pの場合は働きません。また、HDMI端子から入力された映像が、1080i、720p、1080pの場合も働きません。
- S2対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

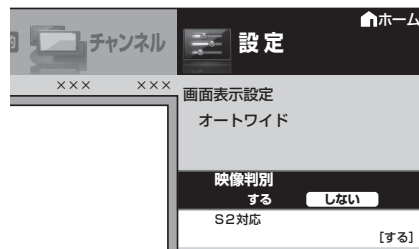
画面の大きさが頻繁に切り換るときは

- 地上アナログ放送を見ているときやビデオなどの外部機器を再生しているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。（最適な画面サイズを探すために起こる現象です。故障ではありません。）気になる場合は、「オートワイド」の設定を「しない」にしてください。
- デジタル放送を見ているときは設定できません。

1 前ページからの手順**1**～**3**を行う

2 設定したい項目を選ぶ

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選び
を押す

映画やゲームなどに適した映像・音声にする（AV ポジション）

AV ポジションの設定項目

AV ポジション項目	内容
ぴったりセレクト	• 見ている映像や音声に応じて、ふさわしい設定を自動的に行います。 • ぴったりセレクトの画質や音質を、より自分好みに調整することもできます。（⇒ **86** ～ **89** ページ）
標準（工場出荷時の設定）	• 映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	• コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
映画　THX	• THX 社のディスプレイ規格に準拠したモードです。
映画（クラシック）	• フィルム投影機のような、昔ながらの懐かしい映像感を再現する画面モードです。（映像によっては点滅して見えることがありますが、故障ではありません。）
ゲーム	• テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 • すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC※	• PC 用の画面モードです。
AV メモリー	• 入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
フォト	• 静止画を見やすくします。
ダイナミック	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。
ダイナミック（固定）	• くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 • この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

※「PC」は入力 1 ～ 3、入力 7 選択時に表示されます。

◇**おしらせ**◇

- AV ポジションの「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画　THX」「映画（クラシック）」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、映像調整（⇒**90**ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。入力切換を行っても、「ぴったりセレクト」「標準」「映画」「映画　THX」「映画（クラシック）」「ゲーム」「PC」「フォト」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- 入力ごとに個別に調整したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- ホームネットワーク、IrSS™ の画面のとき、「PC」、「ゲーム」は選べません。
- AV ポジションは入力ごとに選べます。（例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など）
- AV ポジション「ぴったりセレクト」を選択した場合でも、放送や BD ／ DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
- AV ポジション「映画（クラシック）」のとき、シーンによっては映像がパタパタと点滅して見えることがありますが、故障ではありません。
- AV ポジション「映画（クラシック）」のとき、長時間視聴した場合、または映像のシーンによっては、目の疲れの原因となることがあります。
- 3D モード時の AV ポジションは、「標準（3D）」、「映画（3D）」、「映画　THX（3D）」、「ゲーム（3D）」の項目で調整することができます。
- AV ポジションを「PC」に切り換えるとき、または「PC」から別の AV ポジションに切り換えるときは、一時的に映像が消えます。
- 接続する機器によっては、上の表以外の AV ポジションが表示される場合があります。

HDMI 接続をしたときは（HDMI コンテンツタイプ連動機能）

- 本機と接続した機器からコンテンツ情報が送られたときに、本機が自動的に AV ポジションを切り換えます。

HDMI コンテンツタイプ連動機能が働かないようにするには

- 入力 1 ～ 3 を選んでいるときに AV ポジションが頻繁に切り換わって見づらい場合は、ホームメニューから、「設定」－「機能切換」－「外部端子設定」－「HDMI コンテンツタイプ連動」を選び、「しない」に設定します。

映像の種別	映像の内容	本機の AV ポジション
通常	• 録画したドラマを再生	標準
シネマ	• BD ソフトの映画を再生	映画
フォト	• デジタルカメラから取り込んだ静止画	フォト
グラフィック	• パソコンからの入力	PC
ゲーム	• ゲーム使用中	ゲーム

AV ポジションを選ぶ

AV ポジションボタンで切り換える

1 (画質切換) AVポジション を押す

AVポジションを表示させる

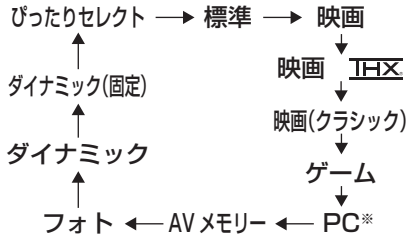
AVポジション：標準

▲ AVポジションの表示例

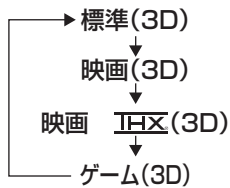
2 (画質切換) AVポジション を押す

続けて何回か押し、お好みのAVポジションを選ぶ

- ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

ぴったりセレクト → 標準 → 映画 → 映画 THX → 映画（クラシック） → ゲーム → PC※ → AV メモリー → フォト → ダイナミック → ダイナミック（固定） → ぴったりセレクト

※「PC」は入力 1 ～ 3、入力 7 選択時に表示されます。

- 3D 視聴時には、ボタンを押すたびに、AV ポジションが次のように切り換わります。

標準（3D） → 映画（3D） → 映画 THX（3D） → ゲーム（3D） → 標準（3D）

フタを開けたところ

ホームメニューから AV ポジションを切り換える

1 ホーム を押し ◀▶▲▼ で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（映像調整）」－「AVポジション（画質切換）」を選ぶ

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 で選び を押す

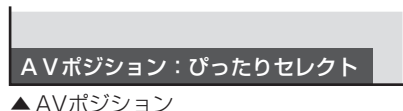
お好みの設定を選ぶ

「ぴったりセレクト」をより活用する

明るさセンサーの感度を設定する

- AV ポジション「ぴったりセレクト」にて、最適な画質調整を行うために必要な設定です。本機の「明るさセンサー」が部屋の明るさを感知し、部屋の照明に合わせた最適な画質調整ができるようにします。
- AV ポジション「ぴったりセレクト」選択時に有効となる設定です。

項目	内容
感度	• 光源の種類が昼白色または電球色と表示された場合に、センサーが感知する照度を調整します。
感度（暗めな部屋）	• 光源の種類が暗室と表示された場合に、センサーが感知する照度を調整します。
色温度	• センサーの色温度調整を行い、部屋の照明とメニュー画面に表示される光源の種類が一致するように調整してください。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

（画質切換）
を押す

AVポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「視聴環境設定」を選ぶ

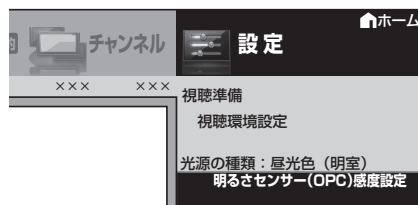
を押し
で選び
を押す

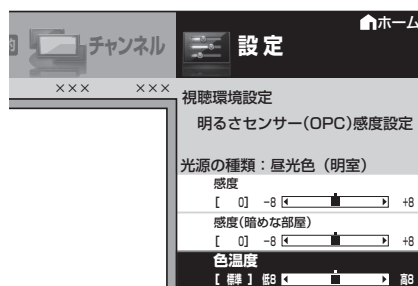
選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

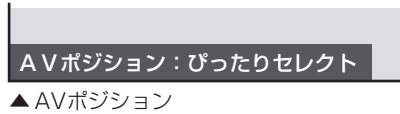
3 「明るさセンサー(OPC)感度設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「感度」「感度(暗めな部屋)」「色温度」のいずれかを選び、調整を行う

で選び
を押す

◇おしらせ◇

- 外光（太陽光）が十分な明るさで差し込んでいなければ、「昼白色（蛍光灯）／電球色」と表示されます。光が遮られていなくてもお部屋に対してテレビが暗いと感じられる場合には調整してください。
- テレビの前に障害物が置かれていないか確認してください。
- 照明が暗すぎると、照明の種類の判別ができなくなります。

より自分好みの画質に設定する

- AV ポジション（⇒ **84** ページ）を「ぴったりセレクト」にすると、見ている映像にふさわしい画質設定を本機が自動で行います。このとき自動で設定される画質を、より自分好みの画質に調整するための設定です。
- 画面に表示される 3 つの画像から好きな画質を選ぶだけで、かんたんに設定できます。
- このページの設定は、「かんたん初期設定」の「お好み画質・音質設定」（⇒ **338** ページ）と同じものです。
- 本設定は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

（画質切換）AVポジション を押す

ＡＶポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

2 ホームメニューを表示して、「設定」–「（視聴準備）」–「お好み画質・音質設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「お好み画質設定」を選ぶ

で選び

を押す

お好み画質設定
お好み音質設定

お好み画質の設定をしますか

すでにお好み画質の設定をしている
お好み画質の設定が、本設定により変

［設定内容］
スポーツ　：②
ビデオ　：②
フィルム　：②

4 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

お好み画質の設定をしますか?

すでにお好み画質の設定をしている場合は、
お好み画質の設定が、本設定により変更されます。

［設定内容］
スポーツ　：②
ビデオ　：②
フィルム　：②

本設定は、AVポジションが「ぴったりセレクト」
のときに、有効となる設定です。

する　しない

5 スポーツを視聴するときの画質を選ぶ

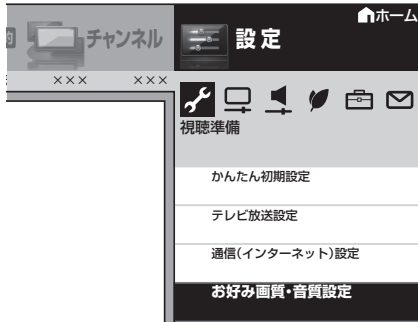
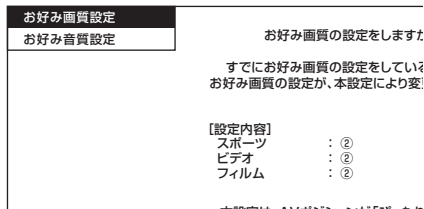
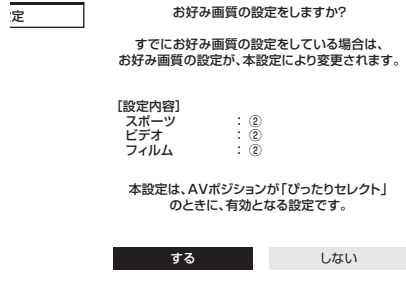
で選び

を押す

映像ジャンルが「スポーツ」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

6 ビデオ素材の映像を視聴するときの画質を選ぶ

で選び 決定 を押す

映像ジャンルが「ビデオ」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

7 フィルム素材の映像を視聴するときの画質を選ぶ

で選び

を押す

映像ジャンルが「フィルム」のときの画質設定を行います。
お好みの画像を選択してください。

8 「完了」を選ぶ

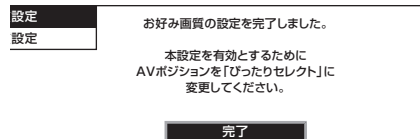
を押す

お好み画質の設定を完了しました。

本設定を有効とするために
AVポジションを「ぴったりセレクト」に
変更してください。

完了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

次のページに続く

より自分好みの音質に設定する

- AV ポジション（⇒ **84** ページ）を「ぴったりセレクト」にすると、見ている映像にふさわしい音質設定を本機が自動で行います。このとき自動で設定される音質を、より自分好みの音質に調整するための設定です。
- 画面に表示される音質の種類を選び、音を聞きながらお好みの音質に設定できます。
- 本設定は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

（画質切換）

を押す

▲ AVポジション

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「お好み画質・音質設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「お好み音質設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

4 「する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

設定
設定

お好み音質の設定をしますか?

「する」を選択すると音声が再生されますので、
音声を聞きながらお好みの設定をしてください。

本設定は、本体スピーカー出力にのみ反映されますので、
設定中は本体スピーカー以外からは音声出力されません。

[設定内容]
声(中音)　：標準的な声質
低音／高音　：標準的な音質

本設定は、AVポジションが「ぴったりセレクト」
のときに、有効となる設定です。

する　しない

5 中音域の音質を選ぶ

で選び

を押す

設定
設定

お好みの声(中音)の設定を選択してください。

くっきりした声質	声を聞き取りやすくします。
抜けのよい声質	声のこもり感を改善します。
標準的な声質	
柔らかい声質	中高音をおさえて、声を聞きやすくします。
背景音になじんだ声質	声をおさえて、背景音になじんだ聞こえ方にします。

本設定は、本体スピーカー出力にのみ反映されますので、
設定中は本体スピーカー以外からは音声出力されません。

6 低音域と高音域の音質を選ぶ

で選び

決定 を押す

設定
設定

お好みの低音／高音の設定を選択してください。

本設定は、本体スピーカー出力にのみ反映されますので、
設定中は本体スピーカー以外からは音声出力されません。

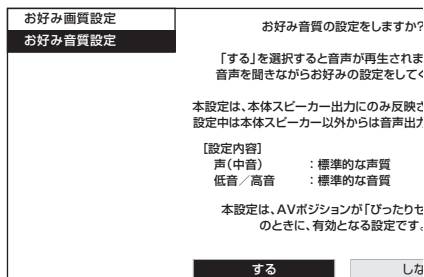
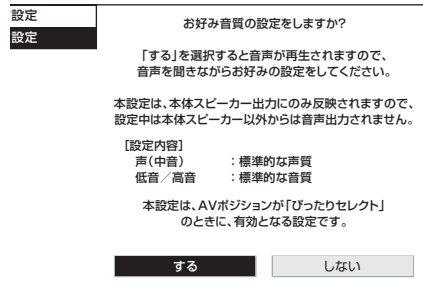
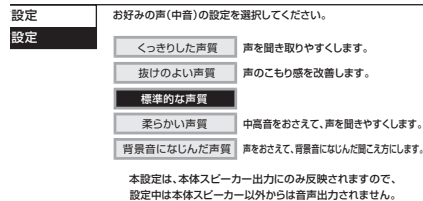
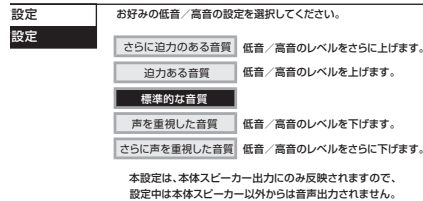
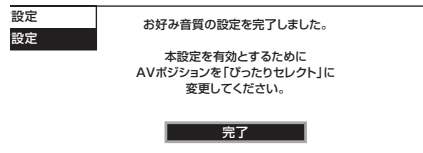
7 「完了」を選ぶ

を押す

設定
設定

お好み音質の設定を完了しました。

本設定を有効とするために
AVポジションを「ぴったりセレクト」に
変更してください。

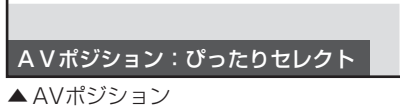
完了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ジャンルを選んで画質を設定する（お好み画質設定）

- 映像のジャンルを選び、お好みの画質に設定することができます。
- **87** ページの「お好み画質設定」よりも詳細な画質調整ができます。
- AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに設定できます。
- **91** ページの「お好み画質」が「する」のときに設定できます。
- AV ポジションが「ぴったりセレクト」以外のとき、お好み画質が「しない」のときは、設定は無効となります。
- ホームメニューから「設定」－「視聴準備」－「お好み画質・音質設定」－「お好み画質設定」または、かんたん初期設定にてお好み画質設定を行うと、本設定内容は上書き変更されます。

1 AVポジションの「ぴったりセレクト」を選ぶ

（画質切換）AVポジション を押す

AVポジション：ぴったりセレクト

▲ AVポジション

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **85** ページ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(映像調整)」－「お好み画質設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

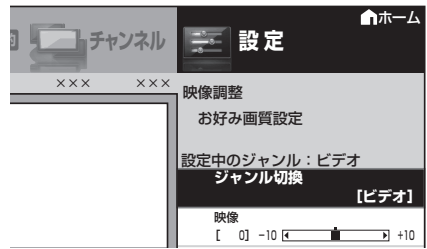
選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

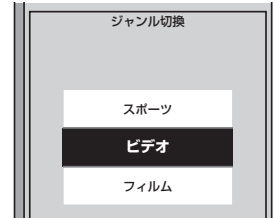
3 「ジャンル切換」を選ぶ

で選び

を押す

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
映像調整
お好み画質設定
設定中のジャンル：ビデオ
ジャンル切換　[ビデオ]
映像
[0] -10 +10

4 「スポーツ」「ビデオ」「フィルム」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

- 設定を行うジャンルの初期値は、現在の視聴中の映像のジャンルとなります。

視聴中の映像のジャンルと異なるジャンルを選んだ場合

- 「設定中のジャンルが現在のジャンルと異なります。現在のジャンルに合わせて設定をしてください。」と表示されます。
- 異なるジャンルを選んでも設定はできますが、視聴中の映像では設定した結果を確認できません。

5 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

6 ◆「プロ設定」以外を設定する場合

で選び

決定 を押す

- 「映像」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「画質」が設定できます。
  ①左右カーソルボタンでお好みの設定にする。
  ②操作を終了する場合はホームボタンを押す。

◆「プロ設定」を設定する場合

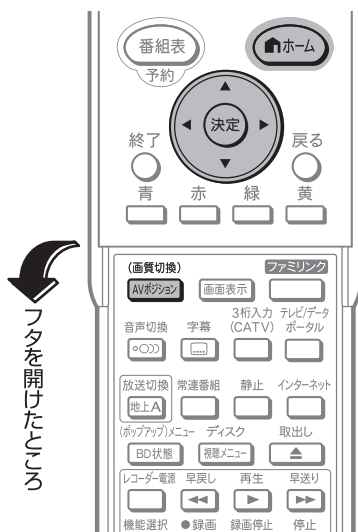
を押す

画面の指示に従う

- 画面に従って操作します。

はじめにお読みください
テレビを見る／便利な使いかた
録画・再生
ファミリンク
3D映像を見る
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

画面の明るさや色を変える（映像調整）

- 映像をより見やすくするために、明るさや色などを調整できます。
- プロ設定で、より細かな映像調整ができます。
- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。（「ダイナミック（固定）」以外）先にＡＶポジション（⇒ **84** ページ）を選んでから映像調整してください。

1 映像調整をしたいAVポジションを選ぶ

(画質切換) AVポジション を押す

ＡＶポジション：標準

▲ AVポジションの表示例

- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。（「ダイナミック（固定）」以外）
- 先にＡＶポジションを選んでから映像調整をします。

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **85** ページ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「AV メモリー」は、入力ごとの調整となります。
- その他の AV ポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（映像調整）」を選ぶ

を押し

で選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

4 ◆「お好み画質設定」「明るさセンサー（OPC）」「3D明るさアップ」「プロ設定」以外を設定する場合

で選び

を押す

①左右カーソルボタンでお好みの設定にする

②操作を終了する場合はホームボタンを押す

◆「お好み画質設定」「明るさセンサー（OPC）」「3D明るさアップ」「プロ設定」を設定する場合

を押す

画面の指示に従う

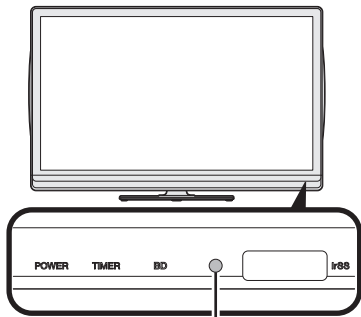
- 「3D 明るさアップ」は 3D モード時に設定できます。
- 決定し、画面に従って操作します。

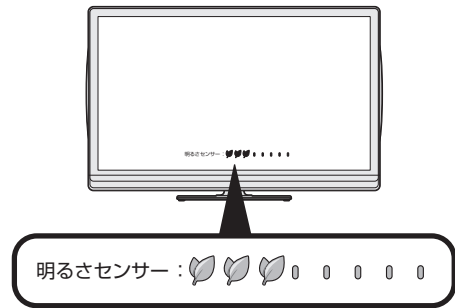
映像調整の項目一覧⇒ **91** ページ
プロ設定の項目一覧⇒ **92** ページ

「映像調整」の設定項目

項目	内容
お好み画質	• 次項目の「お好み画質設定」を、視聴中の映像に反映させるかどうかを選びます。
お好み画質設定	• 各映像ジャンル（スポーツ、ビデオ、フィルム）ごとに映像調整ができます。（調整のしかた⇒ **89** ページ）
明るさセンサー（OPC）	• 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。 **明るさセンサーの感度（動作する範囲）を手動で調整したい場合** •「プロ設定」の「明るさセンサー（OPC）設定」（⇒ **92** ページ）で設定します。 **「ぴったりセレクト」で自動的に設定される明るさを、さらに調整したい場合** • AV ポジションで「ぴったりセレクト」を選んでいるときの明るさは、「明るさセンサー（OPC）感度設定」（⇒ **86** ページ）で設定します。
明るさ	• 画面をお好みの明るさに手動で調整します。（調整すると、上の項目の「明るさセンサー（OPC）」は「切」になります。）
3D 明るさアップ	• 3D モード時の、映像の明るさを調整します。
映像	• 映像の強弱を調整します。
黒レベル	• 画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	• 映像の色の濃さを調整します。
色あい	• 色を調整します。
画質	• 画面をお好みの画質に調整します。 • AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。
プロ設定	• 映像をさらにきめ細かく調整します。（⇒ **92** ページ）
リセット	• 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。 •「お好み画質設定」は、ホームメニューから「設定」－「視聴準備」－「お好み画質・音質設定」－「お好み画質設定」で選択した設定値に戻ります。

明るさセンサーについて

• 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

• 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

• 音量表示中、消音中は表示されません。
• ホームメニュー表示中は表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

• AV ポジションが「ぴったりセレクト」または「ダイナミック（固定）」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。

AV ポジション	明るさセンサーの設定
ぴったりセレクト	• 設定不可
標準（工場出荷時の設定）	• 設定可（切、入、入：表示あり）
ダイナミック（固定）	• 設定不可

次のページに続く

プロ設定の項目

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>カラー
マネージメント</td><td>• 色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
カラーマネージメントの調整項目について（例：色相の調整の場合）
<table>
<tr><th>系統色</th><th>調整
−30…………… 0 ……………+30</th><th>系統色</th><th>調整
−30…………… 0 ……………+30</th></tr>
<tr><td>R(赤)</td><td>マゼンタに近づく ⇔ 黄に近づく</td><td>C(シアン)</td><td>緑に近づく ⇔ 青に近づく</td></tr>
<tr><td>Y(黄)</td><td>赤に近づく ⇔ 緑に近づく</td><td>B(青)</td><td>シアンに近づく ⇔ マゼンタに近づく</td></tr>
<tr><td>G(緑)</td><td>黄に近づく ⇔ シアンに近づく</td><td>M(マゼンタ)</td><td>青に近づく ⇔ 赤に近づく</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>色温度</td><td>• 青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
•「自動」を選ぶと、本機の「明るさセンサー」が部屋の視聴環境を感知し、最適な色温度に自動で調整します。</td></tr>
<tr><td>QS 駆動※6※7
(120Hz)</td><td>
<table>
<tr><td>アドバンス
(スキャン)</td><td>• 120 コマ／秒で表示される映像に加え、LED バックライトをオン・オフさせて動画をよりくっきりと、表示します。</td></tr>
<tr><td>アドバンス (強)</td><td>• 通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。
• 動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。</td></tr>
<tr><td>アドバンス (標準)</td><td>• 通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。
• 動きの速い映像を落ち着き感のある表示とします。</td></tr>
<tr><td>スタンダード</td><td>• 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。</td></tr>
<tr><td>しない</td><td>• QS 駆動を停止します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>シャッター効果</td><td>• フィルム的なシャッター効果を調整します。※3
• シャッター効果はフィルム映像（24 コマ／秒映像など）のときに調整できます。</td></tr>
<tr><td>フルハイプラス</td><td>• 高精細で鮮明な映像にする設定です。</td></tr>
<tr><td>アクティブ
コントラスト</td><td>• シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。※6</td></tr>
<tr><td>ガンマ設定</td><td>• 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。</td></tr>
<tr><td>I ／ P 設定</td><td>•「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのない滑らかな映像で楽しむモード）を切り換えます。※4※5※6</td></tr>
<tr><td>フィルムモード</td><td>• フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。※1※5※6※8
<table>
<tr><td>アドバンス (強)※7</td><td>• 映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。</td></tr>
<tr><td>アドバンス (標準)※7</td><td>• 映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。</td></tr>
<tr><td>スタンダード</td><td>• 映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。</td></tr>
<tr><td>しない</td><td>• フィルムモードを停止します</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>デジタル NR</td><td>• 本機で録画した番組やビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。※2※6</td></tr>
<tr><td>モノクロ</td><td>• 白黒映像にします。</td></tr>
<tr><td>明るさセンサー
(OPC) 設定</td><td>• 明るさセンサー（OPC）「入」時の、稼動範囲の上限と下限をお好みの値に設定できます。
• 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。</td></tr>
</table>

※ 1　ＡＶポジションが「ゲーム」または「ゲーム（3D)」のときは選択できません。
※ 2　ＡＶポジションが「PC」のときは選択できません。
※ 3　AV ポジションが「映画（クラシック)」のときのみ選択できます。
※ 4　入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。
※ 5　入力信号が PC 信号のときは選択できません。
※ 6　インターネット・ホームネットワーク・IrSS™・USB メモリーの写真や音楽を視聴しているときは選択できません。ただし、動画を再生しているときは、選択できます。
※ 7　3D モード中は選択できません。
※ 8　3D モード中で、かつ、入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせる

•「プロ設定」の「デジタルNR」を、「アクティブ」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。

音質を調整する（音声調整）

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
- 普段テレビを視聴しているときの音量にして調整してください。
- AV ポジション「ぴったりセレクト」のときの音質設定については、**88** ページをご覧ください。
- ＡＶポジションごとに、音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（⇒ **84** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

項目	内容
オートボリューム	• 自動的に最適な音量に調整する機能です。 （調整のしかた⇒ **95** ページ）
高音	• 高音を調整できます。
低音	• 低音を調整できます。
バランス	• 左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	• 内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。
3D サラウンド	• 内蔵スピーカーで 3D 映像にふさわしい臨場感・立体感あふれるサラウンド空間を擬似的に再現します。「ムービーシアター」と「コンサートホール」は、実際に収録した残響音を使用することでそれぞれ映画館とコンサートホールの音を疑似体験できます。（調整のしかた⇒ **94** ページ）
音質補正	• 選択している AV ポジションの音質を設定します。 **標準**：• 標準設定です。 **映画**：• 映画番組などに適した設定です。 **ダイナミック**：• メリハリのきいた設定です。 **ニュース**：• ニュース番組などに適した設定です。
リセット	• 音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。 （「声の聞きやすさ」は除きます。）
声の聞きやすさ	• 人の声や会話などを聞きやすくするための設定です。 （調整のしかた⇒ **96** ページ）

◇**おしらせ**◇

次の場合は音声調整ができません
- AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき
- ヘッドホンを接続しているとき（ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「ヘッドホン」で、設定が「モード 2」のときを除く）
- ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「入力／音声出力設定」で、「音声出力（可変 1）」に設定しているとき
- ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき

「サラウンド」について
- ヘッドホンで音声を聴いているときや、入力 6 ／音声出力端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や BD ／ DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。
- IrSS™ モードのときはサラウンドの設定ができません。
- 3D サラウンド選択中は、サラウンドは「切」になります。

「3D サラウンド」について
- 3D モード時のみ選択可能です。
- ヘッドホンで音声を聴いているときや、入力 6 ／音声出力端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、3D サラウンドの効果が得られません。
- 放送や BD ／ DVD などのコンテンツによっては、3D サラウンドの効果が得られないことがあります。
- IrSS™ モードのときは 3D サラウンドの設定ができません。
- リモコンの 3D サラウンドボタンでもモードを切り換えられます。

音声調整のしかた

1 普段テレビを視聴しているときの音量にする

を押す

2 音声調整をしたいAVポジションを選ぶ

（画質切換）AVポジション を押す

ＡＶポジション：標準

▲AVポジションの表示例

- 音声調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。（「ダイナミック（固定）」以外）
- 先にＡＶポジションを選んでから音声調整をします。

AV ポジションの選びかた

- ⇒ **85** ページ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
- 「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームなどは自動で制御されるため、変更できません。また､「高音」「低音」などは､「お好み音質設定」により設定されるため、変更できません。

3 ホームメニューを表示して、「設定」−「（音声調整）」を選ぶ

ホーム を押し 決定 で選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

4 調整したい項目を選ぶ

で選ぶ

工場出荷時の設定に戻したいときは

- 「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 上下カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

5 決定 を押し

で選び

を押す

◆「オートボリューム」を設定する場合

上下カーソルボタンで「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ

◆「サラウンド」を設定する場合

上下カーソルボタンで「自動」「入」「切」のいずれかを選ぶ

◆「3D サラウンド」を設定する場合

上下カーソルボタンで「標準」「ムービーシアター」「コンサートホール」「切」のいずれかを選ぶ

◆「音質補正」を設定する場合

上下カーソルボタンで「標準」「映画」「ダイナミック」「ニュース」のいずれかを選ぶ

◆「声の聞きやすさ」を設定する場合

上下カーソルボタンで「標準」「マイルド」「くっきり」「しない」のいずれかを選ぶ

で選び

を押す

◆「高音」「低音」「バランス」を設定する場合

- 左右カーソルボタンでお好みの設定にする。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- サラウンドを「自動」に設定すると、サラウンド再生が可能な番組を選局したときに、自動でサラウンド再生します。
- 3D サラウンド選択中は、サラウンドは「切」になります。
- 3D サラウンドは、3D モード時のみ選択可能です。

音量を自動で調整する（オートボリューム）

- チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。
- 撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。

「オートボリューム」の設定項目

項目	内容
強	• 音量変化を強く抑えて、音量差を最も小さくします。
中	• 音量変化を中くらいに抑えます。
弱	• 音量変化をわずかに抑えます。
切	• この機能を無効にします。元の音量変化を保ちます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（音声調整）」－「オートボリューム」を選ぶ

を押し

で選び

決定

を押す

▼ ホームメニューの画面例

2 「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ

で選び

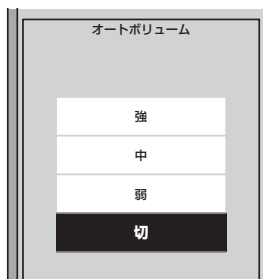
を押す

オートボリューム

強

中

弱

切

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「声の聞きやすさ」（⇒**次**ページ）を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、オートボリュームは自動で制御されるため、変更できません。
- 放送や BD ／ DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

会話を聞き取りやすくする（声の聞きやすさ）

- ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。

「声の聞きやすさ」の設定項目

項目	内容	共通の内容
標準	・音の大きさをそろえた標準的な音質にします。	・小さい音のセリフを大きく、大きな音のセリフを小さくすることにより、セリフを聞きとりやすくします。
マイルド	・標準よりもマイルドな音質にします。 ・セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。	
くっきり	・標準よりもくっきりした音質にします。 ・セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。	
しない	・この機能を無効にします。	

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（音声調整）」－「声の聞きやすさ」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかを選ぶ

で選び　決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- この設定は、AVポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、「お好み音質設定」（⇒**88**ページ）により設定されるため、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
- 放送やBD／DVDなどのコンテンツによっては、本機能の効果が得られにくい場合や、声の一部が聞きづらくなる場合があります。その場合は設定を変えるか「しない」にしてください。
- 声の聞きやすさを「標準」「マイルド」「くっきり」に設定したときは、「音質補正」（⇒**93**ページ）の効果はあまり得られません。

部屋や置きかたに適した音質を選ぶ

• この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

「視聴環境設定（音声）」の設定項目

項目		内容
部屋の種類	**洋室**	• フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
	寝室	• ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
	和室	• 畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。
設置場所	**壁寄せ**	• 部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
	コーナー置き	• 部屋の角に設置している場合に選びます。
	壁掛け	• 専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。（壁掛け設置 ⇒ **415** ページ）

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「視聴環境設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

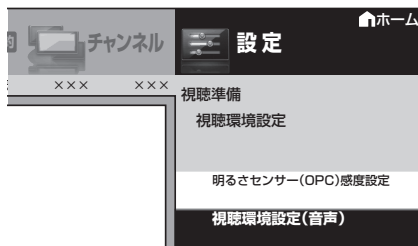
2 「視聴環境設定（音声）」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「個別設定」を選ぶ

で選び

を押す

個別設定することで、本機を設置した部屋や設置場所に合わせたサウンドに設定します。

［現在の設定］

ユーザー選択　：個別設定
部屋の種類　：洋室
設置場所　：コーナー置き

標準　個別設定

• 「標準」は、設定オフの状態になります。

4 視聴している部屋の種類を選ぶ

で選び

決定 を押す

部屋の種類を設定します。

洋室
寝室
和室

5 本機の設置場所を選ぶ

で選び

決定 を押す

設置場所を設定します。

壁寄せ
コーナー置き
壁掛け

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

• 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（⇒ **93** ページ）で調整してください。
• 「声の聞きやすさ」（⇒**前**ページ）を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、視聴環境設定は選べません。
• この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
• AV ポジションを「ぴったりセレクト」に設定している場合、「お好み音質設定」により設定されるため、変更できません。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

• ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

1 画面でヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	見ている画面の音声
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ）	見ている画面の音声	見ている画面の音声

2 画面でヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	操作画面 （「♪」マークのある側） の音声
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが同じ画面の音声を一緒に楽しむ）	操作画面 （「♪」マークのある側） の音声	操作画面 （「♪」マークのある側） の音声

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ

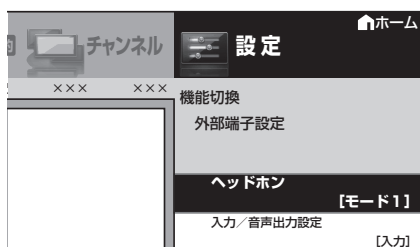
を押し
で選び
を押す

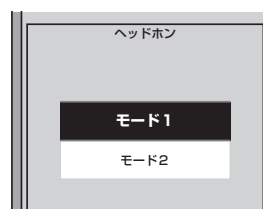
選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ヘッドホン」を選ぶ

で選び
を押す

チャンネル
設 定
ホーム
×××　×××
機能切換
外部端子設定
ヘッドホン　[モード1]
入力／音声出力設定　[入力]

3 「モード1」「モード2」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「モード 2」の音量調整について

• スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
• ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。
• リモコンの消音ボタンを押してもヘッドホンの音量は「0」になりません。

ヘッドホンを使用しないとき

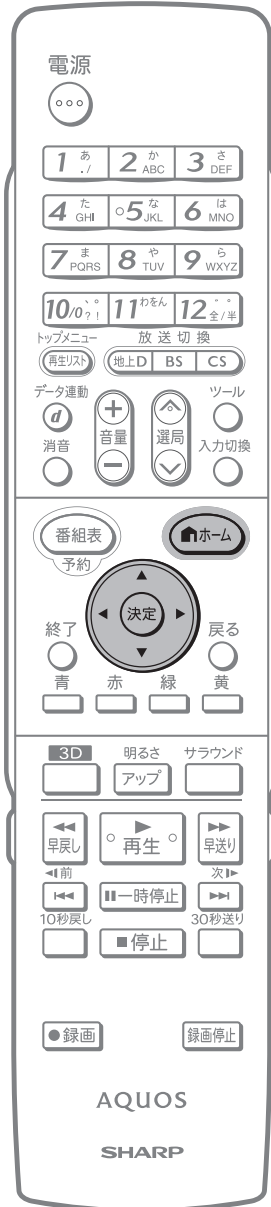
• 設定に関係なくスピーカーから音が出ます。

本体のボタンで操作するとき

• 2 画面で本体側面の選局ボタン・入力／放送切換（決定）ボタンを押すと、操作画面側が切り換わります。

省エネの設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

・テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「オフタイマー」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

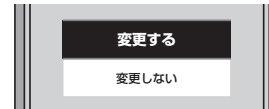
選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「変更する」を選ぶ

で選び
を押す

3 オフタイマーを設定する

で選び
決定
を押す

・オフタイマーの残り時間が 5 分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマーの残り時間を確認する

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

• 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（安心・省エネ）」−「無信号オフ」を選ぶ

を押し

で選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「する」を選ぶ

で選び

決定

を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
• 電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

◇**おしらせ**◇

無信号オフ機能について

• 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
• 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

• 本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（安心・省エネ）」−「無操作オフ」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「30分」または「3時間」を選ぶ

で選び

を押す

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

部屋の照明を消したときに本機の電源も切る（照明オフ連動）

※「照明オフ連動」が働きはじめたあとでリモコン操作を行うと、画面の明るさと音量が元に戻ります。
※「照明オフ連動」が働きはじめたあとで部屋が明るくなった場合は、「照明オフ連動」が解除されます。

項目	内容	
照明オフ連動	• 照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。	
電源切（待機状態）移行時間	0 分	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、すぐに本機の電源を「切」にします。
	15 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、15 分後に本機の電源を「切」にします。
	30 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、30 分後に本機の電源を「切」にします。
	60 分※	• 部屋の明るさがある程度の暗さに変わったら、画面の明るさと音量を徐々にさげ、60 分後に本機の電源を「切」にします。
表示設定	アイコン＋文字	• 画面にアイコンとメッセージを表示します。
	文字のみ	• 画面に文字を表示します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(安心・省エネ)」－「照明オフ連動」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、**40 ～ 45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「照明オフ連動」で「設定」を選ぶ

で選ぶ

周囲が暗くなってから、設定した時間後に電源を切ります。

照明オフ連動	解除	設定
電源切（待機状態）移行時間	0分	
表示設定	アイコン+文字	

0分　：周囲が暗くなってから、すぐに電源を切ります。

3 それぞれの項目を設定する

① 上下カーソルボタンで項目を選ぶ

② 左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

で選び

を押す

▼ 照明オフ連動の画面例
（表示設定：アイコン＋文字）

部屋の照明
「切」
10 分前 → 0 分前
本機の電源
「切」

• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
• 電源を切る 10 分前から、残り時間が表示されます。

◇おしらせ◇

• 明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
• 部屋が暗い状態で本機の電源を入れた場合は、照明オフ連動が働かないことがあります。（この機能は、ある程度の暗さに変わったときに働きます。）
• テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

視聴できる番組や操作を制限する

暗証番号を設定し、視聴を制限する

・視聴する人の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

1 ホーム を押し

で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」を選ぶ

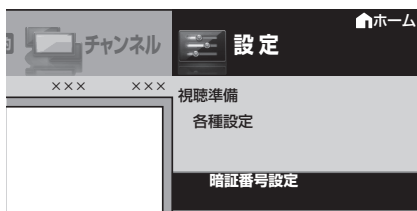
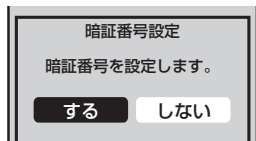
選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 で選び 決定 を押す

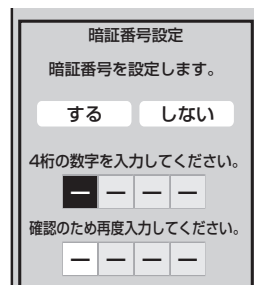
「暗証番号設定」を選ぶ

3

で選び

を押す

「する」を選ぶ

・暗証番号を設定している状態で、「しない」を選んだ場合、確認の画面が表示されます。確認の画面で「する」を選ぶと、暗証番号が消去され、「視聴年齢制限設定」「ネットサービス制限設定」「視聴制限レベル」「BD-LIVE 接続制限設定」「BD-LIVE 用プロキシサーバー設定」が初期化されます。

4

～ 10 で入力

4桁の暗証番号を入力する

・「0」を入力したい場合は 10 を押します。
・暗証番号は必ずメモしてください。

5 1 ～ 10 で入力

確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

・間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6

を押す

「確認」で決定する

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

・ディスク動作中（再生、録画、ディスク読み込み中）などは、暗証番号設定の消去ができません。

暗証番号を忘れたときは

・受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。（2010 年 10 月現在）

暗証番号を変更するときは

①左記の手順 **1** ～ **2** を行う
　・暗証番号入力画面が表示されます。
②数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
　・暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定をやり直してください。

視聴年齢制限設定

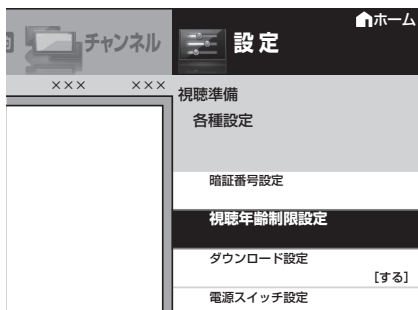
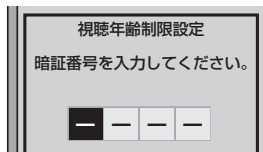
- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定をするには、暗証番号設定（⇒**前ページ**）が必要です。

◇**おしらせ**◇

- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

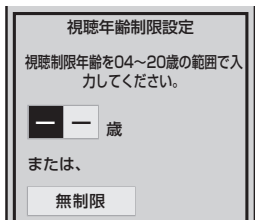
1 前ページの手順1を行う

2 「視聴年齢制限設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

3 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

4 年齢の入力欄を選び、制限する年齢の上限を入力する

で選び
1 ～ 10 で入力し
を押す

- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

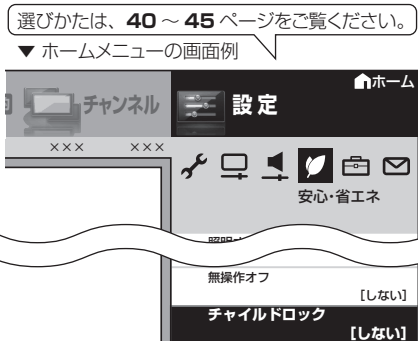
リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

チャイルドロックの設定項目

項目	内容
しない	• リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	• リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	• 本体ボタンでの操作ができない状態にします。（本体の電源スイッチはロックされません。）

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（安心・省エネ）」－「チャイルドロック」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

2 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

- 「リモコン操作ロック」、「本体操作ロック」のどちらかを選んだ場合、確認の画面が表示されます。「する」を選ぶと、チャイルドロックが設定されます。

◇**おしらせ**◇

- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン（⇒ **32** ページ）で上記の操作をし、ロックを解除してください。

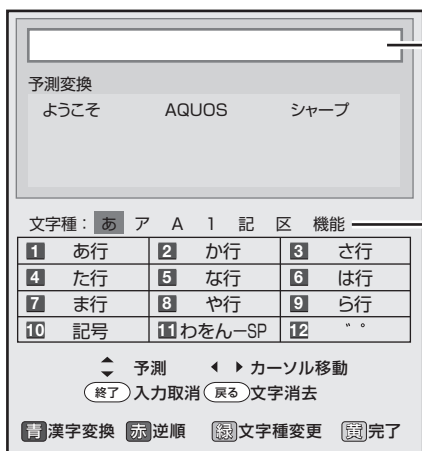
文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

- 本機の操作で文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

番組表のキーワード入力、
入力切換の入力表示の編集、
LAN 設定の IP アドレスの入力、
インターネットの検索などで、
文字の入力が必要になります。

▼文字入力の画面例

文字の入力欄で
を押すと、
ソフトウェアキーボード
が表示されます。

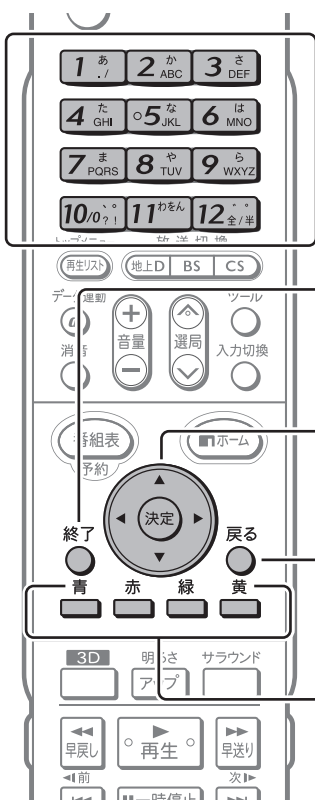
▼ソフトウェアキーボードの画面例
（予測変換候補や文字種などの画面は一例です。）

入力中の文字が表示されます。

予測変換候補
保存された履歴によって候補が変わります。

文字の種類（文字種）
緑 で文字種を選びます。
文字種によって、数字ボタンで入力できる文字が変わります。
入力欄によって、選択できる文字種が変わります。

入力できる文字
リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で入力できる文字が表示されます。

リモコンでの操作のしかたが表示されます。

文字の入力に使うリモコンのボタン

- 文字を入力します。

- 現在の入力をすべて取り消します。
  ソフトウェアキーボードも消えます。

- 入力欄のカーソルを移動します。
- 予測変換しているときは変換候補を選びます。
- 漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定し、上下で変換候補を選びます。

- 文字を消去します。
- 予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。

- 青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
- 赤：予測変換や漢字変換の候補を逆順で選びます。
- 緑：文字の種類（文字種）を選びます。
- 黄：文字入力を完了します。
  ソフトウェアキーボードが消えます。

入力できる文字の一覧

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

① あいうえお ぁぃぅぇぉ	② かきくけこ	③ さしすせそ
④ たちつてと っ	⑤ なにぬねの	⑥ はひふへほ
⑦ まみむめも	⑧ やゆよ ゃゅょ	⑨ らりるれろ
⑩ 、。？！ ・「 」	⑪ わをんーゎ （スペース）	⑫ ゛゜

カタカナ（全角）

① アイウエオ ァィゥェォ	② カキクケコ	③ サシスセソ
④ タチツテト ッ	⑤ ナニヌネノ	⑥ ハヒフヘホ
⑦ マミムメモ	⑧ ヤユヨ ャュョ	⑨ ラリルレロ
⑩ 、。？！ ・「 」	⑪ ワヲンーヮ （スペース）	⑫ ゛゜

半角英字／全角英字

① . / @ : -	② abcABC	③ defDEF
④ ghiGHI	⑤ jklJKL	⑥ mnoMNO
⑦ pqrsPQRS	⑧ tuvTUV	⑨ wxyzWXYZ
⑩ ? ! ( ) _	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

半角数字／全角数字

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0		⑫ 全角／半角切換

半角記号

① . / @	② , : ;	③ _ - ¥
④ $ % &	⑤ # + *	⑥ = | ˜
⑦ " ‘ ^ ’	⑧ ( ) < >	⑨ [ ] { }
⑩ ? !	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

全角記号

① ． ／ ＠ ・	② ， ： ；	③ ＿ － ￥
④ ＄ ％ ＆	⑤ ＃ ＋ ＊	⑥ ＝ ｜ ￣ ～
⑦ ＂ ‘ ＾ ’	⑧ （ ） ＜ ＞	⑨ ［ ］ ｛ ｝
⑩ ？ ！	⑪ （スペース）	⑫ 全角／半角切換

区点コード

- 本機に搭載する全ての全角文字が入力できます。
- 区点入力ではカーソルで文字を選択し、決定を押すことで文字を入力します。

16 進数

- 文字種から「16 進数」は選べません。16 進数専用の入力欄を選んだときに入力できます。

① 1	② 2	③ 3
④ 4	⑤ 5	⑥ 6
⑦ 7	⑧ 8	⑨ 9
⑩ 0	⑪ abc	⑫ def :

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によって、選択できる文字種が変わります。
- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。
- インターネットにおいて、区点コード入力で一部の記号文字を入力すると、文字化けなど正しく処理されない場合があります。

文字を入力する
⇒ **106 ～ 107** ページ

文字を入力する

◇おしらせ◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」ー「(機能切換)」ー「外部端子設定」ー「入力表示」で「編集」を選んだときや、ホームメニューから「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信（インターネット）設定」ー「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ

- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ

- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

「お早うございます」と入力する手順例

1 文字を入力できる欄を選ぶ

で選び 決定 を押す

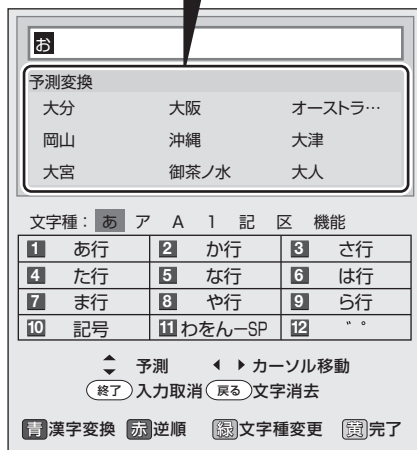
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

◆ 文字を選ぶ

2 「お」を入力する

1 を押す

- 1 を 5 回押します。
押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

- 次の手順で語を入力します。
①下カーソルボタンを押す
②上下左右カーソルボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

- 左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3 「は」を入力する

を押す

- 6 を 1 回押します。

4 同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

- 12全/半 を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- 4たGHI を 6 回押すと「っ」が入力されます。
  「ぉ」の場合は、1あ.,/ を 10 回押します。

スペースを入力するときは

- 11わをん を 6 回押します。

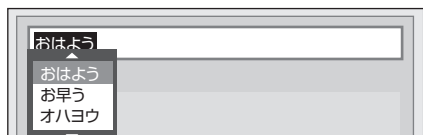
入力できる文字は

- 「入力できる文字の一覧」（⇒ **105** ページ）をご覧ください。

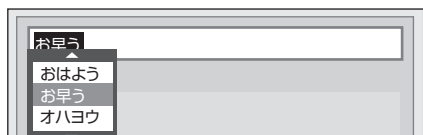
◆ 漢字やカタカナに変換する

5 青 を 2 回押す

入力欄の文字を変換する

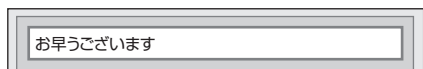
- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

6 で選び 決定 を押す

入力したい文字を選ぶ

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

7 1あ.,/ ～ 12全/半 で入力

続けて文字を入力する

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 黄 を押す

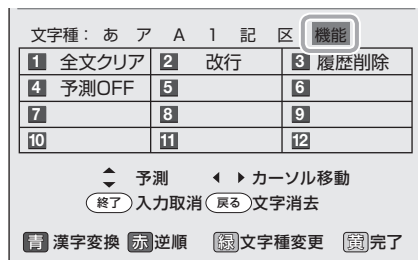
入力中の文字を確定する

- **前**ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

改行するとき

1

改行したい箇所を選ぶ

2 緑 を押す

繰り返し押し文字種から「機能」を選ぶ

3 を押す

「改行」を選ぶ

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

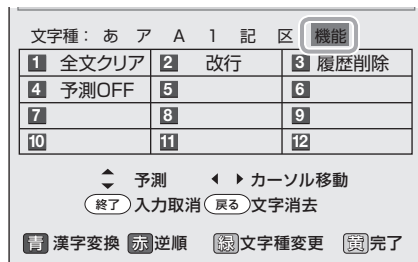
- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 を押す

繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

文字種： あ ア A 1 記 区 機能

1 全文クリア	2 改行	3 履歴削除
4 予測OFF	5	6
7	8	9
10	11	12

予測　カーソル移動
終了 入力取消　戻る 文字消去
青 漢字変換　赤 逆順　緑 文字種変更　黄 完了

2 1あ.,/ を押す

「全文クリア」を選ぶ

- 入力中の文字が全て消えます。
- カーソルが入力している文字の途中にある場合は、カーソルの右側にある文字が消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

BD レコーダー機能を使った録画・録画予約について

・本機に内蔵の BD レコーダー機能を使って、BD-RE ／ BD-R に録画・録画予約できます。（再生については **134** ページをご覧ください。）

録画・録画予約ができるものについて

● 本機は、BD-RE ／ BD-R に以下の放送を録画・録画予約し、再生できます。

- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送
- 110 度 CS デジタル放送
- 地上アナログ放送
- パススルー方式でのCATV（ケーブルテレビ）

◆ IPTV（ひかり TV）は、録画・録画予約できません。

◆録画禁止の放送は、録画・録画予約できません。

● 本機は、以下の放送・映像について、本機の外部入力端子 4（映像・音声）に接続した録画制限のないアナログ映像･音声を BD-RE ／ BD-R に録画･録画予約し、再生できます。

（本機の D 端子からの入力および録画制限のある放送は、録画できません。）

- お手持ちのレコーダーやプレーヤー（ビデオデッキ、DVD プレーヤー、HDD/DVD レコーダーなど）
- 専用受信機を使う方式でのCATV（ケーブルテレビ）

・お使いの専用受信機の説明書をご覧ください。

・録画予約の種類については、**110** ページをご覧ください。

・ディスクの入れかた・出しかたについては、**38** ページをご覧ください。

・USBハードディスクを本機につないで録画･再生する場合は、**163**～**187**ページをご覧ください。

・ファミリンク機器を本機につないで録画・再生する場合は、**194** ～ **207** ページをご覧ください。

録画予約・ダビング用に購入するディスクについて

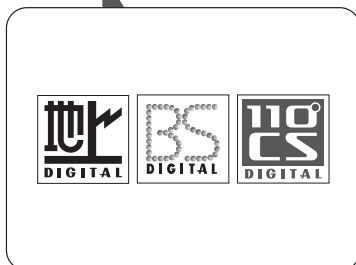
・本機で録画予約・ダビングができるディスクは、BD-RE（繰り返し録画用）とBD-R（1回録画用）の2種類です。ご購入の際は、ディスクの包装を見て以下の内容が表示されているものをご購入ください。（不明な点などがございましたら、販売店にご相談ください。）

録画予約・ダビング用には、包装に以下の表示のあるものをご購入ください。
（本機で録画予約・ダビングに使用できるのは、BD（ブルーレイディスク）です。DVDディスクには録画できません。）

Blu-ray Disc™

BD-RE
（繰り返し録画用）
または
BD-R
（1回録画用）

例）包装のおもて面

例）包装のうら面

BD-REの場合：2.1
3.0(XL 3層)

BD-Rの場合（右記のいずれか）：1.1
1.2、1.2 LTH
1.3、1.3 LTH
2.0(XL 3層)
2.0(XL 4層)

◆ 重　要 ◆

- **有料放送の視聴・録画には、視聴契約が必要です。**
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 8cm盤のBD-RE/BD-Rディスクは、本機では初期化や録画ができません。新品（未初期化）の8cm盤BD-RE/BD-Rを本機に挿入した場合は、ディスクが自動的に取り出されます。

◇おしらせ◇

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ付き）のディスクは使えません。
- 本機以外で録画したBDは空き容量のあるディスクでも録画用として使用できない場合があります。

録画・録画予約の種類について

- BD-RE ／ BD-R に録画をする方法は、以下のとおりです。
- 予約機能として、録画予約ではなく視聴の予約もできます。（⇒ **127** ページ）

録画･録画予約の種類　　ページ

いま見ている番組を、BD-RE／BD-Rに録画したいときは	録画	DVDには録画できません。

これから放送される番組を、BD-RE／BD-Rに録画予約したいときは	録画予約	DVDには録画予約できません。

VHSビデオテープなどからBD-RE／BD-Rにダビングしたいときは	録画	DVDには録画できません。

録画･録画予約の設定について　　ページ

◇おしらせ◇

- 本機は、BD・DVD ディスクから USB ハードディスクにはダビングできません。

録画をする前に
お読みください

◆ 重 要 ◆

- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

録画できる番組数と予約件数について

- 1 枚の BD-RE/BD-R に録画できる番組数は 200 番組までです。
- 予約件数は最大で 32 番組です。それ以上の予約はできません。（件数には番組表予約、日時指定予約が含まれます。）
- 32 件を超える予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

録画・録画予約できない場合について

- 独立データ放送や、録画が禁止されている番組は録画できません。
- 録画中に、録画禁止の番組が始まったり電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
- 録画中に電源プラグが抜けたり、予約した番組が休止していた場合は、録画が停止します。
- 録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、録画されたところまで保存されます。
- 番組が始まるまで 2 分を切ると、予約ができません。録画用ディスク（BD）は、録画予約開始時刻の 4 分前までに挿入してください。
- 録画中は IPTV、インターネット、IrSS™、ホームネットワーク、USB メモリーの写真や音楽を視聴できません。
- 予約の開始時刻になると、録画が停止されます。（録画予約／ファミリンク予約優先）
- 「ディスク保護」(⇒ **159** ページ) が「保護する」に設定されているディスクには録画できません。
- BD、DVD、CD の再生中は、録画ができません。

予約実行中の制限について

- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画を停止させてから設定してください。

地上アナログ放送録画中の制限について

- 地上アナログ放送録画中は、入力切換、放送切換、選局はできません。

◇おしらせ◇

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

操作中に録画開始時刻が近づいた場合

- テレビ画面にメッセージが表示されます。

マルチビューサービス放送を録画して再生する場合は

- 「録画画質」を「標準（DR)」にして録画してください。「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」にしているときは、視聴中の映像が録画されます。

連動データ放送を録画する場合は

- 「録画画質」を「標準（DR)」「2 倍」「3 倍」のいずれかにして録画してください。「5 倍」「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」で録画したときは、連動データ放送は録画されません。

録画画質について

- 詳しくは **112** ページをご覧ください。

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
  録画可能 ：制限なしに録画･ダビングが可能です
  録画禁止 ：録画できません（視聴のみ）
  1 回だけ録画可能：録画できます
  ダビング 10 ：録画できます
- 「1 回だけ録画可能」の番組や「ダビング 10」の番組を BD に録画したとき、その番組はコピー禁止の番組として録画されます。
- BD に録画した番組は、BD からダビングもムーブ（移動）もできません。
- CATV チューナーや外部機器からのコピーガードされた放送は、録画できません（視聴のみ）。

コピー制御お問い合わせセンター
電話 ： 0570-000-288
（午前10時～午後8時）
2010年10月現在

- CATV チューナーからの録画や接続については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
  本機との接続方法⇒ **332** ページ
  本機での録画方法⇒ **122**、**128** ページ

録画画質と録画時間

・ビデオテープの標準モードや３倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。
・本機でデジタル放送を録画するときは、録画画質（録画時間）「標準（DR）」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」が選べます。（⇒ **114** ページ）
・本機でアナログ放送を録画するときは、録画画質「SP」「LP」が選べます（⇒ **114** ページ）
・録画するときの画質を下げると、録画できる時間を増やすことができます。

録画画質と録画される内容・楽しめる機能

録画画質 ＼ 放送の種類	標準（DR）画質	２倍／３倍	5倍／7倍／8.5倍／10倍
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）	○	主映像（音声は放送と同じ音声を記録）	主映像（音声はマルチ音声設定で設定されている音声）
連動データ放送	○	○	×
二重音声放送／字幕／番組情報	○	○	○

・BD-RE/BD-R に録画した字幕放送番組を再生すると、「字幕表示」の設定（⇒ **71** ページ）に関係なく、常に字幕オンスクリーンの「リモコン切換」表示となります。

二重音声放送を録画するとき

・二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類（記録フォーマットや本機の設定）で記録される音声が異なります。

本機の録画画質設定		標準（DR）/2 倍 /3 倍 /5 倍	7 倍 /8.5 倍 /10 倍
放送の種類	マルチ音声※1（ステレオ二重音声など）	すべての音声を記録します。	マルチ音声設定で設定されている音声を記録します。
	モノラル二重音声※2	主／副両方の音声を記録します	

※１：デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声 1」「音声 2」などと表示されます。
例：「音声 1 は日本語のステレオ放送、音声 2 は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声といいます。
※２：デジタル放送やアナログ放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

・記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。本機で記録した BD を他機で再生するときは、下記の表を参考にしてください。
・下記の表は、他機での再生を保証するものではありません。下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。

		再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤー
記録方式	標準（DR）（MPEG2-TS）で記録した場合	ほとんどの BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
	2 倍／ 3 倍／ 5 倍／ 7 倍／ 8.5 倍／ 10 倍 (MPEG4 AVC/H.264) で記録した場合	MPEG4 AVC/H.264 に対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3 ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.3 ディスクに対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに記録した場合	BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-R Ver.2.0 XL（3 層 /4 層）ディスクに記録した場合	BD-R Ver.2.0 XL(3層/4層)ディスクに対応したBDレコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
	BD-RE Ver.3.0 XL（3 層）ディスクに記録した場合	BD-RE Ver.3.0 XL（3 層）ディスクに対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。

BD(ブルーレイディスク) の録画画質と録画時間

- 標準（DR）では、デジタル放送そのままの画質で録画します。（アナログ放送では SP です。）
- ２倍／３倍／５倍／７倍／8.5 倍／ 10 倍モードは、ハイビジョン画質で長時間録画に対応した録画画質です。それぞれ録画時間が約２倍／約３倍／約５倍／約７倍／約8.5 倍／約 10 倍になります。（録画画質、録画される内容、他機での再生の制約などがあります。⇒**前**ページ）
- 同じディスクを使用しても、放送の種類によって録画できる時間が異なります。
- BDへ録画(ダビング)するときは、必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ２層 BD への録画可能時間は、最大 48 時間です。

録画画質			録画時間		
			BD-RE (片面1層 25GB) BD-R (片面1層 25GB)	BD-RE (片面2層 50GB) BD-R (片面2層 50GB)	BD-RE XL (片面3層 100GB) BD-R XL (片面3層 100GB)
デジタル放送録画時	標準(DR)(放送画質)	デジタルハイビジョン(HD)放送(BS/110度CSデジタル)	約 2時間 10分	約 4時間 20分	約 8時間 40分
デジタル放送録画時	標準(DR)(放送画質)	デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル)	約 3時間	約 6時間 10分	約 12時間
デジタル放送録画時	標準(DR)(放送画質)	デジタル標準(SD)放送	約 4時間 20分	約 8時間 40分	約 17時間 20分
デジタル放送録画時	2倍	デジタルハイビジョン(HD)放送(地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル) ・録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「8.5倍」「10倍」では、デジタル標準(SD)放送時は、表記の録画時間より長く録画できます。	約 4時間 20分	約 8時間 40分	約 17時間 20分
デジタル放送録画時	3倍		約 6時間 30分	約 13時間	約 26時間 10分
デジタル放送録画時	5倍		約 10時間 50分	約 21時間 50分	約 43時間 30分
デジタル放送録画時	7倍		約 15時間 10分	約 30時間 40分	約 61時間 10分
デジタル放送録画時	8.5倍		約 18時間	約 36時間	約 74時間 20分
デジタル放送録画時	10倍		約 21時間 40分	約 43時間 20分	約 87時間 20分
地上アナログ放送・外部入力録画時	SP		約 8時間 30分	約 17時間	約 34時間 10分
地上アナログ放送・外部入力録画時	LP		約 16時間 40分	約 33時間 20分	約 66時間 50分

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

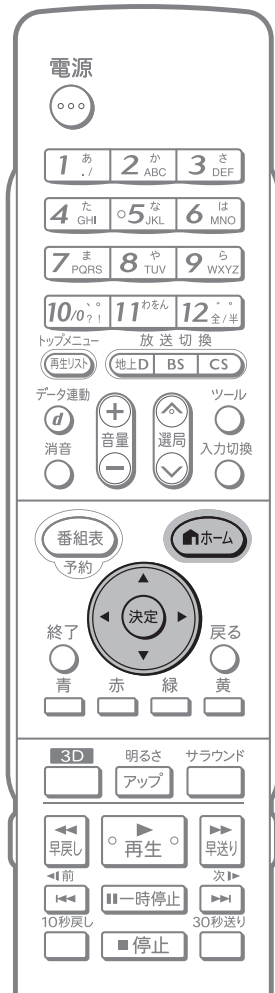
- 録画時間は、BS/110 度 CS デジタルハイビジョン(HD)放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により上記の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- ２倍、３倍の録画時間は、連動データ放送のデータ量により、実際に録画できる時間は記載値よりも誤差が大きくなる場合があります。
- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7 倍」や「8.5 倍」や「10 倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。また標記の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく標準（DR)、２倍、３倍、５倍の画質で録画していただくことをおすすめします。

録画画質の設定を変えるには

• デジタル放送を録画する場合、画質を優先するときは「標準（DR）」に、より長い時間の録画を優先するときは「10 倍」に設定することをおすすめします。

デジタル放送の録画画質
標準（DR）
2倍
3倍
5倍※
7倍
8.5 倍
10 倍

アナログ放送の録画画質
SP
LP※

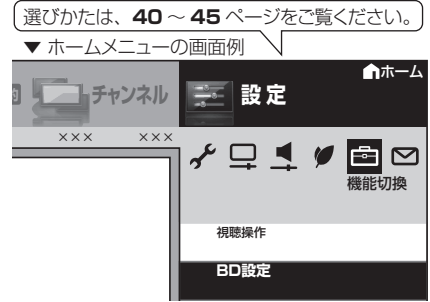
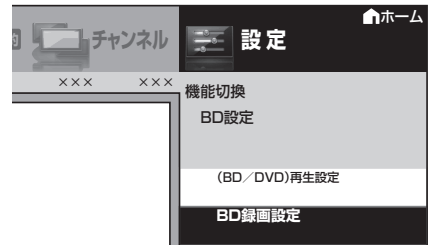
※ 工場出荷時、デジタル録画画質は「5倍」、アナログ録画画質は「LP」に設定されています。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換）」−「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

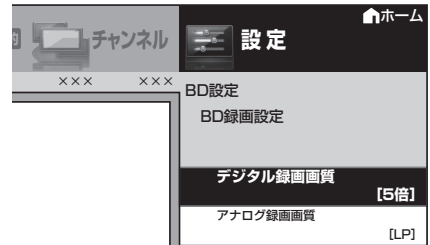
選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「BD録画設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「デジタル録画画質」を選ぶ

• アナログ放送の場合は、「アナログ録画画質」を選びます。

で選び
決定
を押す

4 「標準(DR)」「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「8.5倍」「10倍」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

• アナログ放送の場合は、「SP」または「LP」を選びます。

標準(DR)	デジタル放送のデータのまま高画質で録画します
2倍	長時間で高画質に録画します
3倍	長時間で高画質に録画します
5倍	長時間で録画します
7倍	より長時間で録画します
8.5倍	より長時間で録画します
10倍	より長時間で録画します

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

マルチ音声のデジタル放送を録画するときは（マルチ音声設定）

・マルチ音声（ステレオ二重音声）のデジタル放送番組を7倍／8.5倍／10倍の録画画質で録画するときの音声を、「音声1」「音声2」「マルチ音声」のいずれかに設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」ー「（機能切換）」ー「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

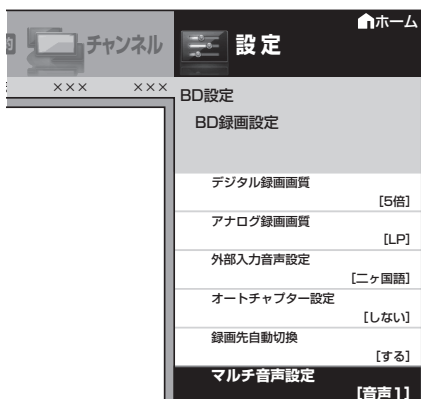
選びかたは、40～45ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 「BD録画設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 「マルチ音声設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「音声1」「音声2」「マルチ音声」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

音声1
音声2
マルチ音声

音声1
・音声1を録画します。

音声2
・音声2を録画します。

マルチ音声
・音声1・音声2の両方を録画します。

◇おしらせ◇

・「音声2」を設定していて、音声2が放送されていないときは、「音声1」が記録されます。
・複数の音声がある番組を7倍／8.5倍／10倍のいずれかで録画する場合に「マルチ音声」を選択すると、録画可能時間が少し短くなります。

ディスクの情報・録画可能時間を調べたいときは

- (ポップアップ)メニュー BD状態 を押すと、ディスクの情報が画面右下に表示されます。
- 情報の表示から、録画可能時間などを確認できます。

ディスクの録画可能時間を確認する

1 **録画可能時間を確認したいディスクを挿入する(⇒38ページ)**

- 再生リストが表示されたときは、終了ボタンを押して、再生リストを消します。

2 **ディスクの情報を表示する**

(ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

3 **情報を消す**

(ポップアップ)メニュー BD状態 を押す

放送視聴中の情報例

録画中の情報例

① **現在の録画できる時間を表示します。**
- 表示される録画可能時間は、その時点の番組を録画する際、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が続いた場合でも録画できる時間の目安です。
- 録画できないディスクが挿入されたときは、録画可能時間表示部が「——」または「0時間00分」と表示されます。

② **設定されている録画画質が表示されます。録画できないディスクが挿入されているときは、「——」と表示されます。**

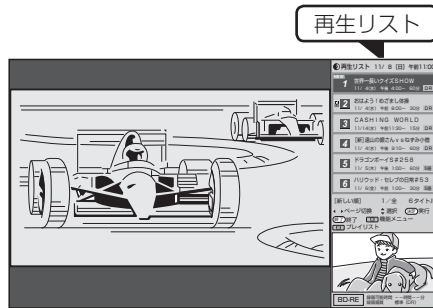
③ **総タイトル数を表示します。**

④ **総チャプター数を表示します。**

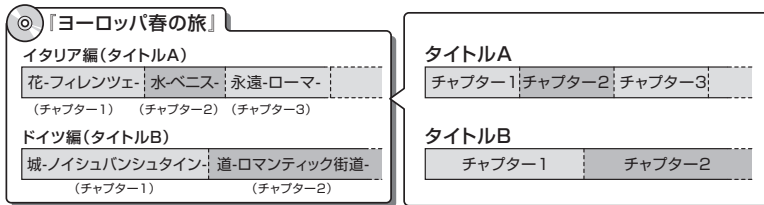
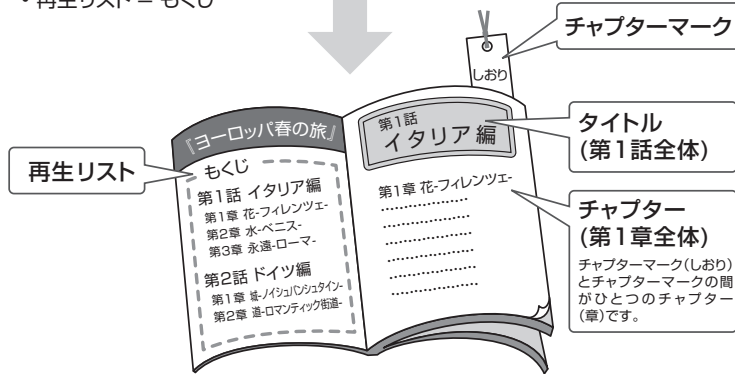
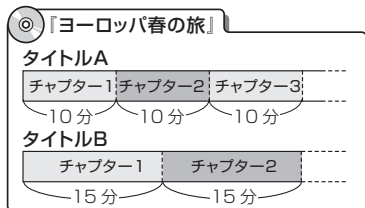
⑤ **録画開始からの経過時間を表示します。**

◇**おしらせ**◇
- 再生中は、録画可能時間·ディスクの情報は表示しません。市販のBDビデオディスクなどでポップアップメニューがある場合は、ポップアップメニューが表示されます。
- 録画可能時間が足りない場合は、ディスクの空き容量がなくなるまで録画が実行されます。
- ディスクが挿入されていないときは、BD状態ボタンを押してもディスクの情報画面は表示されません。
- デジタル放送受信中に表示される「標準(DR)」の録画可能時間は、現在受信しているデジタル放送を録画した場合の録画可能時間です。

録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル(録画した番組)は「再生リスト」に一覧表示されます。(⇒ **136** ページ)

「タイトル」「チャプター」「再生リスト」※の関係

※ USB ハードディスクの場合は「録画リスト」になります。

例)市販のディスクの場合

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- 再生リスト = もくじ

例)本機で録画したディスクの場合

◇**おしらせ**◇

- 本機は、番組録画中に音声の切り換わりを検知して自動的にチャプターを作成する「おまかせオートチャプター」機能を搭載しています。また、一定時間でチャプターを作成することもできます。※
  - ※ 本機には録画中にチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。デジタル放送を録画するときに、チャプターマークを設定した間隔で自動的に入れるようにできます。(⇒**118**ページ)
(USB ハードディスクに録画する場合のチャプターマークの設定は、**172** ページをご覧ください。)
  - ※ 図のタイトル A は「オートチャプター設定」を「10 分」に、タイトル B は「15 分」に設定した例です。

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 「おまかせ」に設定すると、CM の前後などシーン（音声）の切り換わり部分に自動でチャプターマークを記録します。（おまかせオートチャプター）
- 再生中に 次 を押して CM を飛ばして見るときなどに便利です。（シーンによっては CM 以外の部分にチャプターマークが記録される場合もあります。）

項目	内　容
おまかせ	CM などのシーンの切り換わり部分にチャプターマークを記録します。
しない	チャプターが入りません
10 分	10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	30 分間隔でチャプターが入ります。

◇**おしらせ**◇

つぎの場合はおまかせオートチャプターが付きません。

- 地上アナログ放送のステレオ番組を録画しているとき
- 外部入力で録画しているとき

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「BD設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

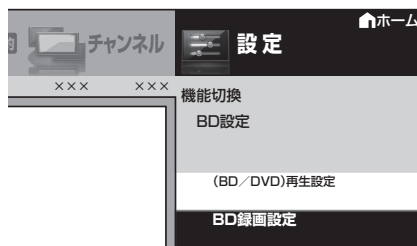
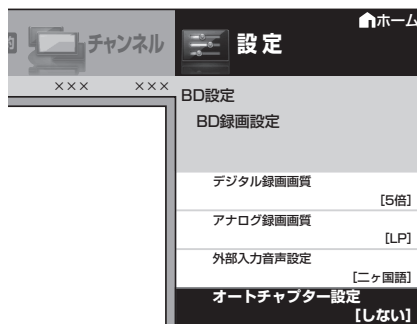
▼ ホームメニューの画面例

2 「BD録画設定」を選ぶ

で選び

を押す

3 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 「おまかせ」「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

放送中の番組を BD に録画する

◆ 重 要 ◆

- 録画の前に「録画をする前にお読みください」(⇒ **111** ページ) をご覧ください。
- BD に録画できるタイトル（録画した番組）数は、200 番組です。
- 1 番組の連続録画可能時間は最長 12 時間です。
- ディスクの録画可能時間が足りないときは、ディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

放送中の番組を録画する（一発録画）

- 今見ている番組をその場で録画します。
- デジタル放送の場合は、視聴中の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。
- アナログ放送・外部ビデオ入力では、録画ボタンを押してからおよそ 1 時間、または設定した終了時間まで録画できます。
- 録画画質「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」で録画したときに記録されるマルチ音声（ステレオ二重音声）は、「BD 録画設定」の「マルチ音声設定」で設定されている音声です。(⇒ **115** ページ)

◇**おしらせ**◇

- 録画可能時間を確認したいときは、(ポップアップ)メニュー BD状態 を押します。
- 再生リストが表示された状態では録画操作は行えません。録画を行うときは、再生リストを消してから操作してください。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質の設定をします。(⇒ **114** ページ)

2 録画用BD-REまたはBD-Rを挿入する(⇒38ページ)

- 新品の BD-RE/BD-R ディスクを挿入した場合は、録画に使えるようにするための処理「初期化」が始まります。初期化が済むまでお待ちください。(⇒ **39** ページ)
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、(ポップアップ)メニュー BD状態 を押します。
- 再生リストが表示されたときは、終了 を押し、再生リストを消します。

次のページに続く

3 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS 地上A のいずれかを押して選びます。

4 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

- 番組の選びかたについては、⇒**46**ページをご覧ください。

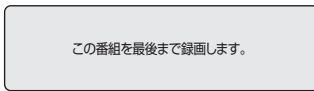
5 録画をはじめる

●録画 を押す

デジタル放送の場合

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。

録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、録画停止 を続けて2回押してください。

アナログ放送の場合

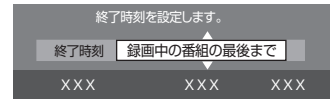
- 録画ボタンを1回押すと、「○○：○○まで録画します。」とメッセージが表示され1時間録画が始まります。
- 終了時刻を変えたいときは、続けて録画ボタンを押すと、終了時間を指定できます。
- 録画停止などのボタン操作は、デジタル放送と同じです。

◇おしらせ◇

- 電源スイッチ設定（⇒**52**ページ）を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは録画は自動で止まりません。
- 録画を止めるときは 録画停止 を押してください。録画終了時刻を設定したいときは⇒**右記**をご覧ください。

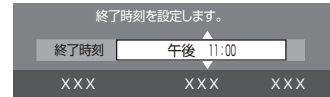
録画終了時刻の設定をやり直すには

1 録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

●録画 を押す

（デジタル放送の画面例）

2 終了時刻を選ぶ（1分単位）

で選び

を押す

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。（カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。）

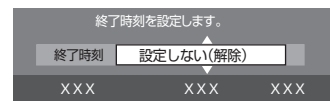
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 途中で録画を止めるときは、録画停止 を続けて2回押して停止してください。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。
- アナログ放送のときは「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

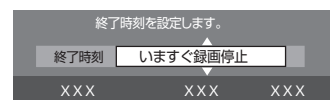
- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
- 録画を途中で止めたいときは、録画停止 を続けて2回押してください。

設定を解除したいとき

- 「設定しない（解除）」を選びます。

「設定しない（解除）」を選んだとき

- 「設定しない（解除）」を選んだときは、録画停止 を押すまで最長12時間録画が続きます。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。

- 続いて「する」を選ぶと、実行中の録画が停止します。

録画の終了時刻について

- 番組表で区切られた、番組の開始時刻約2分前を過ぎて録画を開始すると、次の番組の終了時刻が設定されます。
- 録画予約が録画している番組の終了時刻と重複するときは、録画中の番組は途中で録画停止となり、録画予約が実行されます。

録画中に別の番組を見たいときは（デジタル放送のみ。地上アナログ放送録画中は、チャンネルを切り換えられません。）

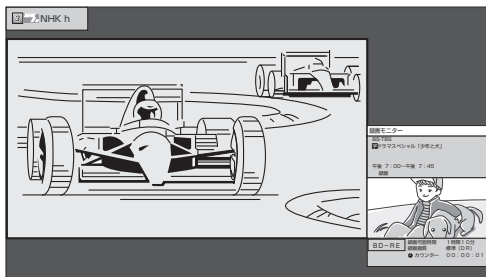
- デジタル放送を録画しているときに選局すると、録画を続けたまま別の番組が見られます。

1 **地上D BS CS 地上Aのいずれかを押し、見たい放送を選ぶ**

2 **1～12または選局でチャンネルを選ぶ**

◇おしらせ◇

録画の確認をしたいときは

- 録画中にBD状態ボタンを押すと、録画中の映像が画面右下に表示されます。（録画モニター）

- もう一度BD状態ボタンを押すか、終了ボタンを押すと録画モニターを終了します。
- 録画モニターが表示できるのは、左画面がデジタル放送視聴中のみです。
- 音声は、左画面（デジタル放送）の音声が出力されます。
- 録画モニター表示中に入力切換を行ったり、録画が終了したときは、録画モニターが終了します。
- 録画モニターに表示される録画経過時間は目安です。映像によっては、経過時間や映像の動きが一定に進まない場合があります。

CATV(ケーブルテレビ)の番組を録画する

- CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）を本機の外部入力端子（入力 4）に接続すると、BD に CATV（ケーブルテレビ）放送が録画できます。
- 録画制限のない番組が録画できます。
- 画質はアナログ放送と同等になります。
- STB（セットトップボックス）の D 端子から入力した映像は録画できません。

◇**おしらせ**◇
- CATV（ケーブルテレビ）の録画中は、アナログ放送の視聴ができません。デジタル放送は視聴できます。

灰色で表示した手順は STB（セットトップボックス）の操作です。

1 CATV(ケーブルテレビ)のSTB(セットトップボックス)を本機の入力4端子に接続する

2 入力切換メニューを表示し、「入力4」を選ぶ

3 CATV(ケーブルテレビ)の視聴操作をする

4 録画を開始したいところで、録画ボタンを押す

●録画 を押す

5 録画を終了したいところで、録画停止ボタンを押す

録画停止 を押す

- 録画中にもう一度録画ボタンを押すと、録画終了時間を指定できます。

i.LINK で接続しているときは

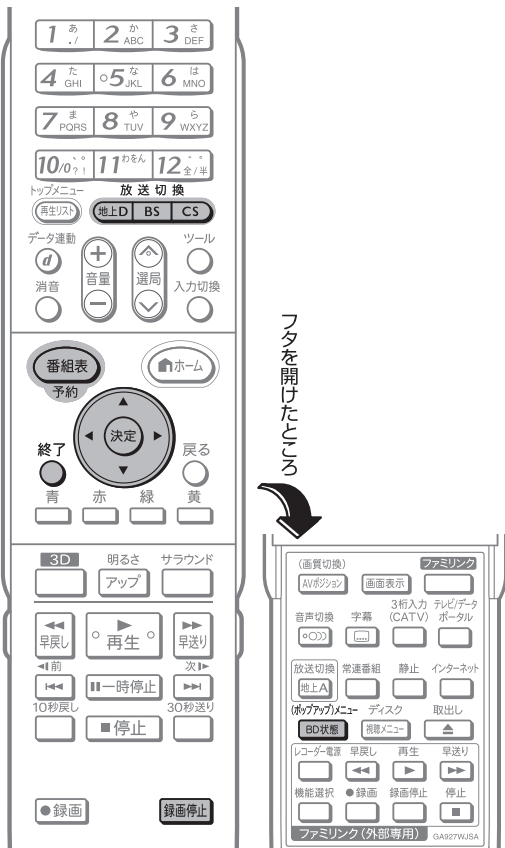
- CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）が i.LINK 出力に対応していれば、i.LINK ケーブルでの接続をおすすめします。ただし、本機の i.LINK 端子は入力専用であるため、ケーブルテレビの映像をご覧になるためには別途映像・音声ケーブルの接続が必要です。(⇒ **332** ページ)
- デジタル放送をハイビジョン画質（DR）で BD に録画することができます。
- ホームメニューから「設定」－「機能切換」－「BD 設定」－「BD 録画設定」－「ケーブルテレビ設定」を選び「する」にすると、CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から BD に録画予約できます。STB（セットトップボックス）で番組を選び、本機への録画予約を設定してください。本機で予約設定する必要はありません。詳しくは、STB（セットトップボックス）の取扱説明書をご覧ください。
- STB（セットトップボックス）の機種によっては、録画できない場合があります。
- i.LINK 録画は、デジタル放送の録画に比べて開始まで時間がかかります。STB（セットトップボックス）の機種によっては、録画予約で番組の先頭が録画できない場合がありますので、録画したい番組の開始時刻の少し前から録画予約することをおすすめします。

◇**おしらせ**◇
- 「ケーブルテレビ設定」を「する」に設定した場合、「クイック起動設定」が「する（常に BD は有効)」に固定されます。

デジタル放送の番組を録画予約する

- デジタル放送は、番組表を使って録画予約ができます。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。
- デジタル放送の録画予約と、アナログ放送や外部ビデオ入力の録画予約の操作は異なります。デジタル放送以外の録画予約については、**128**ページをご覧ください。

◆ 重 要 ◆

- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」（⇒ **111** ページ）をご覧ください。
- IPTV、インターネット、IrSS™、ホームネットワーク、USB メモリーの写真や音楽を視聴している時は録画予約できません。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。
- 録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。（⇒ **114** ページ）
- 録画画質は、予約のあとで変えることもできます。（⇒ **130** ページ）

2 録画用BD-REまたはBD-Rを挿入する（⇒38ページ）

- 新品の BD-RE/BD-R ディスクを挿入した場合は、録画に使えるようにするための処理「初期化」が始まります。初期化が済むまでお待ちください。（⇒ **39** ページ）
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、（ポップアップ）メニュー BD状態 を押します。
- 再生リストが表示されたときは、終了 を押し、再生リストを消します。

3 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS のいずれかを押して選びます。

4 番組表を表示する

番組表 予約 を押す

5 予約したい番組を選ぶ

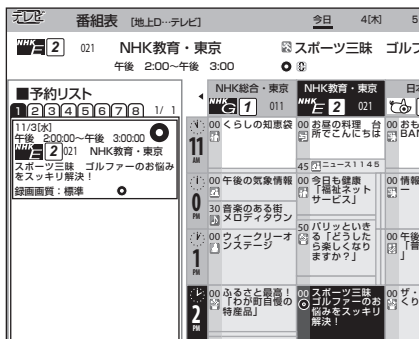
決定 で選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（⇒**60**·**61** ページ）
- 視聴年齢制限が設定されている番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号（⇒ **102**ページ）を入力してください。
- 常連番組の番組欄（⇒ **68** ページ）から番組を選ぶこともできます。

次のページに続く

6 予約する

決定 を押す

- 「この番組をBD録画予約しました」というメッセージが表示され、画面左の予約リストに、予約が表示されます。
- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。
- 「優先予約設定」(⇒ **171** ページ) を「USB-HDD」に設定しているときは、もう一度同じ番組を選び「予約方法」から「BD録画」を選びます。

録画禁止の番組を予約したときは

- 視聴予約となります。

次のような画面が表示されたときは

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

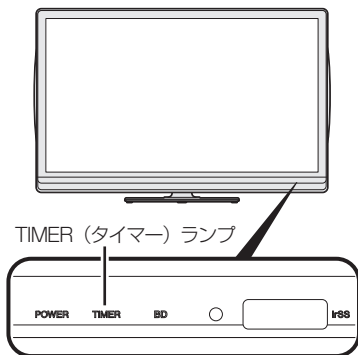
予約する　予約しない

- **次**ページをご覧ください。

7 番組表を消す

番組表 予約 を押す

- 予約が設定されると、本体前面のTIMER（タイマー）ランプが点灯します。

▼本体前面

予約した内容を取り消し・変更したいときは

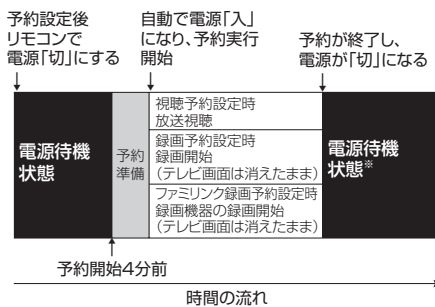
- ⇒ **130** ページをご覧ください。

録画予約設定後、BDディスクを取り出したときは

- 録画予約開始時刻の4分前までに録画用のBDを挿入してください。

◇**おしらせ**◇

- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
- 番組表で番組情報（⇒ **60** ページ）の表示中に予約をしたときや、ジャンル検索（⇒ **61** ページ）画面、番組詳細検索（⇒ **62** ページ）画面から予約をしたときは、予約リストは表示されません。
- 録画ができないときは、「故障かな？と思ったら」(⇒ **368** ページ）を参照してください。エラーメッセージについては、(⇒ **384** ページ）をご覧ください。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

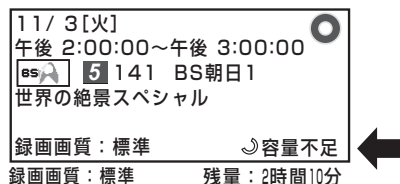
予約録画中に停止したいときは

- 録画停止ボタンを押します。「予約を解除しますか？」のメッセージ画面で「する」を選びます。

予約設定時のメッセージについて

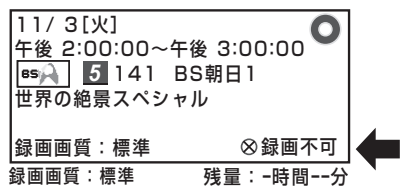
• 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ 58 ページ）に「容量不足」と表示されるとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 容量不足
録画画質：標準 残量：2時間10分

ディスク録画可能時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

• BD-RE に録画予約しているときは、再生リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。（タイトル消去⇒ **160** ページ）
• BD-R に録画予約しているときは、不要な番組を消去しても残量は増えません。
別の録画用ディスクを挿入してください。

BD に録画予約している場合で、予約リスト(⇒58ページ)に「録画不可」と表示されるとき

11/ 3[火]
午後 2:00:00～午後 3:00:00
BS 5 141 BS朝日1
世界の絶景スペシャル
録画画質：標準 ⊗録画不可
録画画質：標準 残量：-時間--分

ディスクが入っていないときに表示されます。

再生専用ディスクが入っているときに表示されます。

ディスクに書き込みができないときなどに表示されます。

• ディスク保護設定がされている書き込み不可のディスクが挿入されているときなどは、予約リストに「録画不可」と表示されます。（BD ディスク保護⇒ **159** ページ）

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　予約しない

• 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残したいとき

• 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
• すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残したいとき

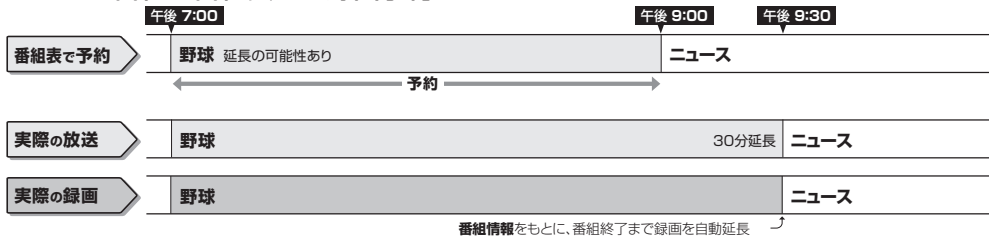
• 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
• 設定中の予約は、設定されません。

◇おしらせ◇

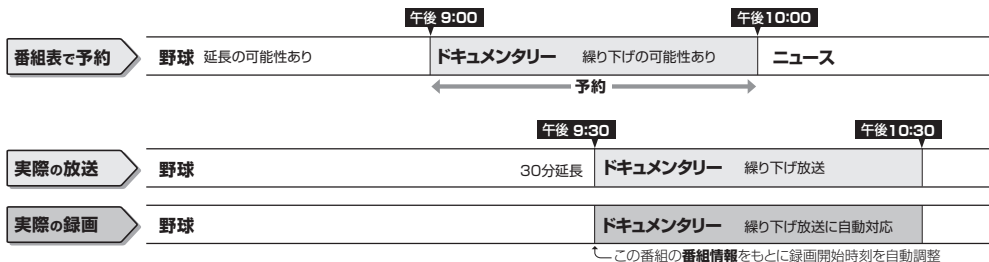
• レコーダー機能利用時のエラーメッセージ（⇒ **384** ページ）も併せてご覧ください。
• 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

番組表でのデジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

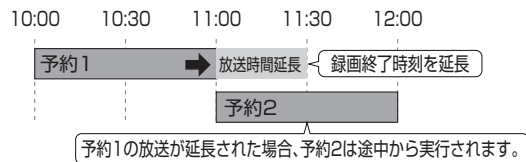
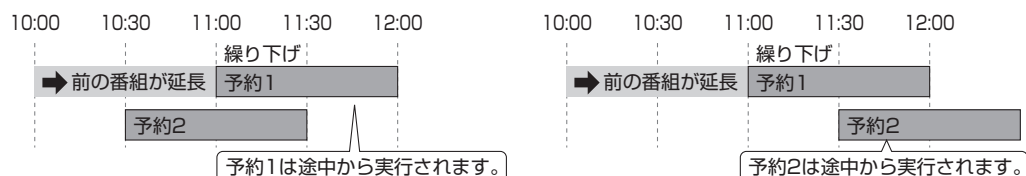
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)
- アナログ放送、外部ビデオ入力の録画には対応していません。

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)

番組の延長により、予約が重なった場合

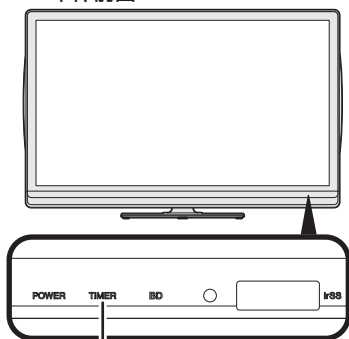
- 先に始まった予約録画が終了したあと、次の重なった予約録画を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

見たい番組を予約する（視聴予約）

- 番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）
- 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。
- 一度 BD への録画予約を設定し、もう一度同じ番組を選んで、「予約方法」を「視聴予約」に変更します。

◇**おしらせ**◇

- 地上アナログ放送の視聴予約はできません。
- デジタル放送の有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 録画予約と合わせて、32 番組まで予約できます。さらに新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（⇒ **130** ページ）が必要です。
- 予約を確認することもできます。(⇒ **130** ページ)
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を取り消して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。
- 2 画面表示中に視聴予約していた番組が始まると、2 画面表示が解除され、視聴予約をしていた番組が 1 画面に表示されます。
- 視聴予約が設定されると、本体前面の TIMER（タイマー）ランプが点灯します。

▼本体前面

TIMER（タイマー）ランプ

1 123ページの手順3～124ページの手順6で視聴予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選び、録画予約を設定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒**60**·**61** ページ)

2 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「予約方法」で「視聴予約」を選ぶ

で選ぶ

4 「変更する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

予約の取り消し、または予約の内容を変更して

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻
―――	11/3 [火]	午後 2 : 00	～ 午後 3 : 00

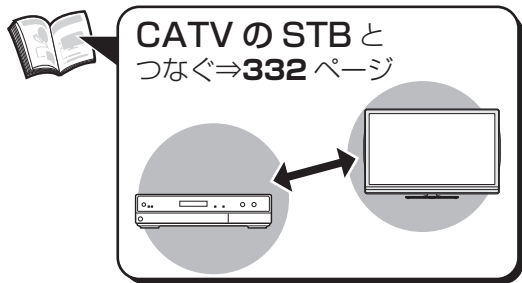
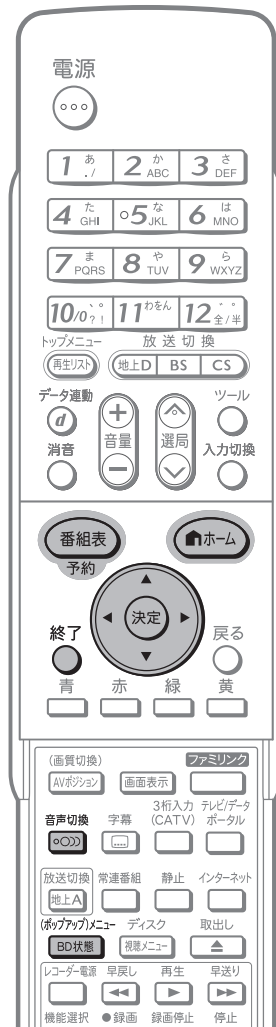
BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間

変更する　変更しない　取り消す

◇**おしらせ**◇

- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、視聴予約の待機中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
本体の電源をオフにすると…
  - 視聴予約が実行されません。

アナログ放送／CATV（ケーブルテレビ）の番組を録画予約する

- 地上アナログ放送は、録画予約専用の「アナログ予約画面」で予約します。
  - 番組内容は表示されません。
  - 番組表はありません。
  - チャンネルの時間帯を選ぶだけで録画予約できます。
  - アナログ予約画面は、チャンネルごとに1時間単位で区切った画面です。
  - 録画開始時刻、終了時刻を 1 分単位で設定したい場合は、アナログ予約画面で予約を行った後、アナログ予約の変更で 1 分単位の変更を行います。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。
- 地上アナログ放送の録画中は、放送やチャンネルを切り換えることはできません。
- 視聴中に地上アナログ放送の録画予約の開始時刻になると、自動的にチャンネルが切り換わります。
- 本機の入力 4 端子に接続した CATV も録画予約できます。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 録画画質を変更する場合、録画画質の設定をします。（⇒ **114** ページ）
- 外部ビデオ入力端子からの二重音声放送を録画するときは、あらかじめ音声を二ヶ国語に設定しておきます。（⇒ **157** ページ）
- CATV（ケーブルテレビ）を録画予約するときは、CATV 側でも予約設定を行います。（⇒予約設定については、STB（セットトップボックス）の説明書をご覧ください。）

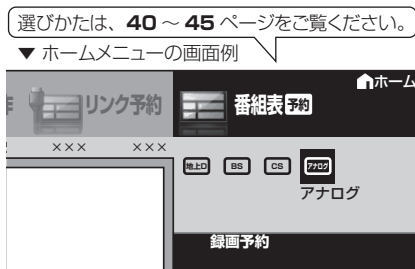
2 録画用BD-REまたはBD-Rに録画する場合はディスクを挿入する（⇒38ページ）

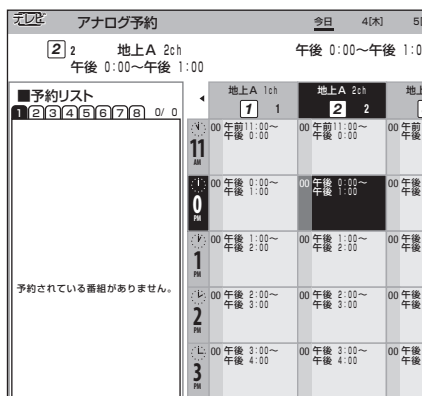
- 新品の BD-RE または BD-R を挿入したときは、本機で録画が行えるようにするための準備「初期化」が自動的に始まります。（⇒ **39** ページ）
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、（ポップアップメニュー BD状態）を押します。
- 再生リストが表示されたときは、（終了）を押し、再生リストを消します。

3 ホームメニューを表示して、「番組表（予約）」－「（アナログ）」－「録画予約」を選ぶ

（ホーム）を押し
（決定）で選び
（決定）を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

4 チャンネル（CATVの場合は「入力4」）と録画開始時間帯を選ぶ

（決定）で選び
（決定）を押す

- 「この番組を BD 録画予約しました」というメッセージが表示されます。

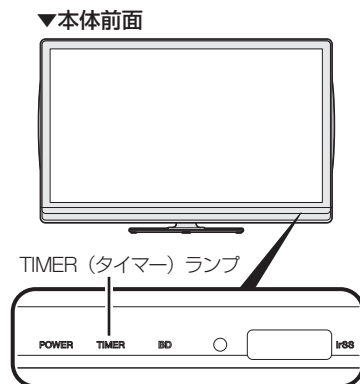
予約を 1 分単位で設定したい場合は

- アナログ予約を変更します。
（⇒ **132** ページ）

5 アナログ予約画面を消す

（番組表 予約）を押す

- 予約が設定されると、本体前面右下の TIMER（タイマー）ランプが点灯します。

▼本体前面

アナログ放送で予約した番組が二重音声放送の場合、現在の音声設定によらず、主／副で録画開始されます。

- 音声切換ボタンにより、主音声、副音声への切換ができますが、録画中に音声を切り換えると、録画している音声も連動して切り換わります。
主音声に切り換えた部分は主音声のみ、副音声に切り換えた部分は副音声のみの録画になりますので、途中で音声を切り換えた録画番組を再生すると、音声切換ボタンを押しても、主音声に切り換えて録画した部分は主音声のみ、副音声に切り換えて録画した部分は副音声のみの再生になります。（主／副以外で録画した番組の再生時の表示は「ステレオ」と表示されます。）

予約の確認・取り消し・変更をするには

デジタル放送の予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 録画先をUSBハードディスクやファミリンク機器に変更するときや日時を指定して予約したいとき、視聴予約（⇒ **127** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

◇**おしらせ**◇
- 録画実行中の予約は「取り消す」のみ操作ができます。

実行中の予約録画を解除するには
- リモコンふた上の録画停止ボタンを押します。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」と表示される画面で「する」を選ぶと予約を解除できます。

1 番組表を表示する

を押す

2 ①予約リストを選ぶ
②確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

黄 を押す

で選び 決定 を押す

- で予約されている番組を選びます。
- でページ ①〜⑧ のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、**58** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

録画画質	録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法
標準（DR）	11/3［火］	午後 2：00	午後 3：00	BD録画

BD残時間： 1 時間 10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

3 ①「取り消す」を選ぶ
②「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

- 予約が取り消されます。
手順 **2** の画面に戻ります。

◆ 予約の設定を変更するとき

つづき

③変更したい項目の内容を選ぶ

で項目を

で内容を選ぶ

予約の取り消し、または予約の内容を変更してく

録画画質 録画日 開始時刻 終了時刻
標準(DR) 11/3 [火] 午後 2 : 00 ～ 午後 3 : 00
BD残時間： 1 時間 10 分 今回の予約時間： 1 時間
変更する 変更しない 取り消す

設定項目	予約方法	録画日	録画画質[※3]	録画先自動切換
設定内容	・BD 録画 ・USB-HDD 録画 ・ファミリンク録画[※1] ・視聴予約[※4]	・日付[※2] ・毎週○曜 ・毎日 ・月ー土 ・月ー金	・標準(DR) ・2倍 ・3倍 ・5倍 ・7倍 ・8.5 倍 ・10 倍	・する ・しない

※１ 予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時間」「終了時間」は変更できません。
※２「日時指定予約」の場合、「日付」は、「今日の日付」～「28 日後の日付」が選べます。
※３「録画画質」が選択できるのは、予約方法が BD 録画の場合のみです。USB-HDD 録画、ファミリンク録画、視聴予約は「録画画質」を選択できません。
※４ 視聴予約については、⇒ **127** ページをご覧ください。

- アナログ放送または外部ビデオ入力の場合に変更できる項目については、⇒ **132** ページをご覧ください。
- 「録画先自動切換」を「する」に設定しておくと、「予約方法」が「BD 録画」の場合で BD に録画できないときに、「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」で選んでいる機器に録画されます。

4 「変更する」を選ぶ

で選び
決定 を押す

5 「戻る」で決定する

決定 を押す

戻る

繰り返し予約をする

- 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し予約できます。

1 **123ページの手順1～124ページの手順6で繰り返し予約をしたい番組を選び、録画予約を設定する**

2 **上下左右カーソルボタンでもう一度同じ番組を選び、決定する**

- 予約リストからも選べます。

3 **①上下左右カーソルボタンで「録画日」を選ぶ**

②上下カーソルボタンで「毎週○曜」「毎日」「月－土」「月－金」のいずれかを選ぶ

- 青 を押すと、「毎日予約」に設定できます。
- 赤 を押すと、「毎週予約」に設定できます。
- 黄 を押すと、「日時指定予約」[※1] に切り換えられます。

4 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

5 **「戻る」で決定する**

戻る

※１「日時指定予約」の場合は、指定した時間で繰り返し予約を行います。
「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後 3 時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

◇**おしらせ**◇

- 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

アナログ放送の予約の確認・取り消し・変更をするには

1 ホームメニューを表示して、「番組表(予約)」−「アナログ(アナログ)」−「録画予約」を選ぶ

2 ①予約リストを選ぶ ②変更・取り消しをしたい予約を選ぶ

黄

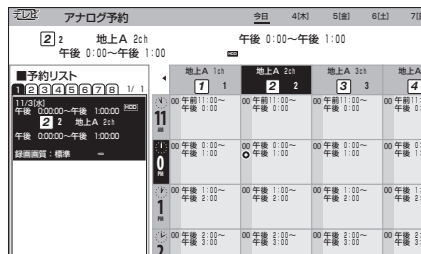
を押す

で選び

を押す

3 予約の設定内容を変更する

で選び

を押す

- 録画日や時間、録画画質の変更をした場合は「変更する」を選んで決定ボタンを押します。
- 予約を取り消す場合は左右カーソルボタンで「取り消す」を選んで決定ボタンを押します。

設定項目	録画日	開始時刻・終了時刻	録画画質
設定内容	・日付※ ・毎週日曜 〜 ・毎週土曜 ・毎日 ・月ー土 ・月ー金	・1 分単位	・SP ・LP

※「日付」は、「今日の日付」〜「28 日後の日付」が選べます。

- 予約方法は「BD 録画」のみです。
- 変更した内容が予約リストに反映されます。

4 アナログ予約画面を消す

を押す

◇おしらせ◇

- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
- アナログ放送に切り換えてから番組表ボタンを押すと、アナログ放送では番組表が表示されない旨のメッセージとともに、アナログ予約画面が表示されます。
- 録画ができないときは、「故障かな？と思ったら」（⇒ **368** ページ）を参照してください。エラーメッセージについては、（⇒ **384** ページ）をご覧ください。
- 手順 **3** で決定したあとに、次のような画面が表示されたときは、⇒ **125** ページをご覧ください。

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか？

予約する　予約しない

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

- ⇒ **124** ページ

予約録画中に停止したいときは

- 録画停止ボタンを押します。「予約を解除しますか？」のメッセージ画面で「する」を選びます。

BD に録画予約設定後、BD ディスクを取り出したときは

- 録画予約開始時刻の 4 分前までに録画用の BD を挿入してください。

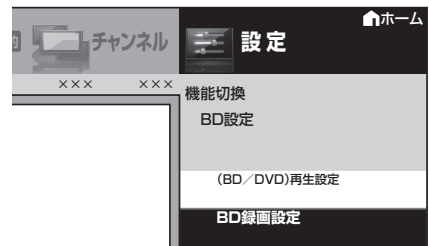
BD 録画ができないときに自動でファミリンク録画に切り換えるように設定する（録画先自動切換）

- 本機は、BD 録画準備中にディスクの状態をチェックします。BD 録画ができない場合に、自動的にファミリンク機器や USB ハードディスクに代理録画をするように設定できます。

項目	内容
する	本機で BD に録画ができない状態のときに、ファミリンク機器または USB ハードディスクへの録画に切り換えます。
しない	録画先自動切換を行いません。

◆ **重　要** ◆

- 「する」に設定し BD に録画できない場合は、「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」で選んでいる機器に録画されます。
- ファミリンク機器や USB ハードディスクの残時間によっては、代理録画ができない場合があります。あらかじめ機器の残時間をご確認ください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「BD録画設定」を選ぶ

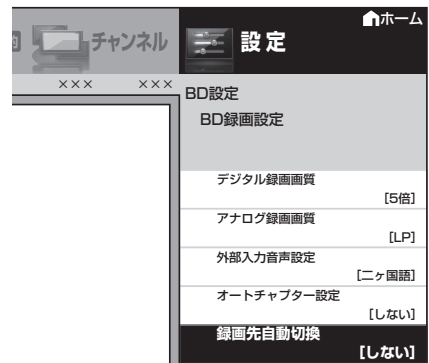
で選び
を押す

ホーム
チャンネル
設 定
機能切換
BD設定
(BD／DVD)再生設定
BD録画設定

3 「録画先自動切換」を選ぶ

で選び
を押す

4 「する」「しない」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

BD・DVD を再生する

- BD や VR フォーマットで記録されている DVD は、「再生リスト」から録画した番組を選んで再生します。
- ファイナライズされたディスクであれば他機で録画した DVD ディスクも再生できます。（ファイナライズされていない DVD ディスクは再生できません。）

ファイナライズとは

- 録画した DVD ディスクを他機でも再生できるようにする操作です。（本機にはファイナライズを行う機能はありません。録画した機器でファイナライズを行ってください。）
- ビデオフォーマットの DVD ディスク（ファイナライズ済）の場合は、タイトルメニューが表示されます。タイトルメニューは録画した機器により異なります。

◇おしらせ◇

再生リストについてお困りの際は

- ⇒ **136** ページをご覧ください。

再生できるディスクについて

- ⇒ **408** ページをご覧ください。

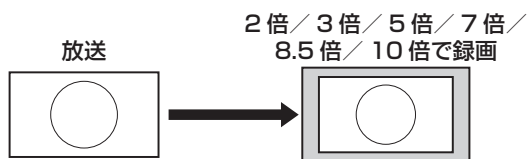
再生できないディスクについて

- ⇒ **410** ページをご覧ください。

録画した連動データ放送の再生について

- ⇒ **150** ページをご覧ください。

再生時の映像について

- 2 倍／ 3 倍／ 5 倍／ 7 倍／ 8.5 倍／ 10 倍で録画した番組を再生したときは、再生映像が放送視聴時と違って見える場合があります。

このような場合は画面サイズを調整してください。（⇒ **80** ページ）

BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R、ファイナライズされたDVD ディスクを再生する

1 再生するBD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rディスクを挿入する

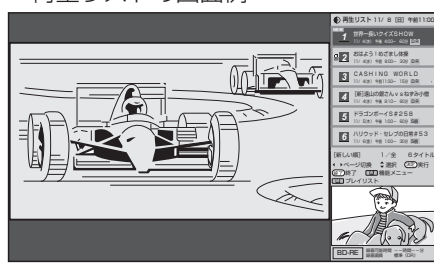
- ディスクの入れかた⇒ **38** ページ
- 再生リストが表示された場合は、手順 **3** に進みます。
- ディスクを挿入したまま放送や外部入力を視聴していた場合は、手順 **2** に進みます。
- ファイナライズされた DVD ディスクを再生する場合は、手順 **2** に進みます。

2 再生リストを表示させる

トップメニュー
を押す

▼再生リストの画面例

3 再生したい番組を選ぶ

で選び
を押す

- 1ページに 6 タイトルまで表示されます。7 タイトル以上あるときは、 を押すと、ページを切り換えて表示できます。

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 途中で停止した BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-R を再生したときは、前回停止した位置から再生されます。（つづき再生⇒ **145** ページ）
- 再生を止めるときは ■停止 を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

◇**おしらせ**◇

- ブルーレイ 3D™ を再生する場合は、再生に関する注意文が表示されます。内容をお読みになり、「確認」を選んでください。ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「BD 設定」−「（BD/DVD）再生設定」−「3D 通知設定」を「しない」にすると、再生に関する注意文が表示されなくなります。

再生リストについて

再生リスト

▼再生リストの例

・選んでいるタイトルが再生されます。（サムネイルの映像はイメージです。そのため、再生の動きが一定に進まない場合があります。）

タイトル（録画した番組）
- タイトル名、録画時間、録画画質※、録画した日時が表示されます。
  ※本機以外で録画したディスクでは、表示されない場合があります。
- １ページに６タイトルまで表示されます。7タイトル以上あるときは、左右カーソルボタンでページを切り換えて表示できます。
- 表示しているタイトルは、上下カーソルボタンで選び、決定すると再生できます。タイトル名の左側に表示される数字はリモコンの数字ボタンに対応しています。対応している数字ボタンを押しても、タイトルを選んで再生できます。

ページ数とタイトル数

操作のしかた
- 赤ボタン：機能メニューを表示してタイトルを操作できます。（⇒**158**･**159**･**160**～**161**ページ）
- 緑ボタン：プレイリストのあるディスクを挿入したときに、「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えます。

カウンター表示
- ディスクの情報、録画可能時間、タイトル番号、チャプター番号、カウンターなどが表示されます。（⇒**116**ページ）

◇おしらせ◇

- 再生リストに表示される全タイトル数は、BDの場合１～200番組、DVDの場合１～99番組です。
- 再生リストに表示されるタイトル名は、最大で40文字です。他機で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- 再生リスト表示中の左画面に地上アナログ、外部入力が表示されているときは、サムネイル（小画面）に映像は表示されません。
- 再生リスト表示中の左画面では、データ放送は表示されません。

本体のボタンで再生リストを操作する場合は
- 再生リスト表示中は、本体のボタンでも操作できます。（⇒ **32** ページ）
- 本機の状態によっては、再生リストが表示されない場合や、自動的に終了する場合があります。

使用制限のあるディスクを入れたときは
- 他機で使用制限をかけたBDをセットすると、右のような画面になります。［1］～［10］の数字ボタンで暗証番号を入力してください。

- 暗証番号を３回まちがえると、ディスクが排出されます。ディスクを挿入してから、正しい暗証番号を入力してください。

ファイナライズされたDVDディスクの再生について
- DVD-R DL（2層）ディスクは、再生できない場合があります。
- デジタル放送を録画したDVDディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
  - 番組情報は表示できません。
  - 連動データは表示できません。
  - 字幕は表示できません。
- ファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

再生リストの一覧表示の並びかたを変えるには

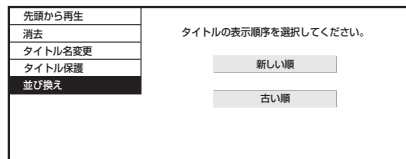
1 トップメニュー 再生リスト を押す

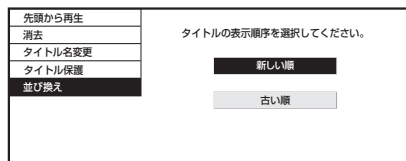
再生リストを表示する

2 赤 を押す

機能メニューを表示する

3 で選び 決定 を押す

「並び換え」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「新しい順」「古い順」のいずれかを選ぶ

録画した番組をホームメニューから再生する

- ホームメニューからも、録画した番組を選んで再生できます。

1 **再生の準備をする**

- 本機の電源を入れます。

2 ホーム を押し で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選ぶ

「BD」を選ぶ

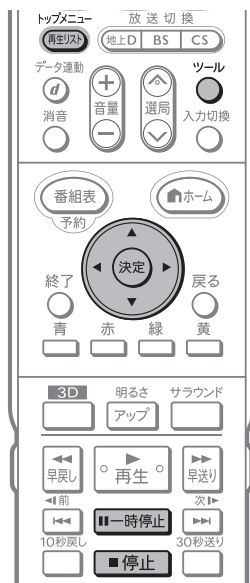
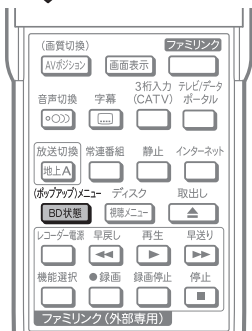
4 で選び 決定 を押す

再生したい番組を選ぶ

- 1ページに8タイトルまで表示されます。9タイトル以上あるときは、黄 を押すと次ページ、緑 を押すと前ページの一覧が表示されます。
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生を止めるときは、■停止 を押します。

- 手順 **4** で、1 ～ 8 のボタンを押しても選べます。

市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生する

• 映画などを収録した市販の BD ビデオや DVD ビデオディスクを再生します。

フタを開けたところ

◇おしらせ◇

• 市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示に従って操作してください。
• 海外テレビ番組の DVD ビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
• 市販の BD ビデオの再生中、ディスクによっては自動で一時停止になるものもあります。一時停止ボタンを押すと、一時停止を解除できます。
• BD ビデオ再生時の操作で、動作が遅くなったり正常に再生しなくなることがあります。
  このようなときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ初期化」で、BD ビデオの初期化を行います。

設定項目	設定内容
する	本機に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
しない	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

• 「BD ビデオ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。

1 ディスクを挿入する（⇒38ページ）

• 挿入すると「ディスク読み込み中」と表示されます。読み込み後、自動的に再生が始まるディスクもあります。
• 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
• DVD ビデオの場合視聴制限がかけられている場合があります。（⇒**下記**）

2 再生を止める

■停止 を押す

• つづき再生については⇒ **145** ページ

◇おしらせ◇

• ブルーレイ 3D™ を再生する場合は、再生に関する注意文が表示されます。内容をお読みになり、「確認」を選んでください。ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「BD 設定」－「（BD/DVD）再生設定」－「3D 通知設定」を「しない」にすると、再生に関する注意文が表示されなくなります。
• 3D映像と2D映像の切り換えについては⇒**217** ページ

視聴制限がかけられている場合は

• BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD の視聴制限の設定を変更してください。
• BDの視聴制限年齢については⇒ **154** ページ
• DVD ビデオの場合、再生できるディスクでも、シーンによっては視聴制限がかけられている場合があります。

「はい」を選んだとき

暗証番号を入力すると、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を 3 回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき

視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクが排出される、などディスクによって動作が異なります。）

トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

- 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、「トップメニュー」が記録されているものがあります。
- ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。

を押す

再生中にトップメニューを表示する

トップメニューの例

- 画面の指示にしたがって操作してください。

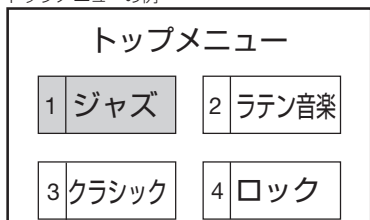
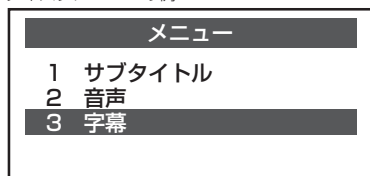
ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

- 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
- ディスクにメニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。

（ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

再生中にディスクメニューを表示する

ディスクメニューの例

- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ポップアップメニューを表示させるには

- BDビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

1 （ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

再生中にポップアップメニューを表示する

2 で選び 決定 を押す

項目を選ぶ

ポップアップメニューの例

- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

3 （ポップアップ）メニュー BD状態 を押す

操作が終わったら、ポップアップメニューを消す

- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

◇**おしらせ**◇

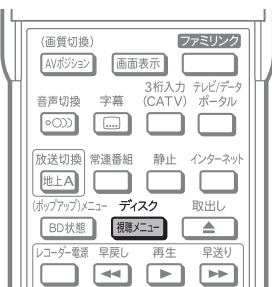
「テレビ＋インターネット」または「2画面＋インターネット」のときに、BDビデオやDVDビデオディスクのトップメニュー／ディスクメニューの操作をしたいときは

- リモコンの（ツール）を押します。「○○画面の操作」※を選び、決定ボタンを押します。「する」を選び、決定ボタンを押すと、トップメニュー／ディスクメニューの操作ができるようになります。（「する」を選ぶと、インターネットの操作はできません。）

※ ○○には、再生しているディスクの種類が表示されます。

音楽用 CD を再生する

• 市販の音楽用 CD を再生できます。

フタを開けたところ

◇**おしらせ**◇

再生リストが表示されないときは

• 再生リストボタンを押すと再生リストが表示されます。
• 再生ボタンを押して直接再生することもできます。
• 黄 または ディスク 視聴メニュー を押すと視聴メニューに切り換わります。カーソルボタンで曲を選び、決定ボタンを押して再生できます。

再生する

1 再生するCDを挿入する (⇒**38**ページ)

• 再生リストに切り換わり、再生が始まります。
• 再生リストは、1ページに 6 タイトル（曲）まで表示されます。
• タイトルが 7 つ以上あるときは、 でページを切り換えることができます。
• ディスクが挿入されたまま放送や外部入力を視聴していた場合は、 再生 を押すと再生リストを表示します。
• 再生を止めるときは ■停止 を押すと、それまで視聴していた放送または外部入力に戻ります。

曲を選んで再生させるには

1 CDを挿入して再生リストを表示させる

再生 を押す

• 再生が始まります。

2 曲番号を選ぶ

で選び 決定 を押す

• 選んだ曲が再生されます。

写真が記録された DVD-RW や CD-R/RW を再生する

1 写真が記録されたDVD-RWやCD-R/RWを挿入する

2 グループ化された写真一覧を見る

トップメニュー

を押す

グループには マークが付いています。

- 記録された情報量によっては、操作可能になるまで多少時間（数十秒）がかかります。

3 グループ内の写真を見る

で選び 決定 を押す

- １画面最大 72 枚表示できます。

4 選んだ1枚の写真を拡大表示する

で選び

を押す

画面表示された写真をスライドショーで見る

- グループ一覧画面や写真一覧画面で写真を で選び、 再生 を押します。選んだ写真からスライドショー再生が始まります。
- 一時停止するときは 一時停止 を押します。
- 再生 を押すと一時停止が解除されます。
- ■停止 を押すと写真再生が停止し、放送視聴画面に戻ります。

スライドショーの表示間隔とリピートを設定する

1 写真一覧画面を表示中に 緑（写真再生設定）を押す

2 「スライドショー速度」を選び、決定する

3 「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」のいずれかを選び、決定する

- 上下カーソルボタンを押すたびに、次のように変わります。

4 「リピート再生設定」を選び、決定する

5 「する」または「しない」を選び、決定する

6 戻るボタンを押し、設定を終了する

■ 本機で再生できないファイル形式について

- JPEG 以外の静止画（TIFF など）は再生できません。
- JPEG 形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブ JPEG は再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、また JPEG ファイルであっても MOTION JPEG は再生できません。

■ 静止画を保存した CD-R/-RW ディスクの再生について

- 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。
- マルチセッション・ディスクは再生することができません。
- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピーなど、編集された静止画や、インターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- ファイル名やフォルダ名が半角英数字以外のときは、そのファイルやフォルダは認識できません。
- 本機は、次のようなデータが保存された CD-R/-RW が再生できます。
  - EXIF 情報を含んだ画像ファイル（「DCF」準拠のファイル）
  - 画像サイズ : 最小縦 32 ×最小横 32 ～最大縦 4320 ×最大横 7680 ピクセル
  - フォルダ数 : 最大 256
  - ファイル数 :1 フォルダ内最大 256
  - ファイルサイズ :20MB 以下
  - フォルダ階層 :8 階層まで

BONUS VIEWTM、BD-LIVE 対応の BD ビデオを見る

- BD ビデオには BONUS VIEWTM（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）という新しい再生機能に対応したものがあります。

  BONUS VIEWTM（ボーナスビュー）：2 画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

  BD-LIVE（BD ライブ）：本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

◆ 重 要 ◆

BD-LIVE(BD ライブ）対応ディスクの BD ライブ機能を楽しむときは

- ダウンロードされた映像情報などを保存するために、USB メモリーが必要です。
- USB メモリーは、USB 2.0 に対応し、容量が 2GB 以上のものを準備してください。また、壁掛け設置をする場合は、全長 70mm 以下のものを準備してください。
- USB メモリーは、本体背面の BD-LIVE 専用外部メモリー USB 端子に接続してください。

BONUS VIEWTM 対応の BD ビデオを楽しむ

1 BDビデオをセットする

- BD ビデオをセットすると、自動的に再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、手動で再生を開始します。

2 ディスクの取扱説明書に従い、BONUS VIEW(ボーナスビュー)の操作をする

画面は一例です

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。
- 詳しい使い方については、ディスクの説明書をご覧ください。

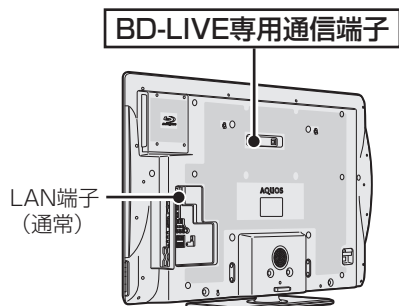
BD-LIVE 専用の LAN の接続と設定をする

- BD-LIVE 対応の BD ビデオには、インターネット経由（LAN 経由）で追加できる映像や字幕、通信対応のゲームなどがあり、そのために BD-LIVE 専用通信端子との接続、および LAN 設定が必要となります。

◆ 重 要 ◆

- BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむには、ブロードバンド環境が必要です。ご家庭のブロードバンド環境の確認などについては、⇒ **241** ページをご覧ください。
- 設定した BD-LIVE 用 LAN 設定で BD-LIVE 機能が利用できないときは、BD-LIVE 用 LAN 設定を再度確認してください。
- BD-LIVE 専用通信端子は、無線 LAN アダプターには対応しておりません。BD-LIVE を使用する場合には、必ず BD-LIVE 専用通信端子をブロードバンド環境に接続してください。

◆ 本機をブロードバンド環境につなぐ

1 市販のLANケーブルで、本体背面のBD-LIVE専用通信端子とブロードバンドルーターをつなぐ

- 詳しい接続のしかたについては、⇒ **243** ページをご覧ください。

◆ BD-LIVE 用の LAN 設定をする

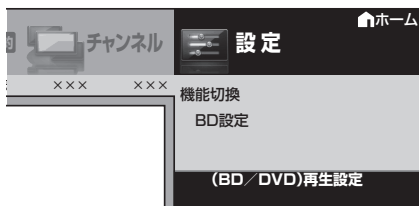
2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「BD設定」を選ぶ

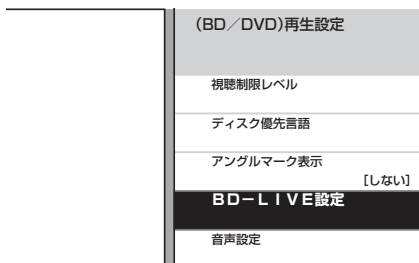
を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「(BD/DVD)再生設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「BD-LIVE設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 「BD-LIVE用LAN設定」または「BD-LIVE用プロキシサーバー設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 LAN端子(通常)と同じ手順で各項目を設定する

- BD-LIVE 用 LAN 設定は、**253** ページ「ネットワークの設定を変更する」の手順 **3** ～手順 **6** をご覧ください。
  ※ BD-LIVE 用 LAN 設定では、**253** ページ「ネットワークの設定を変更する」の手順 **5** のあとに「より詳細な設定を行いますか？」と表示されます。「する」を選ぶと、LAN 接続スピードを設定することができます。（通常は、工場出荷状態（自動検出）のままで使用できます。）
- BD-LIVE 用プロキシサーバー設定は、**257** ページ手順 **3** ～手順 **7** をご覧ください

◆ 接続制限を許可させる

- 以下の設定を行い接続を許可させます。

7 左記の手順**2**～**4**を行う

8 「接続制限」を選ぶ

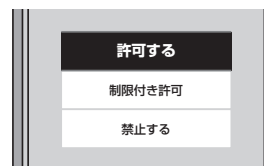
で選び
決定
を押す

9 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

- 「暗証番号設定」(⇒ **102** ページ) で設定した数字を入力します。暗証番号の設定が済んでいない場合は、暗証番号を設定してください。

10 「許可する」または「制限付き許可」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- この設定は、次に BD を挿入したときに有効になります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

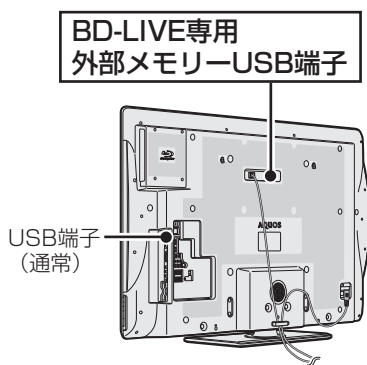
次のページに続く

BD-LIVE 対応の BD ビデオを楽しむ

1 ネットワークの準備をする（⇒**142〜143**ページ）

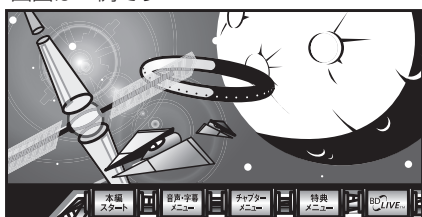
（⇒142〜143ページ）

2 USBメモリーを接続する

- USB メモリーを接続しないと BD-LIVE（BD ライブ）は楽しめません。
- USB メモリーは USB2.0 に対応し、容量が 2GB 以上のものを準備してください。（壁掛け設置をする場合は、全長 70mm 以下のものを準備してください。）

3 BDビデオをセットする

- 自動的に再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、手動で再生を開始します。

4 ディスクの取扱説明書に従い、BD-LIVE(BDライブ)の操作をする

画面は一例です

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、USB メモリーに保存されます。
- データが保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や番組のデータ量により、変わります。）この間、再生の操作が制限されることがあります。
- ダウンロードした BD-LIVE の情報は、本機の動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合、電源スイッチ長押しによるリセットを行うと失われます。そのときは BD-LIVE データのダウンロードをやり直してください。
- USB メモリーから再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機にセットしてください。別のディスクをセットすると、USB メモリーに保存された情報は再生できません。
- 前に記録されたほかのデータを含む USB メモリーを使うと、映像や音声が正しく再生されないことがありあます。

◇おしらせ◇

- USB メモリーは長期間ご使用している間に破損することがあります。この場合は、BD-LIVE の機能を正常にお使いいただけないことがあります。市販の USB メモリーを再度お買い求めください。

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE（BD ライブ）対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**256** ページをご覧ください。

USB メモリーに保存されたデータは消去できます。

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「個人情報初期化」－「BD ビデオ初期化」－「する」を選び、決定ボタンを押すと、データを消去できます。

USB メモリーの容量が足りないときは

- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを消去するか、新しい USB メモリーをお使いください。

USB メモリーを再生中に取りはずすと

- BD ビデオの再生が停止します。再生中は USB メモリーを取り外さないでください。

再生時の操作や設定

停止した場所から つづけて再生する／ はじめから再生する

BD ビデオ／ DVD ビデオ／ DVD（ビデオフォーマット）ディスクで、■停止を押して途中で止めた場合

◆ つづきから再生するときは

1 再生する

を押す

・ つづきから再生できます。

◆ はじめから再生するときは

1 もう一度、停止ボタンを押す

を押す

2 再生する

を押す

・ はじめから再生できます。

◇**おしらせ**◇

・ 電源プラグを抜いたり、ディスクを取り出したりすると、つづき再生が働かなくなります。
・ その他、本機ではディスクや再生状態によって、つづき再生が働かない場合や正常に働かない場合があります。
・ BONUS VIEW™ や BD-LIVE などの BDJ（Java）に対応した BD ビデオはつづき再生はできません。

BD-RE/BD-R/DVD（VR フォーマット）ディスクで、■停止を押して途中で止めた場合

◆ つづきから再生するときは

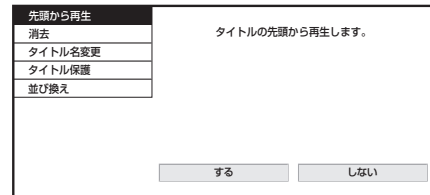
1 再生する

を押す

・ つづきから再生できます。
・ BD-RE などで再生リストが表示された場合は、つづき再生したいタイトルを選び、決定します。

◆ はじめから再生するときは

1 再生リストを表示して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニュー 再生リスト を押し
で選ぶ

2 機能メニューを表示する

赤 を押す

3 「先頭から再生」を選ぶ

で選び
を押す

4 「する」を選ぶ

で選び
を押す

・ 選んだタイトルがはじめから再生されます。

再生中に使えるボタン（再生時の便利な機能）

• 再生中に使えるいろいろな機能です。

早送り／早戻しするには（サーチ）

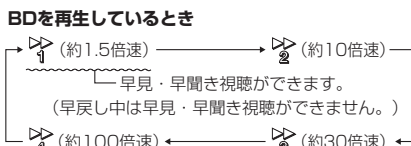
• 再生中の映像を早送り／早戻しできます。

または
を押す

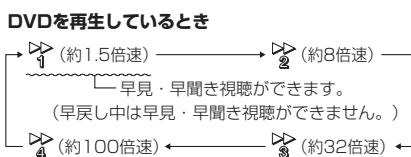
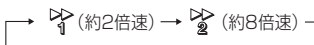
再生中に早送りまたは早戻しをする

• 押すたびにサーチの速さが変わります。

BDを再生しているとき

1（約1.5倍速）→ 2（約10倍速）→ 3（約30倍速）→ 4（約100倍速）
早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

• 市販のBDビデオ、LPCM音声のBD-RE/-Rは早見・早聞き視聴はできません。

DVDを再生しているとき

1（約1.5倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）→ 4（約100倍速）
早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

音楽用 CD を再生しているとき

• サーチを解除するときは、サーチ中に 再生 を押します。サーチが解除され、再生画面に戻ります。
• タイトル（録画した番組）をまたぐ早送り／早戻しはできません。

タイトル（録画した番組）／チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

• 1枚のディスクに複数の番組を録画した場合など、リモコンの 前 または 次 ボタンを押し、番組の頭出し（スキップ）が行える便利な機能です。

または
前
を押す

再生中に頭出しをする はじめに戻す

• 次 を押すと、次のタイトル／チャプター（トラック）を頭出しします。
• 前 を押すと、いま見ているタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。2回続けて押すと、前のタイトル／チャプター（トラック）の先頭に戻ります。
• タイトルを頭出ししたときは、録画した番組の古い順から頭出しされます。

少し先に飛ぶには（30秒送り）

• 約30 秒先に送ることができます。連続して押すと、さらに先へ送ることができます。
• コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
• 1回押すと約30秒先に飛びます。6回まで連続して押せます（約3分先）。

を押す

再生中に少し先に飛ぶ

少し前に戻すには（10秒戻し）

• 約10秒前に戻すことができます。ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
• 1回押すと約10秒前に戻ります。6回まで連続して押せます（約1分前）。

を押す

再生中に少し前に戻す

コマ送りするには（コマ送り／コマ戻し再生）

• コマ送り再生ができます。

次 または 前 を押して離す

一時停止中に押して離す

• 次 を押して離すと、コマ送りします。
• 前 を押して離すと、コマ戻しします。
• コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは、再生 を押します。コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。
• DVD ディスクを再生する場合、VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでは、映像がずれることがあります。

一時停止するには

• 再生中の映像を一時停止できます。

一時停止 を押す

再生中に一時停止する

• 一時停止します。
• 一時停止を解除するときは、再生 を押します。一時停止が解除され、再生画面に戻ります。
• 一時停止 を押しても一時停止を解除できます。

スローモーションで見るには（スロー／逆スロー再生）

• スローモーション再生ができます。

次 または 前 を 2 秒以上押す

一時停止中に2 秒以上押し続ける

• BD のタイトルは、約 1/16 倍速のスロー／逆スロー再生になります。
• DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
• スロー再生は、タイトルの最後になると解除されます。
逆スロー再生は、タイトルの先頭になると解除されます。
• スロー／逆スロー再生を解除するときは、再生 を押します。スロー／逆スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。
• タイトルをまたぐスロー／逆スロー再生はできません。

◇おしらせ◇

• ディスクによって操作が異なったり、操作が禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

以下のときは、「故障かな？と思ったら」（⇒ 371 ページ）をご覧ください。

• 早送り／早戻しがうまくいかないとき
• 一時停止／コマ送り再生がうまくいかないとき
• スロー再生がうまくいかないとき

デジタル放送を録画したディスクを再生する場合は

• DVD ディスクの場合、データ放送や字幕は再生できません。

早送り／早戻しについて

• 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
• 早送り／早戻し中は、画面にカウンタが表示されます。サーチを解除するとカウンタ表示は消えます。

BD−RE

早送り

• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
• 次ボタンで次のタイトルを頭出ししたときや早送りボタンなどで最後まで再生したときは、最後のシーンが数秒間一時停止状態になった後、次のタイトルを再生します。
上記の数秒間の一時停止状態のときに、早戻しボタンを押すと、そのシーンから早戻し再生が行えます。

30 秒送り／ 10 秒戻しについて

• 30 秒送り／ 10 秒戻しを行うと、リピート再生（⇒ **153** ページ）は解除されます。

一時停止／コマ送り再生について

• VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
（BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。）
• BD ビデオの場合、コマ戻し再生はできません。

音楽用 CD は、スロー再生・コマ送りができません。

• BD ビデオの場合、逆スロー再生はできません。

BD/DVD 再生時の音声を変更する

セリフが聞きづらいとき

「音声レベル」の設定項目

項目	内容
切	記録されている音声をそのまま出力します。（音声出力の強弱を調整しません。）
標準	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。
シフト※	「シフト」に設定するとより効果が強くなります。（音声が正常に聞こえないときは「切」にしてください。）

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

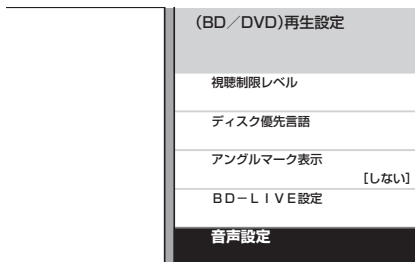
選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「(BD/DVD)再生設定」を選ぶ

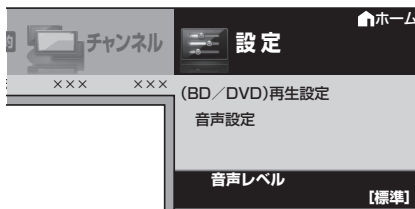
で選び
を押す

3 「音声設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「音声レベル」を選ぶ

で選び
決定
を押す

5 「切」「標準」「シフト」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

• セリフが聞きづらいときは「シフト」を選びます。

操作音や第二音声を聞きたいとき

- BD ビデオソフト再生時、操作音（インタラクティブオーディオ）や第二音声（セカンダリオーディオ）を加えて聞くことができます。
- セカンダリオーディオの設定は、デジタル音声の信号形式がビットストリームのときのみ有効です。
- 信号形式が PCM の場合は、設定に関係なく常に操作音や第二音声を聞くことができます。

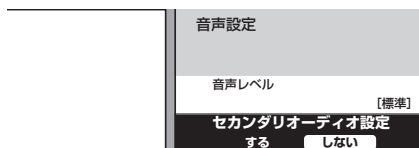
1 **前ページの手順1～3を行う**

2 **「セカンダリオーディオ設定」を選ぶ**

で選ぶ

3 **「する」または「しない」を選ぶ**

で選び

を押す

- インタラクティブオーディオやセカンダリオーディオを聞きたいときは、「する」を選びます。

災害発生時に文字情報を表示する

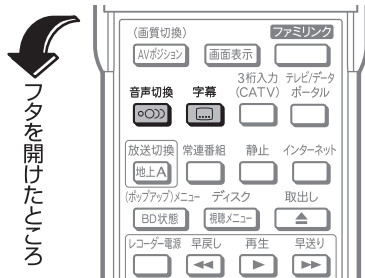
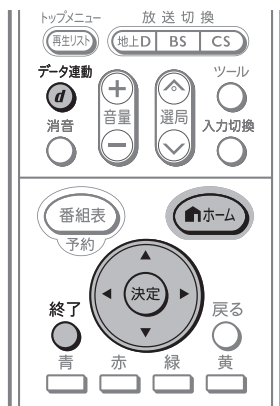
- デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。デジタル放送受信中および録画番組を再生中に、文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「文字スーパー表示」で設定します。

項目	内容
する	デジタル放送で送られてくる文字スーパーを表示します。
しない	文字スーパーを表示しません。※

※文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。

はじめにお読みください
テレビを見る／便利な使いかた
録画・再生
ファミリンク
3D映像を見る
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

再生中に連動データ放送を見る／字幕や音声を切り換える

- 再生中に連動データ放送や、音声・字幕・映像の切り換えができます。

◇**おしらせ**◇

各機能の切り換えについて
- 字幕、アングル、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。
- 字幕、アングル、音声は、視聴メニューからも選べます。(⇒ **153** ページ)

音声切換について
- 音声切換には、10 秒以上時間のかかる場合があります。
- 次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組でも、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
- DVD カラオケディスク(マルチカラオケ音声)は音声切換ができません。
- マルチ音声（ステレオ二重音声）番組は、録画画質を「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」にした場合、「マルチ音声設定」で設定した音声のみ記録されます。

再生中に連動データ放送を見るには

データ連動 d を押す

連動データ放送を含む番組の再生中に、記録されている連動データ放送の画面を表示する

- 連動データ放送画面の基本操作については、⇒**49**ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

連動データ放送の録画について
- 再生中の連動データ放送は、一部利用できない機能があります。
- 録画画質が「5 倍」「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」の場合、連動データ放送は録画されていません。

音声を切り換えるには

音声切換 を押す

主・副音声のあるタイトルの再生中に、音声を切り換える

- 押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例▼

BD-RE
▶ 再生
地上D
00:00:07/00:00:28
音声 1 AAC ステレオ
映像 1
字幕 日本語 入
>> お知らせがあります

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
- 現在再生されている音声番号が表示されます。

- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

字幕を切り換えるには

字幕を押す

字幕のあるタイトルの再生中に、字幕を切り換える

- 押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例▼

◇おしらせ◇

- 字幕が「入」に切り換わったとき、「字幕表示」の設定（⇒ **71** ページ）に関係なく、常に字幕オンスクリーン表示となります。

映像やアングルを切り換えるには

を押し
で選び
を押す

複数の映像やアングルのあるタイトルの再生中に、ホームメニューを表示して、「ツール」－「映像切換」を選ぶ

- 選ぶたびに映像が切り換わります。

映像表示の例▼

◇おしらせ◇

- 表示したアングルマークは、終了を押すと消えます。

アングルマークを表示したいときの設定

複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

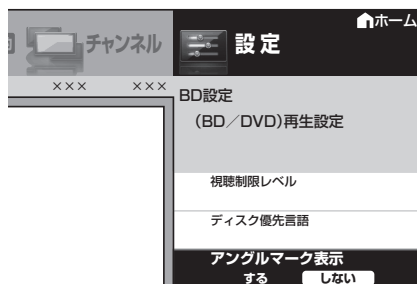
2 「(BD/DVD)再生設定」を選ぶ

で選び
を押す

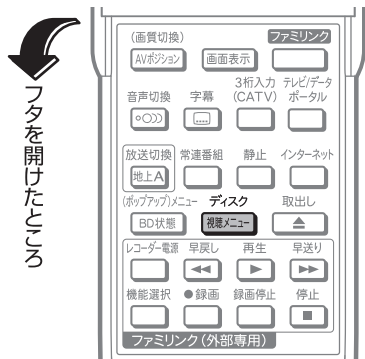
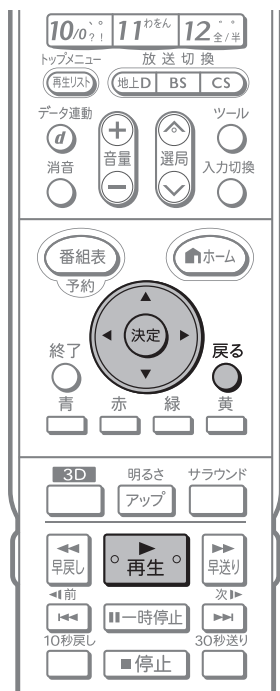
3 「アングルマーク表示」を選ぶ

で選ぶ

4 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

再生中に設定をする（視聴メニュー）

• 再生しながら、再生情報を確認したり、タイトル（録画した番組）の頭出し、リピート再生が行えます。

フタを開けたところ

◇**おしらせ**◇

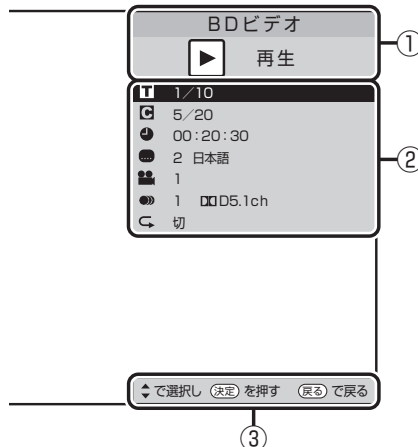
• BDビデオやDVDビデオの再生中に視聴メニュー画面を表示すると、BDビデオやDVDビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。
• アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 再生中に視聴メニューを表示する

ディスク 視聴メニュー を押す

2 設定項目を選ぶ

BDビデオ再生時の例

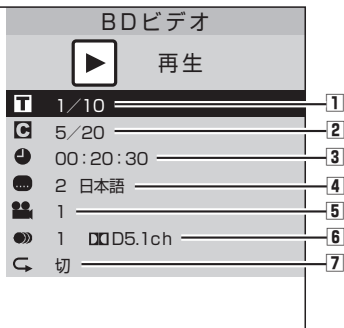
で選び 決定 を押す

①再生状態表示
動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒**次**ページ）
③操作ガイド表示

3 設定する（⇒次ページ）

で選び
を押す

4 設定を終了する

戻る
または
ディスク 視聴メニュー
を押す

画面表示と各設定項目について

- 再生しているディスクによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号（CD の再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 C チャプター再生表示

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用 CD はチャプターがありません。

3 再生経過時間表示

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
- BD ビデオの場合、ディスクによっては再生経過時間を表示できないものもあります。

4 字幕言語再生表示

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像再生表示

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 「アングルマーク表示」（⇒ **151** ページ）設定により、複数のアングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマークを表示させるように設定することができます。

6 再生（視聴）音声表示

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。

7 リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）をくり返し再生したり、部分的にくり返し再生することができます。（⇒**右記**）

タイトル（録画した番組）またはチャプターをくり返し再生する（リピート再生）

- 視聴メニューで、選んだタイトル（録画した番組）やチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生する

再生 を押す

2 ①再生中に視聴メニューを表示する
②「」を選ぶ

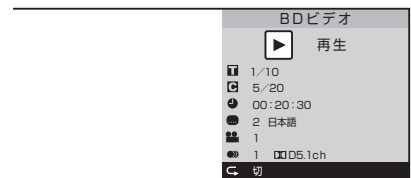
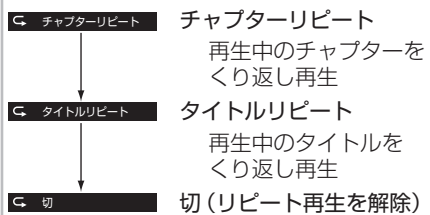
ディスク 視聴メニュー を押す
で選び 決定 を押す

3 「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

で選び 決定 を押す

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切（リピート再生を解除）

- リピート再生を開始します。
- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- リピート再生状況を確認したいときは ディスク 視聴メニュー を押してください。
- 30 秒送り／ 10 秒戻し（⇒ **146** ページ）を行うと、リピート再生は解除されます。

BD ／ DVD の視聴制限レベルを設定する

• ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

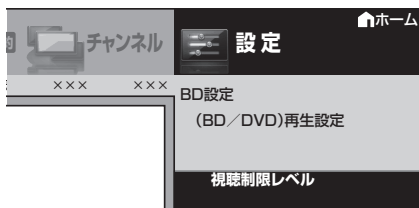
2 「(BD/DVD)再生設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「視聴制限レベル」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

• 「暗証番号設定」(⇒ **102** ページ) で設定した数字を入力します。暗証番号の設定が済んでいない場合は、暗証番号を設定してください。

5 「変更する」を選ぶ

で選び
を押す

• 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

6 DVD ビデオの視聴制限レベルを選ぶ

で選び 決定 を押す

• 視聴制限を設定しない場合は「切」を選びます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2 ～ 3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4 ～ 7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切	視聴制限を「切」にします。

7 「次へ」で決定する

を押す

8 ①BD ビデオの視聴を制限する年齢を入力するか、「無制限」を選ぶ

で選び 1 ～ 10 で入力

設定項目	設定内容
無制限	年齢制限をしません。
0 歳を制限 ～ 99 歳以下を制限	0 歳 ～ 99 歳の間で年齢制限をします。

決定 を押す

②「次へ」で決定する

9 ①BD/DVD ビデオの国コードを選ぶ

で選び
を押す

設定項目	設定内容
(国コード)	国コードを選びます。（国コード一覧⇒ **155** ページを参照）

を押す

②「完了」で決定する

ディスク優先言語を設定する

- ディスクを再生するときの優先言語（画面に表示するメニューや音声の言語）を選択できます。

1 前ページの手順1～2を行う

2 「ディスク優先言語」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「変更する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 工場出荷時の設定に戻したいときは、「初期化する」を選び、「する」を選びます。

4 ①字幕の言語を選ぶか、字幕の言語を言語コードから選ぶ

で選び 決定 を押す

音声言語を設定してください。
（ディスク再生するときに優先します）

日本語	スウェーデン語	オランダ語
英語	フランス語	ドイツ語
イタリア語	スペイン語	

または、言語コードから選択します。
◀ AA ▶
次へ

決定 を押す

②「次へ」で決定する

5 同様に音声言語を選んで決定する

6 同様にメニュー言語を選んで決定する

◇おしらせ◇

- 画面に表示されるメニューや音声の言語は、ディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や言語の切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

国コードの一覧表

アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

ＡＡ アファル語	ＦＹ フリジア語	ＬＶ ラトビア語、レット語	ＳＬ スロベニア語
ＡＢ アブバジア語	ＧＡ アイルランド語	ＭＧ マダガスカル語	ＳＭ サモア語
ＡＦ アフリカーンス語	ＧＤ スコットランドゲール語	ＭＩ マオリ語	ＳＮ ショナ語
ＡＭ アムハラ語	ＧＬ ガルシア語	ＭＫ マケドニア語	ＳＯ ソマリ語
ＡＲ アラビア語	ＧＮ グアラニ語	ＭＬ マラヤーラム語	ＳＱ アルバニア語
ＡＳ アッサム語	ＧＵ グジャラート語	ＭＮ モンゴル語	ＳＲ セルビア語
ＡＹ アイマラ語	ＨＡ ハウサ語	ＭＯ モルダビア語	ＳＳ シスワティ語
ＡＺ アゼルバイジャン語	ＨＩ ヒンディ語	ＭＲ マラータ語	ＳＴ セストゥ語
ＢＡ バジキール語	ＨＲ クロアチア語	ＭＳ マレー語	ＳＵ スンダ語
ＢＥ ベラルーシ語	ＨＵ ハンガリー語	ＭＴ マルタ語	ＳＶ スウェーデン語
ＢＧ ブルガリア語	ＨＹ アルメニア語	ＭＹ ミャンマー語	ＳＷ スワヒリ語
ＢＨ ビハーリー語	ＩＡ 国際語	ＮＡ ナウル語	ＴＡ タミール語
ＢＩ ビスラマ語	ＩＥ 国際語	ＮＥ ネパール語	ＴＥ テルグ語
ＢＮ ベンガル語、バングラ語	ＩＫ イヌピック語	ＮＬ オランダ語	ＴＧ タジク語
ＢＯ チベット語	ＩＮ インドネシア語	ＮＯ ノルウエー語	ＴＨ タイ語
ＢＲ ブルトン語	ＩＳ アイスランド語	ＯＣ プロバンス語	ＴＩ ティグリニャ語
ＣＡ カタロニア語	ＩＴ イタリア語	ＯＭ アファン語（オロモ語）	ＴＫ トゥルクメン語
ＣＯ コルシカ語	ＩＷ ヘブライ語	ＯＲ オリヤー語	ＴＬ タガログ語
ＣＳ チェコ語	ＪＡ 日本語	ＰＡ パンジャブ語	ＴＮ セツワナ語
ＣＹ ウェールズ語	ＪＩ イディッシュ語	ＰＬ ポーランド語	ＴＯ トンガ語
ＤＡ デンマーク語	ＪＷ ジャワ語	ＰＳ パシュトー語	ＴＲ トルコ語
ＤＥ ドイツ語	ＫＡ グルジア語	ＰＴ ポルトガル語	ＴＳ ツォンガ語
ＤＺ ブータン語	ＫＫ カザフ語	ＱＵ ケチュア語	ＴＴ タタール語
ＥＬ ギリシャ語	ＫＬ グリーンランド語	ＲＭ ラエティ＝ロマン語	ＴＷ トウィ語
ＥＮ 英語	ＫＭ カンボジア語	ＲＮ キルンディ語	ＵＫ ウクライナ語
ＥＯ エスペラント語	ＫＮ カンナダ語	ＲＯ ルーマニア語	ＵＲ ウルドゥ語
ＥＳ スペイン語	ＫＯ 韓国語	ＲＵ ロシア語	ＵＺ ウズベク語
ＥＴ エストニア語	ＫＳ カシミール語	ＲＷ キニャルワンダ語	ＶＩ ベトナム語
ＥＵ バスク語	ＫＵ クルド語	ＳＡ サンスクリット語	ＶＯ ボラピュク語
ＦＡ ペルシャ語	ＫＹ キルギス語	ＳＤ シンド語	ＷＯ ウォロフ語
ＦＩ フィンランド語	ＬＡ ラテン語	ＳＧ サンゴ語	ＸＨ コーサ語
ＦＪ フィジー語	ＬＮ リンガラ語	ＳＨ セルビアクロアチア語	ＹＯ ヨルバ語
ＦＯ フェロー語	ＬＯ ラオス語	ＳＩ シンハラ語	ＺＨ 中国語
ＦＲ フランス語	ＬＴ リトアニア語	ＳＫ スロバキア語	ＺＵ ズール語

アナログ方式の機器からダビングする

外部ビデオ入力の映像を BD にダビングする

- VHS ビデオなどに録りためた映像を、BD にダビングできます。
  ビデオデッキなどを本機の外部入力端子(入力4)に接続すると、BD-RE ／ BD-R にVHSビデオなどの映像が録画できます。
- 市販のビデオソフトなど、録画制限のある映像はダビングできません。
- 二重音声放送を録画したビデオテープからダビングするときは、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。(⇒ **157** ページ)さらに、本機に接続している機器側でも二重音声として出力する音声設定にしてください。
- ダビングには、⇒ **109** ページに記載の BD-RE、BD-R ディスクをお使いください。
- BDへのダビング可能時間は、⇒ **113** ページに記載の BD-RE、BD-R ディスクの録画時間をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- ダビング中は、アナログ放送の視聴ができません。(デジタル放送は視聴できます。)また、他の録画はできません。
- BD、DVD、CD の再生中は、ダビングができません。
- BD に 200 タイトル(または 1000 チャプター)が録画またはダビングされている場合、その BD にはダビングできません。
- 「ディスク保護」(⇒ **159** ページ)が「保護する」に設定されているディスクにはダビングできません。

外部ビデオ入力の映像を BD にダビングする

灰色で表示した手順は VHS ビデオデッキの操作です。

1 ビデオデッキなどを本機の入力4端子に接続する

ダビングするときのつなぎかたについて
- (⇒ **332** ページ)をご覧ください。

2 録画画質を設定する

- ⇒ **114** ページ

3 録画用BD-REまたはBD-Rを挿入する(⇒38ページ)

- 新品の BD-RE/BD-R ディスクを挿入した場合は、録画に使えるようにするための処理「初期化」が始まります。初期化が済むまでお待ちください。(⇒ **39** ページ)
- ディスクへの録画可能時間を確認したいときは、(ポップアップ)メニュー BD状態 を押します。
- 再生リストが表示されたときは、終了 を押し、再生リストを消します。

4 入力切換メニューを表示し、「入力4」を選ぶ

入力切換 を押す

5 ビデオデッキなどの再生操作をする

6 録画を開始したいところで、録画ボタンを押す

●録画 を押す

7 録画を終了したいところで、録画停止ボタンを押す

録画停止

- 録画中にもう一度録画ボタンを押すと、録画終了時間を指定できます。

外部ビデオ入力録画の音声を設定するときは（外部入力音声設定）

- 外部入力端子からの映像を録画する場合に、音声を「ステレオ」「二ヶ国語」のいずれかに設定することができます。

◆ 重 要 ◆

- 二重音声放送を録画する際は、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。さらに、入力４に接続している機器も二重音声として出力する音声設定にしてください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「BD設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

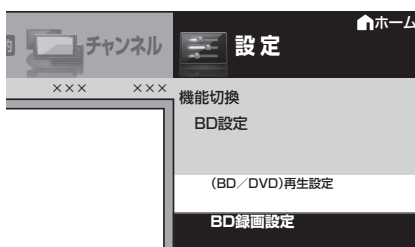
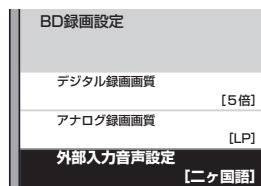
▼ ホームメニューの画面例

2 「BD録画設定」を選ぶ

3 「外部入力音声設定」を選ぶ

で選び
を押す

BD録画設定

デジタル録画画質	[5倍]
アナログ録画画質	[LP]
外部入力音声設定	[二ヶ国語]

4 「ステレオ」「二ヶ国語」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ディスクを管理する

タイトル（録画した番組）の名前を変更する

1 BDに録画した番組のタイトル名を変更したい場合は、BDを挿入する

2 再生リストを表示する

トップメニュー 再生リスト を押す

3 タイトル名を変更したいタイトルを選び、機能メニューを表示する

で選び

赤 を押す

4 「タイトル名変更」を選ぶ

で選び

を押す

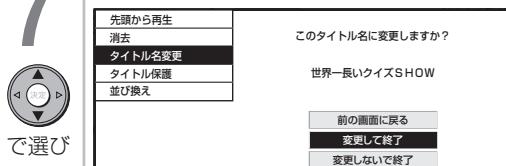
5 「する」を選ぶ

で選び

を押す

6 ソフトウェアキーボードを使ってタイトル名を変更する

- ソフトウェアキーボード(⇒**104**ページ)を使って、タイトルを変更します。

7 「変更して終了」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- タイトル名が変更されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

BD ディスクの内容を消さない設定をする（BD ディスク保護）

• 間違って消さないよう、ディスク全体を保護します。

1 保護したいディスクを挿入する

• 再生リストが表示された場合は、終了で終了します。

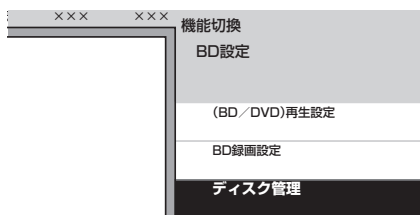
2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「BD設定」を選ぶ

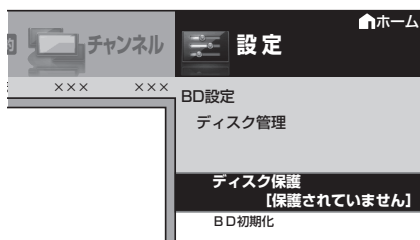
ホームを押し で選び 決定を押す

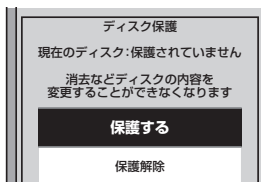
選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「ディスク管理」を選ぶ

で選び 決定を押す

4 「ディスク保護」を選ぶ

で選び 決定を押す

5 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び 決定を押す

• 保護されたディスクの保護を解除するには、「保護解除」を選びます。

タイトル（録画した番組）を消さない設定をする

• 間違って消さないよう、タイトルごとに保護します。

1 タイトルを保護したいディスクを挿入する

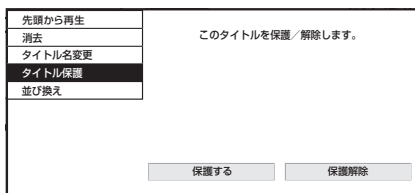
2 再生リストから保護したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

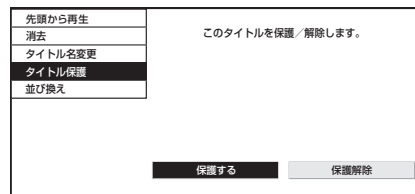
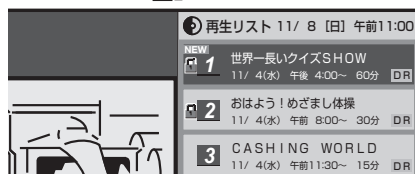
3 機能メニューを表示し、「タイトル保護」を選ぶ

赤を押し

で選び

決定を押す

4 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び

決定を押す

• タイトル保護を設定したタイトルには、再生リストを表示させたとき保護マーク「」が付きます。

• 保護設定したタイトルを消去したいときは、「保護解除」を選んでください。

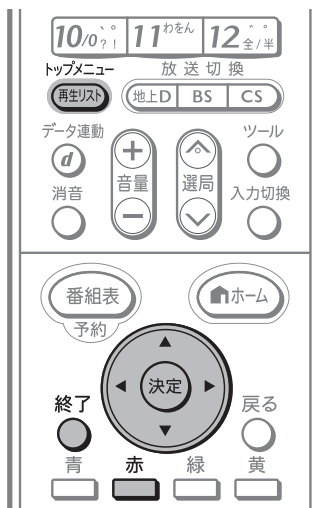
タイトル（録画した番組）を消去する

- すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を再生リストから消去できます。

◆ 重 要 ◆

- BD-RE ／ BD-R 以外のディスクはタイトルが消去できません。

◇おしらせ◇

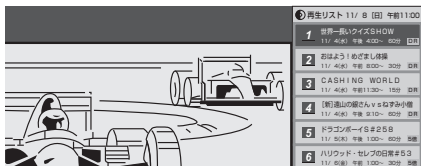
- 消去したタイトルは復活できません。
- BD-R ディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
- チャプターの消去はできません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 トップメニュー 再生リスト を押す

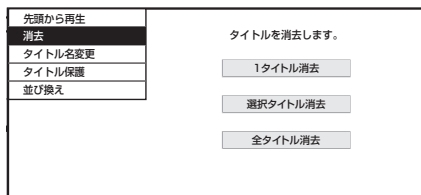
再生リストを表示する

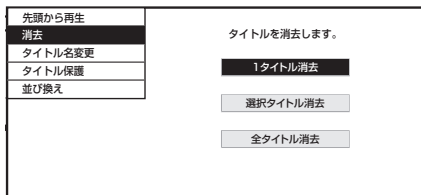
2 で選ぶ

消去したいタイトルを選ぶ

- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護解除」（⇒ **159** ページ）を行ってください。

3 赤 を押す

機能メニューを表示する

4 で選び 決定 を押す

「消去」を選ぶ

5 で選び を押す

「1タイトル消去」を選ぶ

6 で選び を押す

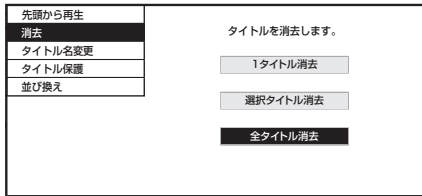
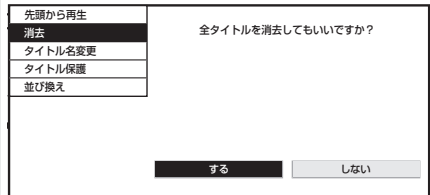
「する」を選ぶ

- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトルを全て消去する

1 前ページの手順1と手順3～4を行う

2 「全タイトル消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

先頭から再生
消去
タイトル名変更
タイトル保護
並び換え

タイトルを消去します。

1タイトル消去
選択タイトル消去
全タイトル消去

3 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

先頭から再生
消去
タイトル名変更
タイトル保護
並び換え

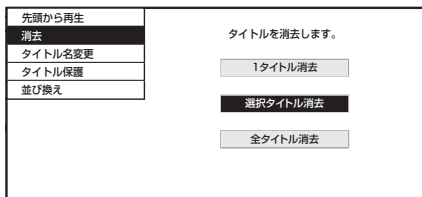
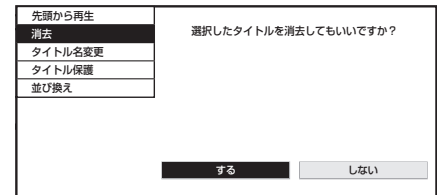
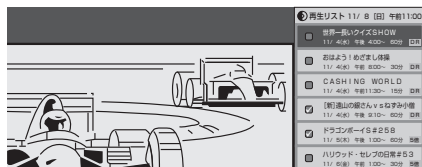
全タイトルを消去してもいいですか？

する　しない

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 前ページの手順1と手順3～4を行う

2 「選択タイトル消去」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはチェックマークが付きます。もう一度選ぶとチェックマークが外れます。

4 選んだタイトルを確定する

赤 を押す

5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

BD を初期化する

- 未使用の BD-RE または BD-R を挿入したときは、自動的に初期化が始まります。(⇒ **39** ページ)
- 使用済みの BD-RE ディスクの中身を未使用の状態に戻したい場合は、次の操作で初期化をします。

◇**おしらせ**◇
- 録画済みの BD-RE を初期化すると、録画されたタイトルがすべて消去されます。消されたタイトルは元に戻せませんので、内容をよく確認してください。
- 他社のレコーダーで録画した BD-RE を挿入したときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んでください。

1 初期化するディスクを挿入する

- 再生リストが表示された場合は、終了 で終了します。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「BD設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「ディスク管理」を選ぶ

で選び 決定 を押す

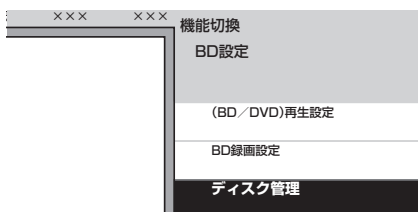
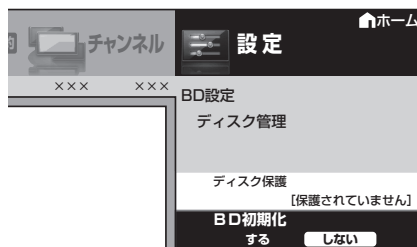
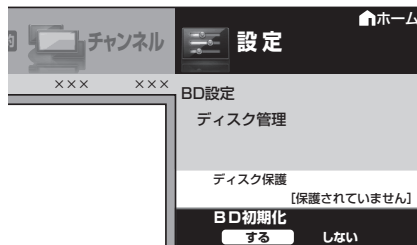
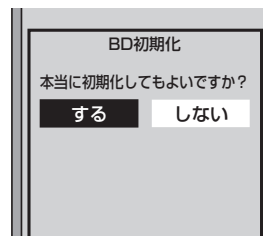
4 「BD 初期化」を選ぶ

で選ぶ

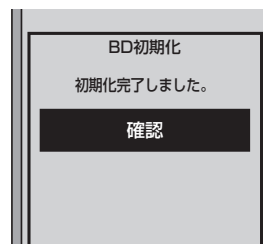
5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 初期化が実行されます。

7 「確認」で決定する

決定 を押す

- BD 初期化中は、音量ボタン、消音ボタン以外のボタンは無効となります。

◆ **重　要** ◆
- 8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化や録画ができません。新品(未初期化)の 8cm 盤 BD-RE/BD-R を本機に挿入した場合は、ディスクが自動的に取り出されます。

USB ハードディスクを使って
デジタル放送を録画・再生するための準備をする

USB ハードディスクを使ってできること／できないこと

• USB ハードディスクを本機につないで、デジタル放送の録画・再生が楽しめます。

できること

○ 地上デジタル放送の録画と再生
○ BS デジタル放送の録画と再生
○ 110 度 CS デジタル放送の録画と再生
○ 常連番組の自動録画（常連録画）と再生

できないこと

× BD へのダビング
× 地上アナログ放送の録画
× IPTV（ひかり TV）の録画
× アクトビラ ビデオの録画
× ビデオデッキなど、本機につないだ外部入力映像の録画
× 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
× 本機につないで録画した USB ハードディスクの映像の、他の映像機器での再生・複製
× 同時接続した USB ハードディスクへの同時録画
× 同時接続した異なる USB ハードディスクを使った同時録画再生
× 録画中の IPTV（ひかり TV）の視聴
× 録画中のアクトビラビデオの視聴
× 録画中の USB メディアの再生
× 録画中のホームネットワーク再生
× 録画中のインターネット
× 録画中の yahoo 動画再生

◆ 重 要 ◆

• USB ハードディスクを使うためには、最初に必ず USB ハードディスクを使うための準備「機器の初期化」が必要です。
初期化をすると、USB ハードディスクに記録されているデータは全て消えます。(⇒ **166** ページ)

予約・録画中に電源を切る場合は

• 予約・録画中に電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで切ってください。
• 本体の電源スイッチで電源を切る場合、電源スイッチ設定(⇒ **52** ページ)をご覧ください。

本機で使えるUSBハードディスクについて

• 本機は 16 台までの USB ハードディスクを登録して使えます。USB ハブ（市販品）を使用することで、最大４台までの同時接続が可能になります。ただし、録画再生に使える USB ハードディスクは１台になり、メニューで切り換えて使用します。USB ハブ経由で USB ハードディスクを接続する場合は、USB ハブに AC アダプターを使用し、電源供給をする必要があります。USB ハブから USB ハブを接続しての使用はできません。
USB ハブの種類によっては、USB ハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。
• USB ポートからの電源供給で動作する（バスパワー駆動方式）USB ハードディスクは、本機では使用できません。

推奨 USB ハードディスク・USB ハブ

• ホームページやカタログなどでご確認ください。
ホームページ　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◆ 重 要 ◆

• USB ハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。

録画時間について

• 録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

放送の種類／容量	BS・110 度 CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
2TB	約 174 時間	約 240 時間	約 347 時間
1.5TB	約 130 時間	約 180 時間	約 260 時間
1TB	約 87 時間	約 120 時間	約 173 時間
750GB	約 65 時間	約 90 時間	約 130 時間
640GB	約 56 時間	約 77 時間	約 111 時間
500GB	約 44 時間	約 60 時間	約 87 時間
400GB	約 35 時間	約 48 時間	約 70 時間
320GB	約 28 時間	約 39 時間	約 56 時間
300GB	約 26 時間	約 36 時間	約 52 時間
250GB	約 22 時間	約 31 時間	約 43 時間

次のページに続く

◇おしらせ◇

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110度CSデジタルハイビジョン（HD）放送は約24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約17Mbps、標準（SD）放送は約12Mbpsで算出しています。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他条件により**前**ページの時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。

ハードディスクの認証

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

ハードディスクを使うときの制限

- テレビの電源を入れてから、USBハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

USBハードディスクを使うための準備のながれ

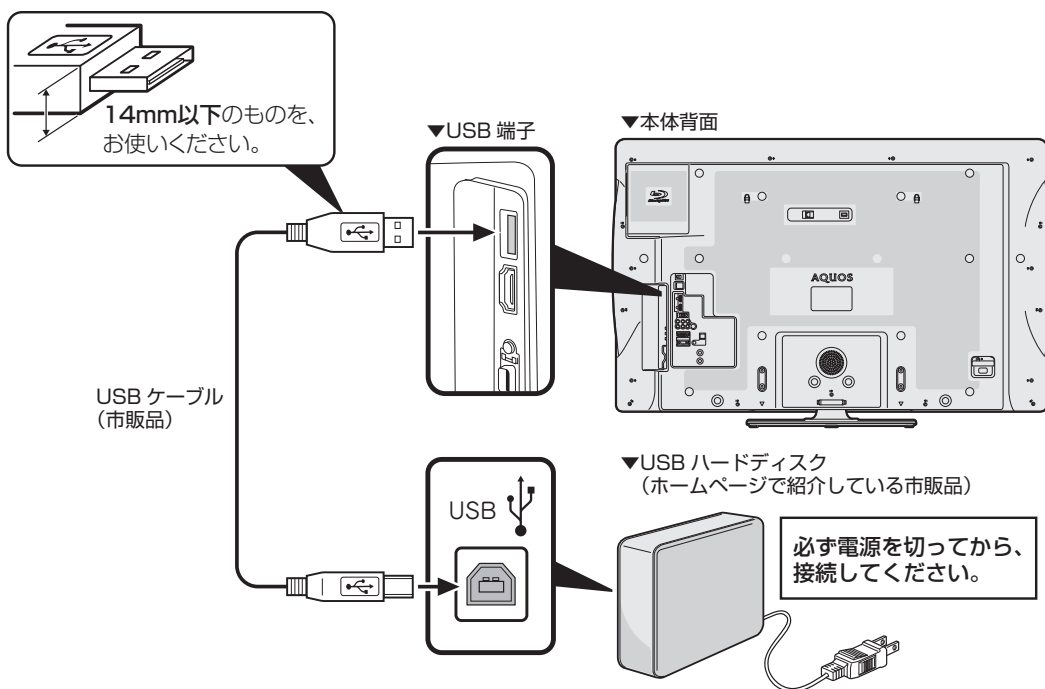
1. USBハードディスクと本機をつなぐ（⇒**下記**）
2. 初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする（⇒**166**ページ）
3. 「USB-HDDの選択」で使用するUSBハードディスクを選ぶ（⇒**168**ページ）
4. 必要に応じて省エネの設定をする（⇒**169**ページ）

- USBハードディスクの使いかた（録画・再生）については、⇒**174**～**187**ページをご覧ください。

◆ 重　要 ◆

- 初期化を行うと、HDD内のデータすべてが消去されます。

USBハードディスクをつなぐ

- 本機のUSB端子に、市販のUSBハードディスクをつなぎます。
- 接続には、市販のUSBケーブルを使います。
- USBハードディスクを取りはずすときは⇒**165**ページをご覧ください。

USB ハードディスクを取りはずすときは

- 本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
を押す

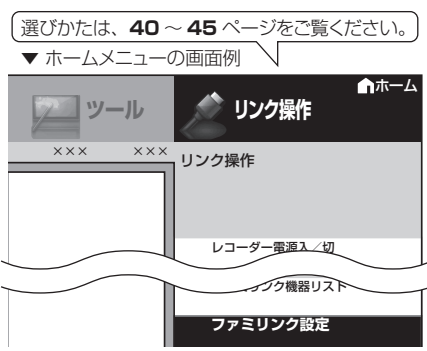
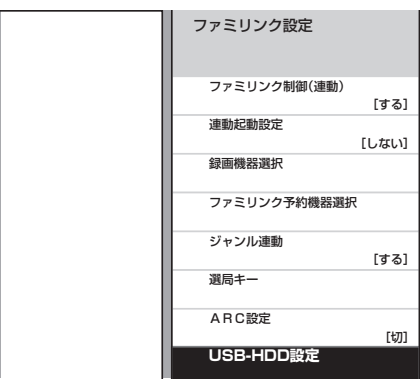
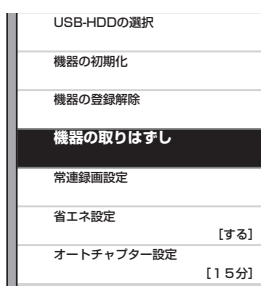
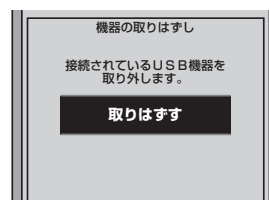
ファミリンク設定

ファミリンク制御(連動)	[する]
連動起動設定	[しない]
録画機器選択	
ファミリンク予約機器選択	
ジャンル連動	[する]
選局キー	
ARC設定	[切]
USB-HDD設定	

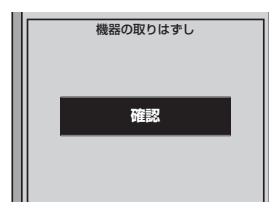
3 「機器の取りはずし」を選ぶ

で選び
を押す

4 「取りはずす」を選ぶ

を押す

- 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
- 取りはずしが完了するまで、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

5 「確認」で決定する

を押す

6 本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く

USB ハードディスクを初期化する

- USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「機器の初期化」が必要です。
- 「機器の初期化」を行うことで、本機に USB ハードディスクが登録されます。
- 初期化するときは、USB 端子と USB ハードディスクを 1 台だけ直接接続してください。

◇**おしらせ**◇

- USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。
- レコーダーやパソコンで録画した USB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

1 USBハードディスクと本機の準備をする

- USB ハードディスクをつなぎます。（⇒ **164** ページ）
- USB ハードディスクと本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
ツール　リンク操作
××× ×××
リンク操作
レコーダー電源入／切
リンク機器リスト
ファミリンク設定

3 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び　決定 を押す

4 「機器の初期化」を選ぶ

で選ぶ

5 「する」を選ぶ

で選び　決定 を押す

6 「する」を選ぶ

で選び
を押す

◆ 常連録画時間設定

- 常連録画機能については、⇒**178**ページをご覧ください。

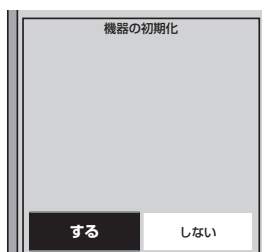
7 「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

- USBハードディスクの容量(⇒**163**ページ）を超える項目は、選べません。

◆ 機器の初期化

8 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 初期化が実行されます。
- 初期化中にUSBハードディスクを取り外したり、USBハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

9 「確認」で決定する

を押す

USBハードディスクの登録解除について

- 本機でUSBハードディスクを使うには、USBハードディスクを本機につないでから、「機器の初期化」をする必要があります。(⇒ **166** ページ)
- 本機はUSBハードディスクを16台まで登録できます。

◇**おしらせ**◇

- 「機器の初期化」を行うことで、本機にUSBハードディスクが登録されます。
- 17台目以降のUSBハードディスクを登録する場合には、登録済みのUSBハードディスクを「機器の登録解除」により登録解除してから「機器の初期化」を行ってください。
- 本機に登録していないUSBハードディスクでは、録画・再生できません。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
を押す

次のページに続く

3 「機器の登録解除」を選ぶ

で選び
を押す

4 登録を解除したいUSBハードディスクを選ぶ

で選び
を押す

- 画面の指示に従って操作をします。

5 「解除する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 もう一度「解除する」を選ぶ

で選び
を押す

- このUSBハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、このUSBハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。

7 「確認」で決定する

決定
を押す

USBハードディスクを接続している場合に、使用するUSBハードディスクを選択する

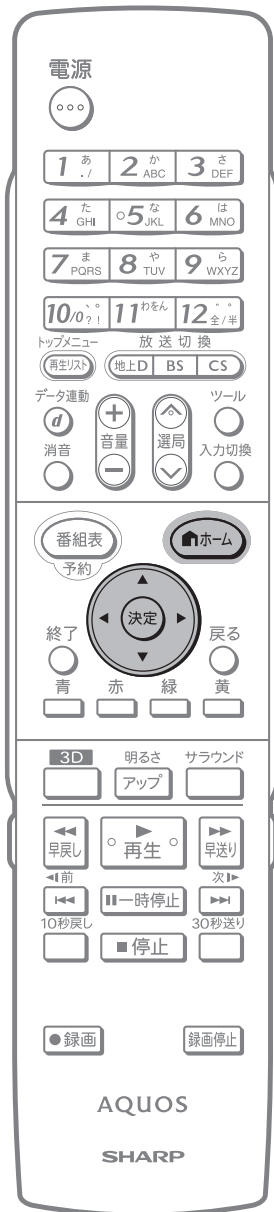
1 ホームメニューを表示して、「機能切換」−「ファミリンク設定」−「USB-HDD設定」−「USB-HDDの選択」を選ぶ

ホーム
を押し
で選び
を押す

2 表示された機器から1台を選択する

- 接続が1台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

USB ハードディスクを省エネで使うには

• USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

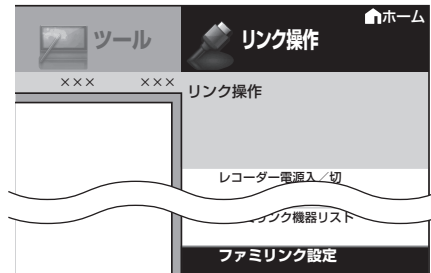
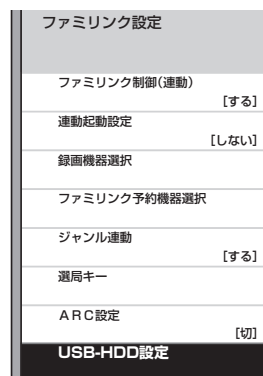
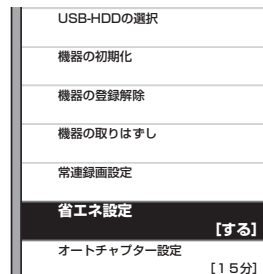
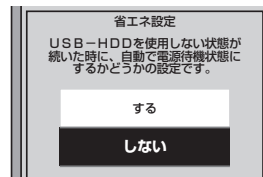
2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「省エネ設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定
を押す

USB ハードディスクに録画をする前にお読みください

予約・録画中に電源を切る場合は

- 予約・録画中に電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで切ってください。
- 本体の電源スイッチで電源を切る場合、電源スイッチ設定(⇒**52**ページ)をご覧ください。

◆ 重 要 ◆

録画できる番組数と予約件数について

- 1 台の USB ハードディスクには、通常録画と常連録画をあわせて最大 999 番組まで録画可能です。(USB ハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。)
- 最大 32 件までの予約が可能です。

録画予約実行中の制限について

- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。

◇おしらせ◇

録画予約について

- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

コピー制御信号について

- デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
- コピー制御信号が録画禁止の場合は、USB ハードディスクに録画できません（視聴のみ可能）。また、本機で USB ハードディスクに録画した番組は、ダビングできません。

ハードディスクの認証

- 本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
- 修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。
- 録画中は IPTV、インターネット、IrSS™、ホームネットワーク、USB メモリーの写真や音楽を視聴できません。

録画中の再生について

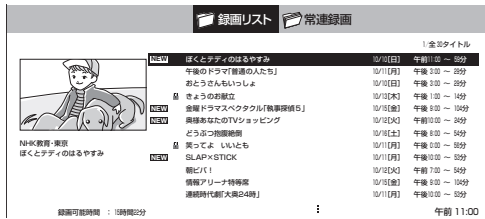
- 録画中に再生を行うと、画面の映像が粗くなる場合があります。

◆ 重 要 ◆

- 録画中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。
- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクに録画した番組の構成について

- 録画した番組は、1 回の録画ごとに「タイトル」として記録されます。各タイトル（録画した番組）は「録画リスト」に一覧表示され、再生・保護・保護解除・消去・タイトルの並べ換えができます。(⇒ **188**・**190**・**192** ページ)

「タイトル」「チャプター」「録画リスト」については **117** ページをご覧ください。

番組表で番組を選ぶだけでUSB ハードディスクに録画予約するには

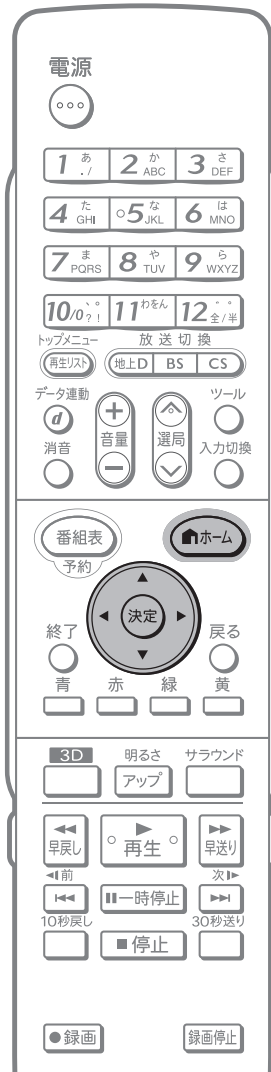
- ホームメニューから「設定」－「🧰（機能切換）」－「番組表設定」－「優先予約設定」を「USB-HDD」に設定すると、番組表から番組を選ぶだけで USB ハードディスクに録画予約できます。

◇おしらせ◇

- 「USB-HDD」に設定して BD に録画予約する場合は、番組表から予約したい番組を選んだあと、もう一度同じ番組を選び、予約方法を BD 録画に変更してください。

USB ハードディスクに録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。
- 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。

項目	内容
しない	チャプターが入りません。
10 分	10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	30 分間隔でチャプターが入ります。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」ー「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40 ～ 45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

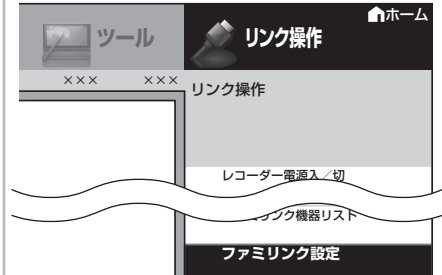
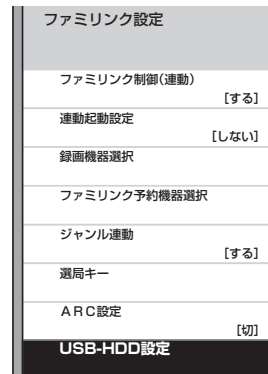
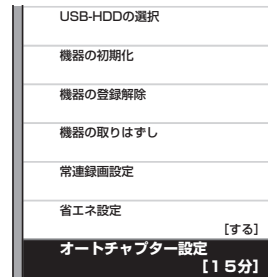
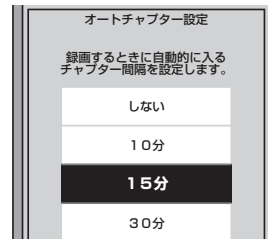
2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「オートチャプター設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「しない」「10分」「15分」「30分」のいずれかを選ぶ

で選び
決定
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

ファミリンクパネルの操作のしかた

・USBハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

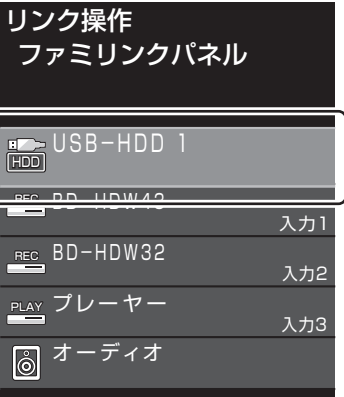
を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び
決定
を押す

3 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び
を押す
操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**下記**）をご覧ください。

	・視聴メニューを表示します。
	・USBハードディスクの録画リストを表示します。

操作ボタン※1の機能について

早戻し	・早戻し再生	早送り	・早送り再生
前	・前のチャプター※2に戻って頭出し（逆頭出し）		
次	・次のチャプター※2に進んで頭出し（順頭出し）		
10秒戻し	・10秒後戻し	30秒送り	・30秒先送り
	・再生		・一時停止
	・停止		
	・録画		・録画を停止

※1 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
※2 チャプターとは、オートチャプター設定(⇒**172**ページ）で設定された、再生区切り位置です。

USB ハードディスクに デジタル放送の番組を録画・録画予約する

USB ハードディスクに放送中の番組を録画する（一発録画）

• 今見ている番組をその場で USB ハードディスクに録画します。
• 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重 要 ◆

• 録画の前に「USB ハードディスクを使ってできること／できないこと」(⇒ **163**ページ)をご覧ください。
• USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
• ●録画 で USB ハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」(⇒ **196** ページ) で「USB-HDD」を選択しておく必要があります。

ビーキャス
B-CASカード
⇒**316**ページ

フタを開けたところ

USB ハードディスクとつなぐ⇒ **164** ページ

1 録画の準備をする

• 本機の電源を入れます。
• 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2 録画したい放送の種類を選ぶ

• 地上D BS CS のいずれかを押して選びます。

3 選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

4 録画をはじめる

●録画 を押す

• テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。
録画開始のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。

• 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶ、または 録画停止 を押してください。

◇**おしらせ**◇

• デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。
• アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

予約・録画中に電源を切る場合は

- 予約・録画中に電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで切ってください。
- 本体の電源スイッチで電源を切る場合、電源スイッチ設定(⇒**52**ページ)をご覧ください。

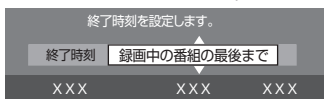
◇**おしらせ**◇

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

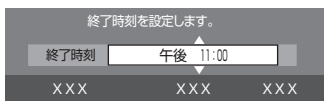
- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶ、または 録画停止 を押すまで、最大 6 時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは⇒**下記**をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

1 録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

●録画 を押す

(終了時刻設定画面の例)

- 終了時刻設定画面は、ファミリンクパネルを表示して「録画」ボタンを押しても表示できます。

2 終了時刻を選ぶ(1分単位)

で選び

を押す

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1分単位の動作に戻ります。)

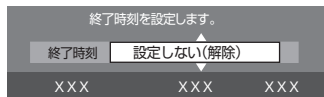
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

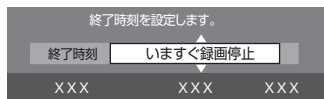
- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「設定しない(解除)」を選びます。

「設定しない(解除)」を選んだとき

- 「設定しない(解除)」を選んだときは、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶ、または 録画停止 を押すまで最大 6 時間録画が続きます。USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。

- 続いて「する」を選ぶと、実行中の録画が停止します

USB ハードディスクにデジタル放送の番組を録画予約する

• 番組表を使って、デジタル放送の番組を録画予約できます。
• 7 日先まで録画予約できます。
• 予約の最大件数は、32 番組です。
• 一度 BD への録画予約を設定し、もう一度同じ番組を選んで、「予約方法」を「USB-HDD 録画」に変更します。
• 「優先予約設定」(⇒ **171** ページ)を「USB-HDD」に設定しているときは、手順 **3** ～ **5** は不要です。

◆ 重 要 ◆
• 録画予約の前に「USB ハードディスクを使ってできること/できないこと」(⇒ **163**ページ)をご覧ください。

1 録画の準備をする

• 本機の電源を入れます。
• 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2 123ページの手順3～124ページの手順6で録画予約したい番組(まだ放送されていない番組)を選び、録画予約を設定する

• ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ **60** · **61** ページ)

3 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び

を押す

4 「予約方法」で「USB-HDD録画」を選ぶ

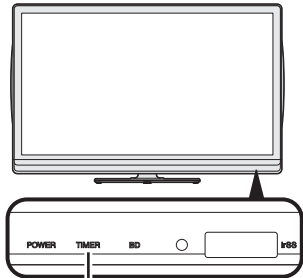
で選ぶ

5 「変更する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 番組表を消す

予約
を押す

• 予約が設定されると、本体の TIMER(タイマー)ランプが点灯します。

TIMER(タイマー)ランプ

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは

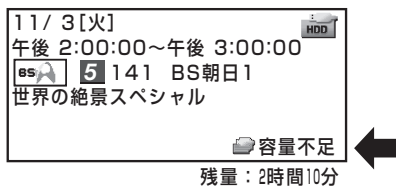
- ⇒ **130** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

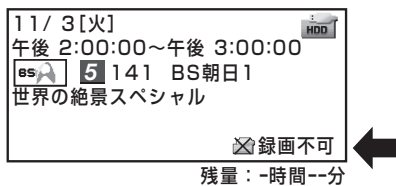
- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
- 録画予約ができないときは、「故障かな？と思ったら」（⇒ **378** ページ）を参照してください。エラーメッセージについては、（⇒ **390 ～ 392** ページ）をご覧ください。

予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ 130･176 ページ）に「容量不足」と表示されるとき

USB ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- USB ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで､残量を増やせます｡(タイトル消去⇒ **190**･**191** ページ)

予約リスト（⇒ 130･176 ページ）に「録画不可」と表示されるとき

USB ハードディスクを接続していないときに表示されます。

- 初期化（登録）済み（⇒ **166**､**167** ページ）の USB ハードディスクを接続してください。

本機で初期化していない（登録されていない）USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 接続した USB ハードディスクを本機で初期化（⇒ **166** ページ）してください。

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
予約されている番組を削除して、この番組を予約しますか?

予約する　　予約しない

- 既存の予約を取り消して、現在の予約を実行させることができます。

設定中の予約を残したいとき

- 「予約する」を選ぶと、設定中の予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定された予約を残したいとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定された予約が残ります。
- 設定中の予約は、設定されません。

◇おしらせ◇

- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ(⇒ **390 ～ 392** ページ)も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

番組表でのデジタル放送の延長予約について

- **126** ページをご覧ください。

常連番組を USB ハードディスクに毎日自動で録画する（常連録画）

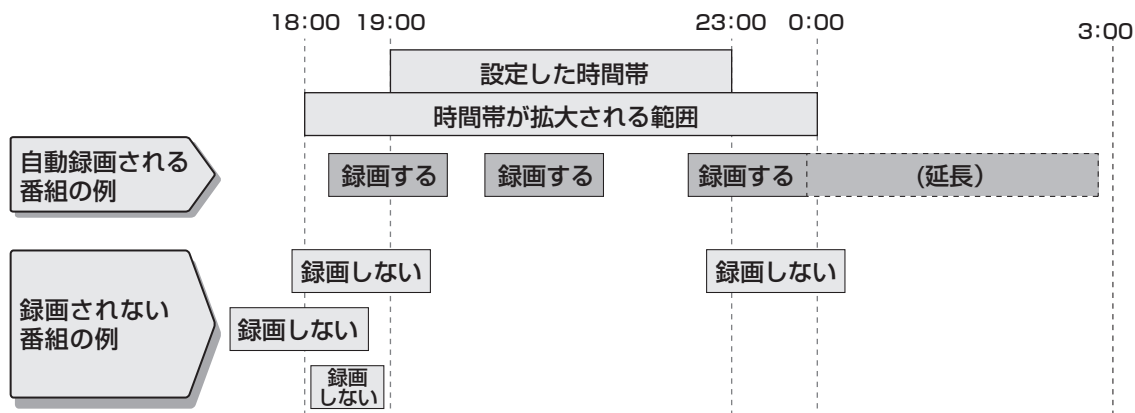
- USB ハードディスクを使って、常連番組（⇒ **66** ページ）を毎日自動で録画できます。
- 常連録画機能で録画できるのは、毎日同じ時間帯（4 時間）です。工場出荷時は 19 時～23 時に設定されています。常連録画機能で録画する時間帯は、変更できます。
- 常連録画機能で録画した番組の再生については、⇒ **182** ページをご覧ください。

◆　重　要　◆

- 常連録画機能を使うには、USB ハードディスクに常連録画専用領域を作っておく必要があります。
- 常連録画機能で録画した番組は、常連録画専用領域の録画可能時間を超えないように、録画日時の古い番組から自動的に消されます。消されたくない番組は､消される前に録画リストへ移動（⇒ **193** ページ）しておくか、はじめから通常の録画・録画予約をしてください。

◇おしらせ◇

- 常連録画機能で録画する時間帯と通常の録画予約の時刻が重なったときは、通常の録画予約が優先されます。
- 常連録画機能で設定できる時間帯は４時間ですが、番組の放送状況により、設定した時間帯の前後にそれぞれ１時間まで拡大されることがあります。また、番組が延長して、常連録画の時間帯を過ぎてしまったときは、その番組の最後まで（最大３時間まで）録画されます。

（例）録画時間帯が 19：00 ～ 23：00（工場出荷時）の場合

常連録画の設定をする

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

ホーム を押し
で選び
決定 を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD設定」を選ぶ

で選び
決定 を押す

ファミリンク設定
ファミリンク制御(連動) [する]
連動起動設定 [しない]
録画機器選択
ファミリンク予約機器選択
ジャンル連動 [する]
選局キー
ARC設定 [切]
USB-HDD設定

3 「常連録画設定」を選ぶ

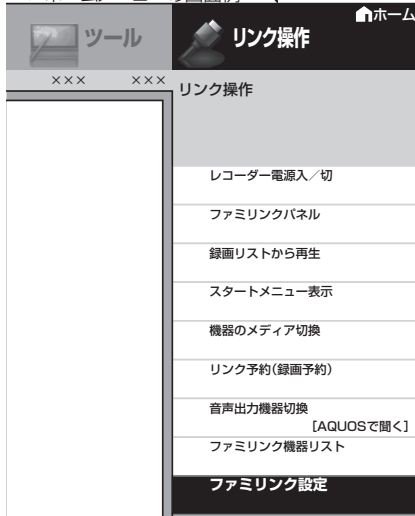
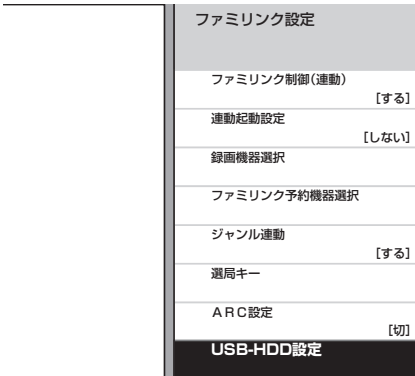
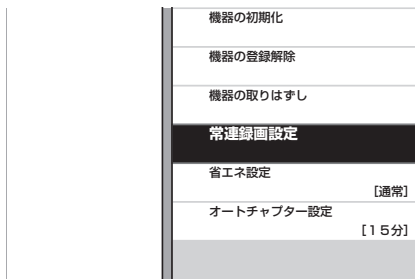
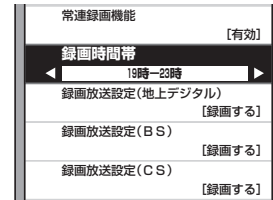
で選び
決定 を押す

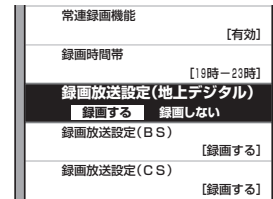
4 「常連録画機能」で「有効」を選ぶ

で選ぶ

常連録画機能
有効 無効
録画時間帯 [19時－23時]
録画放送設定(地上デジタル) [録画する]
録画放送設定(BS) [録画する]
録画放送設定(CS) [録画する]

5 「録画時間帯」で時間帯を選ぶ

を押し
で選ぶ

6 「録画放送設定(地上デジタル/BS/CS)」で録画したい放送を選び、「録画する」を選ぶ

を押し
で選ぶ

7 「常連録画時間設定」で「なし」「10時間」「20時間」「40時間」のいずれかを選ぶ

で選び
決定 を押す

- 空き容量が不足している場合は、不要なタイトル（録画した番組）を削除してから、再度設定してください。
- 常連録画時間を増やす場合は、録画リストのタイトルを削除してください。
- 常連録画時間を減らす場合は、常連録画のタイトルを削除してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「録画時間帯」や録画放送設定の各項目は、「常連録画機能」を「無効」にすると選べません。
- USB-HDD 録画中は「常連録画時間設定」は選べません。

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

USB ハードディスクに録画した番組を録画リストから再生する

- 録画リストを表示して、USB ハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

▼録画リストの画面例

◇**おしらせ**◇

- 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生はできません。
- 「USB-HDD 選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。

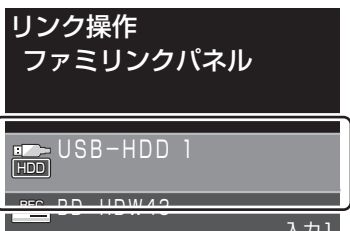
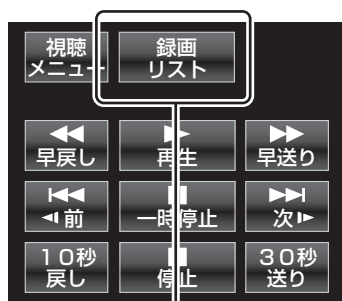
1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

を押す

2 USBハードディスクを選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「録画リスト」を選ぶ

で選び 決定 を押す

録画リストボタン

- 録画リストが表示されます。

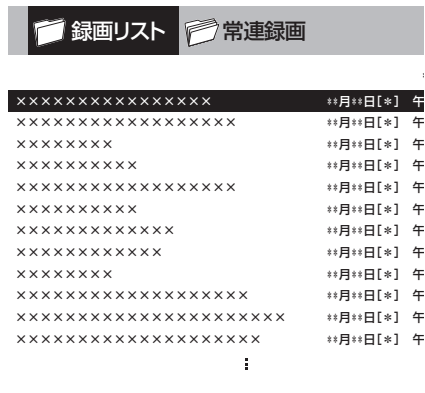
4 再生したい番組を選ぶ

で選び

を押す

- 1ページに12タイトルまで表示されます。13タイトル以上あるときは、◎を押すと、ページを切り換えて表示できます。
- 常連録画で録画された番組は、「常連録画」フォルダにあります。
- 「常連録画」フォルダを選択する場合は、戻るを押し、◎で「常連録画」フォルダを選んで決定を押してください。

×××××××××××××××	**月**日[*] 午
×××××××××××××××××	**月**日[*] 午
××××××××	**月**日[*] 午
××××××××××	**月**日[*] 午
×××××××××××××××××	**月**日[*] 午
××××××××××	**月**日[*] 午
×××××××××××××	**月**日[*] 午
××××××××××××	**月**日[*] 午
××××××××	**月**日[*] 午
××××××××××××××××××	**月**日[*] 午
××××××××××××××××××××××	**月**日[*] 午
×××××××××××××××××××	**月**日[*] 午

⋮

- 選んだ番組の再生が始まります。

◇おしらせ◇

- 再生中は以下のボタンで操作することもできます。

番組によっては、操作できない機能があります。

USB ハードディスクに録画した番組をホームメニューから再生する

• ホームメニューを表示して、再生したい番組を選んでみましょう。

1 再生の準備をする

• 本機の電源を入れます。

2 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「USB-HDD」または「常連録画」を選ぶ

で選ぶ

• USB-HDD 録画で録画した番組は、「USB-HDD」にあります。
• 常連録画で録画された番組は、「常連録画」にあります。

USB-HDD を選んだときの画面例

常連録画を選んだときの画面例

4 再生したい番組を選ぶ

で選び

を押す

• １ページに８タイトルまで表示されます。９タイトル以上あるときは、黄 または 緑 を押すとページを切り換えて表示できます。
• 選んだ番組の再生が始まります。
• 再生を止めるときは、停止 を押します。

• 手順 **4** で、1 ～ 8 のボタンを押しても選べます。

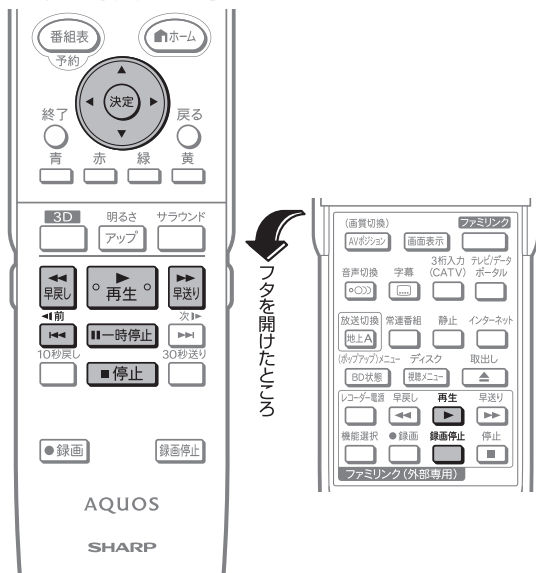
◇**おしらせ**◇

• 表示の順番を変更する場合は、赤 を押して録画リストで並び換えをしてください。（⇒ **192** ページ）
「USB-HDD 選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。
• 再生中は以下のボタンで操作することもできます。

番組によっては、操作できない機能があります。

USB ハードディスクに録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

• 一発録画、予約録画に対応しています。常連録画には対応していません。

◆ 重 要 ◆

• 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
• 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません

• HDD の残量が少ないとき
• BD へ録画中の番組

◇おしらせ◇

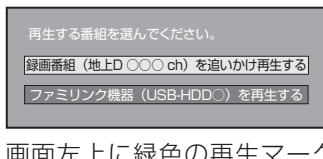
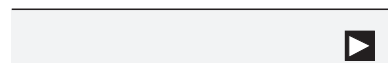
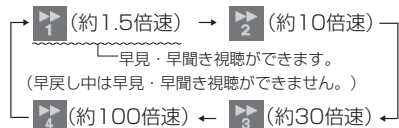
• 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が 12 時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。続きの映像を見るときは、再生 を押してください。
• 追いかけ再生中に早送りをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると追いかけ再生が解除され、最後に視聴したチャンネルの画面に戻ります。戻るタイミングは、早送りのスピードや録画画質により異なります。
• 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。

1 録画中に再生選択画面を表示する

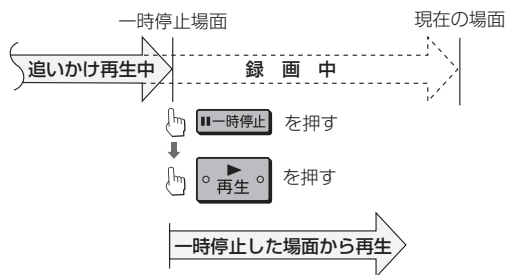
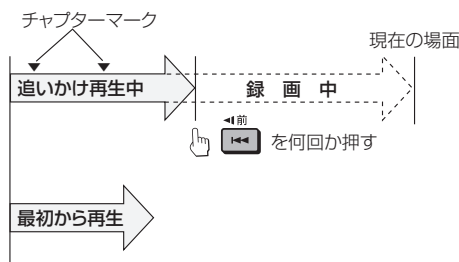
再生 を押す

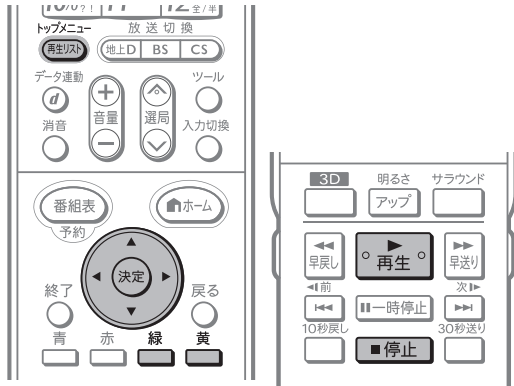
2 「録画番組（地上D○○○ch）を追いかけ再生する」を選ぶ

で選び

決定 を押す

• 画面左上に緑色の再生マークが出ます。

• 追いかけ再生中に 早戻し または 早送り を押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。

• 最後に視聴したチャンネルの場面に戻るには ■停止 を押します。
• 録画を停止するときは 録画停止 を押します。

追いかけ再生中に一時停止した場合

• 現在放送中の場面を追いかけながら見られます。

• 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。

USB ハードディスクに録画しながら他のタイトルを再生する（同時録画再生）

- 録画をしながらすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

◆ 重　要 ◆

- BD 録画中は、再生できません。

◇おしらせ◇

- 同時録画再生を行っているとき、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。

録画中に、BD/DVD/CD を再生するには

1 ディスクを挿入する

2 再生リストを表示する

- DVD ビデオソフト、CD の場合 再生 を押します。

を押す

3 再生したい番組を選ぶ

- 同時録画再生中に放送視聴（録画中）の画面に戻すには、■停止 を押して再生を止めます。

で選び
を押す

録画中に、USB ハードディスクの他のタイトルを再生するには

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「USB-HDD」または「常連録画」を選ぶ

で選ぶ

- USB-HDD 録画で録画した番組は、「USB-HDD」にあります。
- 常連録画で録画された番組は、「常連録画」にあります。

USB-HDD を選んだときの画面例

常連録画を選んだときの画面例

3 再生したい番組を選ぶ

で選び　決定 を押す

- １ページに８タイトルまで表示されます。９タイトル以上あるときは、黄 または 緑 を押すとページを切り換えて表示できます。
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 同時録画再生中に放送視聴（録画中）の画面に戻すには、■停止 を押して再生を止めます。

USB ハードディスクに録画した番組の再生時の操作

・本機にディスクが入っていないときや USB ハードディスク再生中は ▶再生・■停止 などで USB ハードディスクの操作をすることができます。

再生中に停止を押して途中で止めた場合の再生

◆ 停止した場所からつづけて再生するときは

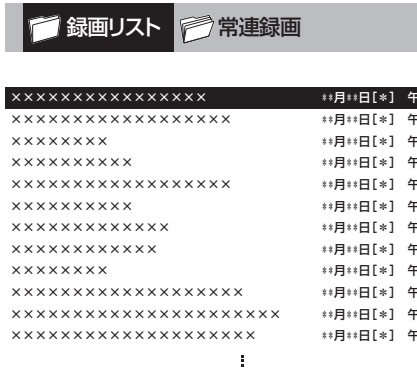
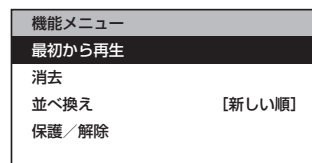
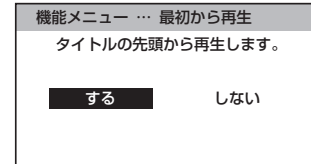
1 再生▶を押す

・つづきから再生できます。

◆ はじめから再生するときは

1 録画リストを表示する

・⇒ **180** ページ

2 再生したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

3 機能メニューを表示する

赤を押す

4 「最初から再生」を選ぶ

で選び 決定を押す

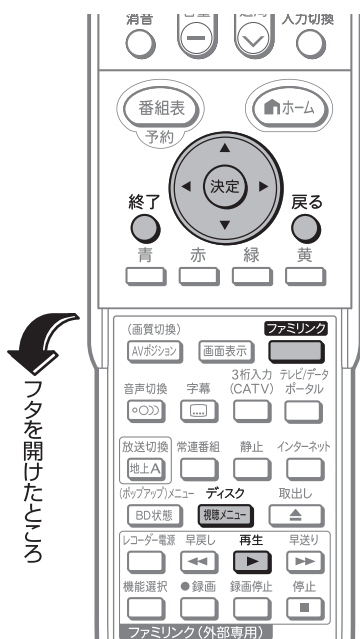
5 「する」を選ぶ

で選び

を押す

・選んだタイトルがはじめから再生されます。

再生中に設定をする（視聴メニュー）

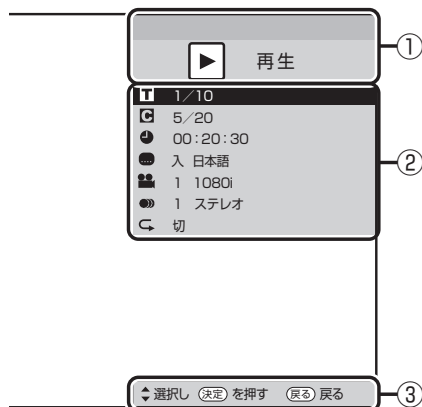
- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

◇**おしらせ**◇
- アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。
- 「視聴メニュー」ボタンで視聴メニューを表示することもできます。

1 再生中にファミリンクパネル（機器選択）を表示する

を押す

2 「視聴メニュー」を選ぶ

で選び
を押す

3 設定項目を選ぶ

で選び
決定
を押す

再生 ①
1／10
5／20
00:20:30
入 日本語
1 1080i
1 ステレオ
切 ②
選択し 決定 を押す 戻る 戻る ③

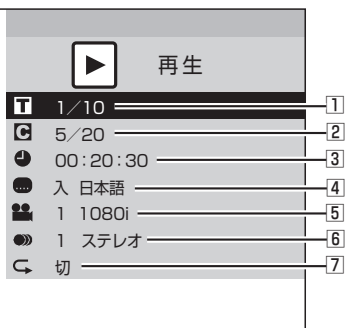
①再生状態表示
　動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒ **187** ページ）
③操作ガイド表示

4 設定する（⇒187ページ）

で選び
決定
を押す

5 設定を終了する

戻る
または
終了
を押す

画面表示と各設定項目について

- 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

1 T タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2 C チャプター再生表示

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 再生経過時間表示

- 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4 字幕言語再生表示

- 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。複数の言語が含まれている場合、お好みの言語に切り換えられます。

5 映像切換

- 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6 音声切換

- 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。

7 リピート再生

- 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。（⇒**右記**）

タイトル（録画した番組）またはチャプターをくり返し再生する（リピート再生）

- 視聴メニューで、選んだタイトル（録画した番組）やチャプター（章）をくり返し再生できます。

1 くり返したいタイトルまたはチャプターを選んで再生する

再生 ▶ を押す

2 ①ファミリンクパネルを表示する

②再生中に「視聴メニュー」を選ぶ

3 「」を選ぶ

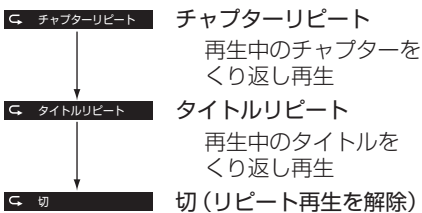
で選び 決定 を押す

4 「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選ぶ

で選び 決定 を押す

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切（リピート再生を解除）

- リピート再生を開始します。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

USB ハードディスクに録画した番組の管理

USB ハードディスクのタイトル（録画した番組）を消さない設定と設定解除をする

・間違って消さないよう、タイトル（録画した番組）を保護できます。

タイトルを 1 つ選んで保護／解除する

1 タイトルを保護／解除したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

・⇒ **180** ページ

3 保護／解除したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

4 機能メニューを表示する

を押す

5 「保護／解除」を選ぶ

で選び

を押す

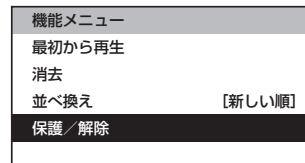
機能メニュー	
最初から再生	
消去	
並べ換え	[新しい順]
保護／解除	

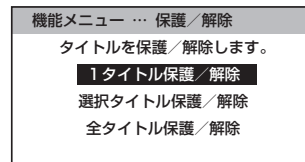
6 「1タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び

を押す

機能メニュー … 保護／解除

タイトルを保護／解除します。

1タイトル保護／解除

選択タイトル保護／解除

全タイトル保護／解除

・選んだタイトルを保護／解除できます。

7 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び

を押す

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て保護／解除する

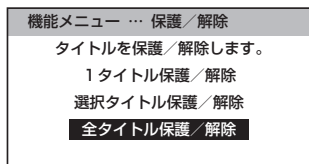
1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「全タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び
を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

3 「保護する」または「保護解除」を選ぶ

で選び
を押す

保護する　保護解除

- すべてのタイトルが保護または保護解除されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1 前ページの手順1～2と手順4～5を行う

2 「選択タイトル保護／解除」を選ぶ

で選び
を押す

機能メニュー … 保護／解除
タイトルを保護／解除します。
1タイトル保護／解除
選択タイトル保護／解除
全タイトル保護／解除

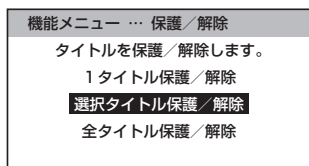
3 保護／解除したいタイトルを選ぶ

で選び
を押す

NEW ☑ ×××××××××××××××× **月**E
☑ ×××××××××××××××××× **月**E
☑ ×××××××× **月**E
☑ ×××××××××× **月**E
NEW ☑ ×××××××××××××××× **月**E
NEW ☐ ×××××××××× **月**E
☐ ××××××××××××× **月**E
☑ ×××××××××××× **月**E
NEW ☐ ×××××××× **月**E
☐ ××××××××××××××××××× **月**E
☐ ×××××××××××××××××××××× **月**E
☐ ×××××××××××××××××××× **月**E

- 保護したいタイトルに、チェックマークを付けます。
- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 保護するタイトルにはチェックマークが付きます。もう一度選ぶとチェックマークが外れます。

4 選んだタイトルを確定する

赤
を押す

- チェックマークが付いたタイトルが保護されます。
- チェックマークのない（外した）タイトルは保護されません。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトル（録画した番組）を消去する

- すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を録画リストから消去できます。

◇**おしらせ**◇

- 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 タイトルを消去したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

- ⇒ **180** ページ

3 消去したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「保護解除」(⇒ **188・189**ページ）を行ってください。

NEW		×××××××××××××××	**月**
		×××××××××××××××××	**月**|
		××××××××	**月**|
	🔒	××××××××××	**月**|
NEW		×××××××××××××××××	**月**|
NEW		××××××××××	**月**|
		××××××××××××	**月**|
	🔒	××××××××××××	**月**|
NEW		××××××××	**月**|
		××××××××××××××××××	**月**|
		××××××××××××××××××××××	**月**|
		×××××××××××××××××××	**月**|

4 機能メニューを表示する

赤を押す

5 「消去」を選ぶ

で選び

を押す

6 「1タイトル消去」を選ぶ

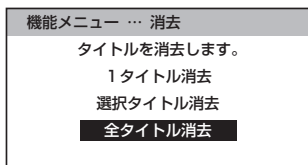
で選び

を押す

- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

1 前ページの手順**1**～**2**と手順**4**～**5**を行う

2 「全タイトル消去」を選ぶ

機能メニュー … 消去
タイトルを消去します。
1タイトル消去
選択タイトル消去
全タイトル消去

で選び
を押す

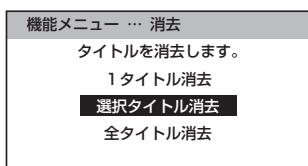
3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 前ページの手順**1**～**2**と手順**4**～**5**を行う

2 「選択タイトル消去」を選ぶ

で選び
を押す

3 消去したいタイトルを選ぶ

NEW ××××××××××××××× ＊＊月＊＊
×××××××××××××××××× ＊＊月＊＊
×××××××× ＊＊月＊＊
×××××××××× ＊＊月＊＊
NEW ××××××××××××××× ＊＊月＊＊
NEW ×××××××××× ＊＊月＊＊
××××××××××××× ＊＊月＊＊
×××××××××××× ＊＊月＊＊
NEW ×××××××× ＊＊月＊＊
××××××××××××××××× ＊＊月＊＊
××××××××××××××××××××× ＊＊月＊＊
××××××××××××××××××× ＊＊月＊＊

で選び
を押す

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

4 選んだタイトルを確定する

赤
を押す

- ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1 USBハードディスクの準備をする

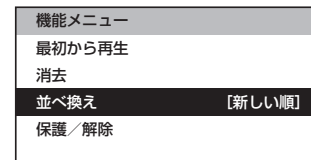
2 録画リストを表示する

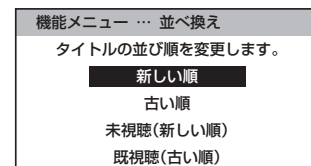
- ⇒ **180** ページ

3 機能メニューを表示する

赤 を押す

4 「並べ換え」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「新しい順」「古い順」「未視聴（新しい順）」「既視聴（古い順）」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 並べ換えを行うと、録画リストフォルダと常連録画フォルダの中にあるそれぞれのタイトルが選択した順に並べ換えられます。

常連録画機能で録画した番組を録画リストへ移動する

タイトルを 1 つ選んで移動する

1 常連録画フォルダ内のタイトルを録画リストフォルダに移動したいUSBハードディスクの準備をする

2 録画リストを表示する

• ⇒ **180** ページ

3 「常連録画」フォルダを選ぶ

NEW	ぼくとテディのはるやすみ	10/1
	午後のドラマ「普通の人たち」	10/1
	おとうさんもいっしょ	10/1
	きょうのお献立	10/1

戻る
を押し
で選び
を押す

4 移動したいタイトルを選ぶ

で選ぶ

5 機能メニューを表示する

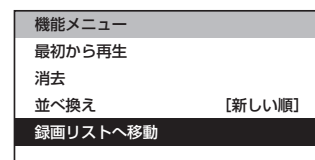
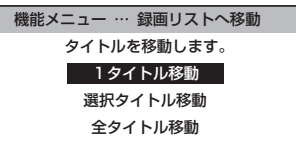
赤
を押す

6 「録画リストへ移動」を選ぶ

機能メニュー	
最初から再生	
消去	
並べ換え	[新しい順]
録画リストへ移動	

で選び
を押す

7 「1 タイトル移動」を選ぶ

機能メニュー … 録画リストへ移動
タイトルを移動します。
1タイトル移動
選択タイトル移動
全タイトル移動

で選び
決定
を押す

- 選んだタイトルが録画リストへ移動します。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

常連録画フォルダ内のタイトルを全て録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「全タイトル移動」を選んで決定します。

常連録画フォルダ内のタイトルを複数選んで録画リストへ移動する

- 「タイトルを 1 つ選んで移動する」の手順 **1** ～ **3** と手順 **5** ～ **6** を行います。
- 上下カーソルボタンで「選択タイトル移動」を選んで決定します。
- 上下左右カーソルボタンで移動したいタイトルを選んで決定します。選んだタイトルにはチェックマークが付きます。
- 赤ボタンを押して、確定します。

ファミリンクで使う

ファミリンクとは

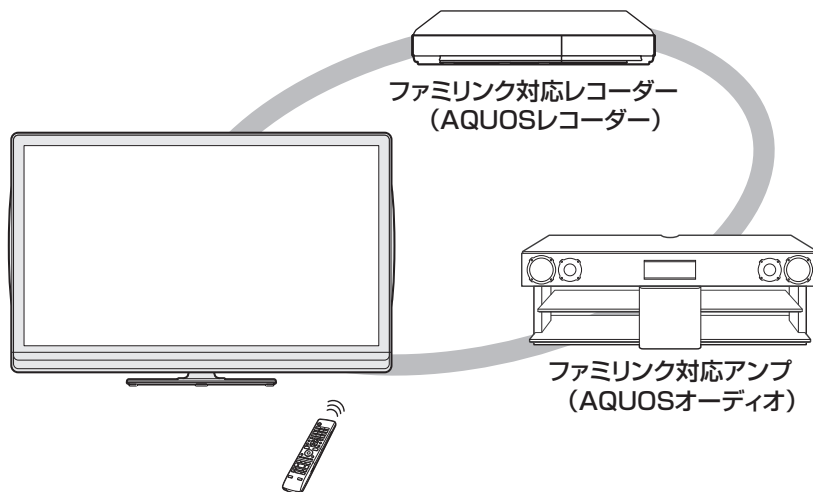
- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－ HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOS レコーダー）やAV アンプ（AQUOS オーディオ）を HDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

テレビで見ている番組を、ファミリンク対応レコーダーにワンタッチ録画

テレビの番組表で、ファミリンク対応レコーダーに録画予約

ファミリンク対応レコーダーに録画した番組を、ワンタッチ再生

ファミリンクでレコーダーやオーディオを連携操作

◇**おしらせ**◇

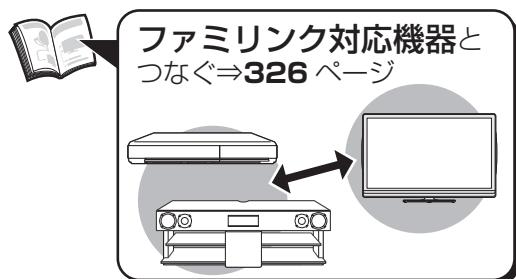
- ファミリンクの対応機種については SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて（▼対応機種一覧）」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機の i.LINK 端子は、ハイブリッドダブレコ機能に対応していません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載の AQUOS レコーダーと接続したとき i.LINK 録画（2 番組同時録画）は働きません。
- パソコン等とは接続できません。CATV セットトップボックスと接続が可能です。動作確認済み機種については当社ホームページ http://www.sharp.co.jp/support/aquos/ でご確認ください。

ファミリンク機能を使うための準備について

1. 接続をしましょう。

- 市販のHDMI認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器と本機をつないでください。

2. 設定をしましょう。

- ファミリンク機能を使うためには、以下の設定が必要です。（本機に付属のリモコンでも設定できます。）

> - 「連動起動設定」⇒**右記**
> - 「録画機器選択」⇒ **196** ページ
> - 「ファミリンク予約機器選択」⇒ **196** ページ
> - 「選局キー」⇒ **197** ページ
> - 「ファミリンク制御（連動）」⇒ **197** ページ
> - AQUOS レコーダー側の設定も必要です。
>   ⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3. 使ってみましょう。

- ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒ **198** ページ
- 録画・予約録画してみましょう。⇒ **200** ～ **205** ページ
- 再生してみましょう。⇒ **206** ページ
- AQUOS オーディオを使ってみましょう。⇒ **208** ページ
- 携帯電話をつないで楽しみましょう。⇒ **210** ページ

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「連動起動設定」を選ぶ

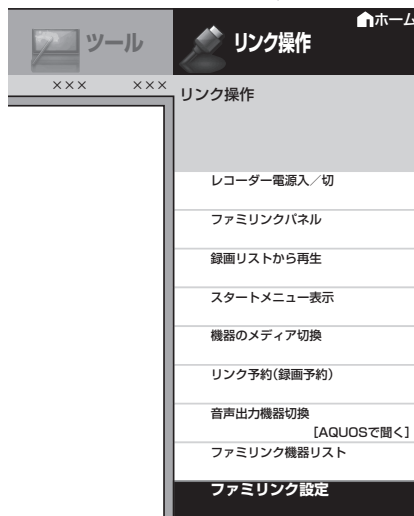
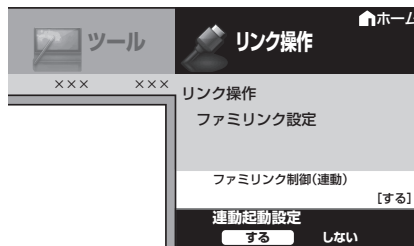
で選ぶ

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

ツール　リンク操作　ホーム
リンク操作
ファミリンク設定
ファミリンク制御(連動)　[する]
連動起動設定
する　しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

次のページに続く

録画先として使う機器を選ぶ

- 機器をつないだときの設定です。本機からファミリンク録画する機器、またはUSB ハードディスクを指定するための設定です。

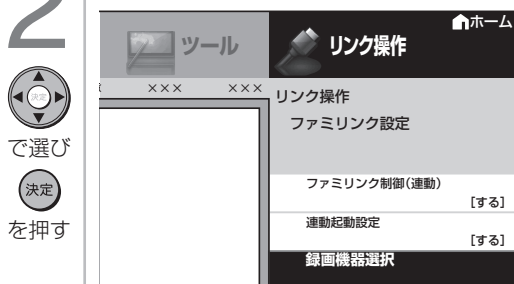
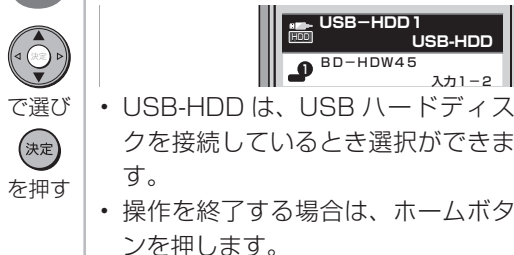
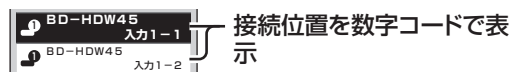
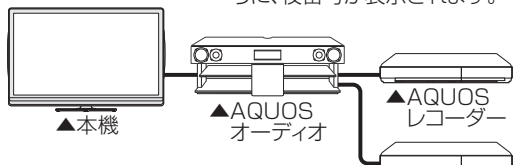
1 **195ページの手順1を行う**

2 **「録画機器選択」を選ぶ**

で選び
を押す

3 **ファミリンク機能で録画する機器を選ぶ**

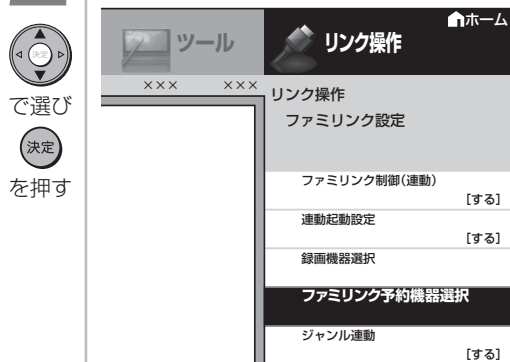
で選び
決定
を押す

- USB-HDD は、USB ハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

接続位置を数字コードで表示
下図のように1つの入力に複数の機器が接続されている場合は、入力1-1や入力1-2のように、枝番号が表示されます。

ファミリンク録画予約の録画先として使う録画機器を選ぶ

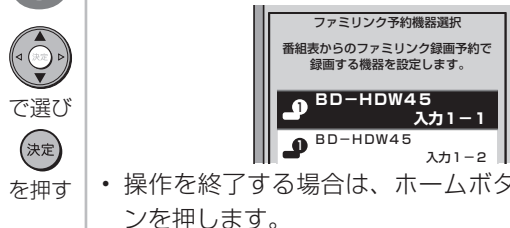
- 番組表からのファミリンク録画予約で録画を行う機器を指定するための設定です。

1 **195ページの手順1を行う**

2 **「ファミリンク予約機器選択」を選ぶ**

で選び
決定
を押す

3 **ファミリンク録画予約で録画する機器を選ぶ**

で選び
決定
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

本機のリモコンでAQUOSレコーダーの選局などの操作をできるようにする

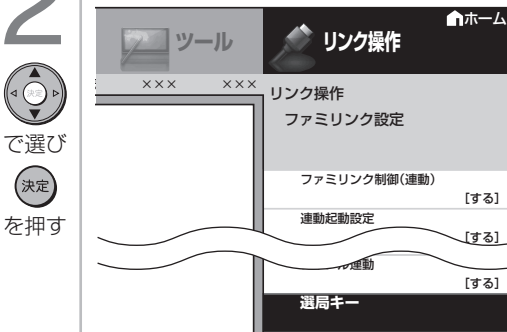
「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下のAQUOSレコーダーの操作ができます。

- 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 〜 12 で選局の操作ができます。
  ただし、11 12 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表ボタンで番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表ボタン、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、入力端子ごとに設定します。

1 195ページの手順1を行う

2 「選局キー」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ

で選び 決定 を押す

選局キー
入力1 [自動]
入力2 [自動]
入力3 [自動]

4 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

本機からAQUOSレコーダーの電源を入／切するには

- ホームメニューから「リンク操作」－「レコーダー電源入／切」を選ぶと、AQUOSレコーダーの電源を入／切できます。

一般のHDMI機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

1 195ページの手順1を行う

2 ①「ファミリンク制御(連動)」を選ぶ ②「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

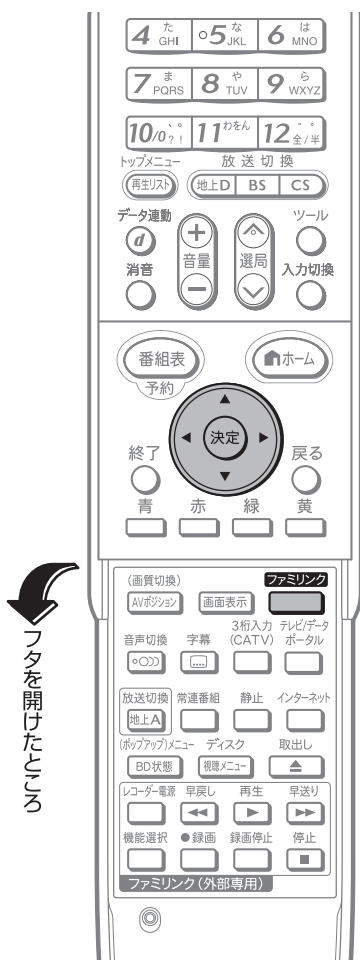
- ファミリンク機能を使うときは、「ファミリンク制御（連動）」を「する」に設定します。「しない」に設定すると、ファミリンク機能が無効になります。

ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクパネルは、ファミリンクⅡ機能に対応したAQUOS オーディオ・BD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、表示することができます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器（ファミリンクⅠ対応機器）では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

ファミリンク を押す

2 操作したい機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び

を押す

操作機器名

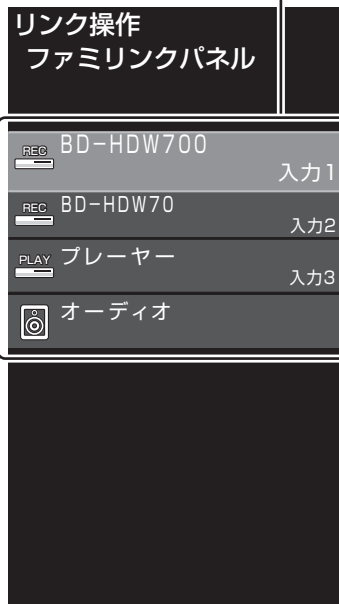
レコーダー

XXXXXXXXXXX

電源 番組表 録画リスト
ポップアップメニュー ホーム メディア切換
3D切換設定
早戻し 再生 早送り
前 一時停止 次
10秒戻し 停止 30秒送り
録画画質 録画 録画停止

操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**右記**）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- プレーヤーや AQUOS オーディオ、携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

操作ボタン[※1] の機能について

ボタン	説明
電源	• ファミリンク対応機器の電源を入／切できます。
番組表	• ファミリンク対応機器の番組表を表示します。
録画リスト	• ファミリンク対応機器の録画リストを表示します。
ポップアップメニュー	• ファミリンク対応機器のポップアップメニューを表示します。
ホーム	• ファミリンク対応機器のホーム画面を表示します。
メディア切換	• ファミリンク対応機器のメディアを切り換えます。
3D切換設定	• 3D に対応したファミリンク対応機器の 3D ／ 2D 設定を切り換えます。
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前のチャプター[※2] に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	• 一時停止
次	• 1 つ先のチャプター[※2] に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	• 10 秒後戻し
停止	• 停止
30秒送り	• 30 秒先送り
録画画質	• 録画画質を選択
録画	• 録画
録画停止	• 録画を停止

※ 1　視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。

※ 2　チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

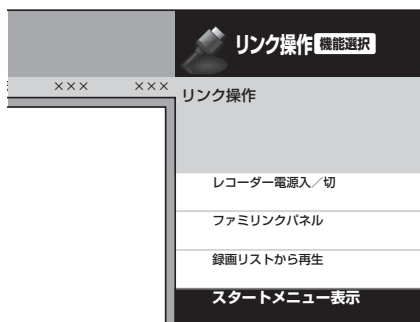
AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

• AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

を押す

2 「スタートメニュー表示」を選ぶ

で選び 決定 を押す

• AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
• AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

• スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて→ BD ／ DVD レコーダー」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆ 重　要 ◆

ファミリンクで録画を行う前に、AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。
次のことなどを確認します。

• 本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
• B-CAS カードが挿入されていますか。
  有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録したB-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
• アンテナが接続されていますか。
• 記録メディア（ハードディスク、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
• 本機のホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「録画機器選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒ **196** ページ）
• 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

再生・録画するメディア（ハードディスク /DVD など）を切り換える

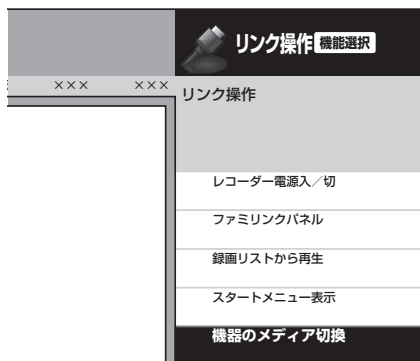
• 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード /BD モード /DVD モードを切り換えます。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「機器のメディア切換」を選ぶ

で選び

を押す

3 レコーダーのメディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選ぶ

決定 を押す

• AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアを選びます。
• 「機器のメディア切換」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する

を押す

録画したい番組の視聴中に録画ボタンを押す

• 「録画機器選択」（⇒ **196** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

録画の停止について

• お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。

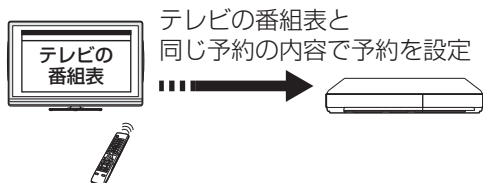
録画終了時刻が表示されない AQUOS レコーダーの場合は

• 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら 録画停止 で録画を停止してください。

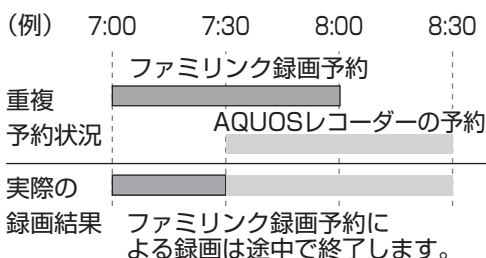
◇**おしらせ**◇

• 「録画機器選択」(⇒ **196** ページ) で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
• 「録画機器選択」で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

本機の番組表でAQUOS レコーダーに録画予約する

- 本機の番組表から接続している AQUOS レコーダーに予約録画できます。

◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 電源スイッチ設定（⇒ **52** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク録画予約した番組が録画されます。
- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いの AQUOS レコーダーによって異なります。
  詳しくは、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ AQUOS ファミリンクについて→ BD ／ DVD レコーダー」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

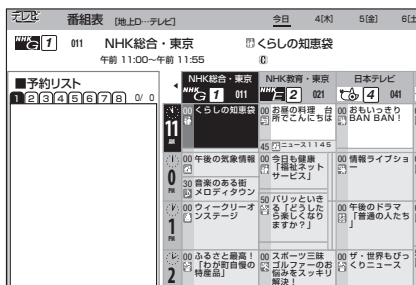
- 録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局や番組表などの操作はできません。

◇**おしらせ**◇

- 予約の確認・取り消し・変更については ⇒ **130** ページをご覧ください。

1 AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD（ハードディスク）に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 番組表を表示する

番組表
予約
を押す

3 予約したい番組を選ぶ

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(⇒**60**·**61** ページ)

決定 で選び
決定 を押す

4 もう一度同じ番組を選ぶ

で選び
を押す

- 黄 を押して予約リストの中から選ぶことも可能です。

5 「予約方法」で「ファミリンク録画」を選ぶ

で選び
を押す

)の取り消し、または予約の内容を変更してください。

開始時刻	終了時刻	予約方法	録画先自動切換
午後 2 ： 00 〜	午後 3 ： 00	ファミリンク録画	しない

10 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

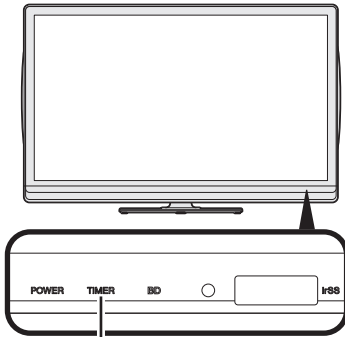
- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択を行ってください。(⇒ **196** ページ)
- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。

6 「変更する」を選ぶ

で選び
を押す

を押す

「戻る」で決定する

- 番組表画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面の TIMER（タイマー）ランプが点灯します。

- 電源スイッチ設定を「モード 2」に設定している場合は、本機の番組表を使って予約したファミリンク録画実行中に、テレビの電源スイッチを切らないでください。テレビの電源スイッチを切ると、録画停止してしまいます。

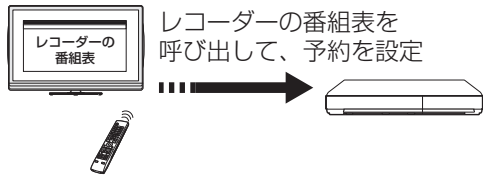
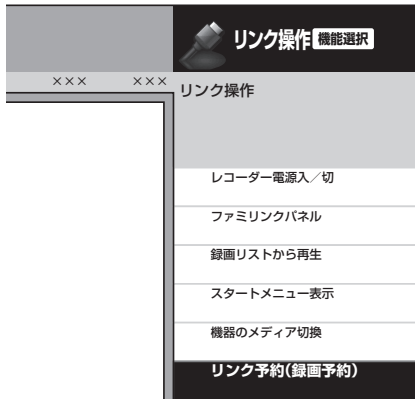
録画エラーのメッセージが出たときは、⇒ 384 ページをご覧ください。

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約する

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「リンク予約(録画予約)」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの

で操作します。(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

AQUOS レコーダーを再生する

視聴する HDMI 対応のレコーダー（録画機器）を選ぶ

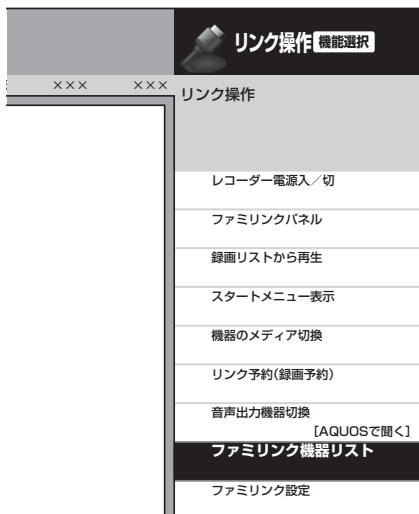
・複数の HDMI 機器を接続している場合、視聴したい HDMI 機器を選びます。

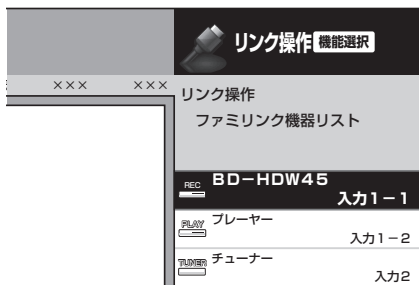
1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「ファミリンク機器リスト」を選ぶ

で選び

を押す

3 視聴したい機器を選ぶ

で選び
決定 を押す

最後に録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

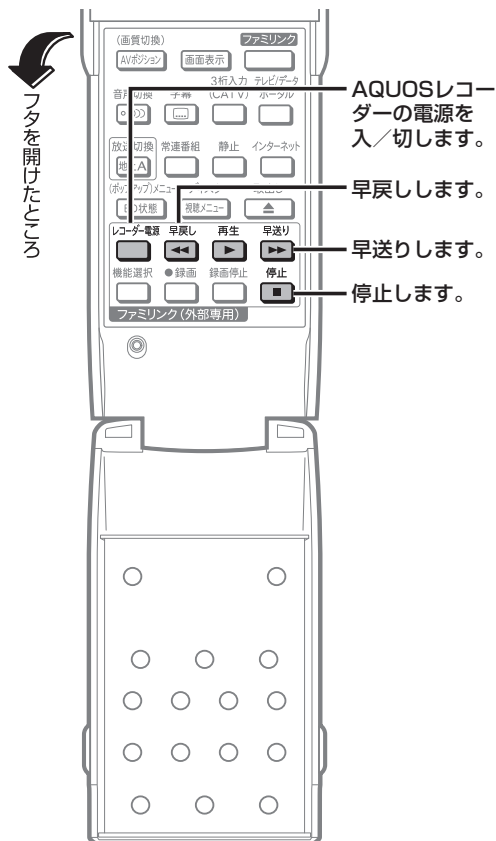
・本機のリモコンで HDMI 接続した AQUOS レコーダーを操作できます。

再生 を押す

録画した番組を再生する

・最後に再生または録画した番組が再生されます。
・録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

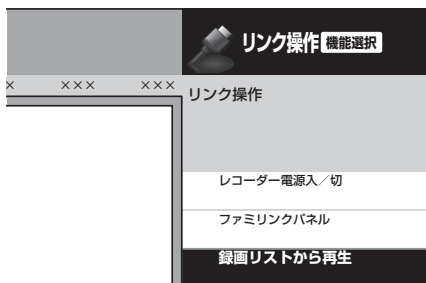
・ファミリンクで再生しているときは、リモコンふた内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

AQUOS レコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。(⇒ **195** ページ)

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択
を押す

2 「録画リストから再生」を選ぶ

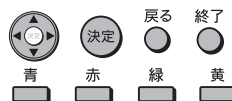
で選び 決定 を押す

- AQUOS レコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOS レコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組(タイトル)を選び再生する

で選び
を押す

- 録画リストは本機のリモコンの 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇**おしらせ**◇

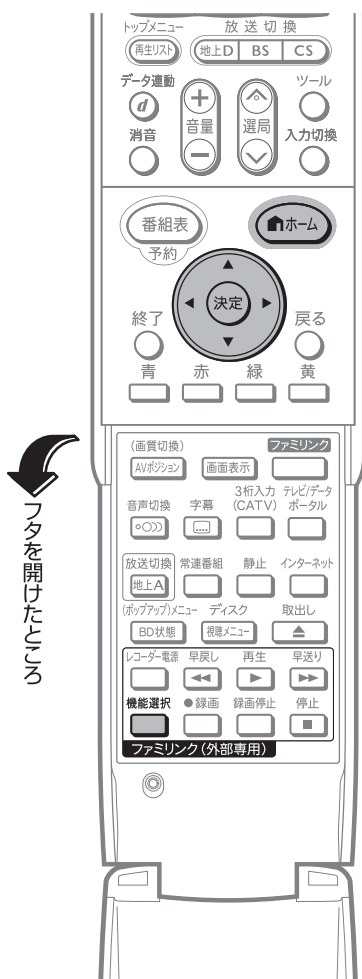
- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの再生リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。
  ファミリンク機能選択メニューから「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。
- PinP のときは、以下のボタンでレコーダーのスタートメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。

AQUOS オーディオで聞く

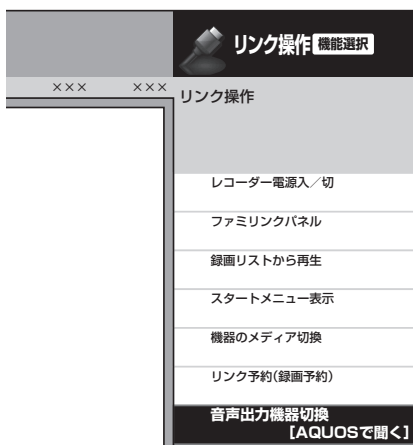
- AQUOS オーディオで音声が楽しめます。（本機のスピーカーからは、音が出ません。）
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。

◇**おしらせ**◇

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

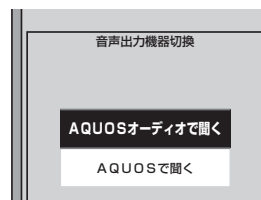
「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- 「入力／音声出力設定」(⇒**232**ページ)を「音声出力（可変 1)」または「音声出力（可変 2)」に設定しているときは、音声出力からの音声が停止します。
- 本機のホームメニューから「設定」－「音声調整」の設定はできません。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

機能選択 を押す

2 「音声出力機器切換」を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 「AQUOSオーディオで聞く」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオから音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。

本機のスピーカーから音を出すときは

- 機能選択 を押し、上下カーソルボタンで「音声出力機器切換」を選び「AQUOS で聞く」を選びます。

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のAQUOSオーディオをつないだときは

- 「ARC（オーディオリターンチャンネル）」は、テレビのチューナーの音声をHDMIケーブルを使ってAVアンプなどに伝送する機能です。
- 「ARC設定」を「自動」に設定すると、本機とARC対応のAQUOSオーディオをHDMIケーブル一本で接続することができます。（デジタル音声ケーブルは必要ありません）。**この機能は、入力1端子に接続したときのみ使えます。**

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40～45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

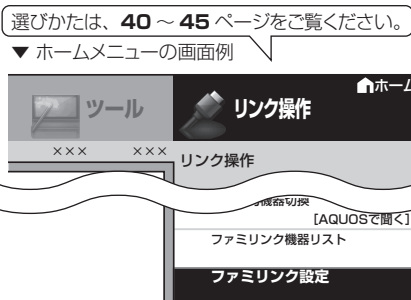
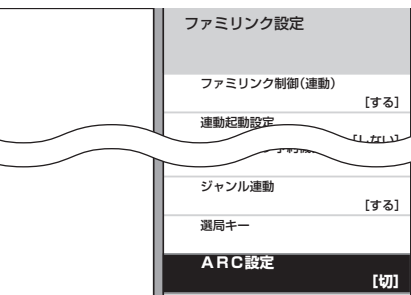
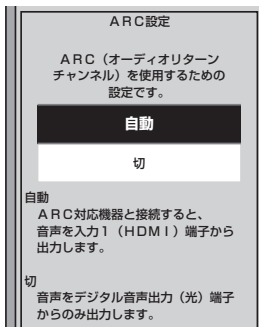
ホーム
ツール　リンク操作
××× ××× リンク操作
[AQUOSで聞く]
ファミリンク機器リスト
ファミリンク設定

2 「ARC設定」を選ぶ

で選び
を押す

ファミリンク設定
ファミリンク制御（連動） [する]
連動起動設定
ジャンル連動 [する]
選局キー
ARC設定 [切]

3 「自動」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

番組内容に適した音に切り換える

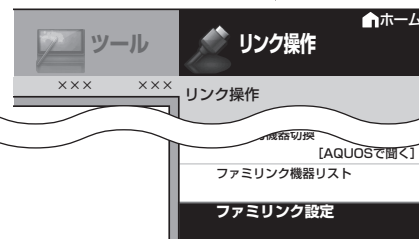
- デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOSオーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 ホームメニューを表示して、「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

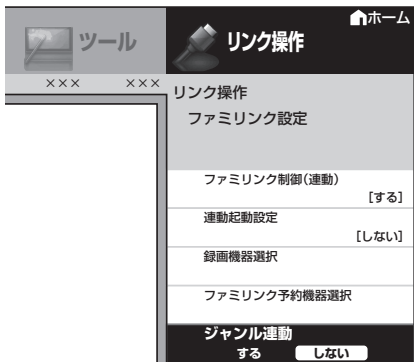
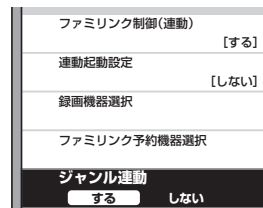
選びかたは、**40～45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
ツール　リンク操作
××× ××× リンク操作
[AQUOSで聞く]
ファミリンク機器リスト
ファミリンク設定

2 「ジャンル連動」を選ぶ

で選ぶ

3 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がありません。自動でサウンドモードが切り換わりませんので、AQUOSオーディオ側でサウンドモードを切り換えてください。
- サウンドモードについて詳しくはAQUOSオーディオの取扱説明書をご覧ください。

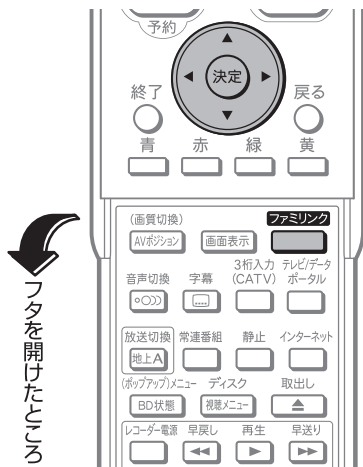
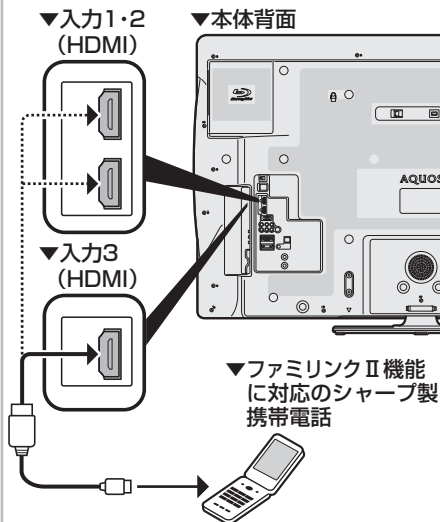
携帯電話を AQUOS につないで楽しむ

ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話を接続した場合に、ファミリンクパネルで操作できます。また、携帯電話接続中に電話やメールの着信があると、視聴画面内にAQUOS からのお知らせとして表示されます。

- HDMI micro 端子の付いた携帯電話（ファミリンクⅡ機能に対応したシャープ製携帯電話）と本機をつなぐと、さまざまなコンテンツが楽しめます。
  - 動画・写真の再生
  - 音楽の再生
  - ホームページの閲覧
  - メールの表示
  - ドキュメントの閲覧 など
- 本機のリモコンで、携帯電話の操作ができます。
- 携帯電話の出力するコンテンツに合わせ、適切な画質とサイズで表示します。
- 携帯電話のファミリンクⅡ対応機種については、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

◆ **重 要** ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していないシャープ製の携帯電話または、他社製の携帯電話では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 ファミリンクⅡ機能に対応している携帯電話を、本機につなぐ

2 ファミリンクパネル（機器選択）を表示する

ファミリンク を押す

3 操作したい携帯電話を選ぶ

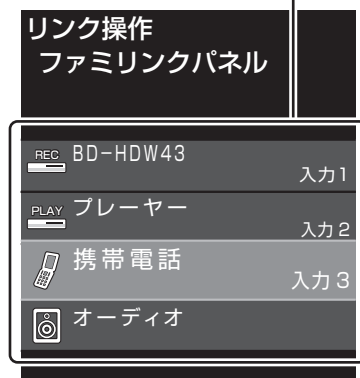
で選び 決定 を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

4 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び

を押す

携帯電話の機器名

操作ボタン
詳しくは「操作ボタンの機能について」（⇒**右記**）をご覧ください。

携帯電話を取り外すときは

- 操作ボタンの 取り外し を選んで決定してから、携帯電話を取り外します。

操作ボタン※1 の機能について

ボタン	説明
インターネット	• インターネット用のブラウザを起動します。
メール	• メールを起動します。
音楽	• 音楽プレーヤーを起動します。
静止画リスト	• 静止画の一覧を表示します。
ホーム	• 携帯電話の HDMI メニューを表示します。
動画リスト	• 動画の一覧を表示します。
早戻し	• 早戻し再生
再生	• 再生
早送り	• 早送り再生
前	• 前の動画を再生します。
一時停止	• 一時停止
次	• 次の動画を再生します。
取り外し	• 携帯電話を本機から取り外すときに選びます。

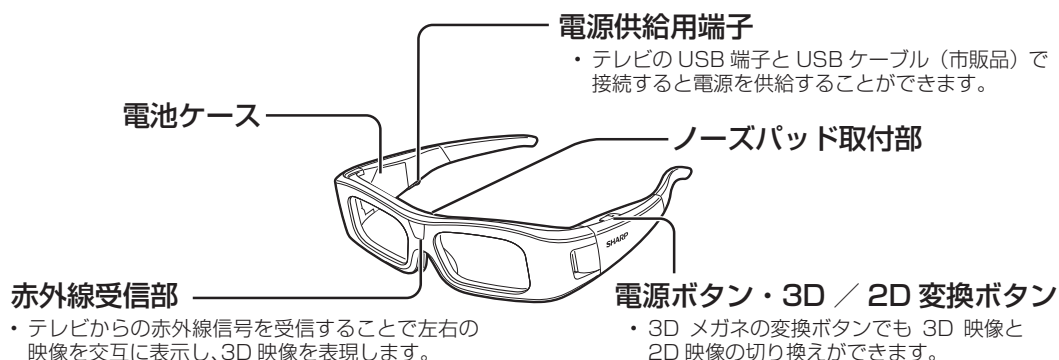
※ 1 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。

3D 映像を見る

- 本機では、付属品や別売の 3D メガネで 3D 対応の映像を見ると 3D 映像を楽しむことができます。
- 本機で交互に再生される左用・右用の映像に合わせて、3D メガネの液晶シャッターを交互に開閉し、3D 映像を表現します。

3D メガネの準備

3D メガネの各部のなまえ

- 視力矯正用メガネの上からかけることができます。

◇**おしらせ**◇
- 赤外線受信部を汚したり、シールなどを貼らないでください。テレビからの信号を受信できなくなり、3D メガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 別の赤外線通信装置の影響があると、正しい 3D 映像が見られないことがあります。

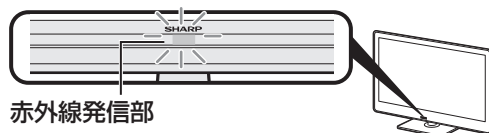
3D メガネの視聴可能範囲

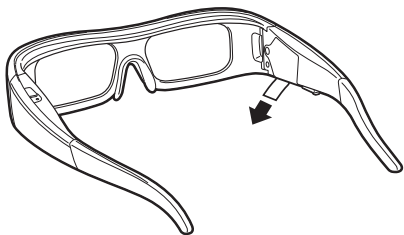
- 視聴可能範囲は、テレビ側赤外線発信部正面から約 5.0m 以内（左右約 30°、上下約 20° 以内）です。
- 推奨距離（液晶画面の高さの 3 倍程度）でお楽しみください。

推奨距離

LC-52LB3	1.9m程度
LC-46LB3	1.7m程度

オートパワーオフ機能
- 本体からの信号が受信できなくなると３分後に自動で３D メガネの電源が切れます。

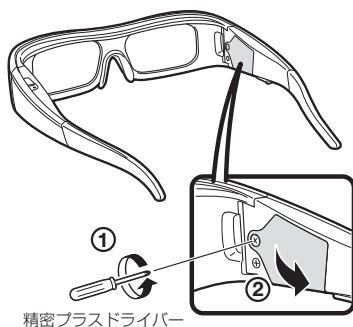
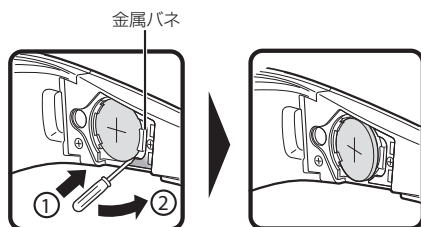
◇**おしらせ**◇
- 視聴可能範囲以外で使用すると、3D メガネが正常に動作しなくなることがあります。視聴可能範囲以内でも、ご利用の環境によっては 3D メガネが正常に動作しなくなることがあります。
- 3D メガネのレンズに力を加えないでください。また、3D メガネを落としたり、曲げたりしないでください。
- 鋭利なもので 3D メガネのレンズの表面をひっかかないでください。3D メガネが破損し、3D 映像の品質が低下するおそれがあります。
- 3D モード時は、赤外線発信部が点灯します。

3D メガネの絶縁シートを取り外す

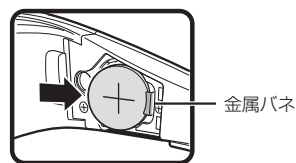
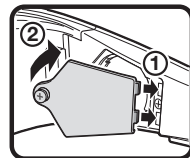
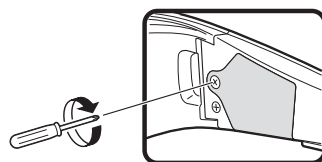
- 3D メガネをお使いになるときは、はじめに絶縁シートを取り外してください。

◇**おしらせ**◇

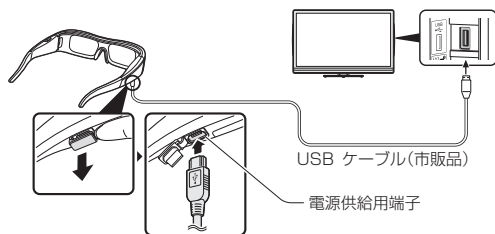
- 電池残量が少なくなると、3D メガネの電源を入れたときにランプが連続で6回点滅します。
- ボタン電池を交換するときは日立マクセル製のコイン型リチウム電池（CR2032）をご使用ください。
- 電池の極性（プラスとマイナス）を逆に入れないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

電池交換のしかた

- 金属バネにマイナスドライバーを引っかけないようにしてください。
- マイナスドライバーは、奥まで差し込みすぎないようにしてください。

1 **フタのネジを付属の精密プラスドライバーでゆるめてフタを外す**

2 **右下のプラスチック部分と電池の間に付属の精密マイナスドライバーを差し込み、電池を持ち上げる**

3 **電池がはずれたら指でとり出し、新しい電池を用意する**

4 **新しい電池を金属バネの下にもぐり込ませ、電池を上から指で押してプラスチックのフックに引っかける**

5 **フタを閉じる**

6 **フタのネジを付属の精密プラスドライバーで締める**

3D メガネに電源を供給する

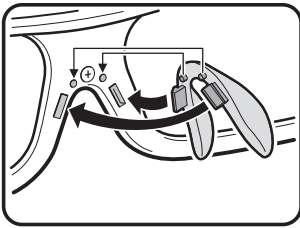
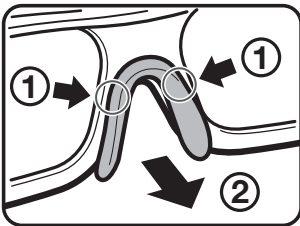
- 3D メガネの電池がなくなった場合、市販の USB ケーブルでテレビの USB 端子と 3D メガネの電源供給用端子をつなぐと、3D メガネに電源を供給することができます。

◇**おしらせ**◇

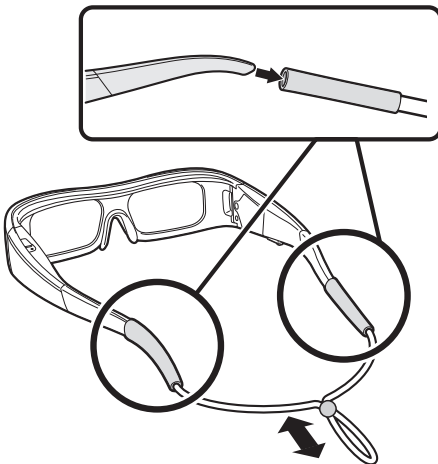
- USB ケーブルを接続するときは、必ず電池を取り出した状態でご使用ください。
- 3D メガネに電源を供給する場合は、テレビ本体の USB 端子とのみ接続してください。
- 充電機能はありません。
- 3D メガネと接続する USB ケーブルは mini-B 端子タイプをご使用ください。
- 3D メガネをかけたまま移動しないでください。ケーブルに引っ掛けるなど、テレビの転倒、けがの原因となることがあります。
- USB ケーブルを 3D メガネにつないで使用するときは、周りの人が足を引っ掛けることがないようにご注意ください。テレビの転倒、けがの原因になることがあります。

次のページに続く

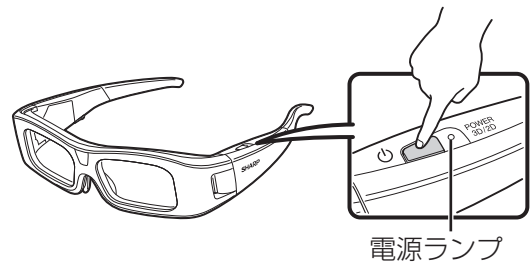
ノーズパッドを取り付ける

・必要に応じて、付属のノーズパッドを取り付けてご使用ください。
・ノーズパッドは大と小の２種類ありますので、ご自分に合ったノーズパッドをご使用ください。

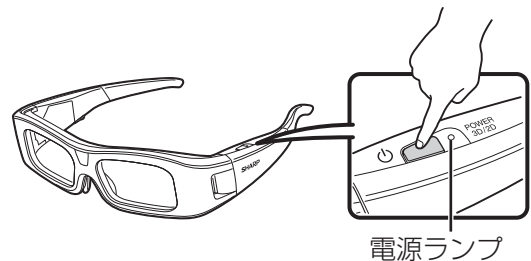
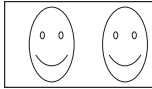
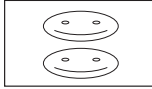
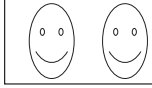
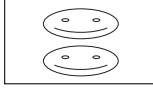
ノーズパッドの取りつけ

ノーズパッドの取りはずし

固定バンドを取り付ける

・必要に応じて、付属の 3D メガネ固定バンドを取り付けてご使用ください。

3D メガネの使いかた

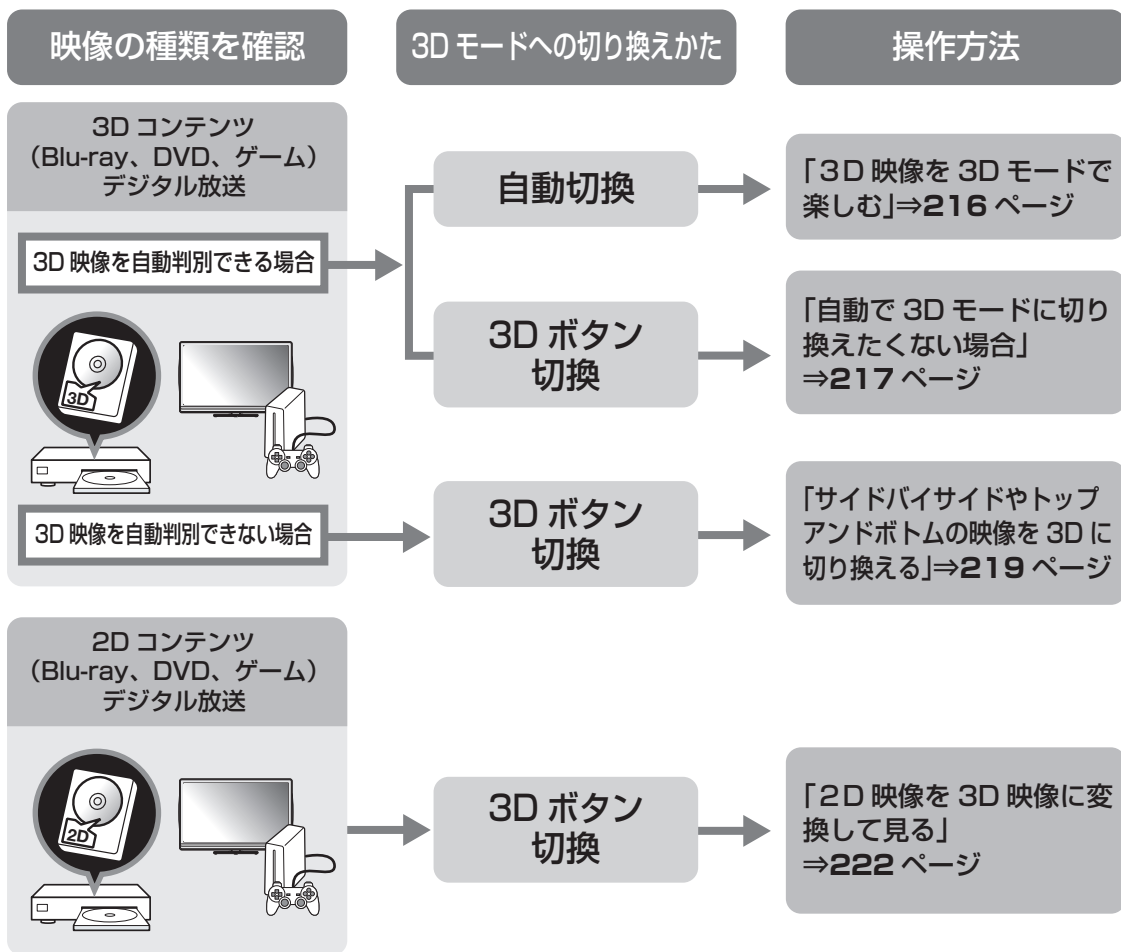
3D メガネの電源の入 / 切をする

・3D メガネの電源ボタン・3D ／ 2D 切換ボタンを約２秒間押し続けると電源が入り、電源ランプが 3 回点滅します。電源を切るときは、電源ボタン・3D ／ 2D 切換ボタンを約 2 秒間押し続けてください。（電源ランプが 2 秒点灯して、電源が切れます。）

電源	操作	電源ランプ
オンにする	2秒長押し	3回点滅
オフにする	オンの状態から2秒長押し	2秒点灯

2D 映像へ切り換える

・3D 映像視聴中に 3D メガネの電源ボタン・3D ／ 2D 切換ボタンをダブルクリックする（2 秒以内に2 回押す）と、2D 映像に切り換わります。

視聴時	操作	電源ランプ	切り換え
3D映像	2回押す	2回点滅	2D映像
2D映像	2回押す	3回点滅	3D映像

3D モードへの切り換えについて

・3D モードへの切り換えかたは、映像によって異なります。ご覧になりたい映像の種類を確認して、3D モードに切り換えてください。

3D/2D 映像の表示方式

	表示方式	画面イメージ	内容
3Dで視聴する(3Dメガネを使用します)	2D→3D変換		・通常の 2D 映像を 3D で視聴するときに設定します。
	サイドバイサイド		・左右にならんだ映像を 3D で視聴するときに設定します。左右で2分割した後、引き伸ばして交互に出力することで立体に見えます。
	トップアンドボトム		・上下にならんだ映像を 3D で視聴するときに設定します。上下で2分割した後、引き伸ばして交互に出力することで立体に見えます。
2Dで視聴する(3Dメガネを使用しません)	サイドバイサイド→2D		・左右にならんだ映像を 2D で視聴するときに設定します。左の映像だけを引き伸ばして表示します。立体には見えません。
	トップアンドボトム→2D		・上下にならんだ映像を 2D で視聴するときに設定します。上の映像だけを引き伸ばして表示します。立体には見えません。

3D 映像を視聴する

- 3D 映像信号受信時に迫力と臨場感のある映像を楽しむことができます。

◆ 重 要 ◆

- 3D モードの視聴中２画面に切り換えることはできません。
- 選局、入力切換、電源を切った場合は、3D モードが解除されます。

3D 映像の視聴中のご注意

- 3D メガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話、ハンディ無線機など）を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 高温あるいは低温では 3D メガネは十分な性能を発揮できません。使用温度範囲でお使いください。（使用温度範囲 10℃～ 40℃）
- 3D メガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。
- 3D メガネをかけた状態では、ほかのディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。3D 映像以外は、3D メガネを外して見てください。
- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D メガネを使用しないでください。
- 3D メガネは、両目を水平に近い状態で視聴してください。横になったり顔を傾けたりすると、映像が暗くなったり 3D 効果を感じにくくなったりすることがあります。
- 画面の有効高さの 3 倍程度の視距離で見てください。
  （推奨距離）：52V 型 1.9m 程度
  46V 型 1.7m 程度
- 蛍光灯などの照明によっては、ちらついて見えることがあります。このような場合は、蛍光灯を暗くしたり消したりして視聴してください。

3D 映像を 3D モードで楽しむ

- 3D モードに対応した映像を本機に表示させると自動的に 3D モードの映像へ切り換わります。3D メガネを装着してお楽しみください。

1 **3Dモードに対応した映像を画面に表示する**

2 **3Dメガネの電源を入れて装着する（⇒214ページ）**

◇**おしらせ**◇

- 3D 映像を自動判別できる信号の場合、チャンネル表示に 3D 状態を表すアイコンが表示されます。
- 3D モードで視聴中に 3D ボタンを押すと 3D メニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
  青：3D 明るさアップ設定
  赤：2D → 3D 変換効果調整
  緑：3D サラウンド設定
  黄：3D 設定メニューを表示
- 3D 映像を 2D で見ることもできます。（⇒ **218** ページ）

自動で 3D モードに切り換えたくない場合

- 2D 映像視聴中に自動で 3D 映像に切り換えたくない場合は、自動で 3D 映像へ切り換わらないように設定できます。
- 自動で切り換わらないようにしたときは、3D 映像と判別できる信号が入力された場合、3D ボタンを押して 3D 映像へ切り換えます。
- 放送や外部入力端子などから入力する映像と、本機で再生する BD の映像で、設定方法が異なります。

◆ 放送や外部入力端子の映像に対して設定する

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「3D設定」を選ぶ

を押し

で選び

決定

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「3D自動切換」を選ぶ

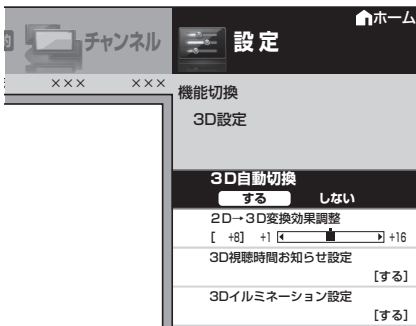
で選び

決定

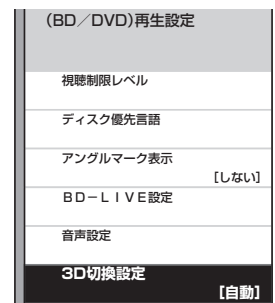
を押す

3 「しない」を選ぶ

で選び

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◆ 本機で再生するBDの映像に対して設定する

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「BD設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「(BD/DVD)再生設定」を選ぶ

で選び

を押す

3 「3D切換設定」を選ぶ

で選び

を押す

4

で選び
を押す

「2D」を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◆ 3Dモードへ切り換える

1

3Dモードに対応した映像を画面に表示する

• 3D映像が入力されたことを示すメッセージが表示されます。

2

を押し
で選び
を押す

3Dモードへ切り換える

• 「する」を選びます。

2D映像のままで見る場合

• 2D映像のままで見るときは3Dボタンを押さないでください。

3

3Dメガネの電源を入れて装着する（⇒214ページ）

• 3Dメガネは、3Dモードで視聴するときのみ装着します。

◇**おしらせ**◇

• 3D映像を自動判別できる信号の場合、チャンネル表示に3D状態を表すアイコンが表示されます。
• 3Dモードで視聴中に3Dボタンを押すと3Dメニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
  青：3D明るさアップ設定
  赤：2D → 3D変換効果調整
  緑：3Dサラウンド設定
  黄：3D設定メニューを表示

3D映像を2D映像へ切り換える

• 3Dモードで視聴中に3Dボタンを押すと2Dモードへ戻ります。

1

を押し
で選び
を押す

2Dモードへ切り換える

• 「する」を選びます。

2

3Dメガネをはずして3Dメガネの電源を切る（⇒214ページ）

◇**おしらせ**◇

• 3Dモードで視聴中に、2D映像の入力信号に切り換わったときは、自動的に2D映像に切り換わります。

手動で 3D 映像や 2D 映像に切り換える

- サイドバイサイドの映像（左右にならんだ 3D 映像）やトップアンドボトムの映像（上下にならんだ 3D 映像）を 3D に切り換えるときは 3D ボタンを押します。

サイドバイサイドやトップアンドボトムの映像を 3D に切り換える

- 3D 映像を自動判別できない場合は、手動で 3D モードへ切り換えます。

1 3D を押す

変換モードの選択を表示する

映像を3Dで視聴したり、
3D映像を2Dで視聴することができます。
（3Dで視聴する場合には3Dメガネを使用します。）

3Dで視聴する　2Dで視聴する

2

で選び

を押す

「3Dで視聴する」を選ぶ

3

で選び

を押す

3D映像の表示方式を選ぶ

3Dで視聴します。
本機に入力した3D映像信号の方式に合わせて、
表示方式を選択してください。

2D→3D

サイドバイサイド

トップアンドボトム

2D映像信号のときに使用します。

4 **3Dメガネの電源を入れて装着する（⇒214ページ）**

◇おしらせ◇

映像の表示方式の詳細は「3D/2D 映像の表示方式」（⇒ 215 ページ）をご確認ください。

- 3D モードで視聴中に 3D ボタンを押すと 3D メニューが表示され、カラーボタンで各種設定ができます。
  青：3D 明るさアップ設定
  赤：2D → 3D 変換効果調整
  緑：3D サラウンド設定
  黄：3D 設定メニューを表示

2D 映像で視聴する

- 3D 映像を 3D メガネをかけずに 2D 映像で見たい場合に下記の操作を行います。

1 **左の手順 1 〜 2 を行い、「2D で視聴する」を選ぶ**

2

で選び

決定 を押す

2D映像の表示方式を選ぶ

2Dで視聴します。
映像に合わせてアイコンを選択してください。

サイドバイサイド

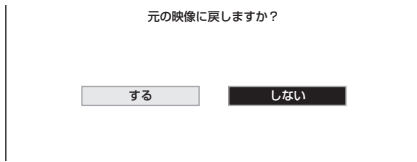
トップアンドボトム

映像が左右に分かれている3D映像信号のときに使用します。

◇おしらせ◇

映像の表示方式の詳細は「3D/2D 映像の表示方式」（⇒ 215 ページ）をご確認ください。

元の映像へ切り換える

- 次のようなときは、視聴中の映像を元に戻してから操作します。
  - 3D モードで視聴している映像を、2D モードに切り換えて視聴したいとき
  - 2D モードに変換した 3D 映像を、3D モードで視聴したいとき
- 3D モードまたは 2D モードで視聴中に 3D ボタンを押すと元の映像へ戻ります。

◇おしらせ◇

- 自動判別できる 3D 信号から、2D または自動判別できない 3D 信号に切り換わったときは、自動的に 2D モードに切り換わります。

ファミリンク機器の 3D モードと 2D モードを切り換える

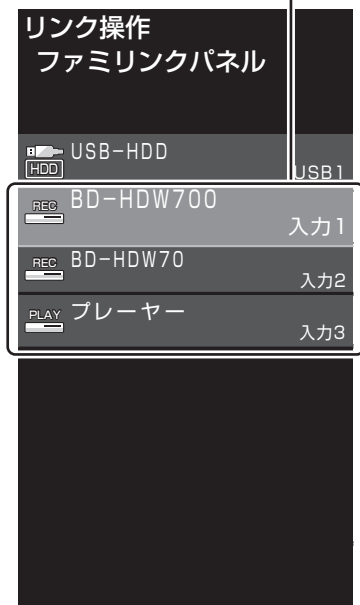
- ファミリンク操作については、**198** ～ **199** ページをご覧ください。

1 ファミリンク操作中にファミリンクパネル(機器選択)を表示する

を押す

2 操作したい機器を選ぶ

で選び 決定 を押す

ファミリンクでつながっている機器が表示されます。

3 3D切換設定ボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作ボタンについては、**199** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

- 3D 対応のファミリンク機器については SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには → 3D 対応の AQUOS について」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

2D 映像を 3D で見る

2D 映像を 3D 映像に変換して見る

• 通常の 2D 映像を 3D 映像に変換して楽しむことができます。

1 2D映像を画面に表示中に、変換モードの選択を表示する

を押す

映像を3Dで視聴したり、
3D映像を2Dで視聴することができます。
（3Dで視聴する場合には3Dメガネを使用します。）

3Dで視聴する　2Dで視聴する

2 「3Dで視聴する」を選ぶ

で選び
を押す

3 「2D→3D」を選ぶ

で選び
を押す

4 3Dメガネの電源を入れて装着する（⇒**214**ページ）

（⇒214ページ）

◇**おしらせ**◇
• 2D → 3D 変換の 3D 視聴が約 1 時間経過すると、3D 視聴を続けるかどうかの確認画面が表示されます。3D 視聴を続けたいときは、リモコンの決定ボタンを押してください。決定ボタンを押さなかった場合は、自動で 2D 視聴に切り換わります。

2D → 3D 変換の効果調整をする

• 2D 映像を 3D で見るときに 3D 効果の段階を選ぶことができます。

1 「ツール」–「2D→3D変換効果調整」を選ぶ

ツール を押し
で選び
を押す

2 左右カーソルキーで変換効果を調整する

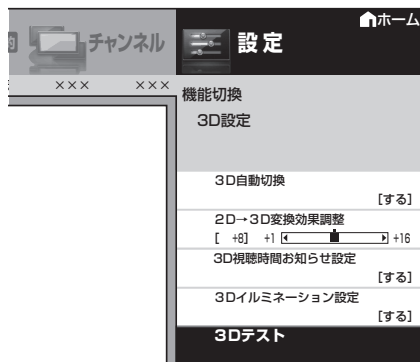
で選び
を押す

◇**おしらせ**◇
• 2D → 3D 変換時のみこの機能を使用できます。
• 3D 専用に撮影された映像ほどの効果はありません。
• 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで当機能を利用して 2D 映像を 3D 変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

3D 映像のデモを見る

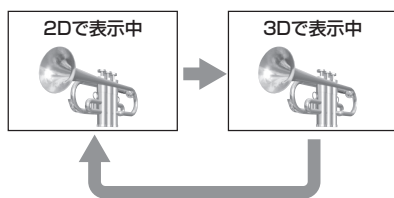
- 本機に内蔵されている静止画を使って、3D 映像を確認することができます。

1 ホームメニューから「設定」－「🧰(機能切換)」－「3D設定」－「3Dテスト」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

2 3Dメガネの電源を入れて装着する(⇒214ページ)

3 「開始」で決定する

決定
を押す

4 2D→3Dの順番で内蔵静止画を再生

- 内蔵静止画のすべての再生が終了すると、手順 **1** の画面に戻ります。
- 内蔵静止画の再生を途中で止める場合は、終了ボタンを押します。

3D 視聴時の設定

3D 映像の明るさを切り換える

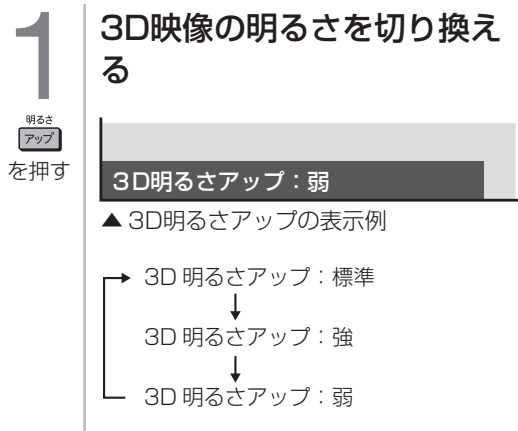
・3D 明るさアップボタンを押すたびに「3D 明るさアップ:強」、「3D 明るさアップ：弱」、「3D 明るさアップ：標準」をワンタッチで切り換えられます。

1 3D映像の明るさを切り換える

明るさアップ を押す

3D明るさアップ：弱

▲ 3D明るさアップの表示例

3D 明るさアップ：標準
↓
3D 明るさアップ：強
↓
3D 明るさアップ：弱

◇おしらせ◇

・２Dモードのときは、この機能は使用できません。

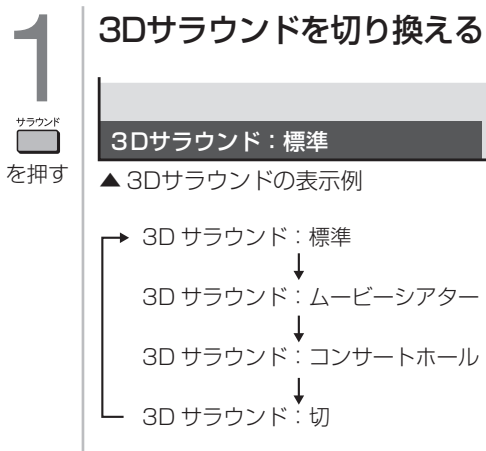
3D サラウンドを切り換える

・3D サラウンドボタンを押すたびに「3D サラウンド:標準」、「3D サラウンド:ムービーシアター」、「3D サラウンド:コンサートホール」、「3D サラウンド：切」をワンタッチで切り換えられます。

1 3Dサラウンドを切り換える

サラウンド を押す

3Dサラウンド：標準

▲ 3Dサラウンドの表示例

◇おしらせ◇

・２Dモードのときは、この機能は使用できません。

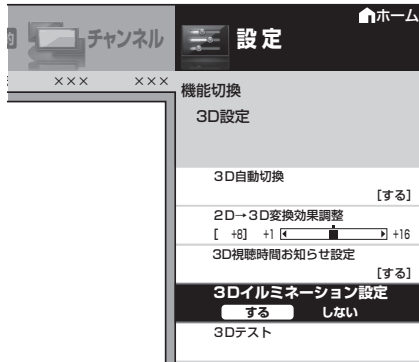
3D イルミネーションの入 / 切をする

- 3D メガネを装着して視聴する 3D モードのときに、本機前面の左下にある 3D イルミネーションを点灯させることができます。

1 ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「3D設定」−「3Dイルミネーション設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

2 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇
- 3D 映像を 2D で視聴しているときは点灯しません。
- 3D イルミネーションは 3D メガネを使用するときに点灯します。

3D 映像視聴時間を 1 時間ごとに表示する（3D 視聴時間お知らせ設定）

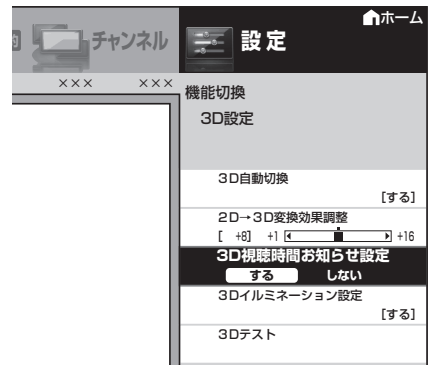
- 3D 映像を長時間見続けるのを防ぐために、経過時間を知らせてくれる機能です。

◆ **重 要** ◆
- 長時間の 3D 視聴は、人体への悪影響が考えられるため 1 時間以内の視聴をおすすめします。

1 ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「3D設定」−「3D視聴時間お知らせ設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

2 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

項目	内容
する	• 3D 映像の視聴を始めてから 1 時間経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます
しない	• 何も表示しません。

デジタルカメラの画像を表示する

- 3D 対応のデジタルカメラで撮影した 3D 画像を本機で表示することができます。

3D モードで対応できる仕様

- 対応データ形式：MP フォーマット※（拡張子 mpo/CIPA DC-007）
  - ※ Multi-Picture Format
  - ※ MP フォーマットのうち、立体視以外（パノラマ、マルチアングル等）の形式には対応しておりません。
  - ※ 対応機種以外で作成したファイルやパソコンで編集したファイルの場合、正しく表示できないことがあります。
- 対応機器については SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→動作確認済み 3D 対応デジタルカメラ一覧」をご覧ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

IrSS™ 通信で受信した静止画を 3D モードで表示する

- デジタルカメラから IrSS™ 通信で 3D 静止画を受信したとき、3D モードで表示できます。

1 デジタルカメラを操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

2 本機で静止画を受信する

◇おしらせ◇

- 3D モードで静止画を表示しているときは、回転、表示モード切換、印刷の操作はできません。
- 3D 明るさアップボタンで 3D モードの明るさを調整できます。
- 本機では、2D の静止画を受信した場合は 2D 画像を表示し、3D 静止画を受信した場合は 3D 画像を表示します。
- 画像受信後は、リモコンの 3D ボタンで 2D モードと 3D モードの切り換えをすることができます。
- デジタルカメラから静止画を送信する際は、デジタルカメラ側の設定を IrSS™ 通信モードにしてください。

USB メモリーの写真を 3D モードで表示する設定をする

- USB メモリー内の 3D コンテンツを 3D モードで表示するためにメニューで設定をします。

1 303ページの手順 1 ～5を行う

2 USBメニューを表示させる

赤 を押す

3 USBメニューの「3D表示」を選ぶ

で選び 決定 を押す

USBメニュー	
3D表示	［する］
スライドショー間隔	［１０秒］
スライドショー効果	［しない］
スライドショーＢＧＭ選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	
××× ×××	×××

4 「する」を選ぶ

で選び

を押す

◇おしらせ◇

「する」に設定すると、
- 3D の画像は 3D で表示されます。
- 2D の画像は 3D に変換して表示されます。

USB メモリーの写真を 3D モードで楽しむ

• USB メモリーに保存された写真を 3D モードで表示できます。

1 **303ページの手順 1 ～5を行う**

2 **再生したい写真を選ぶ**

で選び 決定 を押す

写真一覧画面の例

• 3D モードで表示できる写真は 3D マークが表示されます。

3 **3Dモードで表示する**

• 3D モードで表示するには「3D 表示」設定を「する」にします。(⇒ **226** ページ)
• 写真表示中の操作については **299** ページをご覧ください。
• 3D ボタンで、3D モードと 2D モードの切り換えができます。
• 3D 明るさアップボタン、3D サラウンドボタンで 3D モードの明るさや音を調整できます。

◇**おしらせ**◇

• 3D モードで静止画を表示しているときは、回転の操作はできません。
• ホームネットワークのサーバーにある写真は、3D モードで表示できません。

3D モードで USB メモリーの写真をスライドショーで表示する

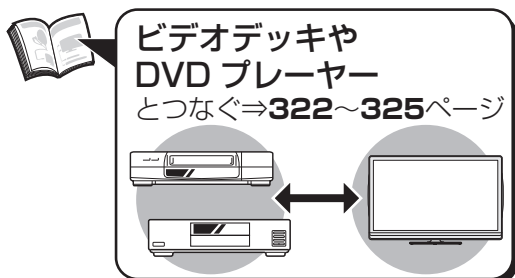
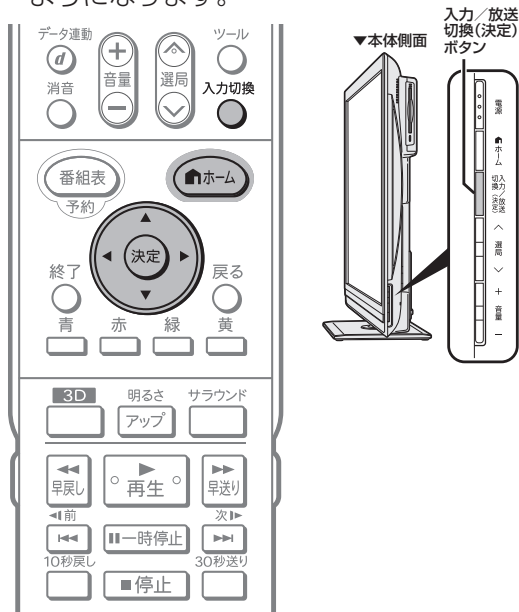
1 **303ページの手順 1 ～5を行う**

2 **スライドショーを開始する**

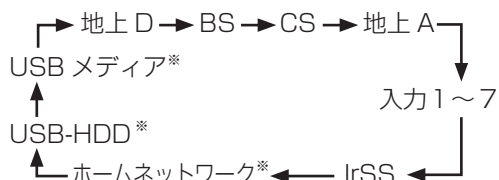
青 を押す

• 3D モードで表示するには「3D 表示」を「する」に設定します。(⇒ **226** ページ)
• 3D 明るさアップボタン、3D サラウンドボタンで 3D モードの明るさや音を調整できます。

VHS ビデオなど外部機器の映像を見る

ビデオデッキや DVD プレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

・テレビ放送の画面から外部入力画面に切り換えると、ビデオや DVD が見られるようになります。

◇おしらせ◇

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます。

・ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）

※機器を接続していないときは切り換えられません。

・本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

灰色で表示した手順は VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの操作です。

1 VHSビデオデッキやDVDプレーヤーを本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

3 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

・表示中に次の操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換 を押す

・上下カーソルボタンでも選択できます。

（例）本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ

選べる入力について

・入力 4 〜 6 は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

・入力 6 は、入力 6 端子を音声出力用の端子として使っているとき、音声出力の表示になります。（⇒ **232** ページ）

5 VHSビデオデッキやDVDプレーヤーを再生する

- VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの再生映像が本機の画面に表示されます。
- VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーによっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した VHS ビデオデッキや DVD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA

- 対応している音声信号はリニア PCM、AAC、ドルビーデジタル、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D5	1080p、720p、1080i、480p、480i
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

◇**おしらせ**◇

- 映像の種類について詳しくは、⇒ **422** ページをご覧ください。
- 映像の種類（1080i など）は放送方式の種類を走査線数で表したものです。数字が大きいほど高精細な映像になります。また D 端子の種類は数字が大きいほど高画質な映像に対応しています。本機は D5 映像の入力に対応しています。

入力4～6の映像が表示されないときは

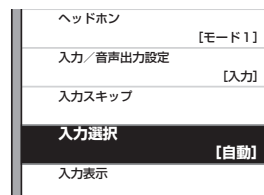
- 入力４～６の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 **入力切換ボタンを押して、表示されない入力(入力4～6)を選ぶ**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ**

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 **上下カーソルボタンで、「入力選択」を選ぶ**

4 **上下カーソルボタンで、「D端子」「S端子」「ビデオ映像」のいずれかを選ぶ**

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子または S 端子が映像端子より優先されます。（D 端子は入力4･5、S 端子は入力6のみです。）

入力切換の表示を お好みのなまえに変えるには

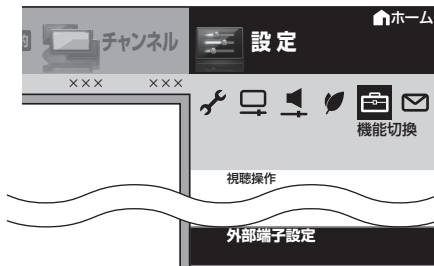
- 入力１～７に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
- 例えば、入力５にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力５」を「ゲーム」の表示にできます。

- お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。
- 入力ごとに設定できる名称は異なります。

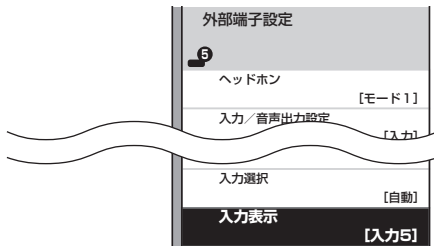
1 入力切換ボタンを押して､表示を変更したい入力(入力1～7)を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換)」−「外部端子設定」を選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 上下カーソルボタンで、「入力表示」を選ぶ

（入力５の表示例）

外部端子設定
ヘッドホン [モード1]
入力／音声出力設定 [入力]
入力選択 [自動]
入力表示 [入力5]

4 カーソルボタンで、表示させたい名称を選ぶ

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒ **106** ページ）
- ここで入力できるのは全角で５文字まで、半角で１０文字までです。

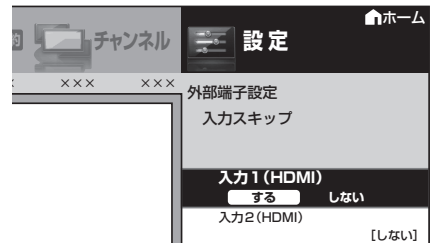
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

使用していない入力を スキップするには

- 入力１～３、入力７、IrSS™、ホームネットワーク、地上D、BS、CS、地上Aを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」−「入力スキップ」で設定します。

（例） 入力１をスキップさせる

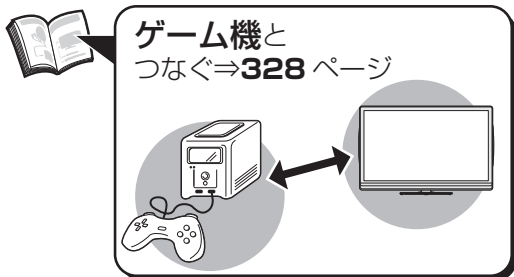
1 上下カーソルボタンで､「入力1(HDMI)」を選ぶ

2 左右カーソルボタンで､「する」を選ぶ

◇おしらせ◇

- 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンの設定もできます。
- 入力スキップを「する」に設定すると入力切換ボタンを押しても選べなくなります。
- 入力スキップを解除するには、上記の手順 **2** で「しない」を選んでください。

ゲーム機をつないで使う

ゲームの画面に切り換える

ゲーム機とつなぐ⇒328 ページ

- ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

1 ゲーム機と本機の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する

入力切換 を押す

- 表示中に次の操作を行います。

3 繰り返し押して、ゲーム機を接続した入力を選ぶ

入力切換 を押す

- 選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
- 上下カーソルボタンでも選択できます。
- 例えば、本機の入力 1 にゲーム機を接続した場合は、「入力 1」を選びます。

◇おしらせ◇
- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

目に優しい映像で、ゲームを楽しみましょう

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適な AV ポジションの「ゲーム」にすることをお奨めします。

ゲームの反応が遅いときは

- ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。
- ゲームによっては、キーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合があります。反応が遅く感じる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更し、ホームメニューから「設定」－「(映像調整)」－「プロ設定」－「QS 駆動（120Hz)」の設定を「スタンダード」または「しない」に変更してください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームメニューから「設定」－「(安心・省エネ)」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。
（入力 1 ～ 7 を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。
しない	何も表示しません。

◆ 重 要 ◆
- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（⇒ **84** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

オーディオ機器で音声を楽しむ

アナログ音声端子付きのオーディオ機器で聞く

- 本機の入力６／音声出力端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

◇**おしらせ**◇
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- 「音声出力（固定）」、「音声出力（可変 1）」、「音声出力（可変 2）」のいずれかに設定したときは、入力切換メニューの「入力 6」の表示が「音声出力設定中」に変わります。
- アナログ放送録画中と外部入力録画中は、本機から音声が出力されません。

とつなぐ⇒**329** ページ

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「入力／音声出力設定」を選ぶ

で選び
決定を押す

3 「音声出力（固定）」「音声出力（可変1）」「音声出力（可変2）」のいずれかを選ぶ

で選び
決定を押す

- 音声出力（固定）の場合は、出力する音量は調整できません。音量はオーディオ機器で調整してください。
- 音声出力（可変 1）または音声出力（可変 2）の場合は、出力する音量は音量ボタンで調整できます。

音声出力（可変 1）
- 本機のスピーカーの代わりに、接続した音響機器で音声を聞くときに選びます。本機のスピーカーからの音声が停止します。

音声出力（可変 2）
- 本機のスピーカーと接続した音響機器の両方で音声を聞くときに選びます。ウーハーをつないで、低音を強調したいときなどの設定です。

4 「する」または「しない」を選ぶ

する　しない

で選び
決定を押す

- 本機と音響機器をループ接続（下図）しないでください。ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

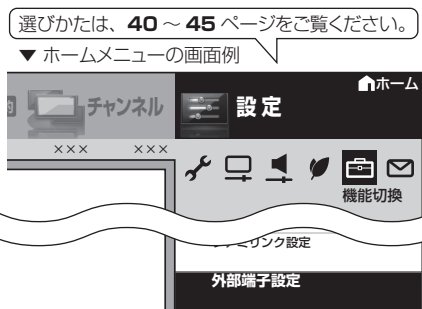
- 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC/ ドルビーデジタル /dts 音声フォーマットを出力できます。AAC/ ドルビーデジタル /dts サラウンド対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

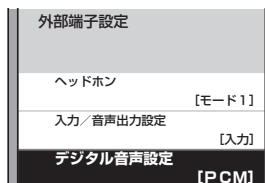
デジタル音声(光)端子付きオーディオ機器
とつなぐ⇒**329** ページ

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

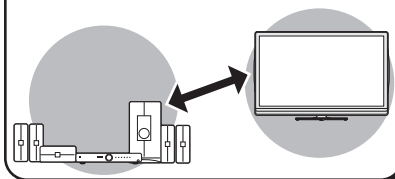
▼ ホームメニューの画面例

2 「デジタル音声設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 「PCM」または「ビットストリーム」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

「デジタル音声設定」の設定項目

項目	内容
PCM	AAC/ ドルビーデジタル /dts に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主､副､主／副）が出力されます。
ビットストリーム	AAC/ ドルビーデジタル /dts 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「ビットストリーム」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。

◇**おしらせ**◇

- 接続する機器がビットストリーム /PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「ビットストリーム」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「ビットストリーム」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ（AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（⇒ **208** ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI 端子からの入力音声信号	リニア PCM※、AAC、ドルビーデジタル
視聴中のデジタル放送音声	リニア PCM※、AAC
内蔵 BD ユニットでのディスク再生中の音声信号	リニア PCM※、AAC、ドルビーデジタル、dts

※ 48kHz 以下の 2ch 音声が出力されます。

- 「デジタル音声設定」を「ビットストリーム」に設定しているときは、市販の BD ビデオの「ドルビーデジタル EX6.1 ch」音声や「DTS · ES6.1 ch」音声など「6.1 ch」以上の音声は「5.1 ch」音声として出力されます。
- ロスレスオーディオの「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声は「コアストリーム (5.1 ch)」音声のみ出力されます。

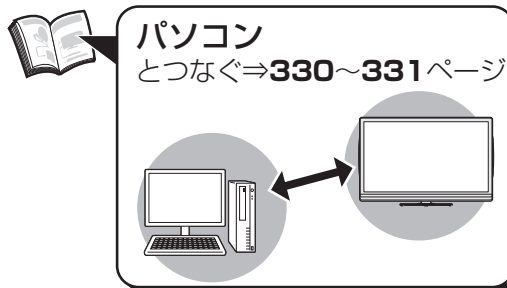
パソコンとつないで使う

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC）の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

本機が対応している解像度

解像度（画素）		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	VESA規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
480p	720 × 480	31.5	60	
※ 1080i	1920 × 1080	33.8	60	
720p	1280 × 720	45.0	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	

※の入力信号の画面サイズについては、⇒ **81** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

- 省エネの設定をすることができます。（⇒ **99** ページ）
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（「自動で画面を調整する」⇒ **236** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒**下記**をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

本機で選べる画面サイズ（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768など			画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

パソコンの画面を表示させる

1 パソコン(PC)の電源を入れる

2 入力切換メニューを表示する

入力切換を押す

- 表示中に次の手順に進みます。

3 繰り返し押して、パソコンを接続した入力を選ぶ

入力切換または決定を押す

入力切換のしかた

- ⇒ **228** ページ

入力 1 を選んだときの画面例

- パソコンの画面が表示されます。

◆ 画面サイズを選ぶ

4 ホームメニューを表示して、「設定」−「(機能切換)」−「視聴操作」を選ぶ

を押し
で選び
決定を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
機能切換
視聴操作

5 「画面サイズ」を選ぶ

で選び 決定を押す

6 お好みの画面サイズを選ぶ

で選ぶ

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

7 画面サイズ切換メニューを消す

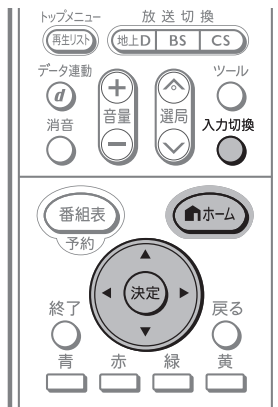
決定を押す

- 画面の調整が必要なときや、画面が正しく映らないときは、⇒ **236** ページをご覧ください。

入力 1 ～ 3 に接続したパソコンの画面を調整する

- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「画面表示設定」−「画面位置」で設定します。（⇒ **81** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 画面の明るさや色の調整などについては映像調整（⇒ **90** ページ）をご覧ください。

アナログ接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

- 入力７にパソコン（PC）を接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。
- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」ー「パソコン入力」−「自動同期調整」で設定します。

1　左右カーソルボタンで「する」を選ぶ

自動同期調整
する　しない

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力が有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

自動調整で最適な画面にならないときは、手動で画面を調整してください。

- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。

手動で画面を調整する

- 以下の項目が調整できます。（調整範囲は入力、信号、画面サイズにより変わります。）

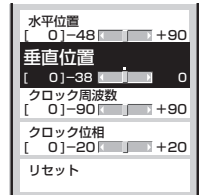
項目	内容
水平位置	• 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
垂直位置	• 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
クロック周波数	• 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	• 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
リセット	• 工場出荷時の設定に戻します。

- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」ー「パソコン入力」−「画面調整」で設定します。

（例）　画面の垂直位置を調整する

1　上下カーソルボタンで「垂直位置」を選ぶ

2　左右カーソルボタンで適切な位置に調整する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

アナログ接続したパソコンの画面が正しく映らないときは（入力解像度の設定）

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768 ライン）において自動判別できない信号があるため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。
- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」ー「パソコン入力」−「入力解像度」で設定します。

1　上下カーソルボタンで入力解像度を選ぶ

- 「自動」に設定しているときは、自動的に「1024 × 768」と「1360 × 768」の解像度を判別します。
- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 映像表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。この場合は、一度他の設定を選んだ後、再度正しい設定を選んでみてください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

パソコンの音声入力端子を設定する（入力音声選択）

- 入力２（HDMI）にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合や、入力７（アナログ RGB）にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合の設定です。
- 入力２または入力７に切り換えてから設定を行ってください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

ホーム
チャンネル　設定
×××　×××
機能切換
ファミリンク設定
外部端子設定

2 「入力音声選択」を選ぶ

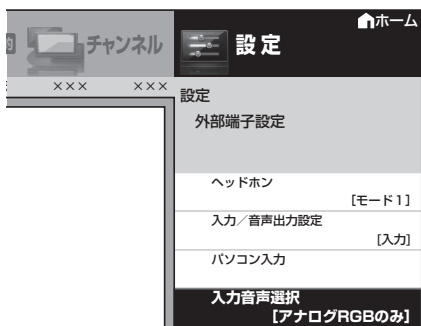
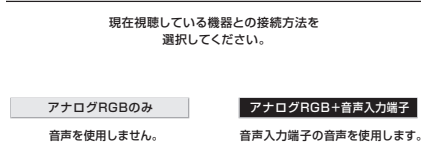
で選び

を押す

3 現在視聴している機器との接続方法を選ぶ

で選び

を押す

現在視聴している機器との接続方法を選択してください。

アナログRGBのみ　音声を使用しません。
アナログRGB+音声入力端子　音声入力端子の音声を使用します。

- パソコン（PC）を接続した端子により、選べる項目が異なります。

「入力音声選択」の設定項目（入力２に切り換えた場合）

項目	内容
HDMI のみ	HDMI ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、HDMI から音声が入力される場合
HDMI ＋ 音声入力端子	HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って入力２（HDMI）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

「入力音声選択」の設定項目（入力７に切り換えた場合）

項目	内容
アナログ RGB のみ	アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、音声を使用しない場合
アナログ RGB+ 音声入力端子	アナログ RGB ケーブルを使って入力７（PC）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 「入力音声選択」で「HDMI ＋音声入力端子」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
  通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「入力音声選択」を「HDMI のみ」に戻してください。

パソコンで本機を操作する

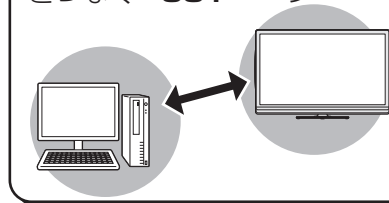
・ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。
・**パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。**

本機の通信仕様

・パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
・本機の仕様は、下記のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	８ビット
パリティ	なし
ストップビット	１ビット
フロー制御	なし

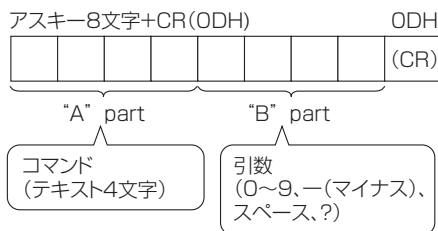
通信のしかた

・パソコンから RS-232C コネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。
・複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値（OK）を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

戻り値について

・コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

・コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

E R R (CR)

コマンドと引数について

・"B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。（必ず４文字にしてください。）設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

・次ページのコマンド一覧で引数が「－」になっているものは、「0」～「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。
・いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

RS-232C コマンド一覧

• 下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	−※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	−		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま[ラストメモリー]）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	−	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CSデジタル3桁入力	CCSD	0～999	CSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	−	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	−	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力4	INP4	0	自動	入力切換含む。入力4～6で有効
	入力5	INP5	1	D端子	入力4･5のみ有効
	入力6	INP6※1	3	S端子	入力6のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力4～6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	入力1～3･7選択時
			11	フォト	
			13	映画（クラシック）	
			14	標準（3D）	
			15	映画（3D）	
			16	ゲーム（3D）	
			17	映画　THX	
			18	映画　THX（3D）	
			100	ぴったりセレクト	
音量		VOLM	0～100	音量値	
位置調整･画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
	クロック位相	PHSE	※2	移動値	入力7にPC信号が入力されているときのみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド 4:3	（AV系480i、480p）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV系1080i、1080p/PC系）
			10	ワイド 16:9	（AV系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
			3	自動	
音声切換		ACHA	−	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 入力6は、「入力／音声出力設定」の設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※2 入力、信号、画面サイズによって範囲が変わります。

◇おしらせ◇

• “B”part欄の「−」は、「0」～「9」、「ー」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする

- インターネットやホームネットワークを楽しむために、ブロードバンド環境や LAN 環境を用意しましょう。
- 通信端末認定品の市販のルーターなどを使って LAN 接続をしてください。

ブロードバンド環境や LAN 環境を用意すると楽しめること

楽しめること	有料サービスの契約	ブロードバンド環境の用意	LAN環境の用意
オーナーズラウンジAQUOS.jpやインターネットの表示 使いかた ⇒**258**～**266**ページ	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
アクトビラ ビデオの視聴 使いかた ⇒**281**～**283**ページ	プロバイダとの契約が必要	光回線環境が必要	必要
デジタル放送の双方向通信 **（LAN接続に対応している番組のみ）**	プロバイダとの契約が必要	必要	必要
IPTVの視聴 使いかた ⇒**268**～**280**ページ	プロバイダとの契約と、IPTVサービスの契約が必要	光回線環境が必要	必要
ホームネットワーク上の写真データの表示・印刷／動画や音楽データの再生 使いかた ⇒**284**～**301**ページ	不要	不要	必要

◇おしらせ◇

AQUOS.jp について
- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

視聴者参加型データ放送の利用について
- 本機には電話回線端子がありませんので、視聴者参加型データ放送など、接続に電話回線が必要となる一部のサービスは、ご利用いただけません。（LAN 接続で利用できるものもあります。）

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルの利用について
- アクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）を利用するには、光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では､実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

IPTV の利用について
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

ホームネットワークの利用について
- ホームネットワークを利用するには、LAN 接続が必要です。インターネットプロバイダーとの契約は不要です。

ブロードバンド環境とLAN 環境の用意のしかた

1 本機が接続できるブロードバンド環境を確認する

⇒**242~257**ページ

- 本機をインターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- IPTV を視聴するためには、IPTV サービス事業者との契約などが必要です。
- ホームネットワーク（⇒ **284** ページ）を利用するときは、インターネットプロバイダーへの契約は不要ですが、ブロードバンドルーターの設置と家庭内 LAN への本機の接続が必要です。

ブロードバンド環境の確認

- ⇒ **242** ～ **243** ページ

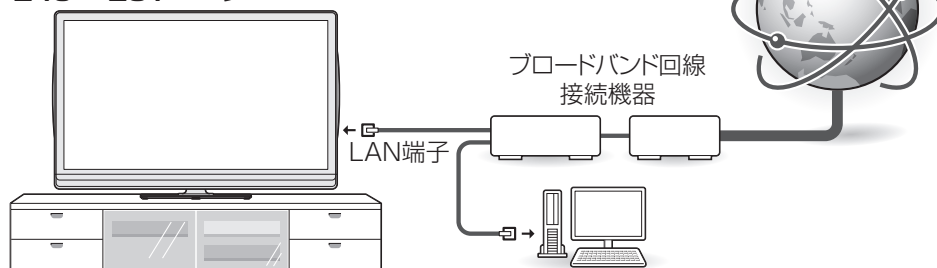
ブロードバンドルーターと本機を接続する

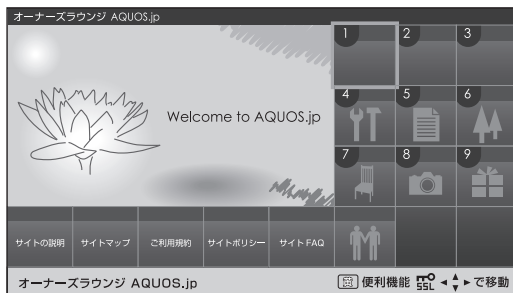
- ⇒ **243** ページ

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- ⇒ **244** ～ **245** ページ

無線 LAN をお使いの場合

- ⇒ **246** ～ **251** ページ

2 AQUOS.jpを表示してみる

⇒**259**ページ

AQUOS.jp の表示内容は一例です。

- AQUOS.jp が表示されないときは、「インターネットに接続できない場合は」（⇒ **252** ページ）をご覧ください。
- 無線 LAN 環境をお使いの場合は、無線 LAN の接続設定（⇒ **254** ページ）もご覧ください。

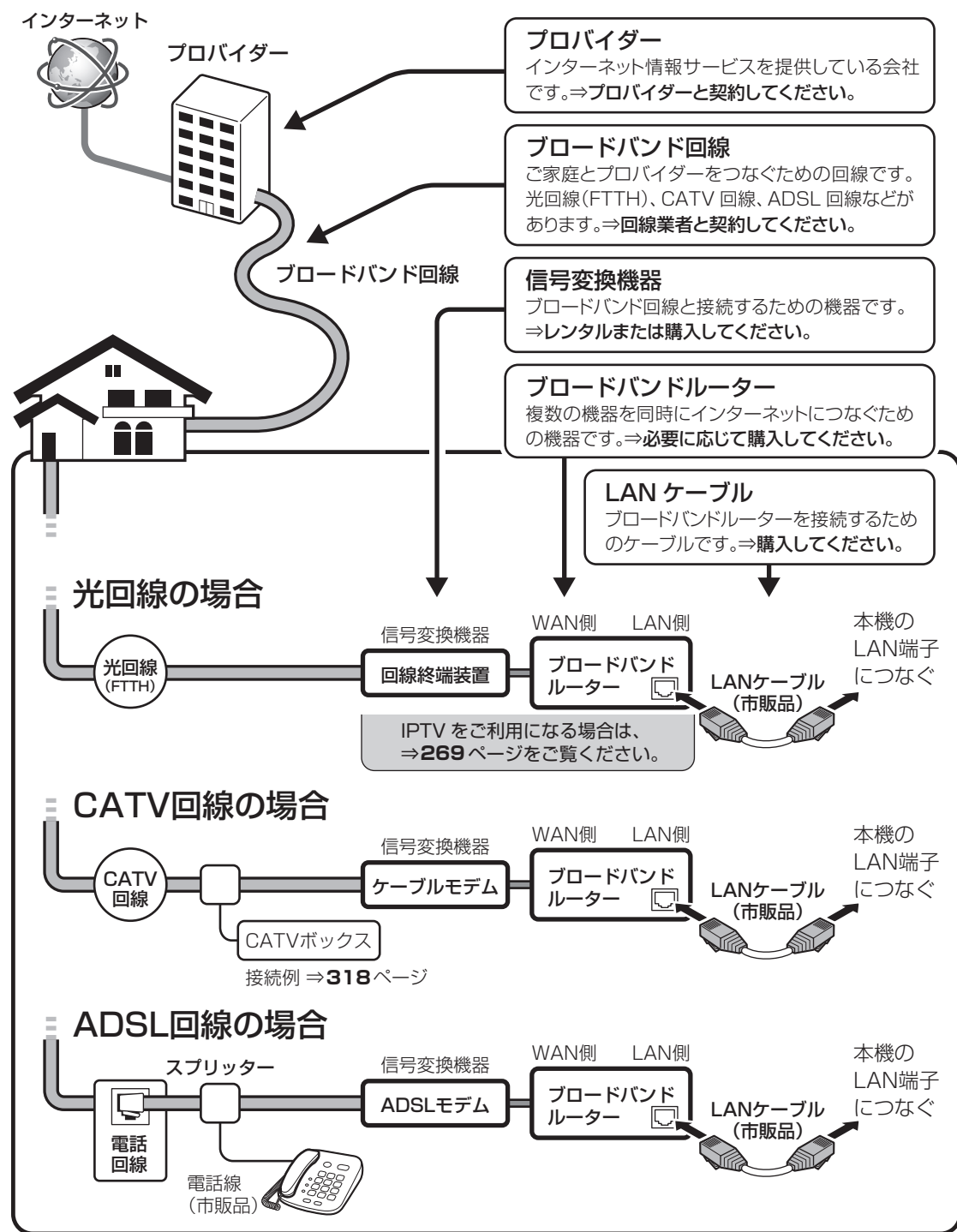
3 インターネットへの接続を制限する

- プロキシ形式のフィルタリングサービス (インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能) を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。（⇒ **257** ページ）

- インターネットやホームネットワークをお楽しみください。

ブロードバンド環境を用意する

- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- まだブロードバンド環境がない場合は、下記の環境をご用意ください。すでにブロードバンド環境がある場合は、本機をブロードバンドルーターに接続してください。（⇒**次**ページ）
- IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。

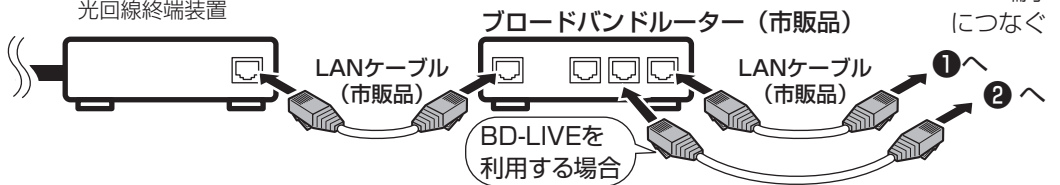
本機をインターネットに接続するためのブロードバンド環境

◇おしらせ◇

IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス（動画）をご利用いただくには、光回線（FTTH）が必要です。映像配信サービス（動画）をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件（ノイズなど）によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。

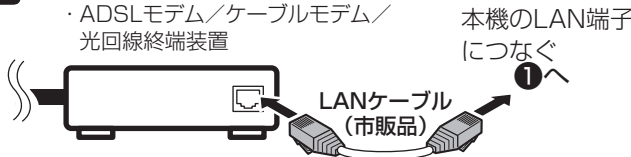
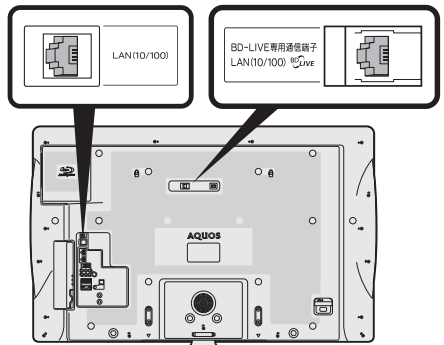
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では､実効速度（常時）12Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。

本機をインターネットに接続するための LAN 環境

- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。
- 本機には通常の LAN 端子と BD-LIVE（⇒ **142** ページ）専用の LAN 端子があります。ここでの LAN 設定は通常の LAN 端子に接続してください。

接続例 A　ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

接続例 B　ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

接続例 C　ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器（ルーター機能付き）
・ADSLモデム／ケーブルモデム／
光回線終端装置

※インターネットとBD-LIVEの両方をご利用になる場合は、ハブ(市販品)に接続し、❶と❷の両方に接続してください。

接続例 D　無線LAN環境の場合

無線LAN環境の場合は
⇒**246**ページをご覧ください。
※BD-LIVEは無線LAN接続でご利用いただけません。
BD-LIVEをご利用になる場合は、❷にLANケーブルを接続してください。

ブロードバンド環境がない場合の用意のしかた

- インターネットの接続サービスを行っている「プロバイダー」や、光回線（FTTH）・CATV 回線・ADSL 回線などを提供している「回線事業者」と契約する必要があります。詳しくはお買いあげの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。次のような手順が必要です。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

- パソコン売り場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。
- お申し込みになる前に、次の内容を確認してください。

プロバイダーや回線事業者に確認すること

- 申し込むサービスがお住まいの地域で提供されているか。
- ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか。
- インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか。
- ADSL モデムやケーブルモデムなどの信号変換機器を、お客様自身で購入する必要があるか。
- 購入する場合は、信号変換機器の種類も確認してください。

- 申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットの接続に必要な設定情報が発行されます。

◇おしらせ◇

- プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
- プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。
- 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

- ブロードバンドルーターは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

◇おしらせ◇

- 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。ただし、LAN ケーブルを接続するための端子が 1 つしかない場合、ハブ（市販品）が必要です。信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかどうかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。

- 接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。

3 LANケーブルを購入する

- LAN ケーブルは、一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。
- LAN ケーブルは、10BASE-T/100 BASE-TX タイプのものをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- LAN ケーブルをお買い求めになる前に、本機とブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要なケーブルの長さを測っておいてください。
- 通常のインターネットと BD-LIVE ビデオを並行して利用される場合は、LAN ケーブルを2本ご用意ください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

- **242**ページのように接続します。接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご確認ください。接続の際は、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

◇**おしらせ**◇

- IPTV サービスが IPv6 サービスの場合には、IPv6 に対応したブロードバンドルーターが必要になります。
- ADSL モデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は、ブロードバンドルーターは不要です。モデムの取扱説明書に従ってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能を無効にしないと正しく通信できない場合があります。詳しくは、モデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

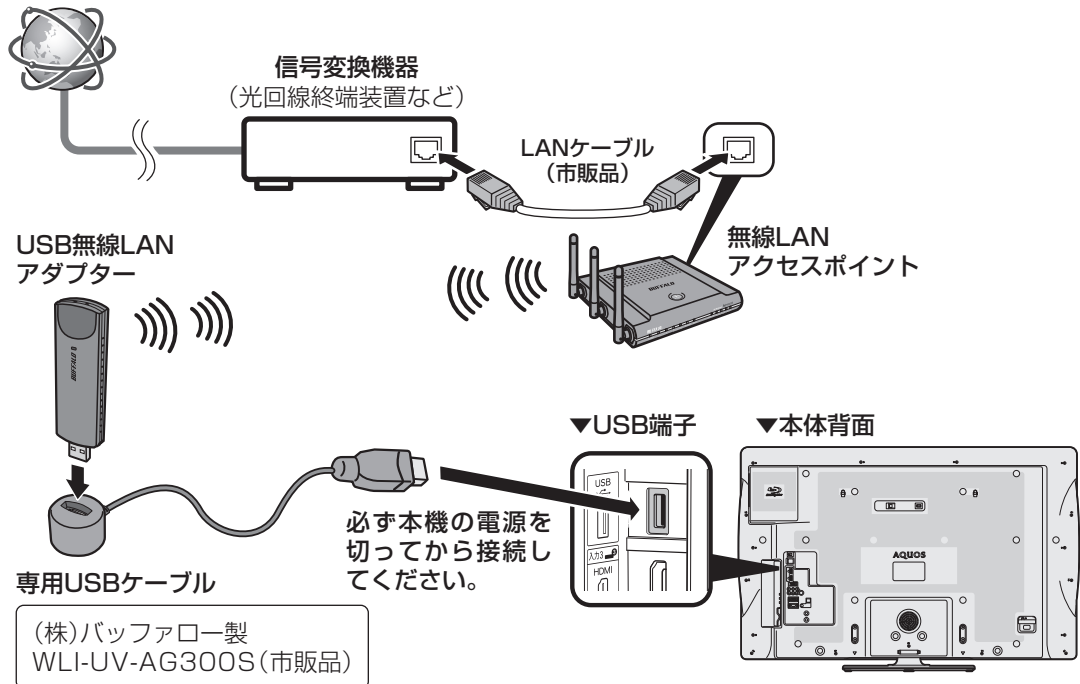
5 ブロードバンドルーターの設定をする

- プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザー ID やパスワード、IP アドレス、DNS など）をブロードバンドルーターに設定します。
- 設定の操作については、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買いあげの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

無線 LAN 環境を用意する

- USB 無線 LAN アダプター（当社指定の市販品）を本機の USB 端子につなぐと、無線 LAN 接続ができます。
  有線 LAN ケーブルの配線が不要になり、使いやすく便利です。

◆ 重 要 ◆

- BD-LIVE は無線 LAN 接続でご利用いただけません。BD-LIVE をご利用になる場合は、BD-LIVE 専用通信端子に LAN ケーブルを接続する必要があります。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
  しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- テレビの角度を変えるときに、USB 端子に負荷がかからないようにしてください。

◇おしらせ◇

- 本機に接続できる USB 無線 LAN アダプターは、（株）バッファロー製 **WLI-UV-AG300S**（市販品）以外はご使用できません。
  - 本機との接続は、USB 無線 LAN アダプター同梱の専用 USB ケーブルを使って接続してください。
  - 設置およびケーブルの取り扱いにご注意いただき、安全な場所に設置してください。
  - USB 無線 LAN アダプターは、本体が熱くなります。安全な場所に設置してください。
    くわしくは、USB 無線 LAN アダプターの取扱説明書の「USB 無線 LAN アダプター設置環境」を必ずご覧の上、正しくお使いください。
- USB 無線 LAN アダプターは、本機と 1 対 1 で接続してください。USB ハブ接続、複数機器の接続はしないでください。
- 無線 LAN を利用するためには無線 LAN アクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置、設定を行ってください。無線 LAN アクセスポイントは、安定したワイヤレス接続のために 802.11n(5GHz) 方式 /IPv6 ブリッジ接続／AES 暗号化に対応した、（株）BUFFALO 製 WZR-AGL300NH（市販品）のご使用をおすすめします。

- 無線 LAN 接続をご利用になる場合は、有線 LAN 接続のご利用はできなくなります。無線 LAN 接続または有線 LAN 接続のいずれかを選んでご利用ください。⇒ **248** ページ
- 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。⇒**249**ページ(無線設定の初期化)または **399** ページ(個人情報初期化)
- すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
  次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  - コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  - 障害物の近くへの設置
  - 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  - 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
- 本機と、(株)バッファロー製 USB 無線 LAN アダプター WLI-UV-AG300S(市販品)の接続環境で、次の認証を取得しています。
  - IEEE802.11a/b/g/n (WPA2™) (Wi-Fi アライアンスの認定プログラム)
  - Wi-Fi Protected Setup™ (Wi-Fi アライアンスの認定プログラム)
- くわしくは、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」、又は (株) バッファロー Web ページをご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

(株) バッファロー Web
86886.jp

無線ＬＡＮ使用上のご注意

無線 LAN をご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。
詳しくは本機で使用できる(株)バッファロー製　WLI-UV-AG300S(市販品)の取扱説明書、およびご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
お客さま、または第３者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

- 電波に関する使用上の注意事項について、詳しくは本機で使用できる(株)バッファロー製　WLI-UV-AG300S(市販品)の取扱説明書の「電波に関する注意」を必ずご覧になり正しくお使いください。
- 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
  個人情報(セキュリティー関連)に関する使用上の注意事項について、詳しくは本機で使用できる(株)バッファロー製　WLI-UV-AG300S(市販品)の取扱説明書の「無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティーに関するご注意」を必ずご覧になり正しくお使いください。
- 一般的な無線ＬＡＮ機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  - 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  - 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
- 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
- 日本国内でのみ使用できます。

有線接続／無線接続の設定を切り換える

- 本機は、有線接続／無線接続の接続方法を選び、接続することができます。
- 有線接続または無線接続で設定した後に有線接続／無線接続を切り換える場合は、以下の手順で設定を切り換えてください。

◇**おしらせ**◇

- 初めて無線接続設定をする場合は、**249**ページの手順でかんたんに設定できます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ

を押し

で選び

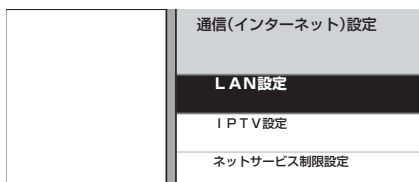
決定を押す

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

で選び

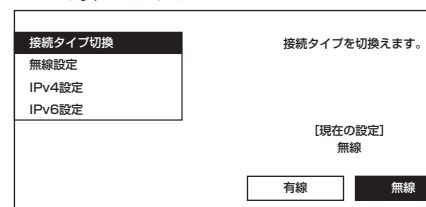
を押す

3 「接続タイプ切換」を選び、現在の設定を確認する

で選ぶ

本機と有線接続（LAN ケーブル）して使用する場合

- 「現在の設定」が「有線」になっていることを確認してください。
- 「無線」になっている場合は「有線」を選び、決定してください。
- 有線接続をされても接続できない場合は、⇒**252**･**253**ページの手順でネットワークの設定を確認してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

本機と無線接続（USB 無線アダプター）して使用する場合

- 「現在の設定」が「無線」になっていることを確認してください。
- 「有線」になっている場合は「無線」を選び、決定してください。
- 無線の設定のしかたは、⇒**249**ページの手順で接続の設定をしてください。
- 無線接続と無線設定をされても接続できない場合は、⇒**252**・**254**ページの手順で無線接続設定の確認をしてください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

アクセスポイントに接続する

- 無線 LAN に接続するには、アクセスポイント（無線 LAN 親機）と本機の接続設定をしておく必要があります。
- WPS 対応のアクセスポイントをお使いになる場合は、WPS での接続がおすすめです。（WPS に対応していないアクセスポイントをお使いの場合は、⇒**251** ページの手順で接続の設定をしてください。）
- WPS での接続には、プッシュボタン方式と PIN コード方式がありますが、プッシュボタン方式で接続すると、かんたんに設定することができます。

プッシュボタン方式

- アクセスポイントの WPS ボタンを押して、自動的に接続できます。

PIN コード方式

- PIN（Personal Identification Number）コードとは、無線 LAN ルーターや本機などの機器がお互いに情報をやり取りするときに機器の識別に利用するための識別番号のことです。
- PIN コードを手動で入力して接続の設定をします。（⇒ **250** ページ）

◇おしらせ◇

- 本機は、有線接続 / 無線接続の接続方法を選び、接続することができます。
  無線接続設定をした後で有線接続に切り換えたい場合は、⇒**248**ページの手順で有線接続に切り換えてください。

プッシュボタン方式でアクセスポイントに接続する

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

▼ ホームメニューの画面例

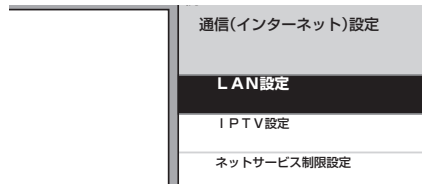
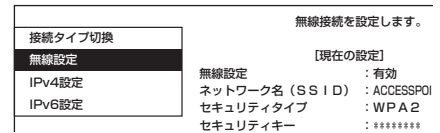
2 「LAN設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

通信（インターネット）設定
LAN設定
ＩＰＴＶ設定
ネットサービス制限設定

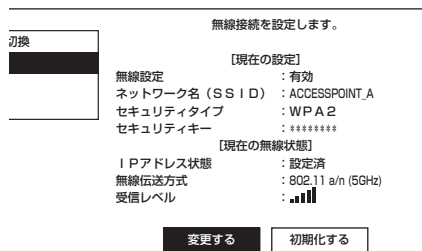
3 「無線設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

無線接続を設定します。
接続タイプ切換
無線設定
IPv4設定
IPv6設定
［現在の設定］
無線設定　：有効
ネットワーク名（ＳＳＩＤ）　：ACCESSPOI
セキュリティタイプ　：ＷＰＡ２
セキュリティキー　：********

現在設定されている無線設定状態を確認できます

- 表示内容についてくわしくは、⇒**255** ページをご覧ください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

4 「変更する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

無線接続を設定する場合や、変更する場合

- 「変更する」を選んで決定し、手順 **5** へ進みます。
  現在有線接続している場合は、無線接続に切り換わります。

操作を終了する場合

- ホームボタンを押します。

無線設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

- 「初期化する」を選び、決定します。

5 「WPS」を選ぶ

で選び
決定
を押す

無線接続先のアクセスポイントを登録します。
アクセスポイントがＷＰＳ対応の場合は、「ＷＰＳ」を選択してください。
（詳しくはアクセスポイントの説明書をご確認ください）
ＷＰＳ　ＷＰＳ対応のアクセスポイントに接続します。
アクセスポイント選択　接続するアクセスポイントを選択します。
アクセスポイント登録　接続するアクセスポイントを手動で登録します。

次のページに続く

6 「プッシュボタン方式」を選ぶ

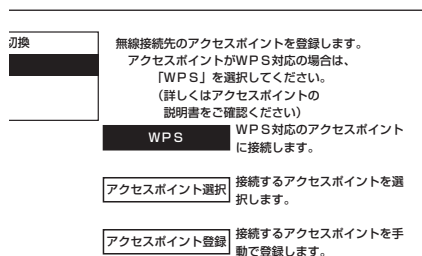
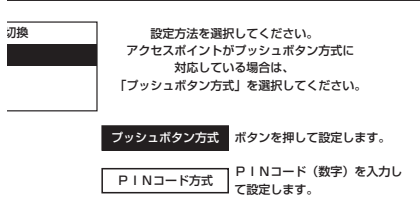
で選び

決定

を押す

切換

設定方法を選択してください。
アクセスポイントがプッシュボタン方式に
対応している場合は、
「プッシュボタン方式」を選択してください。

プッシュボタン方式　ボタンを押して設定します。

ＰＩＮコード方式　ＰＩＮコード（数字）を入力して設定します。

- 「PIN コード方式」で設定するときは、「PIN コード方式でアクセスポイントに接続する」（⇒**右記**）をご覧ください。

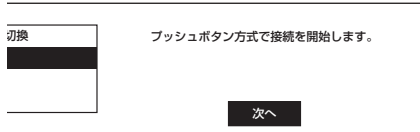
7 「次へ」で決定する

決定

を押す

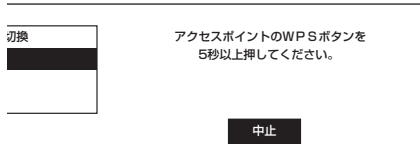
切換

プッシュボタン方式で接続を開始します。

次へ

- アクセスポイントの WPS ボタンが押されるのを待っている状態になります。

切換

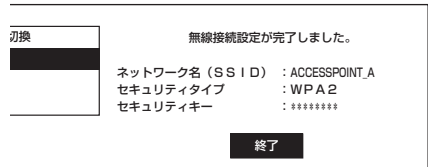
アクセスポイントのＷＰＳボタンを
５秒以上押してください。

中止

8 アクセスポイントの WPSボタンを5秒以上押す

- WPS ボタンとは、無線 LAN 自動接続のためのボタンです。アクセスポイントによっては、WPS ボタンの名称が異なる場合や、ボタンを数秒間押し続ける必要があります。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

▼アクセスポイントの例

- アクセスポイントの WPS ボタンを押すと、無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

9 「終了」で決定する

決定

を押す

切換

無線接続設定が完了しました。

ネットワーク名（ＳＳＩＤ）　：ACCESSPOINT_A
セキュリティタイプ　：ＷＰＡ２
セキュリティキー　：********

終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒**254**ページをご覧ください。

PIN コード方式で アクセスポイントに接続する

1 **前ページの手順1～5を行う**

2 **「PINコード方式」を選んで決定する**

3 **本機のPINコードをアクセスポイントに設定する**

- PIN コードが表示されます。（PIN コードは、「PIN コード方式」を選ぶたびに異なる番号が表示されます。）
- 表示された PIN コードを、アクセスポイントに設定します。設定のしかたは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントに PIN コードを設定したら、「次へ」で決定します。

4 **接続するアクセスポイントのSSIDを選んで決定する**

- SSID の確認のしかたについては、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 無線接続確認中の画面になります。そのまましばらくお待ちください。
- 無線接続が完了したら、接続の内容が表示されます。

5 **「終了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒ **254** ページをご覧ください。

その他の手動設定で アクセスポイントに接続する

- 手動での設定方法には、アクセスポイント選択方式とアクセスポイント登録方式があります。

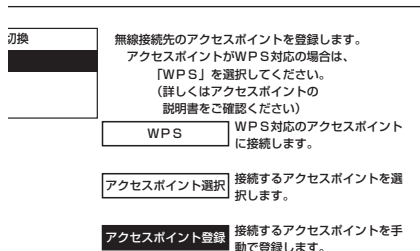
アクセスポイント選択方式

- 接続できるアクセスポイントを検索してリスト表示し、接続するアクセスポイントを選択します。

アクセスポイント登録方式

- 接続するアクセスポイントの SSID 番号を入力します。

1 **249ページの手順1～4を行う**

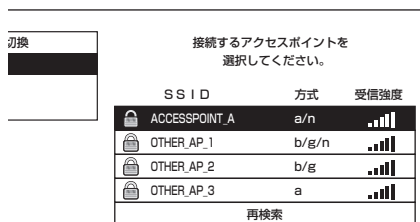
2 **上下カーソルボタンで「アクセスポイント選択」または「アクセスポイント登録」のいずれかを選び、決定する**

- 「WPS」で設定するときは、⇒**249**ページをご覧ください。

「アクセスポイント選択」を選んだ場合

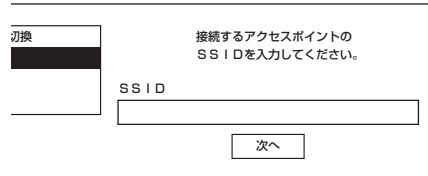
- 手順 **3** へ進みます。

「アクセスポイント登録」を選んだ場合

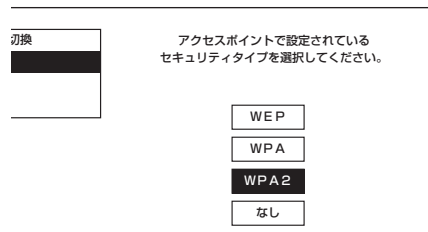
- 手順 **4** へ進みます。

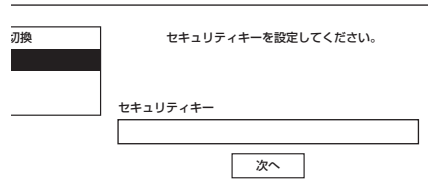
3 **上下カーソルボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定する**

- 手順 **6** へ進みます。

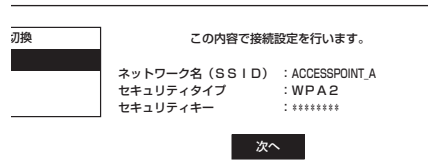
4 **SSIDを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒**104**ページ）をご覧になり、SSID を入力します。

左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

5 **上下カーソルボタンで「WEP」「WPA」「WPA2」「なし」のいずれかを選び、決定する**

- アクセスポイントで設定されているセキュリティタイプを選びます。

6 **セキュリティーキーを入力する**

- 「文字を入力する（ソフトウェアキーボード）」（⇒**104**ページ）をご覧になり、セキュリティーキーを入力します。

左右カーソルボタンで「次へ」を選び、決定する

7 **設定の内容を確認し、決定する**

8 **「終了」で決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

- 無線接続設定に失敗した場合は、アクセスポイントの電源や設定を確認してください。それでも接続できない場合は、⇒**254**ページをご覧ください。

インターネットに接続できない場合は

ネットワークの設定を確認する

・AQUOS.jp を表示できない場合は、以下の手順で、ネットワークの設定を確認します。

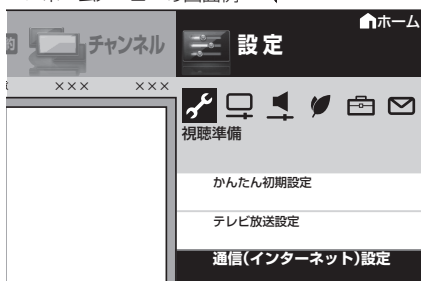
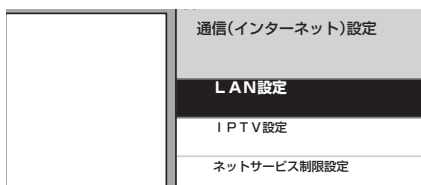
1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「LAN設定」を選ぶ

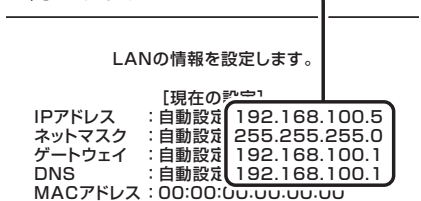
で選び
を押す

3 「IPv4設定」を選ぶ

・各項目に数値が表示されているか確認します。

で選び
決定
を押す

LANの情報を設定します。

[現在の設定]

IPアドレス	：自動設定	192.168.100.5
ネットマスク	：自動設定	255.255.255.0
ゲートウェイ	：自動設定	192.168.100.1
DNS	：自動設定	192.168.100.1
MACアドレス	：00:00:00:00:00:00	

・この画面に表示されている数値は一例です。お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目が空欄の場合

次のことを確認してください。

・ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
・本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が、正しく接続されていますか。
・ブロードバンドルーターの DHCP 機能（IP アドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。DHCP 機能を使用しない場合は、LAN 設定で IP アドレスなどを入力してください。（⇒**次**ページ）
・無線 LAN につないでいる場合は、アクセスポイントなどの無線設定を確認してください。（⇒ **254** ページ）

各項目に数値が表示されている場合

LAN 設定を確認しても原因が分からないときは、次のことを確認してください。

・接続する機器の電源は入っていますか。
・ブロードバンドルーターと、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
・ブロードバンド回線と、回線終端装置やケーブルモデム、ADSL モデムなどとが正しく接続されていますか。
・通常のインターネットを閲覧する場合は LAN 端子（通常）へ、BD-LIVE ビデオを利用する場合は BD-LIVE 専用通信端子に接続されていますか。
・ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか。
・ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用しているかたは、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
・ホームメニューから「設定」−「（視聴準備）」−「通信（インターネット）設定」−「ネットサービス制限設定」−「インターネット接続制限」を「しない」に設定してください。（⇒**256**ページ）

ここに記載している項目をすべて確認しても原因が分からないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークの設定を変更する

・IP アドレスなどを手動で設定する場合は、次の手順で設定を変更します。

1 **前ページの手順1〜2を行う**

2 **上下カーソルボタンで「IPv4設定」または「IPv6設定」を選び、決定する**

IPv4 を設定する場合
・「IPv4 設定」を選んで決定します。

IPv6 を設定する場合
・「IPv6 設定」を選んで決定します。

3 **左右カーソルボタンで「変更する」を選び、決定する**

4 **IPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**

・「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。

入力する必要がない場合
・「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

5 **DNSのIPアドレスなどを入力する場合、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定する**

・「IP アドレスなどの入力のしかた」(⇒**右記**)をご覧になり、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
・セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合
・「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

6 **「完了」で決定する**

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 で選び を押す

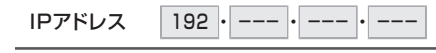
入力欄を選ぶ
・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 1 〜 12 で入力

文字を入力する
・「0」を入力する場合は 10 を押します。
・IPv6 の場合 11 で「abc」、12 で「def:」を入力できます。

3 黄 を押す

入力した文字を確定する
・ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス 192 · --- · --- · ---

◇**おしらせ**◇

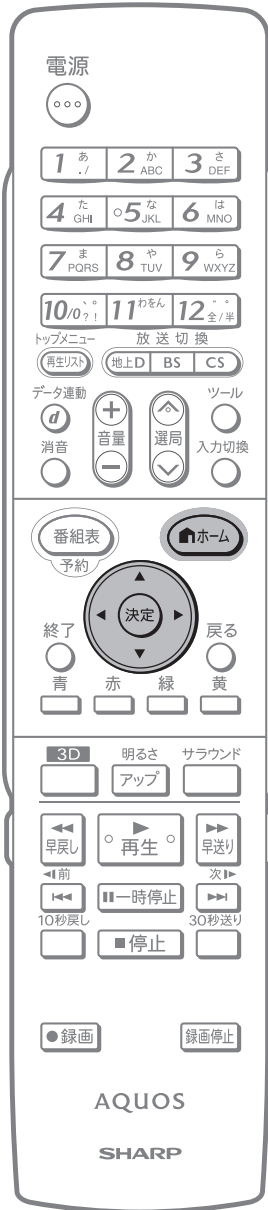
IP アドレスについて
・TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて
・TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて
・異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき
・DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

無線接続の設定を確認する

・無線接続ができない場合は、無線設定を確認します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

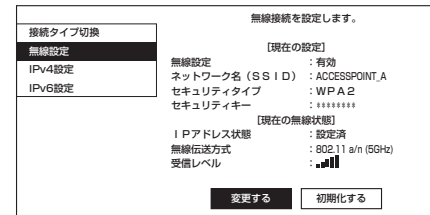
選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

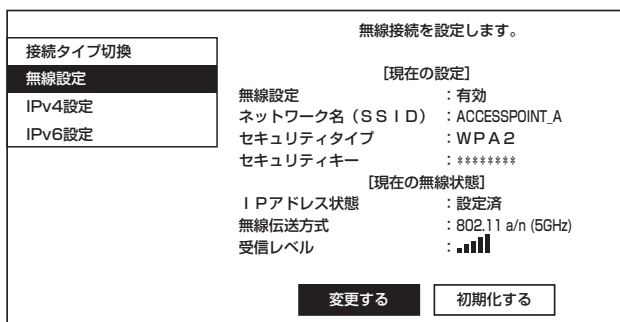
2 「LAN設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「無線設定」を選ぶ

で選び
を押す

4 無線接続の設定を確認する

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼無線設定の表示例

「無線設定」の表示内容の説明

項目	正常に動作している場合	ここを確認してください
無線設定	有効	⇒**248**ページの手順で接続タイプ切換をしてください。
ネットワーク名（SSID）	設定されている SSID が表示されます。	• ⇒ **249** ～ **251** ページの手順で無線設定をしてください。 • 安定に受信いただくためには、WPA2 をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
セキュリティタイプ	設定されているセキュリティタイプが表示されます。（表示例⇒ WPA2）	
セキュリティキー	設定されているセキュリティキーが表示されます。（通常は *** が表示されます）	
IP アドレス状態	設定済が表示されます。（設定中のときは、自動設定していますと表示されます。）	⇒**252**ページの手順でネットワークの設定を確認してください。
無線伝送方式	無線伝送方式が表示されます。 （表示例⇒ 802.11a/n（5GHz））	安定に受信いただくためには、802.11a/n（5GHz）をおすすめします。アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
受信レベル	受信レベルが表示されます。 （通常は左から 5 つまで緑になれば電波は良好です。）	⇒ **246** ～ **247** ページの設置環境で USB 無線 LAN アダプターを設置し、レベル表示が良好になる位置に設置してください。

正常動作の表示がされない場合

次のことを確認してください。

- 本機にUSB無線LANアダプターは接続されていますか。⇒**246**ページの「無線LAN環境を用意する」をご覧ください。
- アクセスポイントの電源が入っていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントの設定はされていますか。アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- すでにアクセスポイントに接続している機器はありますか。接続している機器の数や設定によっては、接続できない場合があります。本機のみ接続して確認してください。
- アクセスポイントを複数台お使いですか。無線のチャンネルや周波数が競合しているか確認してください。
- 有線接続で接続できますか。⇒**252**ページの手順で、ブロードバンド環境が正しく接続されているか確認してください。

ここに記載されている全ての項目を確認しても原因が分からないときは、
⇒ 374 ～ 375 ページをご確認ください。

インターネットへの接続を制限する

双方向サービスやインターネット接続の利用を制限する

- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送やインターネットでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇おしらせ◇
- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **102** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を禁止する設定の例

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し
で選び 決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選ぶ

で選び 決定 を押す

デジタル放送接続制限
- デジタル放送の双方向通信を禁止します。

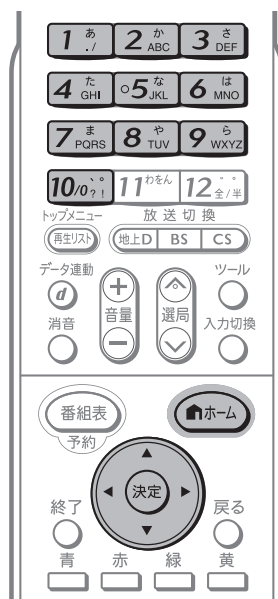
インターネット接続制限
- インターネットの接続を禁止します。禁止すると、インターネットの表示や IPTV の視聴ができなくなります。

4 暗証番号を入力する

1 ～ 10 で入力

5 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

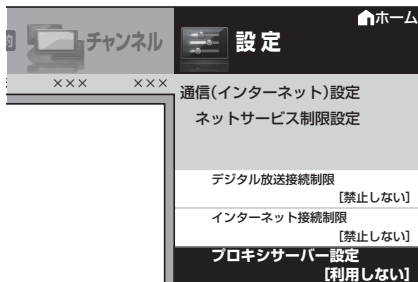
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

プロキシ設定機能を利用する（プロキシサーバー設定）

- プロキシ形式のフィルタリングサービス（インターネットでの有害情報が含まれる特定ページへのアクセスを禁止する機能）を利用する場合や、プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定を行ってください。

◇**おしらせ**◇
- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **102** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 前ページの手順1～2を行う

を押し
で選び
決定
を押す

2 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

で選び
決定
を押す

3 暗証番号を入力する

1～10 で入力

4 「変更する」を選ぶ

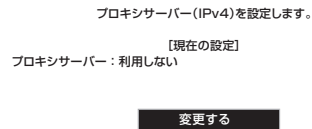
を押す

プロキシサーバー（IPv4）を設定します。

［現在の設定］
プロキシサーバー：利用しない

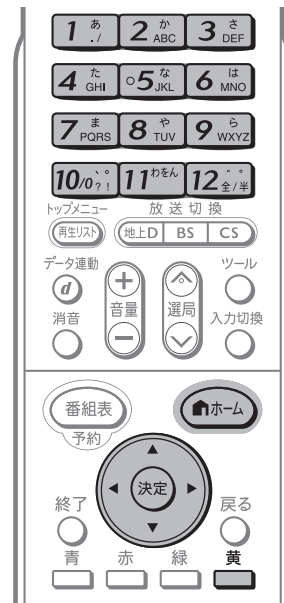
変更する

5 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

6 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

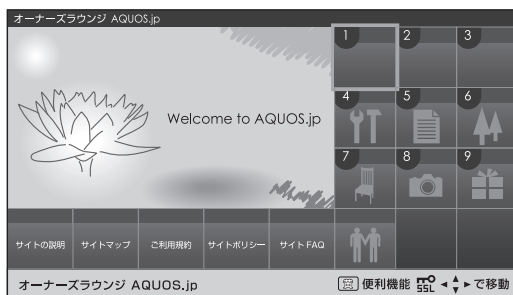
で選び
決定
を押す

- 各欄を選ぶとソフトウェアキーボードが表示されます。
  1～12で文字を入力し 黄 で確定します。
  詳しくは「文字を入力する」（⇒ **106** ページ）をご覧ください。

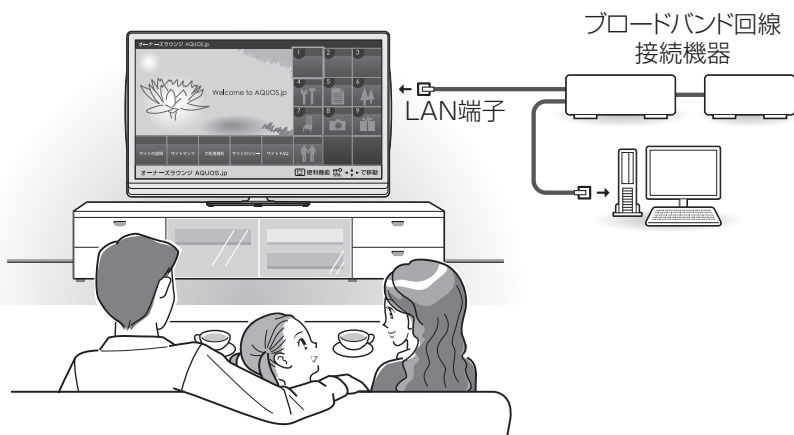
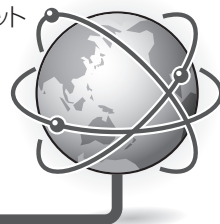
7 「完了」で決定する

決定
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

インターネットを楽しむ（AQUOS.jp）

- AQUOS のお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。本機の活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

AQUOS.jp の表示内容は一例です。

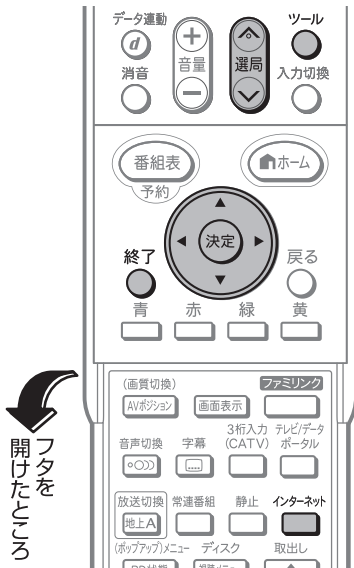
接続について

- インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **240** ～ **251** ページ）をご覧になり、接続と設定を行ってください。

- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標または商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

- 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。
  - ファイルのダウンロードはできません。
  - 表示したページの履歴は表示できません。
  - インターネットボタンを押したあと最初に表示されるページは変更できません。
  - ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
  - ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。
  - PDF（電子文書）を読み込む機能はありません。
  - メールの送受信機能はありません。

AQUOS.jp を表示する

◇**おしらせ**◇

テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声が聞こえます。インターネットのページの音声は聞けません。
- テレビのチャンネルは選局ボタンで切り換えてください。数字ボタン（チャンネルボタン）では、選局できません。
- テレビとインターネットの画面の位置は変更できません。
- 「2 画面＋インターネット」の場合、左半分のテレビ画面については、2 画面で表示したときと基本的な操作は同じです。(⇒ **74** ページ)
- 「2 画面＋インターネット」では、大小 2 画面や PinP の表示はされません。
- テレビとインターネットを同時に使用しているときは、ファミリンクでの外部接続の操作はできません。

視聴予約しているときは

- 視聴予約した時間になると、予約した番組が 1 画面で表示されます。

BD ビデオや DVD ディスクの映像も同時に表示したときは

- トップメニュー／ディスクメニューの操作をしたいときは、リモコンの（ツール）を押します。「○○画面の操作」※を選び、決定ボタンを押します。「する」を選び、決定ボタンを押すと、トップメニュー／ディスクメニューの操作ができるようになります。(「する」を選ぶと、インターネットの操作はできません。)

※ ○○には、再生しているディスクの種類が表示されます。

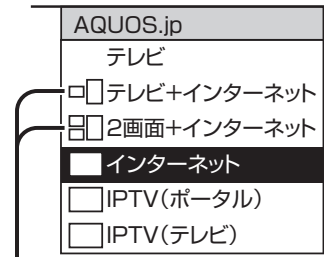
1 AQUOS.jpメニューを表示する

インターネット を押す

- 表示中に次の操作を行います。

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

テレビも同時に見たい場合に選びます。

ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。(画面は一例です。)

- テレビの画面に戻すときは、終了ボタンを押します。インターネットの画面だけを表示しているときは、選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

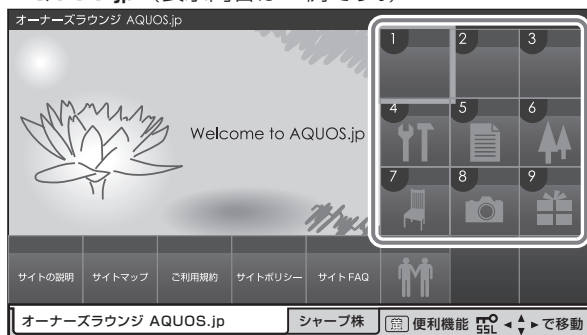
AQUOS.jp が表示されないときは

- 「LAN 接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。終了ボタンを押して、テレビの画面に戻してから「インターネットに接続できない場合は」(⇒ **252** ページ) をご覧になって、インターネットに接続してください。

インターネットを楽しむ操作
⇒ **260** ～ **264** ページ

インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた

ブラウザとは
- インターネットのページを表示するためのソフトウェアのことです。

ブラウザで表示されたインターネットのページ例
AQUOS.jp（表示内容は一例です。）

タブ

セキュリティで保護されたページの場合、明るく表示されます。

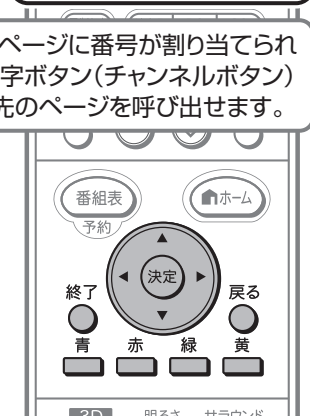
インターネットのページに番号が割り当てられている場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）を押すと、リンク先のページを呼び出せます。

ページに続きがある場合は、その方向が明るく表示されます。
- 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。

 でそのページの続きが見られます。

リンクについて
- インターネットのページには、他のページ（サイト）に移動できる「リンク」があります。

「リンク」からリンク先へ移動できます。

- 「リンク」の見た目は文章や画像などさまざまですが、選ぶとリンク先へ移動できる働きは同じです。
- 選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）が黄色の枠で囲まれます。

でリンクを選び、決定を押してリンク先のページを呼び出します。

終了 でテレビの画面に戻します。

戻る で一つ前の画面に戻します。

◆ 重　要 ◆
- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。また、ブラウザ動作による不具合があった場合、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

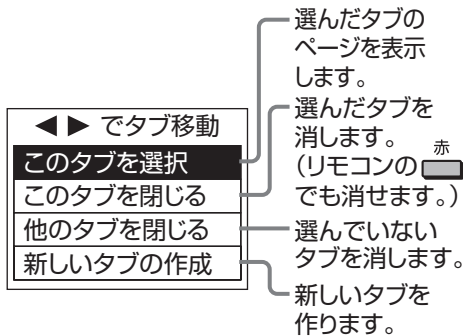
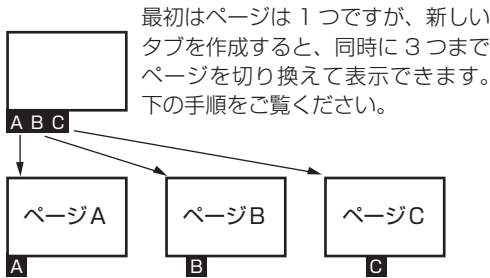
◇おしらせ◇

セキュリティの通知画面が表示されたとき
- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、「セキュリティ設定」で設定できます。（⇒ **265** ～ **266** ページ）

Cookieの確認画面が表示されたとき
- Cookie（⇒ **423** ページ）を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- この画面を表示させるかどうかは、「Cookie設定」で設定できます。また、Cookieはまとめて削除することもできます。（⇒ **265** ～ **266** ページ）

ページの中に ☒ が表示されたとき
- ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などに表示されます。ツールバーの（再読み込み）（⇒**次**ページ）を選んで、ページを表示し直してみてください。

タブの使いかた

- インターネットのページを、同時に 3 つまで切り換えて表示できます。それぞれのページに「タブ」が付き、「タブ」でページを切り換えます。

1 緑 を押す

タブ操作メニューを表示する

- ツールバーから表示することもできます。
- タブ操作メニューを閉じた状態からリモコンの 青 で、選択しているリンク先のページを新しいタブで表示することができます。
- すでにタブを 3 つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

2 で選ぶ

操作したいタブを選ぶ

タブ

3 で選び 決定 を押す

「このタブを選択」を選ぶ

ツールバー（便利機能）の使いかた

- ツールバーを使って、ブラウザの操作や設定が行えます。

黄 を押す

ツールバー(便利機能)を表示する

ツールバー(便利機能)

- でボタンを選び 決定 を押すとその機能が実行されます。(⇒**下記**)
- ツールバー（便利機能）を消したいときは、もう一度黄ボタンを押します。

ツールバー(便利機能) について

ボタン	はたらき
	リンク先のページを新しいタブで表示します。
	タブ操作メニューを表示します。
	1 つ前のページに戻ります。
	前のページを見たあとに元のページに再び進みます。
	ページを再読み込みします。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。
	AQUOS.jp を表示します。
	URL を入力するときに選びます。(⇒**262** ページ)
	ブックマークを開くときに選びます。(⇒**262**ページ)
	表示中のページをブックマークに登録します。(⇒**262**ページ)
	ブラウザメニューを表示します。(⇒**265** ページ)

◇**おしらせ**◇

- ツールバー（便利機能）を表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ツールバー（便利機能）が消えます。

次のページに続く

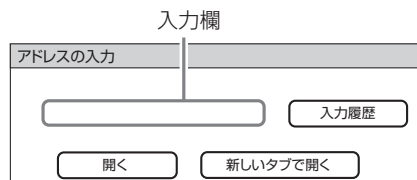
URL（アドレス）を入力してページを表示する

- URL（アドレス）は、インターネットの個々のページを家に例えたときの、住所（アドレス）のようなものです。雑誌や広告などでURLを知っているときは、URLを入力してページを表示できます。
- URLは､一般的に｢http://｣から始まります。

◇おしらせ◇
- ｢ブラウザ制限｣(⇒**263**)を｢する｣にしている場合、アドレスの入力は選べません。

1 **黄ボタンを押して､ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（アドレスの入力）を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで入力欄を選び、決定する**

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 **表示したいページのURLを入力する**
- 文字入力の方法については⇒**104**ページをご覧ください。

5 **カーソルボタンで「開く」を選び、決定する**

◇おしらせ◇

履歴から選ぶときは
- 上記の手順**3**で「入力履歴」を選び、決定すると、入力履歴の一覧が表示されます。

- カーソルボタンでURLを選び、決定すると、アドレスの入力画面に戻ります。
入力欄には、選んだURLが入力されています。

◇おしらせ◇

入力履歴を削除するときは

①入力履歴の一覧で、削除したいURLを選び、青ボタンを押す
②上下カーソルボタンで「削除」または「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す
③左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す

表示しているページのURLを保存する（ブックマーク登録）

- ページをブックマーク（⇒**426**ページ）に登録しておくと､次に表示するときはブックマーク一覧から選んで、表示できます。

◇おしらせ◇
- ｢ブラウザ制限｣(⇒**263**)を｢する｣にすると､アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ブックマークに登録したいページを表示する**

2 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

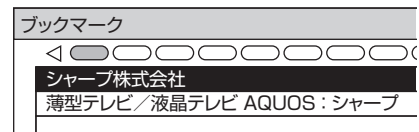
3 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークに登録）を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**
- ブックマークに登録されます。

ブックマークに登録したページを開く

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（ブックマークを開く）を選び、決定する**
- ブックマーク一覧が表示されます。

（画面例）

3 **カーソルボタンで表示したいブックマークを選ぶ**
- ブックマークを11以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

4 **決定する**
- 選んだページが表示されます。

ブックマークを新しいタブで開くときは
- 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し､「新しいタブで開く」を選んで決定ボタンを押します。

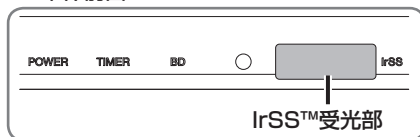
携帯電話を使って ページを表示する

- 携帯電話からIrSS™でURL（アドレス）を含むフォトリモ™画像を本機に送信することでインターネットのページを表示させることができます。
- フォトリモ™画像を送信するにはフォトリモ™機能対応の携帯電話が必要です。フォトリモ™画像の入手にあたってはユーザ登録などの手続きが必要な場合があります。フォトリモ™機能対応の携帯電話についてはAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

1 **携帯電話を操作してフォトリモ™画像の送信準備をする**

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

2 **携帯電話から本機のIrSS™受光部に向かってフォトリモ™画像を送信する**

▼本体前面

- 確認画面が表示された後、自動的にフォトリモ™画像で指定されたページに移動します。

◇**おしらせ**◇

- 「ブラウザ制限」（⇒**右記**）を「する」にしている場合、フォトリモ™機能は利用できません。
- ホームネットワークモードやインターネット経由のビデオ再生中など一部のモードではフォトリモ™画像を受信することができません。この場合は入力切換ボタンまたはインターネットボタンを押して「テレビ」を選んでから、再度送信してください。
- 移動先のサーバやインターネット回線に問題がある場合は確認画面が表示されたままになったり、エラーが表示されたりすることがあります。
- フォトリモ™画像が壊れている場合はエラーが表示されたり、確認画面で「移動」を選択する必要があったりすることがあります。
- フォトリモ™機能は写真や絵にURLを埋め込むためのIrDA®規格、EMAP仕様に準拠しています。

有害サイトへのアクセスを防ぐ（ブラウザ制限）

- 有害サイトへのアクセスを防ぐために、URLを入力してページを表示させる機能を禁止することができます。

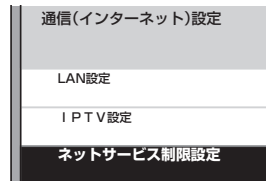
◇**おしらせ**◇

- 「ブラウザ制限」を「する」にすると、アドレスの入力およびブックマークの編集は選べません。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ**

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ホームメニューの画面例

2 **上下カーソルボタンで「ネットサービス制限設定」を選び、決定する**

3 **上下カーソルボタンで「ブラウザ制限」を選び、決定する**

- 暗証番号の設定をしていない場合は、先に暗証番号の設定をしてください。（⇒**102**ページ）

4 **数字ボタン「1」～「10」で暗証番号を入力する**

- 「0」を入力したい場合は、［10/0］を押します。

5 **上下カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

次のページに続く

ブックマークの便利な使いかた

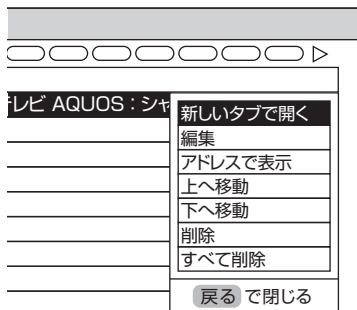
• ツールバー（便利機能）の♡（ブックマークを開く）を選んだあと、ブックマークメニューで次のようなことができます。

ブックマークのタイトルや URL を編集する

• ブックマークのタイトルや URL を編集（書き換え）できます。

◇**おしらせ**◇
•「ブラウザ制限」（⇒**前**ページ）を「する」にしている場合、ブックマークの編集は選べません。

1 **ブックマーク一覧から、編集したいブックマークを選ぶ**
• ブックマークを 11 以上登録しているときは、左右カーソルボタンでブックマーク一覧の表示を切り換えます。

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**
（画面例）

3 **「編集」を選ぶ**
• ブックマークの編集画面が表示されます。

4 **タイトル欄またはアドレス欄（URL）を選ぶ**
• ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 **タイトルや URL を入力する**
• 文字入力の方法については⇒ **104** ページをご覧ください。

6 **編集が終わったら「する」を選ぶ**
• 入力した文字が保存されます。

ブックマーク一覧の表示を変更する

• ブックマーク一覧をページのタイトルで表示するか URL で表示するか選べます。

1 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

2 **ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選ぶ**

ブックマーク一覧の表示順序を入れ換える

1 **表示順序を変更したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「上へ移動」または「下へ移動」を選ぶ**
• 表示順序が入れ換わります。

ブックマークを削除する

1 **削除したいブックマークを選ぶ**

2 **青ボタンを押して、ブックマークメニューを表示する**

3 **「削除」を選ぶ**
• ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます

4 **「する」を選ぶ**

インターネットを見るための設定を確認・変更するには

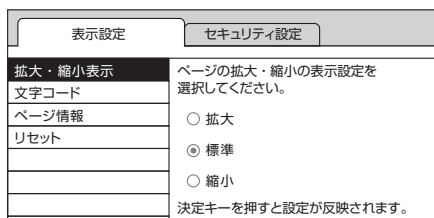
- ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
- ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

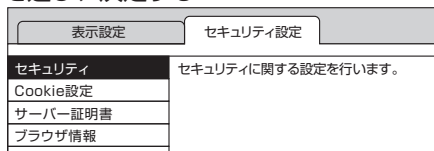
ブラウザメニューの基本操作

1 **黄ボタンを押して、ツールバー（便利機能）を表示する**

2 **左右カーソルボタンでツールバー（便利機能）の（メニュー）を選び、決定する**

ブラウザメニューが表示されます。

表示設定　セキュリティ設定
拡大・縮小表示
文字コード
ページ情報
リセット
ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
○ 拡大
◉ 標準
○ 縮小
決定キーを押すと設定が反映されます。

3 **左右カーソルボタンで「表示設定」または「セキュリティ設定」を選び、決定する**

表示設定　セキュリティ設定
セキュリティ
Cookie設定
サーバー証明書
ブラウザ情報
セキュリティに関する設定を行います。

4 **変更する項目を選び、設定の変更や内容の確認をする**

- 各項目の詳しい操作については、表示設定メニュー（⇒**右記**）およびセキュリティ設定メニュー（⇒**次**ページ）をご覧ください。

5 **変更や確認が終わったら、黄ボタンを押してブラウザメニューを消す**

◇**おしらせ**◇

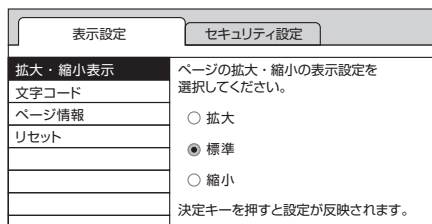
- ブラウザメニュー表示中に、インターネットボタンを押して画面を切り換えると、ブラウザメニューが消えます。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻すときは

1. 上記の手順 **3** で「表示設定」を選び、決定します。
2. 「リセット」を選び、決定します。
3. 確認の画面で「する」を選び、決定します。
4. 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

表示内容に関する設定（表示設定メニュー）

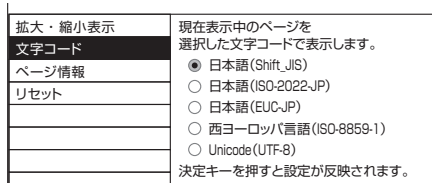
拡大・縮小表示

- ページの表示サイズを変更できます。

- 上下カーソルボタンで表示したいサイズを選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

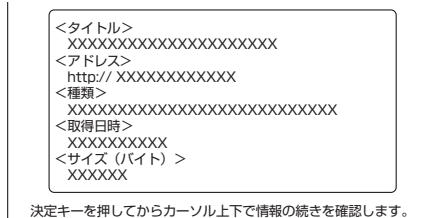
文字コード

- ページ上の文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

- 上下カーソルボタンで文字コードの種類を選び、決定ボタンを押します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 「リセット」を行っても、各証明書の有効 / 無効（⇒**次**ページ）および文字コードの設定は戻りません。

ページの情報を確認する

- 表示しているページの情報を確認できます。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

次のページに続く

セキュリティに関する設定（セキュリティ設定メニュー）

セキュリティ

- セキュリティで保護されたページ（サイト）とされていないページ（サイト）の間を移動するときに、メッセージを表示するかどうかの設定ができます。
- 本機に保存されている証明書※の確認と、証明書の有効・無効の切り換えができます。
  ※ ページを表示しても安全であることを証明するものです。

チェックをつけると、セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。
変更するときはチェックの付け外しをして、「設定保存」を選び、決定ボタンを押してください。

証明書を確認するとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を左右カーソルボタンで選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで確認したい証明書を選び、決定する**
- 選んだ証明書の内容が表示されます。
- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

証明書を無効にするとき

1 **上記の画面で確認したい証明書の種類を選び、決定する**
- 証明書の一覧画面が表示されます。

2 **カーソルボタンで無効にしたい証明書を選び、青ボタンを押す**
- サブメニューが表示されます。
- 選んだ証明書の内容が表示されます。

3 **上下カーソルボタンで「無効にする」を選び、決定する**
- 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックがはずれます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie（クッキー）の設定を変更する

- Cookie (⇒ **423** ページ) の受信方法の設定と、受信した Cookie の削除ができます。

Cookie受信設定
フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます
○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する
Cookie削除
Cookieをすべて削除

- 上下カーソルボタンで選びたい設定を選び、決定ボタンを押します。
- 「受信前に確認する」にしておくと、Cookie を使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookie を受信するかどうかを選び、決定ボタンを押してください。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

Cookie をすべて削除するときは

- 上記の画面で上下カーソルボタンで「Cookie をすべて削除」を選び、決定します。
- 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定します。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- Cookie を削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

サーバー証明書を確認する

- セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認できます。

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

- 情報が途中で切れている場合は、決定ボタンを押すと、上下カーソルボタンで続きを確認できます。
- 操作を終了するときは、黄ボタンを押します。

◆ 重　要 ◆

- 本機には、インターネットのページ閲覧を禁止、もしくは、制限するための機能が複数組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる場合には、この機能の利用をお勧めします。
- 利用にあたって以下の機能を搭載しています。必要な機能を選び設定を行ってください。なお、全ての設定に暗証番号の入力 (パスワードロック機能) が必要です。
  - インターネット接続を禁止する⇒**256**ページ
  - アドレス入力機能を禁止する (ブラウザ制限) ⇒ **263** ページ
  - プロキシ設定機能を利用する (プロキシサーバー設定) ⇒ **257** ページ

AQUOS インフォメーションを受信するには

- AQUOS インフォメーションとは、インターネット経由で AQUOS からのお知らせ（天気予報など）が受信できる機能です。※

※ 受信できるお知らせの内容は、変更になることがあります。

AQUOS インフォメーションを受け取る設定を行う

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

を押し
で選び
決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

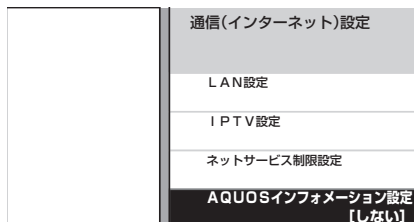
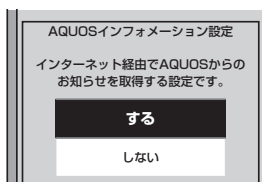
2 「AQUOSインフォメーション設定」を選ぶ

で選び
を押す

3 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

4 「AQUOS.jpへ」を選ぶ

を押す

- 受信したいお知らせを選択する画面が表示されます。

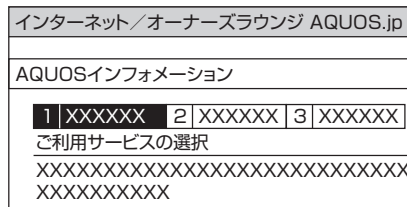
（例）

インターネット／オーナーズラウンジ AQUOS.jp

AQUOSインフォメーション

1 XXXXXX　2 XXXXXX　3 XXXXXX

ご利用サービスの選択

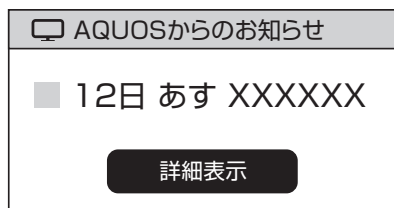
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX

AQUOS インフォメーションを表示する

1 ホームメニューを表示して、「ツール」－「AQUOSインフォメーション」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

- AQUOS からのお知らせが表示されます。

◇**おしらせ**◇

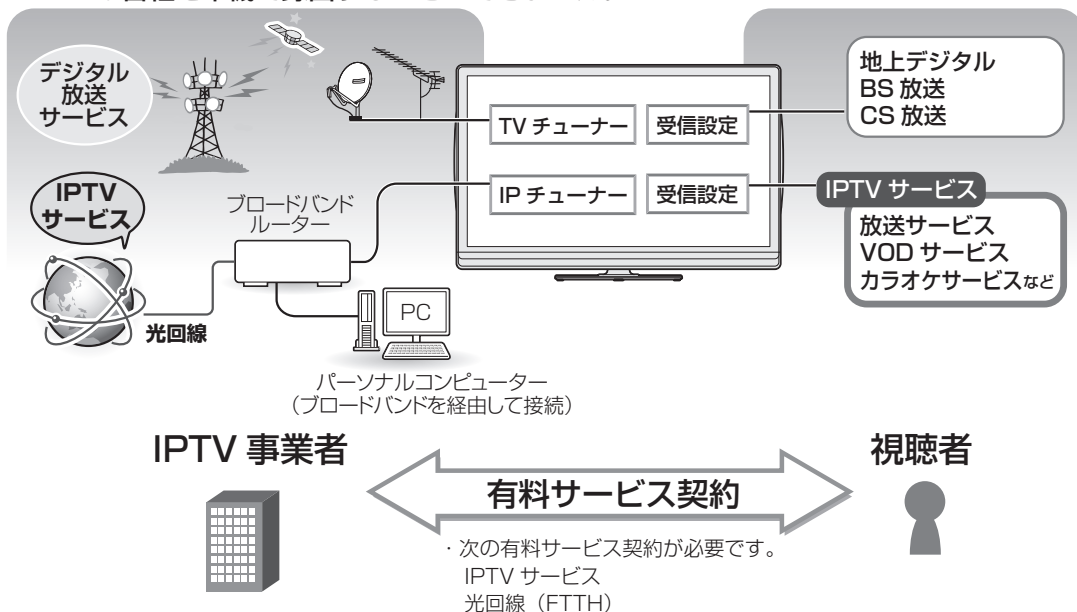
- お知らせの内容によっては、この操作を行わなくても自動的に表示されることがあります。

IPTV（ひかり TV）を視聴するための準備

- IPTV とはブロードバンド回線を使って受信するテレビ放送などのサービスです。従来のテレビ放送は壁のアンテナ端子につないで受信しますが、IPTV はご家庭に設置しているブロードバンドルーターなどとつないで受信します。
- IPTV のサービスには、テレビ放送サービスやビデオオンデマンドサービスなどがあります。2010 年 10 月現在、株式会社 NTT ぷららより、IPTV サービスとして「ひかり TV」が提供されています。

※ IPTV の番組を本機で録画することはできません。

IPTV 事業者　　有料サービス契約　　視聴者

・次の有料サービス契約が必要です。
IPTV サービス
光回線（FTTH）

IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ

IPTVサービスの契約をする
- IPTVサービス（ひかりTVなど）のホームページやパンフレットなどをご覧ください。
- 本機はIPTVのチューナーを内蔵しているため、**IPTVを受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

▼

光回線（FTTH）に接続する⇒次ページ

▼

IPTVの基本登録をする⇒270ページ
- IPTVサービスを利用するための登録をします。

▼

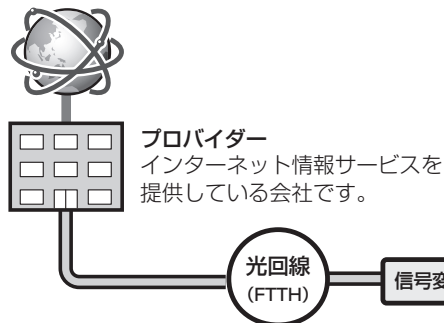
IPTVのチャンネルを設定する⇒272ページ
- IPTVの放送サービスをご利用になる場合に必要です。

◇**おしらせ**◇
- IPTV サービスによっては、IPTV を見るためのサービスとビデオを見るためのサービスでコースが分かれているものもあります。
- IPTV のご利用には、実効速度（常時）20Mbps 以上の光回線（FTTH）が必要です。
- 引っ越した場合、IPTV が視聴できなくなる場合があります。その場合は、かんたん初期設定を行った後、ポータルの案内に従って操作してください。

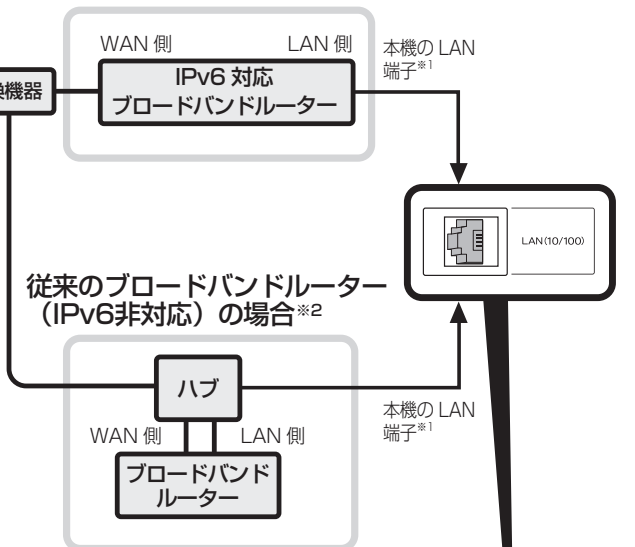
IPTV（ひかり TV）を見るための接続

- ご契約の IPTV サービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくは IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス（STB）は不要**です。

IPv6 環境の場合

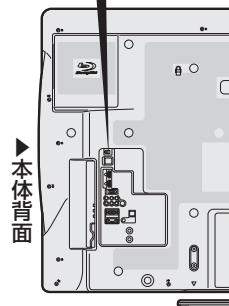
- IPTV サービスが、IPv6 方式の場合に必要な接続です。

◆ 重 要 ◆

本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します

- インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPv6 とは

- インターネットでの通信に関する規約のことです。インターネットに接続された機器は IP を利用して通信していて、機器ごとに IP アドレス（住所のようなもの）が割り振られています。近年インターネットの普及により、従来の IP（IPv4）では数が足りなくなってきたため、新しく IPv6 方式が定められました。

※1 IPTV の視聴には通常の LAN 端子に接続します。同時に BD-LIVE も使用するときは BD-LIVE（⇒**142**・**144** ページ）専用の LAN 端子にも接続してください。

※2 詳細なセキュリティの設定が必要です。通常は、IPv6 対応のブロードバンドルーターと接続してください。

IPv4 環境の場合

- 「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒**240**～**251** ページ）をご覧になり、ブロードバンドルーターと本機を接続してください。

IPTV（ひかり TV）を見るための設定

IPTV の基本登録をする

- IPTV を視聴するためには、ポータル画面で基本登録をする必要があります。
- 基本登録を完了してから放送を受信できる状態になるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

「IPTV 設定」－「サービス設定」について

- かんたん初期設定の「IPTV 設定」を「する」にした場合、IPTV のサービス設定は「する」に設定されていますので、改めて設定する必要はありません。新たに IPTV の契約をした場合は、IPTV のサービス設定を「する」に設定してください。

1

ホーム を押し　で選び

決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」を選ぶ

選びかたは、**40 ～ 45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2

で選び

決定 を押す

「IPTV設定」を選ぶ

3

で選び

決定 を押す

「サービス設定」を選ぶ

4

で選び

決定 を押す

「する」を選ぶ

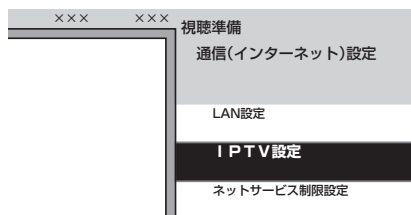
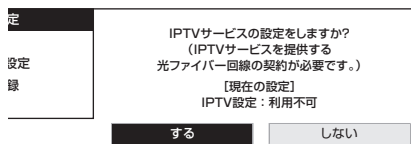
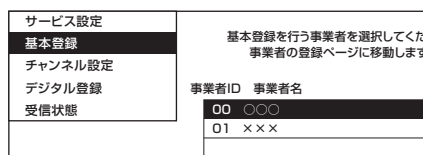
5

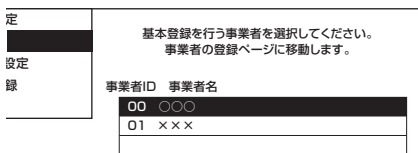
決定 を押す

「終了」で決定する

6 「基本登録」を選ぶ

サービス設定	
基本登録	基本登録を行う事業者を選択してくだ 事業者の登録ページに移動します
チャンネル設定	
デジタル登録	事業者ID　事業者名
受信状態	00　○○○ 01　×××

で選び 決定 を押す

7 基本登録をするIPTV事業者名を選ぶ

で選び 決定 を押す

- IPTV 事業者の基本登録画面が表示されます。
（例）

8 基本登録をする

- 以降の操作は画面の表示に従って行ってください。

で選び 決定 を押す

IPTV のチャンネル設定は、⇒**次**ページをご覧ください。
ただし、基本登録を完了してから受信できるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

◇**おしらせ**◇

IPTV の基本登録画面が表示されないときは

- IPTV サービス事業者が IPv6 でサービスを行っている場合は、ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「通信（インターネット）設定」－「LAN 設定」－「IPv6 設定」を選び、各項目に数値が入っているか確認します。
各項目が空欄の場合は次のことを確認してください。
  - ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるまで少し時間のかかるものがあります。
  - ブロードバンドルーターが IPv6 に対応したものになっていますか。また、IPv6 を使用できる設定になっていますか。
  - 本機とブロードバンドルーターの間に無線 LAN を接続していませんか。無線 LAN では、IPv6 の通信ができない場合があります。
  - 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 端子が正しく接続されていますか。
  - 光回線の終端装置 (ONU) や途中の機器の電源が入っていますか。また、必要なケーブルは正しく接続されていますか。

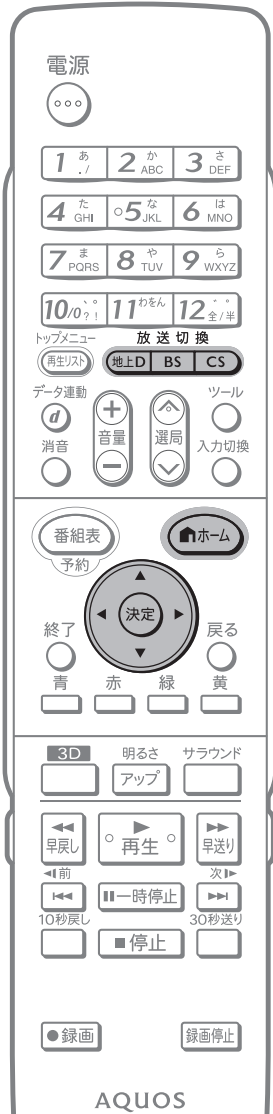
  これらの確認を行っても原因が分からないときは、回線事業者や IPTV サービスへお問い合わせください。
- IPTV サービス事業者が IPv4 でサービスを行っている場合は、「インターネットに接続できない場合は」(⇒ **252** ページ）をご覧ください。

IPTV のチャンネルを設定する

- IPTV の放送サービスを受信するときはチャンネル設定が必要です。
  IPTV のチャンネル設定の前に、IPTV の基本登録が必要です。

◆ 重　要 ◆

チャンネルを追加するときは

- 「IPTV ー自動」を行った後で、新しくサービスに加入するなど開始された放送チャンネルを追加する場合、次ページの手順 **5** で「IPTV ー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

1 デジタル放送を選ぶ

地上D / BS / CS のいずれかを押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信(インターネット)設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

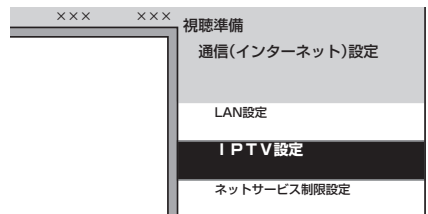
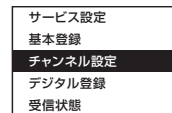
ホーム
チャンネル
設 定
×××　×××
視聴準備
かんたん初期設定
テレビ放送設定
通信(インターネット)設定

3 「IPTV設定」を選ぶ

で選び

を押す

4 「チャンネル設定」を選ぶ

サービス設定
基本登録
チャンネル設定
デジタル登録
受信状態

IPTVの受信チャンネルの設定で
(チャンネル設定をする前に、必ずLAN
設定しておいてください。

で選び

を押す

5 「IPTV－自動」を選ぶ

で選び 決定 を押す

IPTV－自動
－追加
－個別

チャンネルサーチを行い、受信で
IPTVのチャンネルを自動登録し
あらかじめポータルでの登録
必要な場合があります。
また、契約内容によっては放送サー
提供されない場合もあります
チャンネルサーチを実行します

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

動
加
別

チャンネルサーチを行い、受信できる
IPTVのチャンネルを自動登録します。
あらかじめポータルでの登録が
必要な場合があります。
また、契約内容によっては放送サービスが
提供されない場合もあります。
チャンネルサーチを実行しますか?

する　しない

「しない」を選んだ場合は

- チャンネルの登録を行いません。次に表示される画面で「終了」を選びます。

- 自動設定が始まります。

動
加
別

視聴可能な放送局を確認しています。
しばらくお待ちください。

○○○○○のチャンネル情報を取得中

中止

- 自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。

7 「終了」を選ぶ

決定 を押す

動
加
別

IPTVのチャンネルを登録しました。

放送局名	3桁	設定値 数字
○○○ △△△△	001	1
○○○ ×××	002	2
○○○ □□□□	003	3
○○○ △△△	004	4
○○○ ××	005	5

終了

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

IPTV のチャンネルが見つからなかったときは

- 次の画面が表示されます。

TV－自動
－追加
－個別

IPTVのチャンネルが
見つかりませんでした。
あらかじめポータルでの登録が
必要な場合があります。
また、契約内容によっては放送サービスが
提供されない場合もあります。
チャンネルサーチを実行しますか?
または再度実行しますか?

終了　実行

- IPTV の放送サービスに加入していて、この画面が表示された場合は基本登録を行ってください。(⇒ **270** ページ)
- 基本登録がお済みでこの画面が表示された場合は、ポータル画面で、受信できる状態になっているか確認してください。
- IPTV の放送サービスに加入していない場合、チャンネルは登録されません。

選局ボタンで選べる不要なチャンネルを飛ばす／スキップしたチャンネルを番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）で非表示にするには

1. **左記の手順 5 で「IPTV －個別」を選び、決定する**
2. **スキップするチャンネルを選び、決定する**
3. **「スキップ」を選び、決定する**
4. **「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する**
5. **「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」または「しない」を選び、決定する**
   - 「する」を選ぶとスキップ設定したチャンネルが、番組表や裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）に表示されなくなります。ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組一覧に表示されます。

IPTV（ひかり TV）を見る

IPTV（ひかり TV）の テレビサービスを楽しむ

- リモコンの基本的なボタンを使って選局してみましょう。

◇**おしらせ**◇

- IPTV を見るための準備については、「IPTV（ひかり TV）を視聴するまでの準備の流れ」（⇒**268**ページ）をご覧ください。

電源を入れてから、操作を始めます。
本機の POWER（電源）ランプが赤色点灯のときに押すと、電源が入ります。

裏番組一覧や番組表でも番組を選べます。（⇒**276**·**277**ページ）

1 IPTVに切り換える

を押す

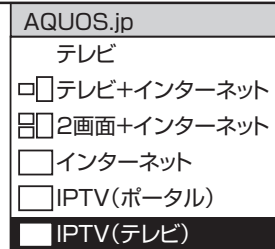
- インターネットボタンを数回押して「IPTV（テレビ）」を選びます。

AQUOS.jp
テレビ
テレビ+インターネット
2画面+インターネット
インターネット
IPTV(ポータル)
IPTV(テレビ)

2 チャンネルを選ぶ

または

または

を押す

- 数字ボタン（チャンネルボタン）、選局ボタン、３桁入力ボタンのいずれかを押します。
  - IPTV のチャンネル設定をした直後は、各放送局のプロモーションチャンネルが設定されます。
- 各ボタンによく見るチャンネルを登録できます。（⇒**277** ページ）
  - 選局: 登録されたチャンネル順に選局できます。
  - 3桁入力 (CATV): ３桁のチャンネル番号を入力して選局できます。受信できるチャンネルが多数ある場合に便利です。
- 複数の IPTV サービスに加入していて、３桁チャンネル番号が重複する場合は、４桁目（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力してください。

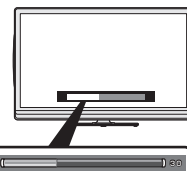
3 音量を調整する

や

消音

を押す

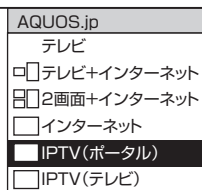
- 音量ボタンや消音ボタンで調整します。

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。

画面下部に音量レベルが表示されます。

- 一時的に音を消せます。

視聴中の操作について

IPTV サービスのポータル画面に切り換えるには

・詳しくは「IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する」⇒ **280** ページ

・インターネットボタンを数回押して「IPTV(ポータル)」を選びます。

・前回表示したポータル画面に、切り換えます。

データ連動

・見ている IPTV の放送サービスに連動したポータルがある場合に、そのポータル画面に切り換えます。

・ビデオオンデマンドなどのタイトルを選ぶには、ポータル画面から項目を選んで操作します。
・IPTV サービスによっては、IPTV を受信する前にポータル画面で受信の手続きが必要になる場合があります。このときは、ポータル画面に切り換えてください。

字幕や音声を切り換えるときは

音声切換

・複数の音声がある番組の場合は、押すたびに音声が切り換わります。

字幕

・字幕がある番組の場合は、押すたびに字幕の表示・種類が切り換わります。

デジタル放送や地上アナログ放送に戻すときは

・放送切換ボタンの中から見たい放送の種類のボタンを押してください。
・地上A はリモコンのフタの中にあります。

◇**おしらせ**◇

IPTV の視聴について

・IPTV は光回線（FTTH）を使って受信するため、通信回線の使用状況によっては、映像が粗くなったり、一時的に停止したりする場合があります。
IPTV の受信状態については、ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「IPTV 設定」ー「受信状態」で確認できます。
・番組やコンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

放送サービスやビデオオンデマンドサービスをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。

・映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
・ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
・有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ホームメニューから番組を選ぶ

- テレビ放送の選局と同じように、IPTV の番組を、ホームメニューの「チャンネル」や番組表から選べます。

1

を押し

で選ぶ

ホームメニューを表示して、「チャンネル」－「IPTV(テレビ)」を選ぶ

▼ ホームメニューの画面例

- 複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2

で選び

決定

を押す

見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組に切り換わります。

- 手順 **2** で、1 ～12 のボタンを押しても選べます。
- 手順 **2** で決定せずに 青 を押すと、番組情報が表示されます。

放送中の番組（裏番組）を調べる

1

を押す

IPTVを視聴中に、裏番組の一覧(ホームメニューの「チャンネル」)を表示する

- 複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2

で選び

を押す

見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組に切り換わります。

◇**おしらせ**◇

- プラットホームとは、IPTV サービス事業者がサービスを提供する際に使用している環境のことです。1 種類の IPTV サービスに加入しているときでも、IPTV サービスによっては複数のプラットホームを使用している場合があります。また、複数の IPTV サービスに加入していても使用しているプラットホームは 1 つだけの場合もあります。
- ポータル画面表示中および VOD 再生中は、番組情報が表示されます。番組情報画面の操作については、⇒ **50** ページをご覧ください。

テレビ放送の番組表と同じように次の操作ができます

青 番組の情報を表示します。

赤 ジャンルで検索します。

緑 指定した日時の番組表を表示します。

詳しい操作は⇒**60～61** ページをご覧ください。

番組の放送予定を調べる

1 番組表を表示する

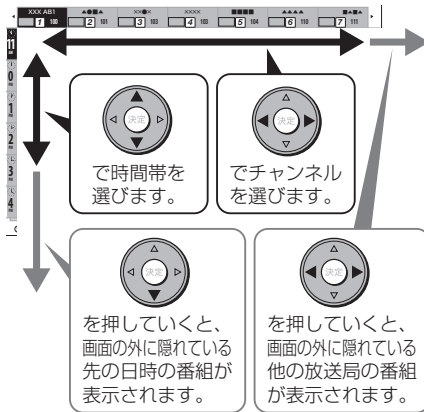
番組表 予約 を押す

- 一時的に音声が停止します。
- 複数のプラットホームを受信している場合は、「テレビ / データ / ポータル」ボタンでプラットホームを切り換えられます。

2 見たい番組を選ぶ

で選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

3 決定する

決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- IPTV の番組は予約できません。

- 番組表を閉じるときは、番組表 予約 を押して閉じます。

◇**おしらせ**◇

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- IPTV の番組表に表示される情報の期間は最大 8 日分です。
- 番組表の表示方式を切り換えることができます。(⇒ **65** ページ)
- IPTV の番組表を表示しているときは、放送切換ボタンを押しても、他のデジタル放送の番組表には切り換わりません。
- IPTV の成人向けチャンネルやコンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。

数字ボタン（チャンネルボタン）で選べる IPTV のチャンネルを変更する

- よく見るチャンネルは数字ボタン（チャンネルボタン）に登録しておくと便利です。

1 **274ページの手順1～2を行い、登録したいチャンネルを選局する**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「 (視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」を選ぶ**

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

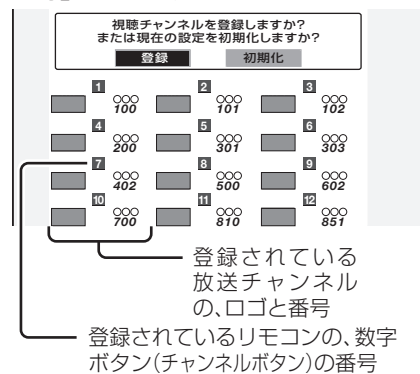
▼ ホームメニューの画面例

3 **上下カーソルボタンで「IPTV設定」を選び、決定する**

4 **上下カーソルボタンで「デジタル登録」を選び、決定する**

5 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

- チャンネルの一覧が表示されます。

6 **左右カーソルボタンで「登録」を選び、決定する**

7 **数字ボタン「1」～「12」で登録したいチャンネルボタンを押す**

- 終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 登録できるのは、12 局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **6** で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。

IPTV（ひかり TV）のビデオオンデマンド（VOD）を楽しむ

- ビデオオンデマンド（VOD※）とは映画などのタイトルを見たいときに、見ることができるレンタルビデオのようなサービスです。

  ※「VOD」とは、Video on Demand のことです。

◆ 重　要 ◆

ビデオオンデマンドを利用するためには

- IPTV サービスの中でも、ビデオオンデマンドを利用できるサービスに加入しておく必要があります。

◇**おしらせ**◇

- ビデオオンデマンドは、「ビデオサービス」や「ビデオレンタル」などと呼ばれる場合もあります。

ビデオオンデマンドのタイトルを再生する

- タイトルの検索や再生の手続きなどは、主にポータル画面（⇒ **280** ページ）で行います。

◆ポータル画面を表示する

1 インターネットボタンを繰り返し押し、「IPTV（ポータル）」を選ぶ

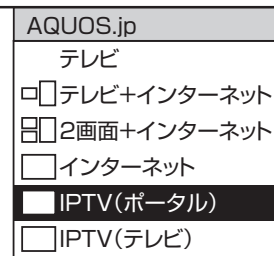
インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

2 ポータルリストを表示する

番組表 予約 を押す

3 表示したいポータル画面を選ぶ

で選び 決定 を押す

◆ビデオオンデマンドのタイトルを探す

4 ①画面の項目から、ビデオオンデマンドに関する項目を選ぶ

②再生したいタイトルを選ぶ

で選び

を押す

- 以降の操作は画面の表示に従ってください。タイトルによっては再生する前に視聴に関する注意事項や制限事項などが表示される場合がありますので、よく読んでから再生してください。

再生中の操作のしかた (VOD)

- VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 リモコンのツールボタンを押し､｢VOD操作｣を選ぶ

ツール
を押し
で選び
決定
を押す

- VOD 操作パネルが表示されます。
- 画面の一部に映像が表示されているようなコンテンツの場合は、VOD 操作パネルが表示されない場合があります。

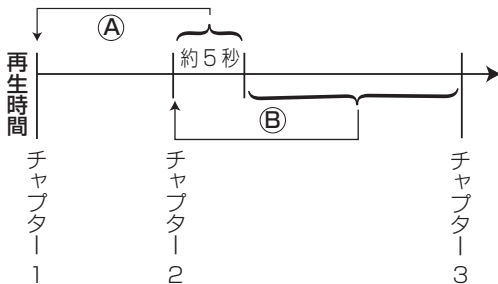
2 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び
決定
を押す

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇おしらせ◇

逆頭出しボタン（前）は再生位置によってはたらきがかわります。

- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ)、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

VOD 操作パネルの見かた

詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**下記**)をご覧ください。

プログレスバー
- ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

操作ボタンの機能について

ボタン	機能
早戻し	早戻し再生
再生	再生
早送り	早送り再生
前	前のチャプター※に戻って頭出し（逆頭出し）
一時停止	一時停止
次	1 つ先のチャプター※に進んで頭出し（順頭出し）
10秒戻し	10 秒後戻し
停止	停止
30秒送り	30 秒先送り
逆スロー	逆スロー再生
リピート	リピート 1 つのタイトルを繰り返し再生します
スロー	スロー再生

※チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

◇おしらせ◇

- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。

IPTV（ひかり TV）のポータル画面を活用する

- ポータル画面とは IPTV サービスの窓口となる画面のことです。

ポータル画面でできること

- IPTV サービスの基本登録をする
- ビデオオンデマンドサービスのタイトルを選ぶ
- IPTV サービス事業者からのお知らせを確認する
- IPTV サービスのサービスプランを変える

※できることは IPTV サービスによって異なります。詳しくは IPTV サービス事業者にお問い合わせください。

1 AQUOS.jpメニューを表示する

を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し､｢IPTV(ポータル)」を選ぶ

インターネット を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 前回表示したポータル画面が表示されます。

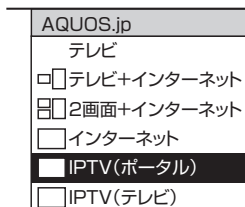
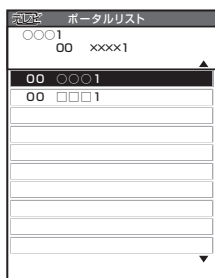
3 ポータルリストを表示する

番組表 予約 を押す

4 表示したいポータル画面を選ぶ

で選び

決定

を押す

- 選んだポータル画面が表示されます。

（例）

5 画面の中から目的の項目を選ぶ

で選び

を押す

- 選んだ項目によっては、新しい画面が表示され、その中からさらに項目を選ぶものもあります。

ポータル画面から、IPTV のテレビ放送に切り換えるには

- インターネットボタンを押して AQUOS.jp メニューから「IPTV（テレビ）」を選択してください。

◇**おしらせ**◇

次の場合、テレビ／データ／ポータルボタンを押すと IPTV のテレビ放送が表示されます。

- ポータル画面に映像が表示されているとき
- IPTV のビデオオンデマンドを全画面で再生しているとき

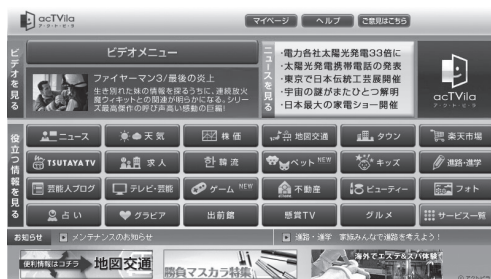
アクトビラ ビデオを見る

- アクトビラ ビデオとは、テレビ向けインターネットサイト「アクトビラ」が提供している映像配信サービスです。
- アクトビラ ビデオには「アクトビラ ビデオ」と「アクトビラ ビデオ・フル」があります。

アクトビラ ビデオ
- インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。
- 文字や写真と同時に映像も楽しめます。
- ページ上の項目や本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラ ビデオ・フル
- 全画面で再生する映像コンテンツです。
- 大画面で迫力ある映像を楽しめます。
- 本機の VOD 操作パネルを使って操作します。

アクトビラを利用するときは

- サービスへの入会などは不要です。ただし、アクトビラ ビデオのコンテンツによっては有料のものもあります。
- リモコンの基本操作は、「インターネットを見る画面（ブラウザ）の使いかた」（⇒ **260** ページ）と同様です。

• 画面に表示される内容は変更になる場合があります。

必要な準備について

- インターネットに接続するためのブロードバンド環境のうち、光回線（FTTH）が必要です。本機を光回線（FTTH）に接続してください。詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **240** ～ **251** ページ）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルの視聴について
- コンテンツによっては標準画質のものもあります。この場合は、ハイビジョン放送に比べ画質は粗くなります。

必要な回線速度について
- アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、実効速度 6Mbps 程度必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。
- 光回線（FTTH）においても、お客様のご利用環境（ハブやルーターの性能など）や回線の混雑状況などにより、時間帯によっては実効速度が低下する場合があります。

アクトビラ ビデオ、アクトビラ ビデオ・フルをご利用になる場合は、次のことにもご注意ください。
- 映像コンテンツの中には、有料のものもあります。映像コンテンツを再生する前に画面上でよく確認してください。
- ほとんどの有料コンテンツには、視聴期間が設定されています。視聴期間が切れると新たに料金がかかります。
- 有料コンテンツを購入後、ビデオが視聴できないなどの不具合があった場合、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フルを見る

- アクトビラ ビデオをお楽しみになるためには、回線の実効速度が6Mbps程度必要です。
- アクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになるためには、回線の実効速度が12Mbps程度必要です。

実効速度を確認するときは

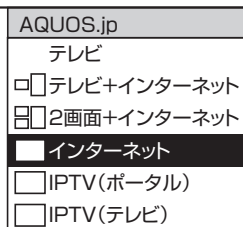
- 実効速度は、お手持ちのパソコンを用いて、アクトビラのホームページ（http://actvila.jp）の「スピードテスト」で確認することができます。（2010年10月現在）

1 AQUOS.jpメニューを表示する

インターネット を押す

2 インターネットボタンを繰り返し押し、「インターネット」を選ぶ

インターネット を押す
決定 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。

- ブラウザが起動し、AQUOS.jp が表示されます。

- AQUOS.jp の表示内容は一例です。

3 「アクトビラ」を選ぶ

で選び
を押す

- アクトビラのポータル画面が表示されます。

4 視聴したいアクトビラ ビデオまたはアクトビラ ビデオ・フルのコンテンツを選ぶ

で選び
決定 を押す

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で「再生」などの項目を選びます。
- 早送りや早戻しの操作は、画面に表示されているボタンを使います。（映像コンテンツによっては早送りや早戻しができないものもあります。）
- VOD 操作パネルで操作することもできます。（⇒**次**ページ）
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。このときは、VOD 操作パネルで操作してください。（⇒**次**ページ）

テレビの画面に戻すときは

- 終了ボタンを押します。選局ボタンや放送切換ボタンでも戻せます。

コンテンツの再生を停止するときは

- アクトビラ ビデオ・フルの場合は、VOD 操作パネルで停止ボタンを選びます。

◇**おしらせ**◇

- 「テレビ+インターネット」または、「2 画面+インターネット」の状態で再生操作をすると、自動的にインターネットの 1 画面表示になります。
- 再生中、一部ブラウザ操作に制限があります。（タブ操作やブラウザメニューの「拡大・縮小表示」、文字入力など）

再生中の操作のしかた（アクトビラ ビデオ／アクトビラ ビデオ・フル）

- VOD 操作パネルで、早送りや早戻しの操作ができます。

1 リモコンのツールボタンを押し､｢VOD操作｣を選ぶ

ツール を押し

で選び

を押す

- VOD 操作パネルが表示されます。

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

で選び 決定 を押す

- VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

◇おしらせ◇
- VOD 操作パネルでアクトビラ ビデオを操作した場合、ブラウザからの VOD 操作が正しく動作しないことがあります。

逆頭出しボタン（前）は再生位置によってはたらきがかわります。
- 再生位置がチャプターから約 5 秒以内の場合は、そのひとつ前のチャプターに（下図Ⓐ）、5 秒を超えている場合は、直前のチャプター（下図Ⓑ）に戻ります。

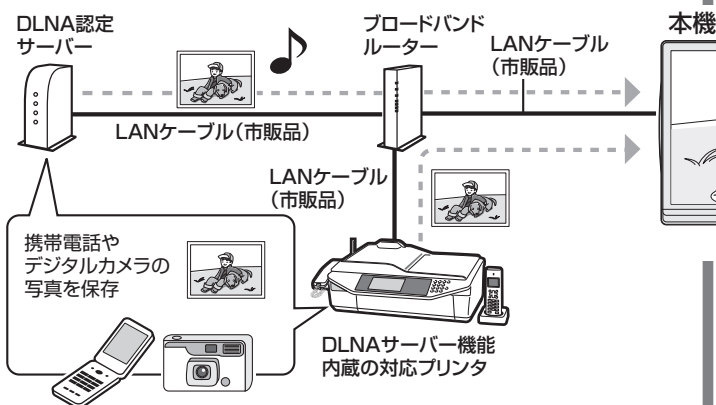
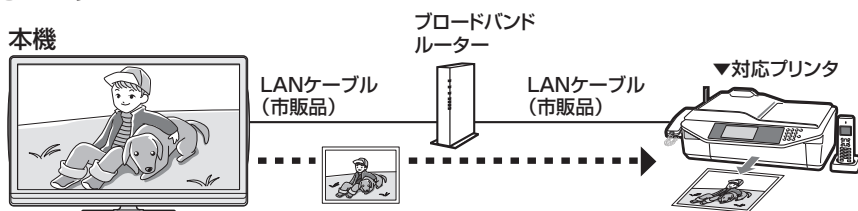
VOD 操作パネルの見かた

操作ボタンの機能について

※チャプターとは、サービスであらかじめ設定された、再生区切り位置です。

◇おしらせ◇
- 視聴するコンテンツによっては、操作できない機能があります。
- VOD 操作パネルの表示とコンテンツの操作情報が一致しないことがあります。
- アクトビラ ビデオ・フルを VOD 操作パネルを表示しないで視聴しているときに、戻るボタンを押すと再生が終了します。

ホームネットワークで映像・写真・音楽を楽しむ

- ホームネットワークに本機をつないで、ネットワーク経由で写真・映像・音楽を再生できます。
- 表示した写真を、本機に対応したプリンタで印刷することもできます。

使用可能なサーバー／プリンター／携帯電話の最新情報について

- SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーやプリンタの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

本機で表示できる写真データの形式

- 対応データ形式：DCF2.0 規格対応 JPEG 静止画※1※2
- 最大ファイルサイズ：6MB ※3
- 最大解像度（画像サイズ）：4096 x 4096 画素※3※4

※１ 以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT
JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。

※２ 以下の形式は表示できません。
プログレッシブＪＰＥＧ、ロスレス回転ＪＰＥＧ（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケールＪＰＥＧ、ＹＵＶ４４４（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など
なお、サーバーによってはデータ形式変更やファイルサイズの縮小、画像サイズの変更を行うため、上記制限のあるファイルでも表示されることがあります。

※３ 約 1000 万画素以上のデジタルカメラや携帯電話では解像度（画像サイズ）や画質設定により、この制限を超えるため本機で高品位に表示できないことがあります。デジタルカメラや携帯電話の解像度（画像サイズ）や画質設定を小さめに変えて撮影するようにしてください。撮影後はデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能でサイズを小さくすることができる場合があります。またプリンタの扱えるファイルサイズ上限により印刷できないことがあります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

※４ 上記制限を超える写真はサーバーにより 160 × 120 画素のサムネイル画像が全画面に表示されます。このため、解像度が大幅に低下することがあります。

◇**おしらせ**◇

- 本機は DLNA 認定フォトプレーヤー (DLNA CERTIFIED™ Photo Player) です。
- DLNA 認定機器とは DLNA ガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- JPEG 静止画は DCF2.0 規格のデジタルカメラまたはカメラ付携帯電話で撮影されたものが対象です。
- サーバーや静止画によっては、再生できないことがあります。パソコンソフトで加工した静止画は表示できないことがあります。
- 本機には静止画を保存することはできません。
- 印刷中にチャンネル切換や入力切換を行うと印刷が正しく完了しないことがあります。またシャープ製ファクシミリ複合機（DLNA サーバー機能、およびプリント機能内蔵）では印刷中のエラーはプリンタには表示されますが、本機の画面に表示されないことがあります。
- サーバー機器は 10 台まで選択できます。
- サーバー機器の設定についてはサーバー機器の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、写真の無いフォルダが表示される場合があります。
- 録画中は、ホームネットワーク機能を使用できません。

DLNA 認定サーバー内の写真の表示／印刷について

- 本機の「ホームネットワーク」で表示できるのは、ホームネットワークに接続された DLNA 認定サーバーの JPEG 静止画の写真だけです。
- DLNA 認定サーバー内の写真は、3D モードで表示することができません。
- 現在動作を確認しているサーバーおよび本機対応プリンタについては、**前**ページの SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。
- SD カードスロットをもつサーバーではスロットに SD カードが入っているときだけサーバー機能が動作する場合があります。また、サーバーに JPEG ファイルを書き込んでから、サーバーのデータとしてホームネットワーク側に提供されるまで数分かかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。
- JPEG 静止画のファイルサイズが大きいとスライドショーでの写真表示に時間がかかることがあります。

ホームネットワークで写真を楽しむ

ホームネットワークのサーバーにある写真を表示する

1

入力切換
を押す

入力切換
を
繰り返し
押す
または

で選ぶ

入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

ホームネットワークは、LAN接続されているときに選択できます。

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回写真のスライドショー中に終了していた場合は、スライドショーが始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた ⇒ **292** ページ）

2

で選び

決定
を押す

「写真を見る」を選ぶ

ホームネットワークのトップ画面の例

3

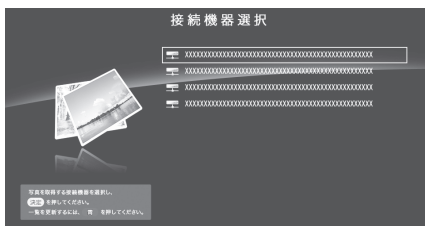
で選び

を押す

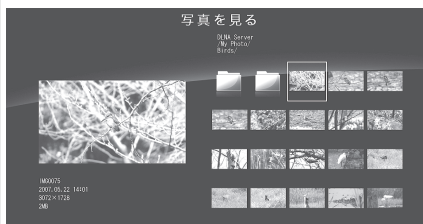
サーバー機器を選ぶ

- 一度スライドショーが表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に表示したスライドショーを再度表示できます。また、黄ボタンを押すと最後にスライドショーを表示したフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4

で選び

決定
を押す

フォルダを選ぶ

- フォルダと写真が混在している場合は両方が表示されます。

- 青ボタンを押すと、一覧の表示のしかたを変えられます。（⇒ **288** ページ）
- フォルダ内の写真が一覧表示されます。

5

で選び

を押す

写真を選ぶ

- 写真が全画面表示になり、スライドショーになります。
- スライドショーを停止するには、もう一度決定ボタンを押します。
- 「BGM 再生」（⇒**次**ページ）を「する」に設定しているときは、音楽が流れます。

◇**おしらせ**◇

- シャープ製ファクシミリ複合機では、動作中に SD カードを抜くと写真を取得できません。また電話や FAX の使用中や操作パネルに操作中のメッセージなど（ダイアログと呼ばれています）が表示されている間は DLNA サーバー機能が停止します。
  詳しくはファクシミリ複合機の取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。

写真が表示されず、エラーメッセージが表示されたときは

- 「ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ」（⇒ **387** ～ **388** ページ）をご覧ください。

- 本機で表示できる写真データの形式については ⇒ **285** ページをご覧ください。
- スライドショーの途中で「次の写真を取得できません」と表示されたときは、接続やサーバーの設定を確認してください。

写真表示のしかたを変える

- スライドショーの間隔や BGM のオン／オフなど、写真表示の設定を変更できます。

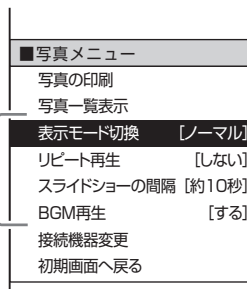
1 写真表示中に、写真メニューを表示する

赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

で選び
を押す

「表示モード切換」の例

ノーマル
シネマ

◇**おしらせ**◇

- 表示モードが「ノーマル」のときは、左右に黒い帯が出ることがあります。
- 表示モードが「シネマ」のときは、拡大により、写真の一部がはみ出すことがあります。
- スライドショーなどの「写真を見る」機能を、お好みの BGM でご利用いただいている場合、音楽サーバーから切断される等の理由により BGM が停止する場合がありますが、その場合も「写真を見る」機能はそのまま続行されます。再度 BGM を再生するには、初期画面より「音楽を聴く」を選び、音楽の再生をやり直してください。

設定のための項目

項目	内容
表示モード切換※1	•「ノーマル」（縦横比を変えずに画面内に最大で収める）と「シネマ」（縦横比を変えずに、黒帯をなくすように画面内に最大で収める）を切り換えます。
リピート再生	•「する」と「しない」（スライドショーで最後の写真のあとに最初の写真に戻るか、一覧表示に戻るか）を切り換えます。
スライドショーの間隔※2	• スライドショーで、次の写真に行くまでの時間を設定します。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。
BGM 再生※3	•「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵 BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。

※ 1 写真の縦横比が 16：9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

※ 2 サーバーや写真によってはスライドショーの間隔が設定値通りにならない場合があります。

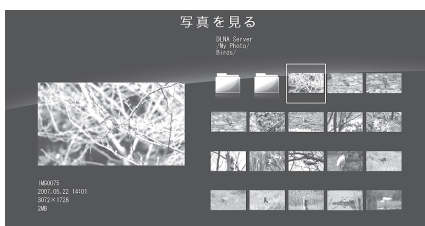
※ 3 スライドショーの BGM をお好みの音楽にするには
① BGM にしたい曲を再生する
② 終了ボタンを押す
ホームネットワークの初期画面が表示されます。
③ 上下カーソルボタンで「写真を見る」を選ぶ
④ 写真を選び決定ボタンを押してスライドショーを開始する
スライドショーが始まります。BGM には①で再生したフォルダ内の曲が流れます。音楽の再生について詳しくは、**294** ページをご覧ください。

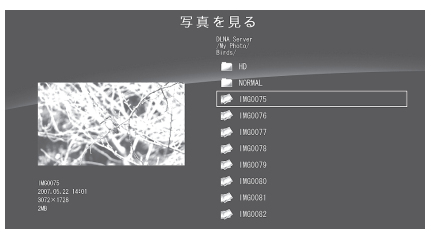
次のページに続く

一覧表示のしかたを変える（リストとサムネイル）

- フォルダの一覧表示中または写真の一覧表示中に、リスト表示とサムネイル表示を切り換えることができます。

1 「写真を見る」の画面で一覧表示のしかたを変える

青 を押す

▼サムネイル表示の例

▼リスト表示の例

- 写真フォルダ一覧メニュー（⇒**右記**）から「サムネイル表示へ切換」または「リスト表示へ切換」を選んでも切り換えられます。

◇おしらせ◇

- サーバー機器や写真データによっては、サムネイルが表示されないことがあります。
- 縦位置で撮影した写真でも、サムネイルは横位置で表示されることがあります。（サーバーの仕様により異なります。）

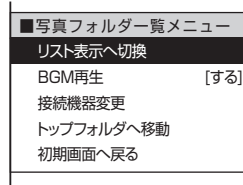
写真やフォルダの一覧表示中の便利な機能

- 写真やフォルダの一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを呼び出して便利な機能を使うことができます。

1 写真一覧表示中に、写真フォルダ一覧メニューを表示する

赤 を押す

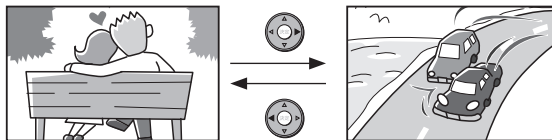
2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

利用できる項目

項目	内容
リスト表示へ切換／サムネイル表示へ切換	• 写真やフォルダが一覧表示されているとき、リスト表示とサムネイル表示を切り換えます。
BGM 再生	• 「する」にすると、サーバーの最後に再生したフォルダの音楽が流れます。サーバーに音楽がないときや再生できないときは、内蔵BGM（弦楽セレナーデ・ホ短調）が流れます。
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、写真を見るためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。 **▼接続機器選択画面** で選び 決定 を押す
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーの一番上のフォルダを表示します。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

写真表示中の操作について

- 写真表示中に、次の写真に切り換えたり写真を回転させたりすることができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。

- 右カーソルボタンで次の写真を表示します。
- 左カーソルボタンで 1 つ前の写真を表示します。

- リピート再生時は、最後の写真で右カーソルボタンを押すと最初の画面に戻ります。リピートしない場合は、一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- スライドショーを開始します。
- もう一度決定ボタンを押すとスライドショーを停止します。

青

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。

ガイダンス（操作案内）

◀ ▶順送り／逆送り　決定 一時停止　青 ガイダンス非表示　赤 メニュー表示　緑 左回転　黄 右回転　戻

赤

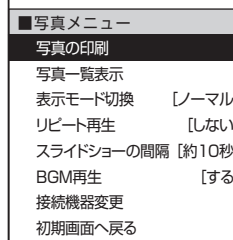
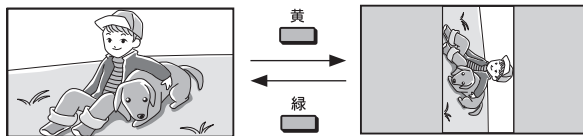
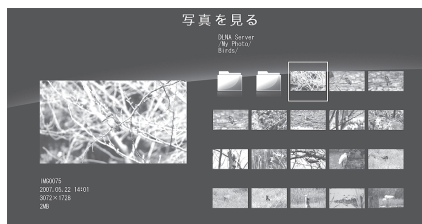
- 写真メニューを表示します。

黄

- 写真を右に 90 度回転します。

緑

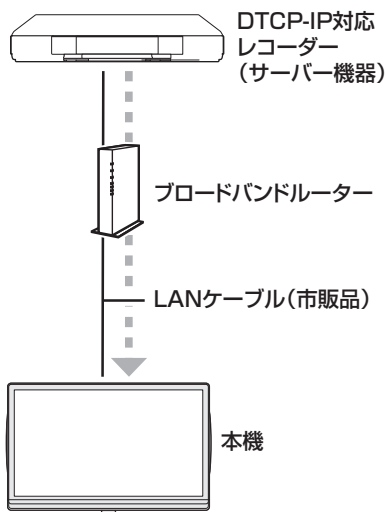
- 写真を左に 90 度回転します。

戻る

- 一覧表示（サムネイル表示またはリスト表示）に戻ります。

- 初期画面に戻ります。

録画した番組をホームネットワークで楽しむ

- 本機は、DTCP-IP 対応レコーダー（サーバー機器）に保存されているデジタル放送（地上デジタル放送､BS デジタル放送）の映像を表示できる動画プレーヤーです。

DTCP-IP とは

- DTCP-IP は、デジタル放送などの著作権保護されたデータを伝送するための規格です。この規格に対応することにより、著作権保護されたデータ（1 回だけ録画可能なデジタル放送の番組など）を、ホームネットワークでつないだ機器の間でやりとりすることができます。
- DTCP-IP は、「Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol」の略です。

使用可能なレコーダーについて

- 本機で使えるレコーダー（サーバー機器）は、DTCP-IP 対応のレコーダーです。詳しくは SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機で使える機器と、表示できるビデオ形式について

- DTCP-IP 対応レコーダーに録画した MPEG2/AAC、H.264/AAC、H.264/AC3 形式の映像が再生できます。

◇おしらせ◇

- ビデオカメラで撮影した映像、衛星放送の STB（セットトップボックス）や CATV（ケーブルテレビ）の STB（セットトップボックス）から録画した番組など、外部機器からレコーダーに取り込まれた映像は、再生できない場合や音声が出ない場合があります。
- 本機は、あらゆる録画データの再生を保障しておりません。レコーダーが配信可能な映像データでも、本機で一覧表示できない場合や一覧表示から選んでも再生できない（映像・音声が正常に再生されない）場合がありますが、故障ではありません。

DTCP-IP 対応レコーダーの取扱説明書または Webページ内のサポート情報などをご覧ください。

- レコーダーによっては、ホームネットワークで配信できる録画データの種類や形式に制約があります。（プレイリストは不可など）
- レコーダーによっては、録画中の番組が配信できない場合や、同時に複数の映像を配信できない場合があります。
- レコーダーの動作状況（使用状況、操作状況、録画画質の設定状況、画面の表示状況など）によっては、映像をホームネットワークで配信できない場合があります。このときは、本機の「接続機器選択」に表示されないことや、レコーダーの操作によって再生が途中で打ち切られることがあります。
- レコーダーによっては、レコーダーで BD ／ DVD の再生中や録画中、ダビング中に、映像を配信できない場合があります。
- 通常、レコーダーは HDD（ハードディスク）に記録されている映像のみ配信できます。BD や DVD の映像は配信できません。
- レコーダーによっては、本機とレコーダーのデータのやり取りを許可させるために本機の MAC アドレスを登録する必要があります。
- 本機は DLNA 認定動画プレーヤー（DLNA CERTIFIED Video Player）です。
- 無線 LAN 環境で DTCP-IP により著作権保護された映像を再生するには､無線LANのセキュリティ設定を行う必要があります。また、著作権保護された映像を安定して受信するためには、802.11a/n（5GHz）方式と AES 暗号化によるセキュリティ設定を組み合わせてご利用いただくことをおすすめします。
- 無線 LAN 環境の詳細につきましては、⇒ **246** ページからの「無線 LAN 環境を用意する」をご確認ください。

ホームネットワークの サーバーにある映像を再生する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す

入力切換 を繰り返し押す または

で選ぶ

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

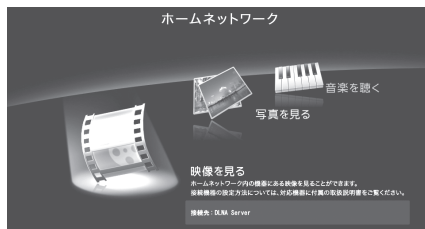
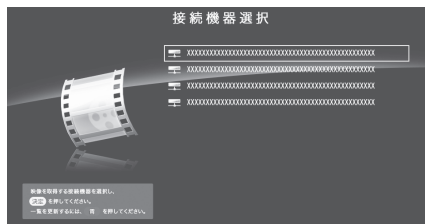
ホームネットワークは、LAN接続されているときに選択できます。

- ホームネットワークの初期画面が表示されます。

2 「映像を見る」を選ぶ

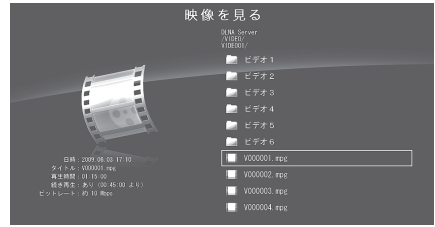
で選び 決定 を押す

3 サーバー機器を選ぶ

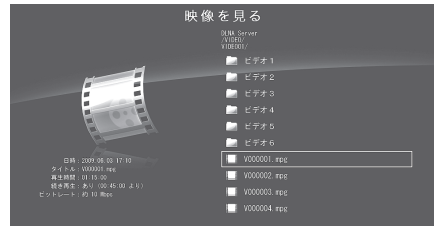
で選び 決定 を押す

- 一度映像が表示されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した映像の続きを再生できます (続きを再生できる場合。続きを再生できない場合は先頭から再生します)。
  また、黄ボタンを押すと最後に再生した映像のあるフォルダリストを表示できます。
- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後に接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダがある場合は、フォルダを選ぶ

で選び

を押す

- フォルダ内の映像が、レコーダーが提示した順番で一覧表示されます。

5 映像を選ぶ

で選び 決定 を押す

- で映像を選び 決定 を押すと、その映像が再生されます。
- 戻る で、１つ上のフォルダを表示できます。
- 本機で再生できない映像が表示されることもあります。表示される映像は、正常に再生できることを保障するものではありません。

6 再生を終了する

戻る を押す または 終了 を押す

- 戻る または、終了 で、映像リスト表示に戻ります。

次のページに続く

つづき再生について

- 本機は、途中まで再生した映像の状態を再生の新しい順で 20 件まで保持しています。前ページの手順 **5** で映像を選んで再生すると、つづきから再生します。
- 最初から再生したいときは、前ページの手順 **5** で、上下で映像を選び、青ボタンを押します。

メモリーモードについて

- いったん放送に戻り、前ページの手順 **1** で「ホームネットワーク」を選ぶと、すぐに最後に視聴した映像のつづきから再生できます。（メモリーモードが「オン」の場合）
- 前ページの手順 **2** で緑ボタンを押すと、前回再生していた映像のつづきから再生できます。
- 映像を一覧から選びたいときなど、メニュー画面から開始したい場合は、再生を停止したあとにホームネットワークの初期画面まで戻り、赤ボタンを押してメニューを表示させ、メモリーモードを「オフ」にします。

◇**おしらせ**◇

再生中に映像や音声が途切れる場合

- レコーダーと本機を無線 LAN や PLC（電力線通信）を使った LAN 環境で接続している場合は、LAN の通信速度が不足して再生が途切れることがあります。有線 LAN で接続すると、改善することがあります。
- レコーダー側で長時間録画用の録画画質で録画しておくと、LAN の通信速度が低くても再生できる場合があります。

メモリーモードの設定を変える

- メモリーモードを「オン」に設定すると、ホームネットワークを開始したとき、前回最後に表示または再生した写真・映像・音楽のいずれかをすぐに再生開始します。

1 トップ画面表示中に、トップメニューを表示する

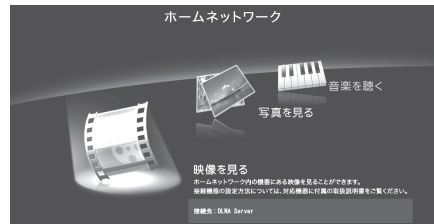
赤 を押す

2 「メモリーモード」を選ぶ

で選び
を押す

3 「オン」または「オフ」を選ぶ

で選び
決定
を押す

オン
オフ

- メモリーモードを「オン」に設定しても、サーバーに接続できないなどの理由により、前回最後に再生した写真・映像・音楽が再生できない場合があります。

再生中の操作のしかた（ホームネットワーク）

・VOD 操作パネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

1 リモコンのツールボタンを押し､｢VOD操作｣を選ぶ

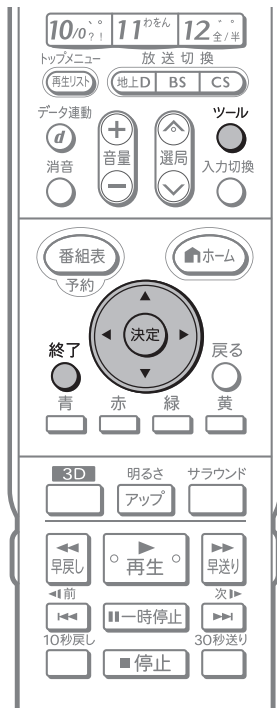
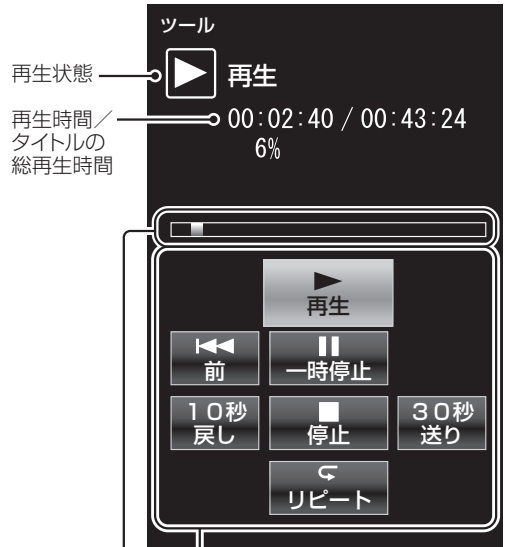
・VOD 操作パネルが表示されます。

ツール を押し

で選び 決定 を押す

2 操作したい機能のボタンを選ぶ

・VOD 操作パネルの表示を消すときは、終了ボタンを押します。

で選び 決定 を押す

VOD 操作パネルの見かた

詳しくは「操作ボタンの機能について」(⇒**下記**)をご覧ください。

プログレスバー
・ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を映像全体の5%単位で移動できます。

操作ボタンの機能について

再生

先頭に戻る

一時停止

10 秒後戻し

停止

30 秒先送り

リピート
1 つのタイトルを繰り返し再生します

◇**おしらせ**◇

・早送り再生／スロー再生／逆スロー再生には対応していません。
・対応できない操作ボタンは、表示されません。
・10 秒後戻し／ 30 秒先送りで操作できる時間は、おおよその時間です。

ホームネットワークで音楽を楽しむ

◇おしらせ◇
- 本機はDLNA認定音楽プレーヤー（DLNA CERTIFIED Audio Player）です。
- DLNA認定機器とはDLNAガイドラインに適合した、デジタルメディアプレーヤーまたはサーバーです。
- サーバーや音楽ファイルによっては再生できないことがあります。パソコンでは再生できても、本機で再生できない場合があります。
- サーバーから取得したリストをそのまま表示するため、音楽の無いフォルダが表示される場合があります。

本機で再生できる音楽データの形式
- LPCM：
  サンプリング周波数44.1/48KHz、stereo/mono
- MP3形式で作成されたファイル：
  サンプリング周波数32/44.1/48kHz
  32kbpsから320kbps、stereo/mono

使用可能なサーバーについて
- サーバーの動作確認機種の最新情報については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。

AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- サーバーの操作については、それぞれの取扱説明書またはサポートホームページをご覧ください。

DLNA認定サーバー内の音楽ファイルの再生について
- 本機の「ホームネットワーク」で再生できるのはホームネットワークに接続されたDLNA認定サーバーの対応ファイル形式のものだけです。
- 音楽ファイルをサーバーに書き込んでもサーバーのデータとしてホームネットワークに反映されるのに非常に時間がかかる、または更新設定をしないと反映されない場合があります。詳しくはサーバー機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークのサーバーにある音楽を再生する

1 入力切換メニューを表示して、「ホームネットワーク」を選ぶ

入力切換 を押す
入力切換 を繰り返し押すまたは

で選ぶ

- 入力切換ボタンを押して入力切換メニューを表示させせます。
- 入力切換ボタンを繰り返し押して、「ホームネットワーク」を選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。

ホームネットワークは、LAN接続されているときに選択できます。

- メモリーモードを「オン」に設定し、前回音楽を再生していた場合は、音楽再生が始まります。
- メモリーモードのオン／オフの切り換えは、ホームネットワークのトップ画面で行います。（切り換えかた ⇒ **292** ページ）

2 「音楽を聴く」を選ぶ

で選び

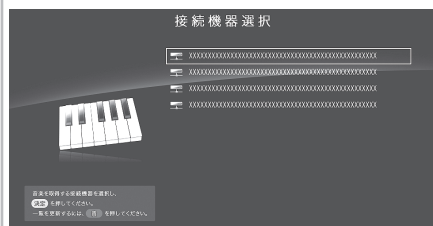
を押す

ホームネットワークのトップ画面の例

3 サーバー機器を選ぶ

で選び

を押す

接続機器選択

- 一度音楽が再生されれば、初期画面で緑ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダ内の音楽を再度再生できます。また、黄ボタンを押すと最後に再生した音楽のあるフォルダリストを表示できます。

- 初期画面で決定ボタンを押すと、最後の接続したサーバー機器のトップフォルダが表示されます。

4 フォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

- フォルダと曲名が混在している場合は両方が表示されます。

- フォルダ内の曲名が一覧表示されます。

5 曲名を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 音楽が再生されます。

で曲名を選び 決定 を押すと、その曲が再生されます。

戻る で、1つ上のフォルダを表示できます。

赤 で表示されるメニューからトップフォルダや、再生中の曲が保存されているフォルダを表示することもできます。（⇒**右記**）

- 再生中の音楽ファイルと同じフォルダに複数の音楽ファイルがあるときは、フォルダ内の音楽ファイルが順番に再生されます。

再生中の操作

曲の最初から再生するとき

- を押す

前の曲を再生するとき

- を続けて２回押す（約３秒以内に押してください）

次の曲を再生するとき

- を押す

音楽を停止するとき

- 青 を押す

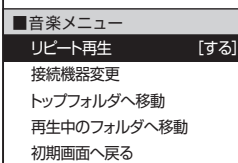
音楽の一覧表示中や再生中の便利な機能

- 繰り返し再生の設定や音楽を聴くためのサーバーの変更などができます。

1 音楽一覧表示中または再生中に、音楽メニューを表示する

赤 を押す

2 設定したい項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

3 好みの設定を選ぶ

で選び 決定 を押す

設定のための項目

項目	内容
リピート再生	• フォルダ内の音楽をすべて再生したときに、もう一度最初から再生するかどうかを設定します。（1曲のみのリピートはできません。）
接続機器変更	• ホームネットワークに複数のサーバーを接続しているとき、音楽を聴くためのサーバーを変更します。接続機器選択画面では、上下カーソルボタンでサーバーを選び、決定ボタンを押します。
トップフォルダへ移動	• 操作中のサーバーのトップフォルダを表示します。
再生中のフォルダへ移動	• 現在再生している曲のフォルダへ移動します。 • 停止中の場合は「停止中のフォルダへ移動」と表示されます。
初期画面へ戻る	• 初期画面を表示します。

IrSS™ 通信で携帯電話の写真を楽しむ

- IrSS™ 対応の携帯電話に記録されている静止画を本機で受信し、表示できます。
- IrSS™ 対応のデジタルカメラ等に記録されている静止画も本機で受信し、表示することができます。

最新の詳しい情報については、SHARP Webページ内のAQUOSサポートステーション「Q&A情報」をご覧ください。
AQUOSサポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機が対応している仕様

- 対応データ形式：JPEG※1※2・MP フォーマット（⇒ **226** ページ）
- 最大ファイルサイズ：約 3MB
- 最大解像度：4096 × 2160 画素
- これらの制限がありますので、本機に IrSS™ 通信で静止画を送信する場合、IrSS™ 送信をサポートしている動作確認機種自体で撮影（作成）された静止画を送信してください。

※ 1　以下の形式に対応しています。
色情報：YUV420、YUV422、ベースライン DCT（JPEG ヘッダーの回転タグは 4 方向（上、下、右 90 度、左 90 度）に対応しています。）

※ 2　以下の形式は表示できません。
プログレッシブ JPEG、ロスレス回転 JPEG（パソコンで回転させた場合に多い）、グレースケール JPEG、YUV444（パソコンで加工した画像に多い）形式の JPEG など

◇**おしらせ**◇

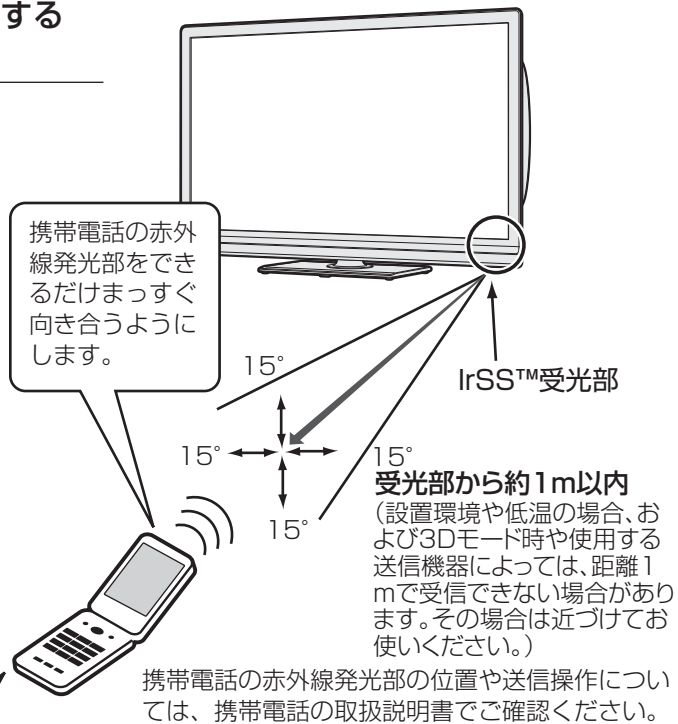
- 本機で受信できるのは、静止画だけです。
- 携帯電話からの出力が禁止されている静止画は、携帯電話から送信できません。
- IrSS™ 通信の送受信は片方向通信です。そのため、本機が受信できない場合でも、携帯電話の送信は正常に終了します。
- 本機からは静止画を送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入して使うメモリーカード（SD、mini SD、micro SD カードなど）に記録された静止画を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。なお、画像のサイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- IrSS™ 通信とは、IrSimple1.10 準拠の片方向通信機能 Home Appliance Profile を表します。
- IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがあります。IrSS™ モードへの自動切換を禁止したい場合には「IrSS 自動切換」を「しない」に設定してください。（⇒ **298** ページ）
- 本機には静止画を保存することはできません。チャンネル切換や入力切換をしたり、新たな静止画を表示すると、前に表示していた静止画のデータは本機から消去されます。
- IrSS™ 通信で受信した静止画を 3D モードで楽しむことができます。（⇒ **297** ページ）

携帯電話※から静止画を受信する

※IrSS™ 通信対応の携帯電話

1 携帯電話を操作して、送信したい静止画を選択し、送信する

- 右図で示す範囲から送信してください。

携帯電話の赤外線発光部の位置や送信操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

メニューから「送信」を選ぶ機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、メニュー項目から「送信」を選んで送信します。

IrSS™ボタンで送信する機種の送信のしかた

- 送信したい静止画を選んだ後に、IrSS™ボタンを押して送信します。
（しばらく押しつづけると送信する機種もあります。）

2 本機で静止画を受信する

- 本機が受信を始めると、「IrSS 受信中…」と表示されます。
- 受信中に戻るボタンまたは終了ボタンを押すと、受信スタンバイ画面になります。
- 数秒後に静止画が表示されます。
- 携帯電話から続けて静止画を送信すると、受信の完了とともに静止画が切り換わります。
前の静止画に戻したいときは、手順 **1** からやり直してください。
- 本機には静止画を保存できません。
- 本機では、2D の静止画を受信した場合は 2D 画像を表示し、3D 静止画を受信した場合は 3D 画像を表示します。
- 画像受信後は、リモコンの 3D ボタンで 2D モードと 3D モードの切り換えをすることができます。

受信に失敗したときは

- ⇒**次**ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

- 「設定」－「（機能切換）」の「IrSS 自動切換」（⇒**次**ページ）を「しない」に設定しているときは、手順 **1** の前に入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選び IrSS™ モードのスタンバイ画面が表示されるまでお待ちください。
工場出荷時は「設定」－「（機能切換）」の「IrSS 自動切換」が「する」になっています。

受信に失敗したときは

- 受信に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。（IrSS™ に関するエラーメッセージ⇒ **386** ページ）

次のような場合は、赤外線受信に失敗します。

- 通信規格が IrSS™ の規格以外の場合 (高速赤外線あるいは IrSS™ と表記されていない携帯電話や PC の赤外線通信など)
- 距離が遠すぎるなど、受信データをとりこぼした場合
- 受信が途切れた場合
- 本機が対応している仕様以外のデータの場合
- 写真データが大きすぎる場合
- 写真データが壊れている場合
- 通信中に直射日光などの強い光が当たったり、リモコン操作による赤外線が当たったりした場合（一部のノート PC やゲーム機などでは赤外線を利用するものがあります。本機の IrSS™ も赤外線を使用するため、その影響により写真の受信に失敗する場合があります。そのようなときは、ノート PC やゲーム機本体や赤外線センサー部を本機と離して設置するか、ノート PC やゲーム機の使用を終えてから再度写真を送信してください。）

IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには（IrSS 自動切換）

- 工場出荷時の設定では、他の機器に対して IrSS™ 送信する場合、高速赤外線の届く範囲に本機が設置されていると本機の入力が IrSS™ モードに切り換わることがあります。IrSS™ モードに自動で切り換わらないようにするには、次の手順で「IrSS 自動切換」を「しない」に設定してください。

1 **IrSS™モードの場合は入力切換ボタンを押して「テレビ」を選ぶ**

2 **ホームボタンを押して ホームメニューを表示する**

3 **カーソルボタンで 「設定」–「(機能切換)」– 「IrSS自動切換」を選び、決定する**

4 **左右カーソルボタンで 「しない」を選び、決定する**

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 上記の設定をしたあと IrSS™ モードに切り換えるには、入力切換ボタンを繰り返し押して「IrSS」を選んでください。

写真表示中の操作について

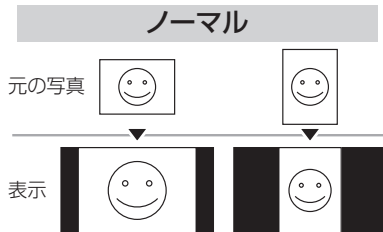
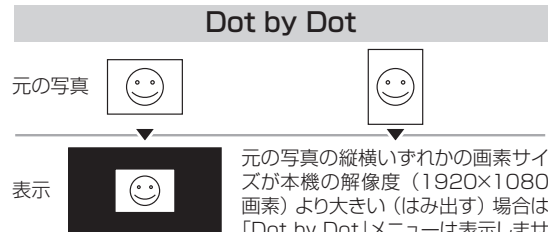
◇おしらせ◇
- 3D 表示中は、回転・印刷・表示モード切換ができません。ガイダンスは表示されません。

- 本機のリモコンで、受信した静止画を回転するなどの操作ができます。
- 画面の下部に、操作方法を示すガイダンス（操作案内）が表示されます。ガイダンスの表示に従って、ボタンを押して操作してください。
- 3D モードで静止画を楽しむことができます。（⇒ **226** ～ **227** ページ）

- ガイダンス（操作案内）の表示・非表示を切り換えます。
- ガイダンスを非表示にした場合、続けて受信・表示される写真データにもガイダンスは表示されません。

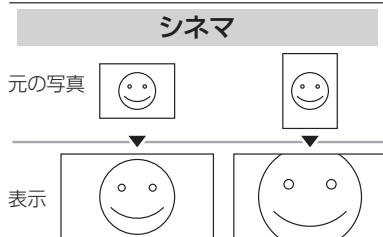
［例］ガイダンス（操作案内）

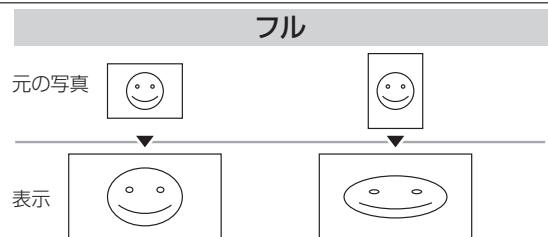
- 「表示モード切換」メニューが表示されます。
- 何回か押して表示モードを選びます。
- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 選べる表示モードは下のとおりです。
- 写真の縦横比が 16：9 の横画像では、表示モード切換しても、表示が見かけ上変わらない場合があります。

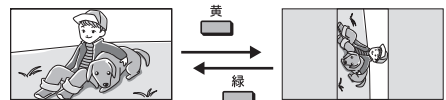
ノーマル

- 縦横比を変えずに画面内に最大で収めます。

Dot by Dot

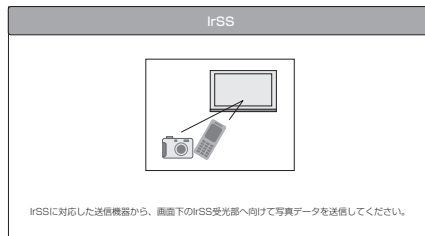
元の写真の縦横いずれかの画素サイズが本機の解像度（1920×1080 画素）より大きい（はみ出す）場合は「Dot by Dot」メニューは表示しません。また回転すると画面からはみ出す場合は回転できません。

- 画素の数や縦横比を変えずに元のまま表示します。

シネマ

- 縦横比を変えずに、黒帯を無くすように画面内に最大で収めます。
- 拡大により、写真の一部がはみ出す場合があります。

フル

- 縦横比と写真の画素サイズを無視して、画面内いっぱいに表示します。

- 写真を右に 90 度回転します。
- 写真を左に 90 度回転します。
- 画像を回転させていても、続けて受信されるデータは回転しない状態（正位置）で表示されます。

- 表示している画像を消して、受信スタンバイ（待機）画面を表示します。

次のページに続く

表示した写真を印刷する

- 表示した写真は、ホームネットワークの対応プリンタで印刷することができます。

◇おしらせ◇

- 対応プリンタにはホームネットワーク接続するための設定が必要です。詳しくはプリンタの取扱説明書またはサポートホームページなどをご覧ください。
- 本機対応プリンタの動作確認機種の最新情報については、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーションをご覧ください。

AQUOS サポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 印刷に使うプリンタを指定する場合や印刷に使うプリンタを変更する場合は、印刷設定画面で「プリンタ選択」を選んで決定します。プリンタ選択画面で、プリンタを選んで決定します。

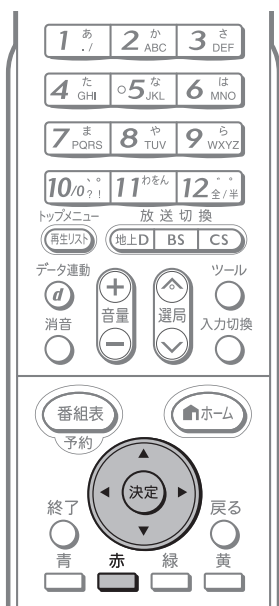
対応プリンタ名が表示されないときは

- 対応プリンタの電源が入っているか、対応プリンタに IP アドレスが設定されているかを確認してください。

3D 画像の印刷について

- 3D 画像（MP フォーマット）を表示している場合は、写真を印刷できません。写真を印刷する場合はJPEG フォーマットをご利用ください。

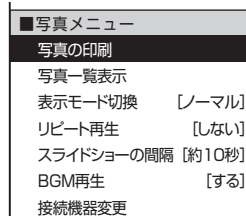
◆印刷設定画面を表示する

1

ホームネットワークで 写真を表示した場合

を押す

で選び

決定 を押す

写真メニューを表示し、「写真の印刷」を選ぶ

- 印刷設定メニューが表示されます。手順 **2** へ進んでください。

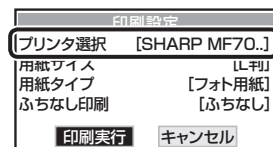
を押す

IrSS™ で静止画を受信して 表示した場合

印刷設定メニューを表示する

2

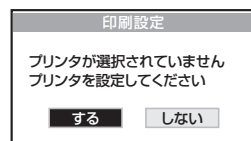
プリンタ名を確認する

印刷設定
プリンタ選択 [SHARP MF70..]
用紙サイズ [L判]
用紙タイプ [フォト用紙]
ふちなし印刷 [ふちなし]
印刷実行 キャンセル

- ホームネットワークに接続された対応プリンタ名が表示されていれば印刷することができます。
- 用紙の設定をするときは、次のページへ進みます。
- 印刷をするときは「印刷実行」を選びます。

プリンタが選択されていない場合は

- 「プリンタを設定してください。」と表示されます。
  「する」を選んで決定すると、プリンタ選択メニューが表示されます。

▼

プリンタ選択
SHARP UX-MF70CL
SHARP UX-MF70CW
SHARP UX-MF80CL
SHARP UX-MF80CW

使用するプリンタを選んで決定すると、印刷設定画面に戻ります。

◆用紙の設定をする

3 「用紙サイズ」を選ぶ

で選び
を押す

- 用紙サイズ画面が表示されます。

用紙サイズ
L判
ハガキ
2L判
A4

- 「L 判」「ハガキ」「2L 判」「A4」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

4 「用紙タイプ」を選ぶ

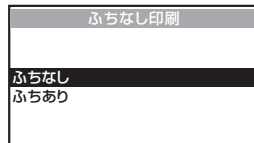
で選び
を押す

- 用紙タイプ画面が表示されます。

- 「普通紙」「コート紙」「フォト用紙」の中で、プリンタが対応しているものの中から選んで決定します。

5 「ふちなし印刷」を選ぶ

で選び
を押す

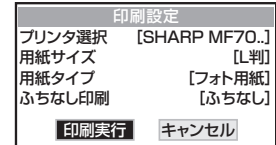
- ふちなし印刷画面が表示されます。

- 「ふちなし」「ふちあり」のどちらかを選んで決定します。
- ふちなし印刷が不可能な場合は、「ふちなし」は選べません。

◇おしらせ◇

- 用紙タイプ、用紙サイズはプリンタにより呼び方が本機と異なる場合があります。
  「普通紙」はコピー用紙などに相当します。
  「コート紙」はつや消しのある写真用用紙に相当します。
  「フォト用紙」は写真印画紙のような光沢のある写真用用紙に相当します。
- プリンタにセットされた用紙と、印刷設定画面での用紙設定が一致していないと用紙の一部にのみ印刷されたり、写真の一部のみ印刷される場合があります。

◆印刷する

6 「印刷実行」を選ぶ

で選び
を押す

- 「この写真の印刷を受け付けました」という表示が出て、印刷が実行されます。
- 印刷中に選局や入力切換をすると印刷が完了しないことがありますので、「この写真の印刷を受け付けました」の表示が消えるまでお待ちください。

◇おしらせ◇

- 印刷に失敗したときは、画面にエラーメッセージが表示されます。(ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ⇒ **387 ～ 388** ページ)

USB メモリーの写真や音楽を楽しむ

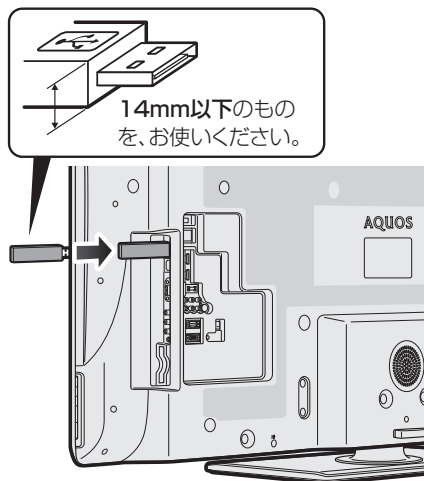
- USB メモリーに保存された写真や音楽を楽しむことができます。

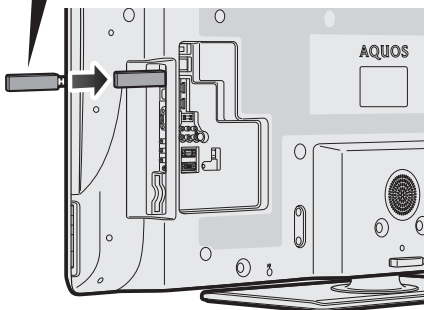
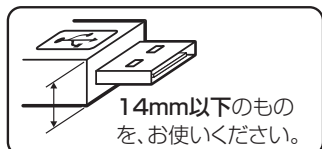
◇おしらせ◇
- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーを本機の USB 端子に接続する場合、USB 延長ケーブルは使わないでください。USB 延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。
- USB メモリーに保存された写真の 1 枚再生時とスライドショーのときに、3D モードで楽しむことができます。(⇒ **227** ページ)

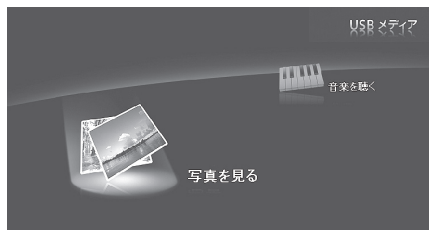
USB メモリーの互換性

USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠) MP フォーマット（.mpo）（CIPA DC-007）
音楽ファイル形式	MP3(.mp3) ビットレート： 32k ～ 320kbps サンプリング周波数： 32k, 44.1k, 48kHz

◇おしらせ◇
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っている音楽ファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USB ハブを使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」(⇒ **55** ページ)が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」「音楽を聴く」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画予約実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換えができません。

USB メモリーの寸法制限について

写真や音楽を楽しむ

1 写真や音楽が記録されたUSBメモリーを、本機のUSB端子に接続する

- USB メディア画面が表示されます。

USB メディア画面の例

2 USBメディア画面が表示されないときは、入力切換メニューを表示して、「USBメディア」を選ぶ

入力切換 を押す

- 上下カーソルボタンでも選べます。
- 本機に USB メモリーをつないだ場合は、手順 **4** に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順 **3** に進みます。

3 再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

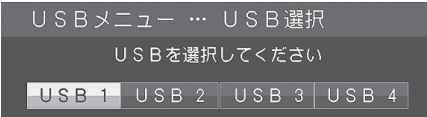
を押す

で選び 決定 を押す

- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。

USBメニュー … USB選択

USBを選択してください

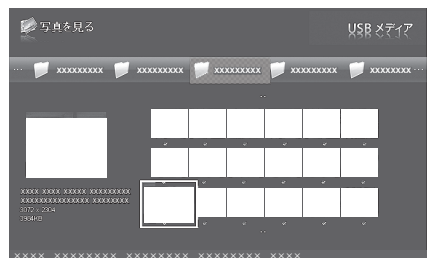
USB 1 | USB 2 | USB 3 | USB 4

4 「写真を見る」または「音楽を聴く」を選ぶ

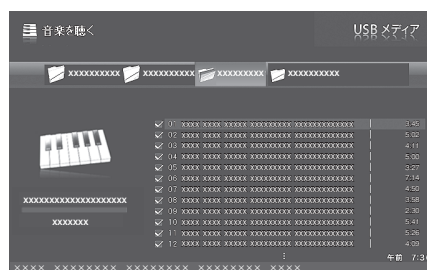
で選び 決定 を押す

5 再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ

で選び 決定 を押す

6 再生したい写真や音楽を選ぶ

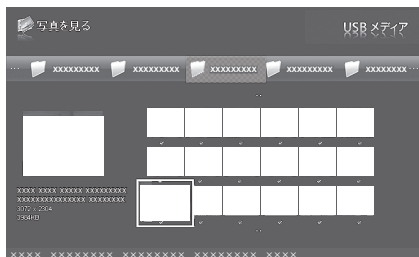
で選び 決定 を押す

写真一覧画面の例

音楽一覧画面の例

- 写真表示中の操作⇒ **304** ページ
- 音楽再生中の操作⇒ **307** ページ

はじめにお読みください
テレビを見る／便利な使いかた
録画・再生
ファミリンク
3D映像を見る
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

次のページに続く

写真表示中の操作について

写真一覧画面の例

サムネイル表示中の操作

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。
▲▼◀▶	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• スライドショー再生時に再生する BGM 一覧画面を表示します。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇**おしらせ**◇

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※1、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
  - ※1　EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

スライドショー表示中の操作

- サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。

◇**おしらせ**◇

- スライドショー表示中は、選択された BGM が繰り返し再生されます。
- スライドショーは、戻るを押すまで続きます。

個別の写真を表示中の操作

- サムネイル選択画面で選ばれた写真が表示されます。

ボタン	説明
◀▶	• 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
緑	• 写真を左に 90°回転します。
黄	• 写真を右に 90°回転します。

◇**おしらせ**◇

- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。
- 3D ボタンを使って、2D モードと 3D モードを切り換えることができます。
- 3D モードの明るさとサラウンドを、3D 明るさアップボタンと 3D サラウンドボタンで調整することができます。（⇒ **224** ページ）

スライドショーの間隔を選ぶ

- スライドショーの速度は、USB メニュー画面から「スライドショー間隔」を選んで設定します。

1 赤 を押す

サムネイル表示中に､USBメニュー画面を表示する

2

で選び

を押す

「スライドショー間隔」を選ぶ

USBメニュー	
3D表示	[する]
スライドショー間隔	[約１０秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

3

で選び 決定 を押す

「約5秒」「約10秒」「約30秒」「約60秒」のいずれかを選ぶ

◇おしらせ◇
- 写真によってはスライドショーの間隔が設定時間どおりにならない場合があります。

スライドショーの効果を選ぶ

- スライドショー表示中、画面が切り換わるときに動きの効果がつくよう設定できます。

1 赤 を押す

サムネイル表示中に､USBメニュー画面を表示する

2

で選び 決定 を押す

「スライドショー効果」を選ぶ

USBメニュー	
3D表示	[する]
スライドショー間隔	[約１０秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

3 で選び 決定 を押す

「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」のいずれかを選ぶ

フォルダ内のすべてのスライドショー画像を設定／リセットする

- 表示される画像を設定またはリセットします。

1 赤 を押す

サムネイル表示中に､USBメニュー画面を表示する

2 で選び 決定 を押す

「スライドショー全選択」または「スライドショー全解除」を選ぶ

USBメニュー	
3D表示	[する]
スライドショー間隔	[約１０秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーBGM選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

- 「スライドショー全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。
- 「スライドショー全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。

3 青 を押す

スライドショーを開始する

はじめにお読みください
テレビを見る／便利な使いかた
録画・再生
ファミリンク
3D映像を見る
ビデオ・オーディオ・パソコンをつなぐ
インターネット／ホームネットワーク
設置・接続・受信設定
故障かな？／エラーメッセージ
お役立ち情報（仕様や索引）
English Guide

次のページに続く

スライドショーの BGM を選ぶ

・スライドショー表示中に流れる音楽（BGM）を選べます。

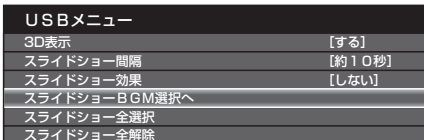
1 赤 を押す

サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

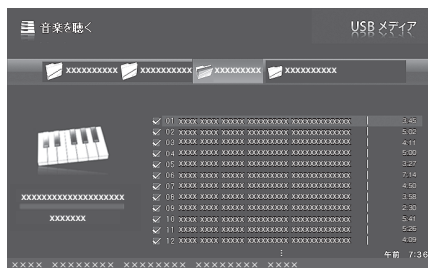
2 で選び 決定 を押す

「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

・音楽一覧画面が表示されます。
・音楽一覧画面は、サムネイル選択画面で 緑 を押して表示することもできます。

USBメニュー	
3D表示	[する]
スライドショー間隔	[約１０秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショーＢＧＭ選択へ	
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	

3 で選び 黄 を押す

音楽(BGM)を選ぶ

・選択された音楽にチェックマークが付きます。

ボタン	説明
（上下左右・決定）	・音楽を選びます。
戻る	・一つ前の手順に戻ります。
青	・音楽の再生を停止します。
赤	・USB メニュー画面を表示します。
緑	・音楽を再生／一時停止します。
黄	・スライドショーの BGM にする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。

4 戻る を押す

フォルダを選ぶ画面に戻る

5 戻る を押す

サムネイル画面に戻る

6 青 を押す

サムネイル選択画面でスライドショーを開始する

・スライドショーの間、BGM が流れます。

◇**おしらせ**◇

・初期設定では、すべての音楽ファイルが選ばれています。

フォルダ内のすべての音楽をスライドショーの BGM に設定／解除する

1 赤 を押す

サムネイル表示中に、USBメニュー画面を表示する

2 で選び 決定 を押す

「スライドショーBGM選択へ」を選ぶ

・音楽一覧画面が表示されます。
・音楽一覧画面は、サムネイル選択画面で 緑 を押して表示することもできます。

3 で選び   を押す

BGMにしたい音楽が入っているフォルダを選ぶ

4 任意の音楽を選んでいる状態で赤ボタンを押す

赤
を押す

5 「BGM全選択」または「BGM全解除」を選ぶ

で選び
を押す

USBメニュー
BGM全選択
BGM全解除

音楽再生中の操作について

音楽一覧画面の例

ボタン	説明
決定	• 選んだ音楽を再生します。
▲▼◀▶	• 音楽を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• 音楽の再生を停止します。
赤	• USB メニュー画面を表示します。
緑	• 音楽を再生／一時停止します。
黄	• 自動再生をする音楽の選択／選択解除を行います。現在選択されている音楽に対してのみ有効です。チェックマークが付いていない音楽は、自動再生中にスキップされます。

◇**おしらせ**◇

- 無効な音楽ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 可変ビットレートのファイルでは、表示される再生時間が実際の再生時間と異なることがあります。また、プログレスバーの表示が途中でも、再生が終わることがあります。

フォルダ内の音楽の自動再生を設定／解除する

- 音楽の自動再生を設定または解除します。

1 音楽一覧表示中に、USBメニュー画面を表示する

赤
を押す

2 「自動再生全選択」または「自動再生全解除」を選ぶ

で選び
を押す

USBメニュー
自動再生全選択
自動再生全解除

- 「自動再生全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルにチェックマークが付きます。
- 「自動再生全解除」を選ぶと、フォルダ内のすべての音楽ファイルからチェックマークが外れます。

3 音楽を再生する

緑
を押す

テレビの設置・接続・受信設定の進めかた

基本的な準備のながれ

・本機の設置・接続・受信設定などの基本的な進めかたのながれです。

1 本機を設置する場所を決める

⇒**310ページ**

・付属のスタンドを取り付けます。
・本機を仮置きします。

2 本機にB-CAS(ビーキャス)カードを入れる

⇒**316ページ**

3 アンテナをつなぐ

⇒**318～321ページ**

・壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は、「壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合」(⇒**下記**)をご覧ください。

4 他の機器をつなぐ

・「他の機器をつなぐ場合は」(⇒**次**ページ)をご覧ください。

5 電源コードをつなぐ

⇒**333ページ**

6 本機を設置する

⇒**334～335ページ**

・本機を設置し、転倒の防止をします。
・壁に掛けて設置できます。(⇒**413**～**415**ページ)

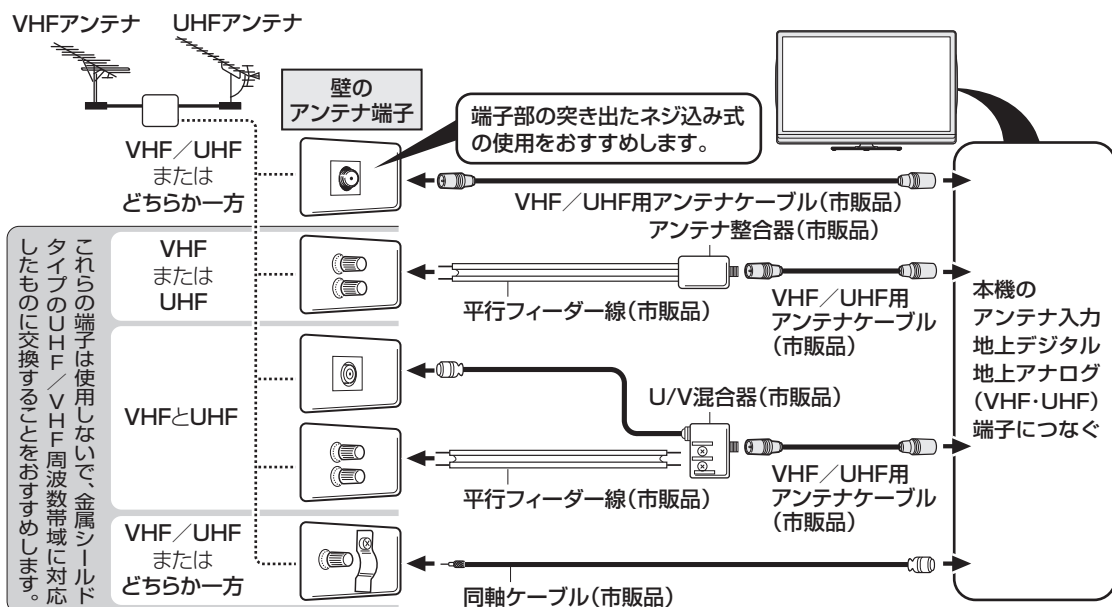
7 かんたん初期設定をする

⇒**336～339ページ**

・画面の指示に従って設定を進めます。
・受信の設定は、個別に行えます。(⇒**346**～**347**、**356**～**357**ページ)

・本機をお使いください。
・操作に困ったときは、⇒**362**～**393**ページをご覧ください。

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合

・壁のアンテナ端子のかたちが**318**ページの記載と異なる場合は、市販のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

他の機器をつなぐ場合は

• 本機に他の機器をつなぐ場合は、以下をご覧ください。

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

⇒322〜325ページ

• ファミリンク対応機器以外のレコーダーやプレーヤーなどのつなぎかたです。

よりきれいな映像で楽しむためには

• ⇒ 322 ページ

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

• ⇒ 324 ページ

D 映像出力端子が付いた機器の場合

• ⇒ 325 ページ

S 映像または映像出力端子が付いた機器の場合（再生するときの接続）

• ⇒ 325 ページ

VHS ビデオテープや外部ビデオ入力の映像を BD にダビングするときのつなぎかた

• ⇒ 332 ページ

i.LINK 機器の映像を BD に録画するときのつなぎかた

• ⇒ 332 ページ

ファミリンク対応機器をつなぐ

⇒326〜327ページ

• ファミリンク機能を搭載している AQUOS レコーダー・プレーヤー・オーディオなどのつなぎかたです。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ場合

• ⇒ 326 ページ

AQUOS オーディオを同時につなぐ場合

• ⇒ 327 ページ

ゲーム機をつなぐ

⇒328ページ

オーディオをつなぐ

⇒329ページ

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器の場合

• ⇒ 329 ページ

デジタル音声（光）端子が付いたオーディオ機器の場合

• ⇒ 329 ページ

パソコンをつなぐ

⇒330〜331ページ

本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

• ⇒ 330 ページ

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

• ⇒ 330 ページ

本機をアナログ RGB 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）

• ⇒ 331 ページ

パソコンで本機を操作する場合（RS-232C 通信）

• ⇒ 331 ページ

USBハードディスクをつなぐ

⇒164ページ

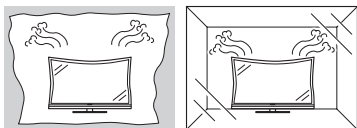
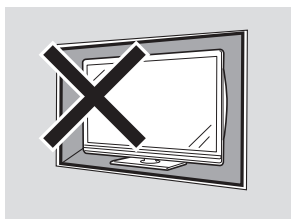
• 市販の USB ハードディスクを本機につなぐと、本機の内蔵チューナーを利用して番組を録画できるようになります。

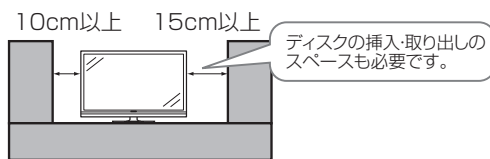
ネットワークにつなぐ

⇒240〜251ページ

• インターネット(ブロードバンド)やLAN(家の中のネットワーク）のつなぎかたです。
• LAN のつなぎかたには、有線方式と無線方式があります。
• IPTV の番組を見る場合には、インターネットへの接続が必要です。

本機を置く場所を決める

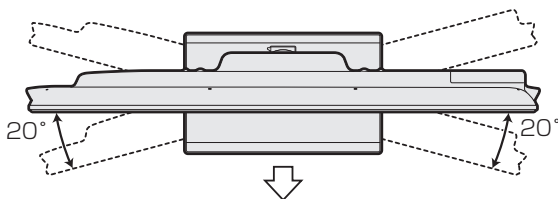
- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。（別売品⇒**次**ページ）
- 以下のような設置のしかたをしないでください。

  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない（使用温度 5℃～ 35℃）
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左側は 10cm、右側は 15cm 以上のスペースを空けてください。

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「視聴環境設定」－「視聴環境設定（音声）」や「設定」－「（音声調整）」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。（⇒**334** ～ **335** ページ）
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

◆ **重　要** ◆

- 傾けて設置せず垂直になるよう設置してください。BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができなくなったり、故障の原因となります。

角度調整のしかた

- スタンド下部 (図の濃い色の部分）を片方の手でしっかりと押さえ、手をはさまないように注意しながら本体を回転させます。左右各 20 度の範囲内で調整できます。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。

（2010年10月現在）

No.	品　名	形　名	対応機種
1	システムラック	AN-65SR3	LC-52LB3 LC-46LB3
2	壁寄せスタンド	AN-WS50	
3	壁掛け金具	AN-52AG6	
4	3D メガネ	AN-3DG10	

◇**おしらせ**◇

- 壁に掛けて設置する場合は **413 ～ 415** ページをご覧ください。この場合、付属のスタンドを取り付ける必要はありません。
- LC-52LB3 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-46LB3 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- 壁掛け金具は傾けない（0 度の設定）でお使いください。

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 2.0N・m（20kgf・cm）に設定してください。

スタンドを取り付ける

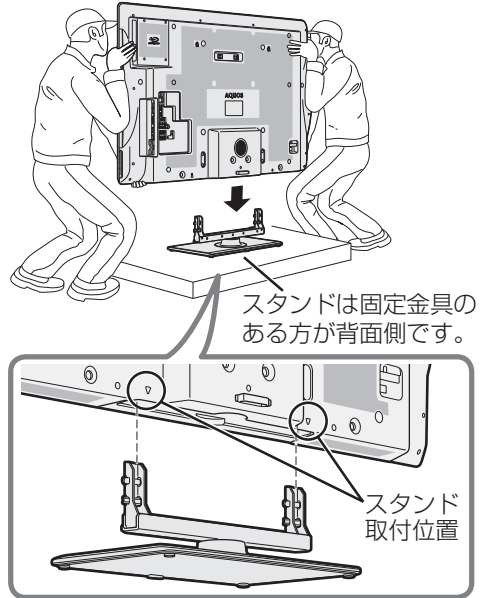
◆ 重 要 ◆

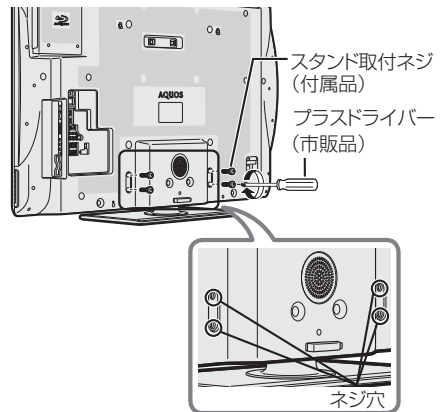
- 必ず 2 人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。

◇おしらせ◇

- 本機を設置する際は壁や柱またはテレビを設置する台に固定して転倒を防いでください。（⇒ **334〜335** ページ）

1 スタンドを立て、本機底面のスタンド取付位置を確かめてまっすぐゆっくりおろす

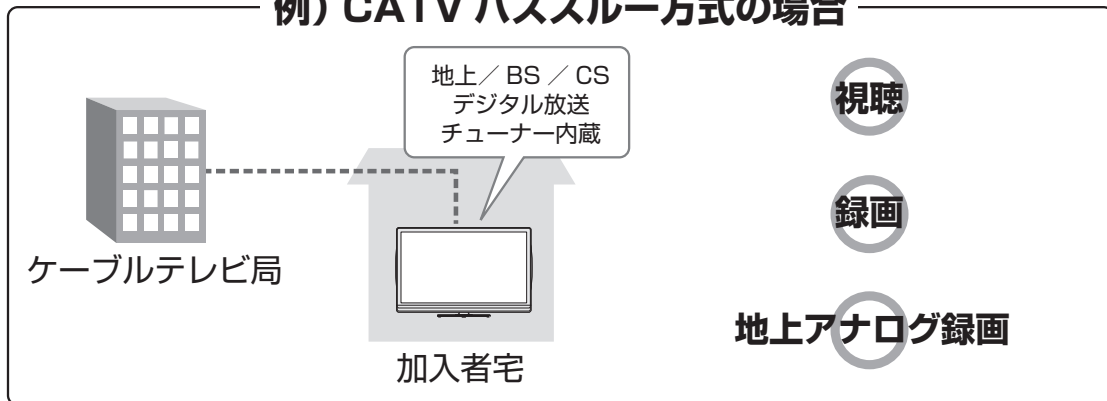
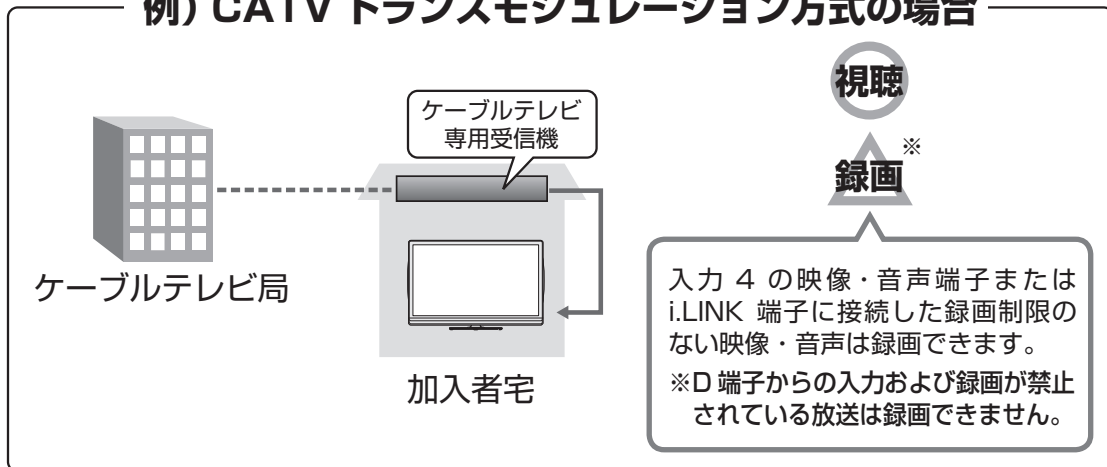
- 本体を持ち上げる際は、液晶パネルを持たないでください。片手で底面を持ち、もう一方の手で上部をささえて、本体に傷がつかないようにしてください。

2 スタンド取付ネジ（4本）で、本機とスタンドを固定する

- 市販のプラスドライバーで確実に締め付け、固定してください。
- ディスプレイが BD ユニット側に傾く場合は、中央上部を手で押さえるなどして左右の高さ（本体の傾き）を合わせながら、ネジを締めてください。

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

ケーブルテレビ（CATV）による デジタル放送受信世帯のお客様へのご案内

- 放送の受信環境によっては、本機で録画できない場合があります。
- ケーブルテレビ会社の専用受信機の受信機能や、CATV 放送のサービス方式についての詳しいことは、ご加入のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

ケーブルテレビ（CATV）を受信している場合の 視聴・録画の条件（例）

例）CATV パススルー方式の場合

例）CATV トランスモジュレーション方式の場合

◇おしらせ◇

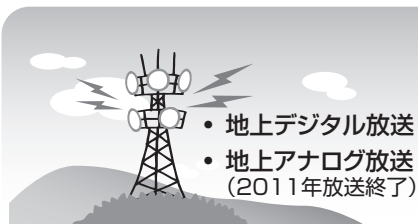
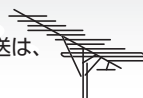
IPTV をご視聴になるときは

- 本機で IPTV をご視聴になる場合は、ご家庭のブロードバンド環境を確認し、本機の LAN 端子（通常）との接続と設定が必要です。
  詳しくは「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」（⇒ **240** ページ）をご覧ください。

BD-LIVE（BD ライブ）対応の BD ビデオをご視聴になるときは

- BD ビデオには BD-LIVE(BD ライブ)という新しい再生機能に対応したものがあります。インターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。
- ご視聴になる場合は、ご家庭のブロードバンド環境を確認し、本機の BD-LIVE 専用通信端子との接続と設定が必要です。また、BD-LIVE 専用外部メモリー USB 端子に USB メモリーを接続する必要があります。USB メモリーは、USB2.0 に対応し、容量が 2GB 以上のものを準備してください。
- 詳しくは「BONUS VIEW™、BD-LIVE 対応の BD ビデオを見る」（⇒ **142** ページ）をご覧ください。

受信できる放送の種類について

- 地上デジタル放送
- 地上アナログ放送
（2011年放送終了）

VHF アンテナ
地上アナログ放送のみ受信できます。地上デジタル放送は、受信できません。

UHF アンテナ
地上デジタル放送と、UHF 帯の地上アナログ放送を受信できます。

地上アナログ放送

- 従来の放送です。
- 地上アナログ放送と BS アナログ放送は、2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。
  地上アナログ放送終了後は、本機の地上アナログチューナーでは、視聴・録画できません。

受信に必要なアンテナ

- VHF 対応のアンテナや UHF 対応のアンテナが必要です。

◆　重　要　◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネルの放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF アンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF アンテナであればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタル放送のその他の特長

B-CAS カード

- **デジタル放送を受信するには、B-CAS カードが必要です。本機に B-CAS カードを入れてください。****（⇒ 316 ページ）**

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。
  延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ ファミリンク録画予約（⇒ **202** ～ **205** ページ）の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。ホームメニューから「ツール」－「映像切換」を選んで切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇**おしらせ**◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
（他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。）

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。（スキップ設定⇒ **347** ページ）
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！ e2」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。
- 受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応したものに交換する必要があります。**

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。ホームメニューから「ツール」－「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

（画面例）

決定ボタンを押す　「ツール」－「映像切換」を選ぶ

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットホーム（スカパー！ e2）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（⇒ **400** ページ）

（画面例）

B-CAS（ビーキャス）カードと有料放送の受信について

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割りについて）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、**B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。** B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

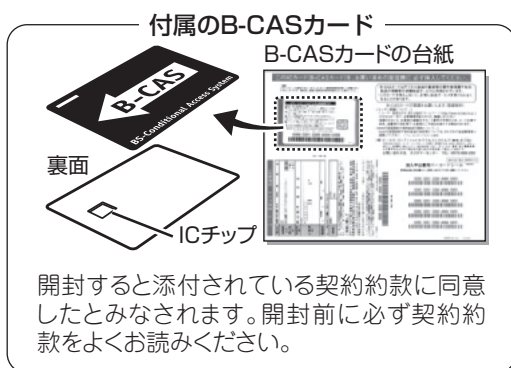
B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

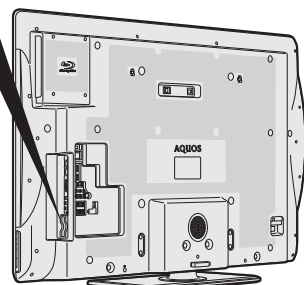
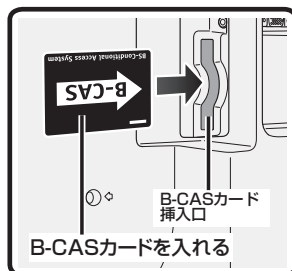
B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2010 年 10 月現在）

付属のB-CASカード

開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

1 B-CASカードの台紙の内容を読む

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（⇒ **394** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

WOWOW や スカパー！e2 などの 有料放送を見るときは

• 有料放送を視聴するには、スカパー！ e2 などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2010 年 10 月現在

有料BS・110度CSデジタル放送局

WOWOW

• **カスタマーセンター**
電話番号：0120-580807
受付　　：9：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ：http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

• **スター・チャンネル　カスタマーセンター**
電話番号：0570-013-111
PHS、IP 電話のお客様は 045-339-0399
受付　　：10：00 ～ 18：00
ホームページ：http://www.star-ch.jp/

• スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！e2　カスタマーセンターへお問い合わせください。

110度CSデジタル衛星サービス会社

スカパー！e2　（CS1・CS2）

• **スカパー！e2　カスタマーセンター**
電話番号：0570-08-1212
PHS、IP 電話のお客様は 045-276-7777
受付　　：10：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ：http://www.e2sptv.jp/

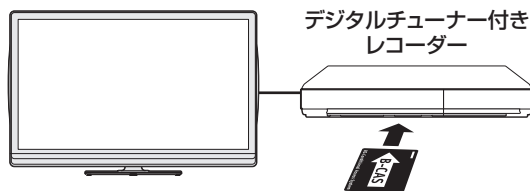
◇おしらせ◇

• 本機には電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

本機のレコーダー機能で有料放送を録画する場合には

• 本機のレコーダー機能で有料放送を録画する場合には、本機に付属している B-CAS カードを有料放送の受信契約時に登録し、本機に挿入してください。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

• お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

• レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
• 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

地上デジタル放送・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

• 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

ケーブルテレビを見るときは

• 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

◇**おしらせ**◇

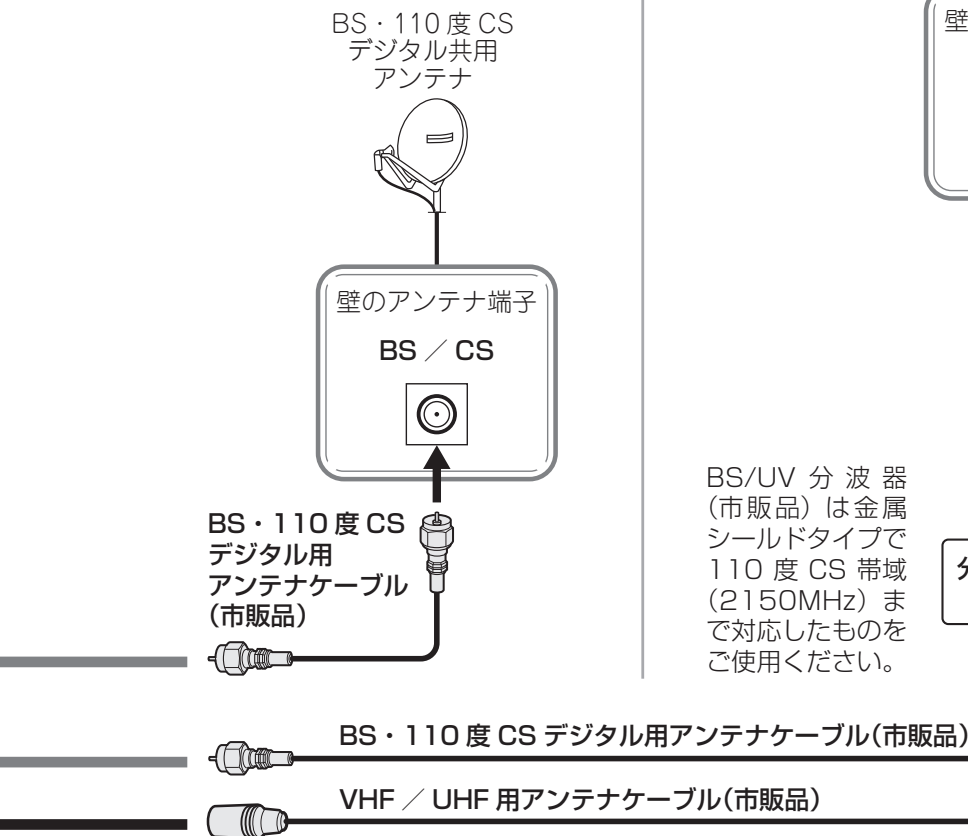
• **CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 345 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
• 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ

・ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110 度 CS デジタルと UHF ／ VHF が別の端子のとき）

BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110 度 CS デジタルと UHF/VHF が混合されているとき）

BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）

VHF ／ UHF 用アンテナケーブル（市販品）

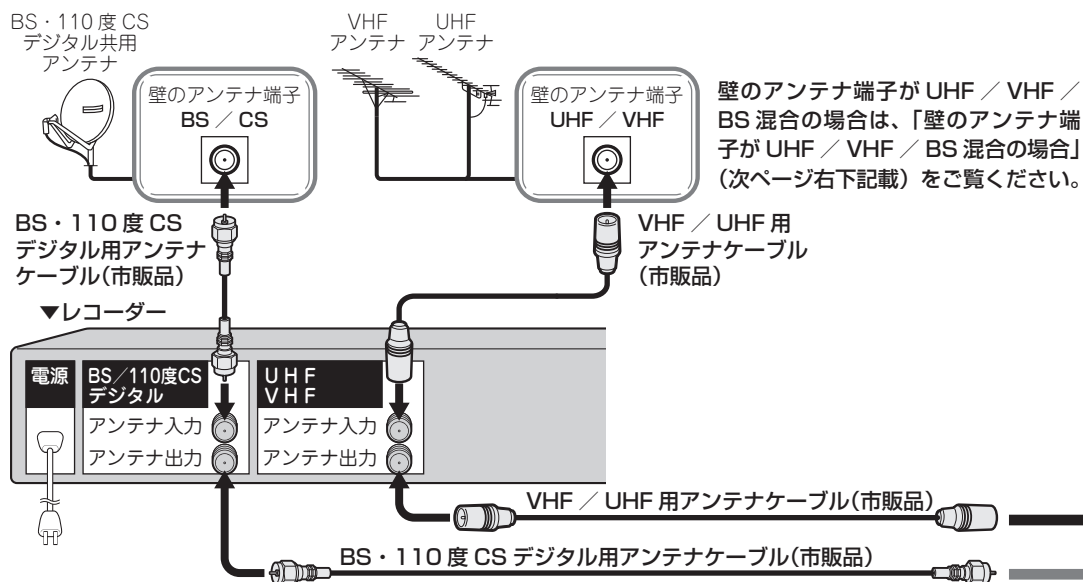
◇**おしらせ**◇

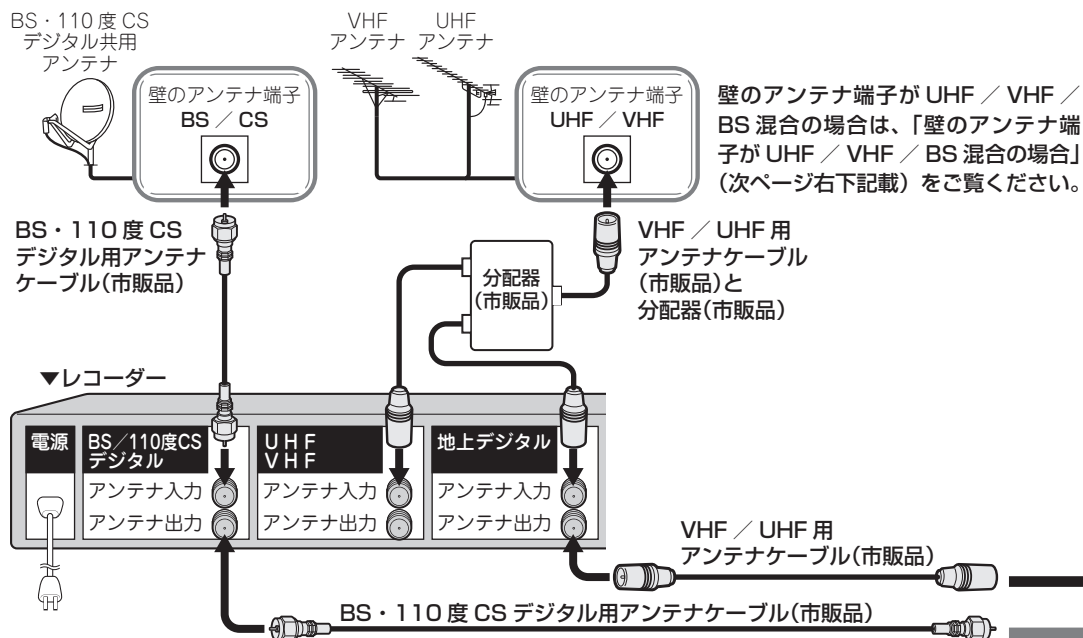
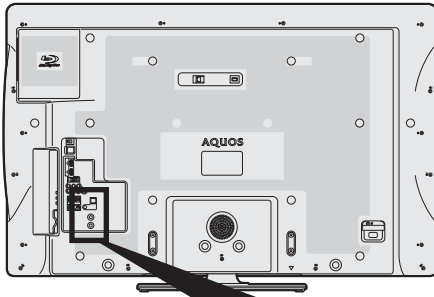
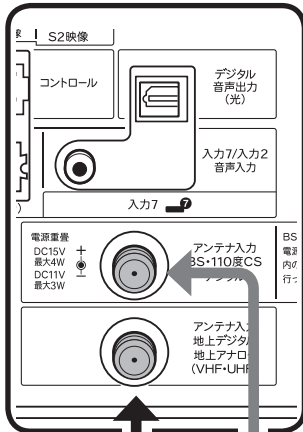
- **接続をやり直すときは、ディスクを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**（⇒ **333**・**398** ページ）（BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子は、BS・110 度 CS デジタルアンテナに取り付けられた BS・110 度 CS コンバーターに +15V ／ +11V の電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
- 市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線は S-5C-FB など。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 従来の BS アナログアンテナでは、110 度 CS デジタル放送は受信できません。また、BS デジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

アンテナをつなぐ（レコーダーもつなぐ場合）

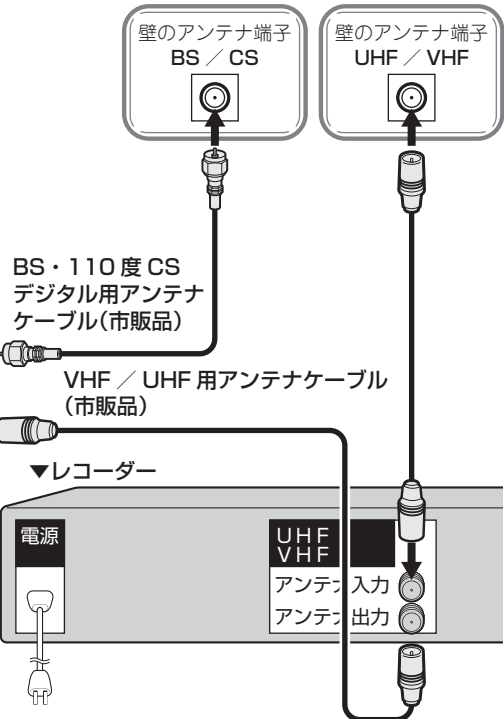
デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

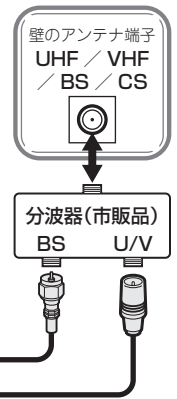
地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合は、「壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合」（次ページ右下記載）をご覧ください。

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子のレコーダーにつなぐとき

壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合は、「壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合」（次ページ右下記載）をご覧ください。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

デジタルチューナーを搭載していないレコーダーの場合

壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合は、「壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合」（下記）をご覧ください。

壁のアンテナ端子が UHF ／ VHF ／ BS 混合の場合

- BS/UV 分波器（市販品）を使って、VHF/UHF 用と BS･110 度 CS デジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。
- BS/UV 分波器（市販品）は金属シールドタイプで 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

壁のアンテナ端子 UHF ／ VHF ／ BS ／ CS

分波器(市販品) BS U/V

レコーダーやテレビにつなぐ

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

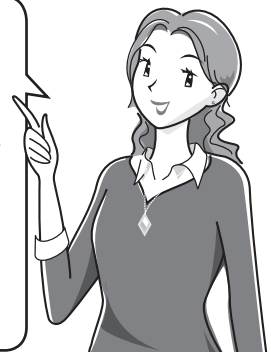
よりきれいな映像を楽しむためには

・お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

◇おしらせ◇

・映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
・映像の種類と画質について⇒**229・422**ページ
・高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。

接続するときに気をつけること

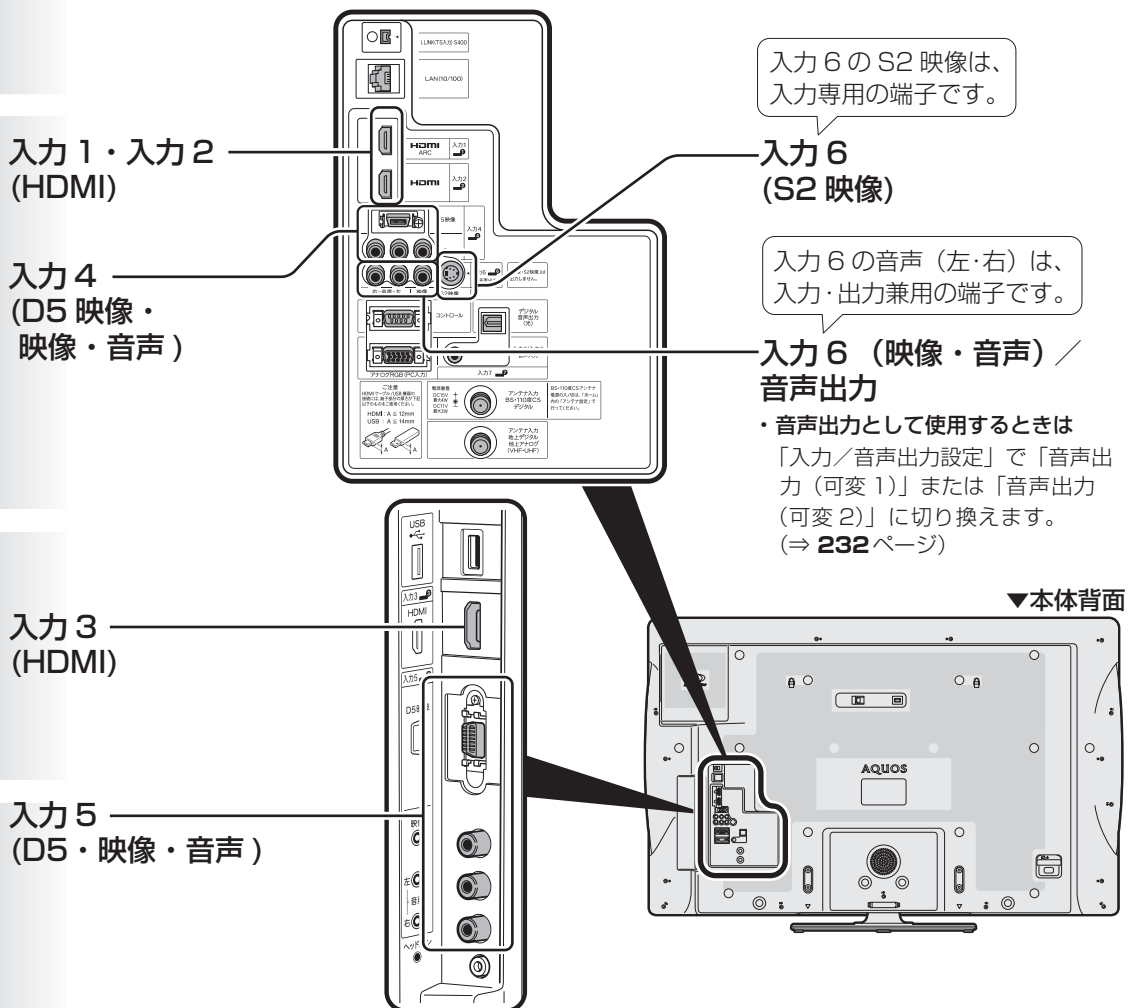
- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

◇おしらせ◇

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。

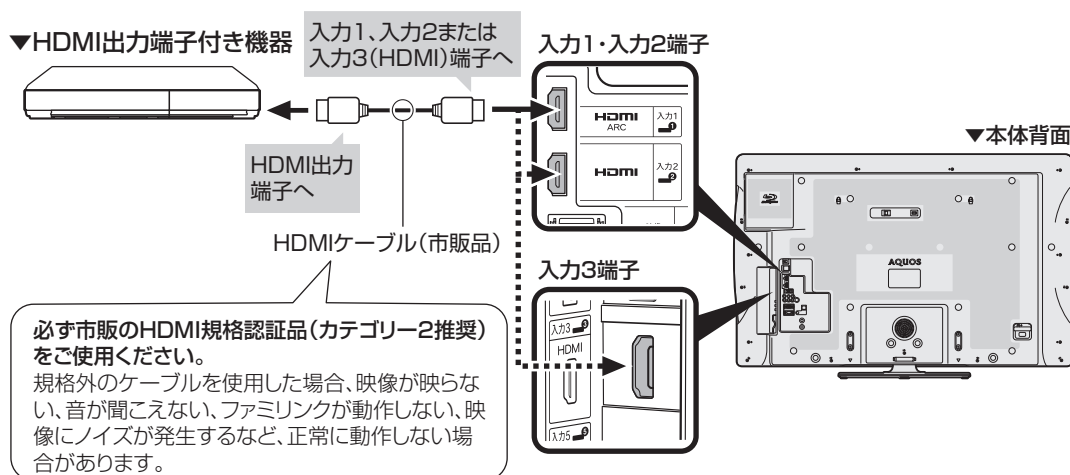
レコーダーやプレーヤー側の接続端子について

- 詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

- **音声出力として使用するときは**
「入力／音声出力設定」で「音声出力（可変 1）」または「音声出力（可変 2）」に切り換えます。
(⇒ **232** ページ)

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- ３D 映像に対応した機器をつなぐときは、HDMI1.4 に対応した HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。

対応している映像信号

- 1080p（24Hz/60Hz）、720p、1080i、480p、480i、VGA

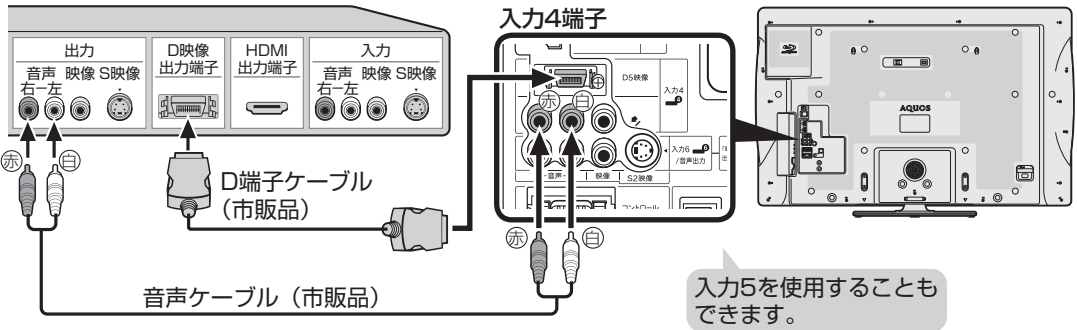
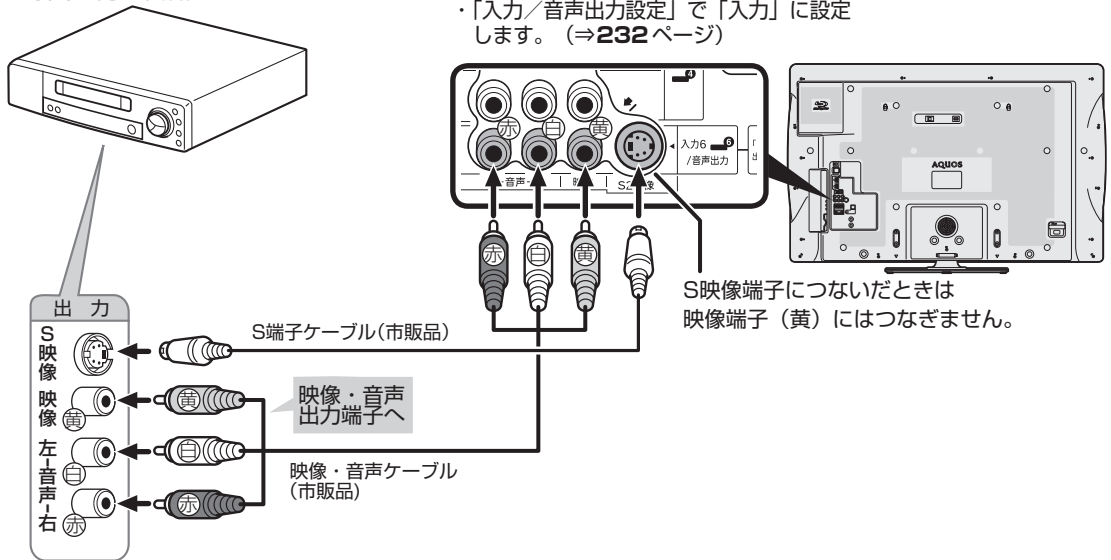
対応している音声信号

- 種類：リニア PCM、AAC、ドルビーデジタル
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

◇**おしらせ**◇

- 入力 2 にレコーダーやオーディオを接続するときは、「入力音声選択」（⇒ **237** ページ）を「HDMI のみ」にしてください。
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御（連動）」を「しない」に設定してください。（⇒ **197** ページ）

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

D 映像出力端子が付いた機器の場合

S 映像または映像出力端子が付いた機器の場合

◇**おしらせ**◇

入力６／音声出力端子について

- 背面の入力６／音声出力端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。再生用として使うときは、必ず「入力／音声出力設定」で「入力」に設定してください。（⇒ **232** ページ）

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常に動作しない場合があります。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオをつないで 3 D コンテンツをお楽しみいただく場合は 3 D対応の機器をご使用ください。
- 3D 対応のファミリンク機器については SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ 3D 対応の AQUOS について」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- ３D 映像に対応した AQUOS レコーダーをつなぐときは、HDMI1.4 に対応した HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

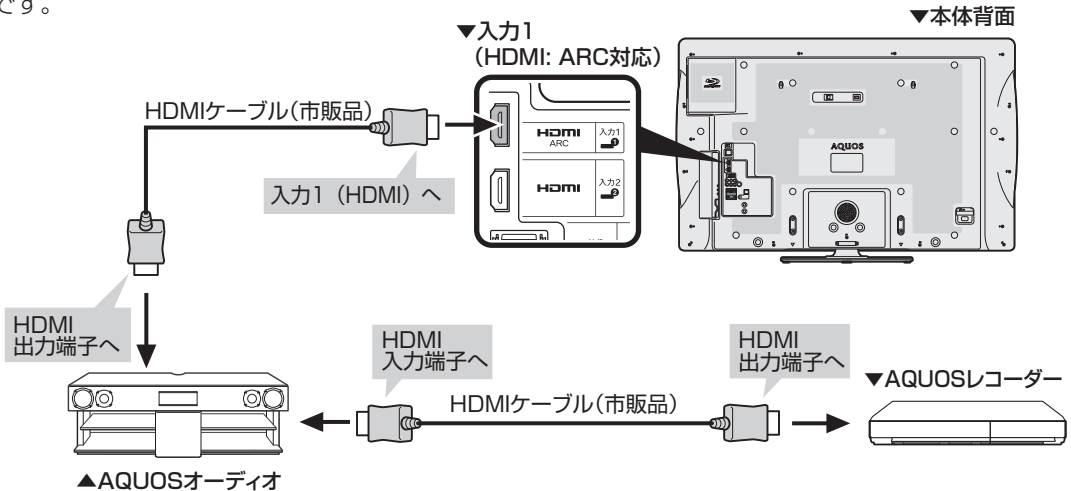
◆ 重 要 ◆

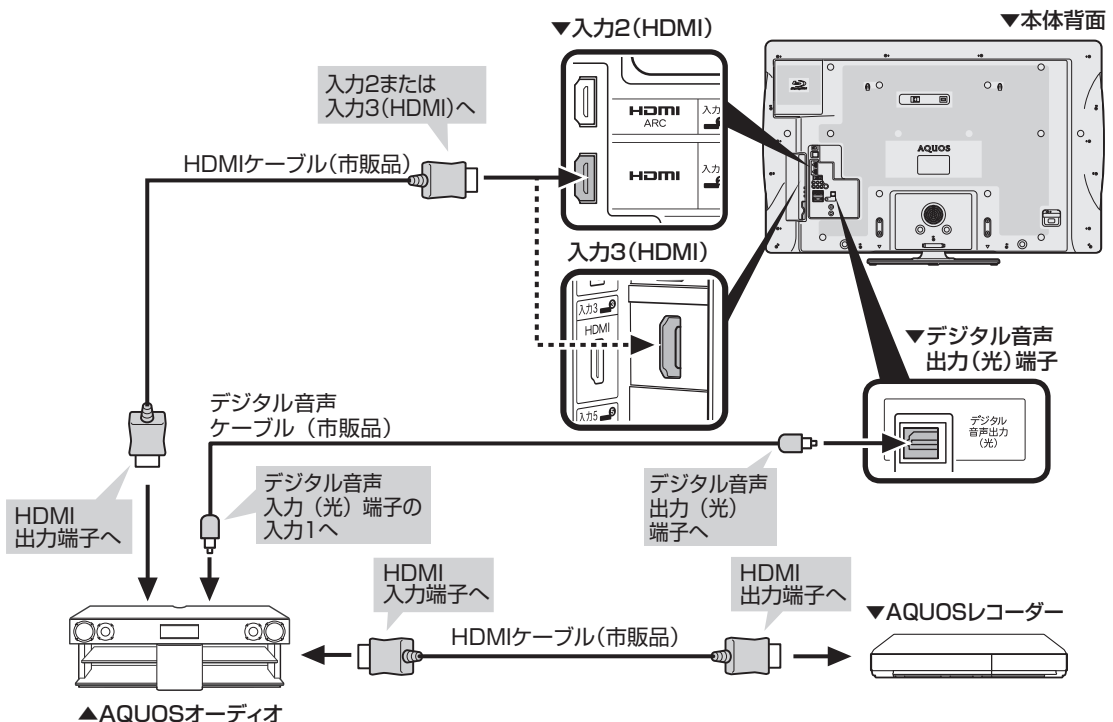
- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

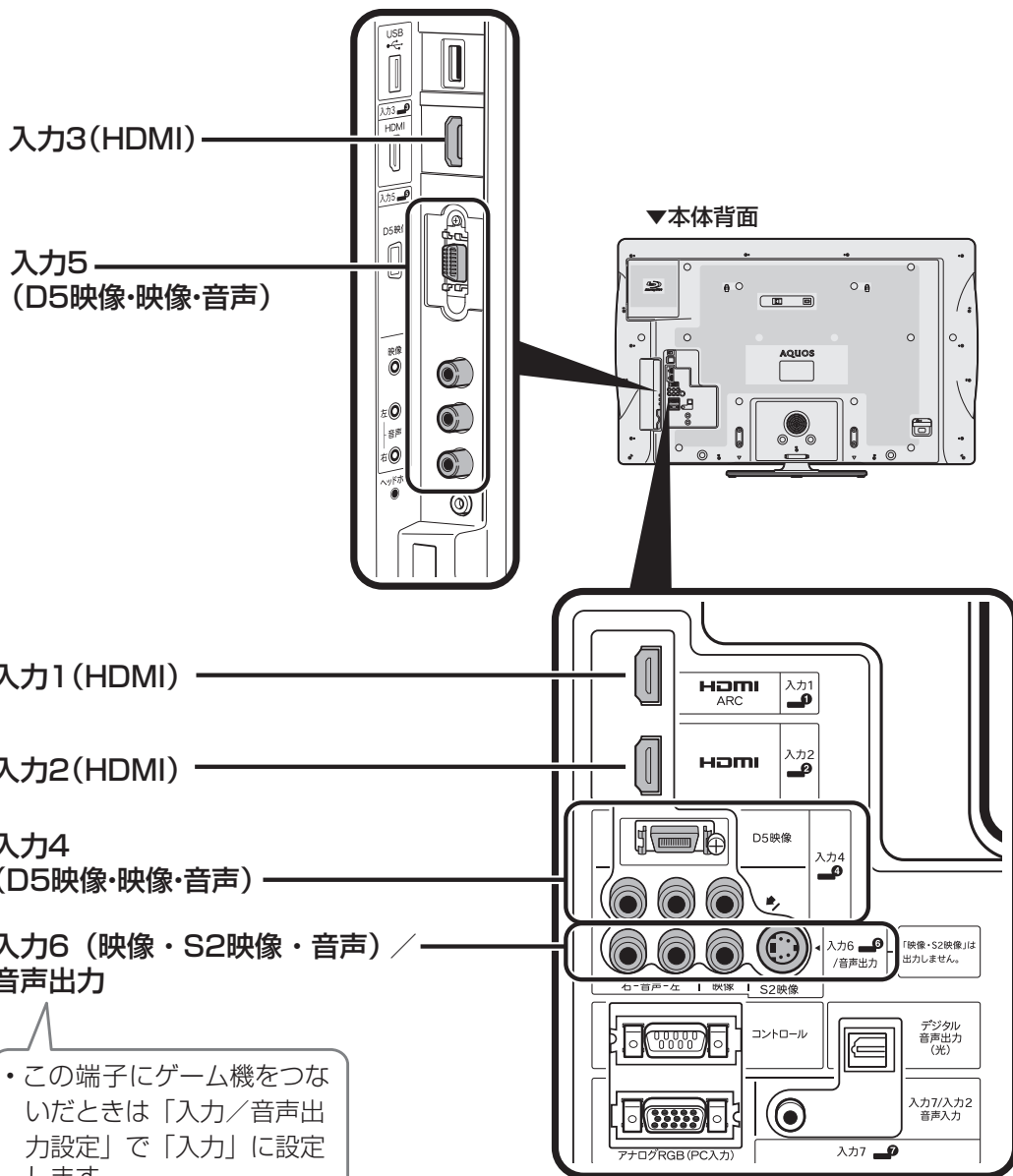
本機と AQUOS レコーダーを つなぐ

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

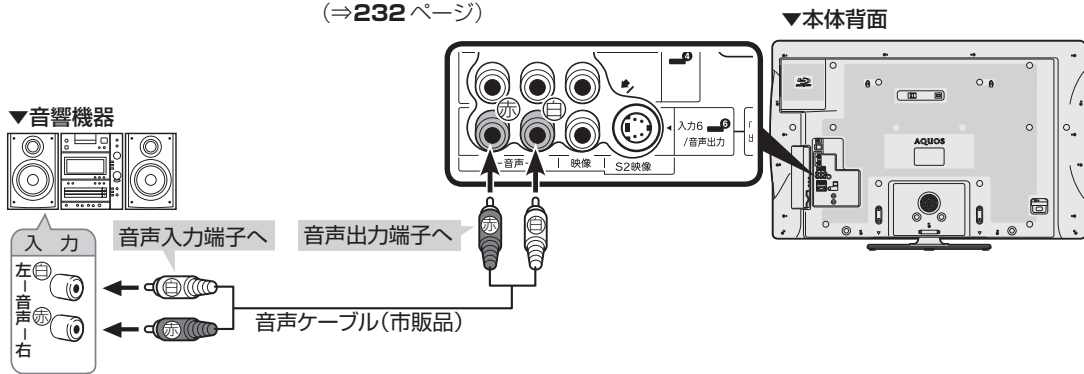
本機の入力 1（HDMI）端子につなぐ場合

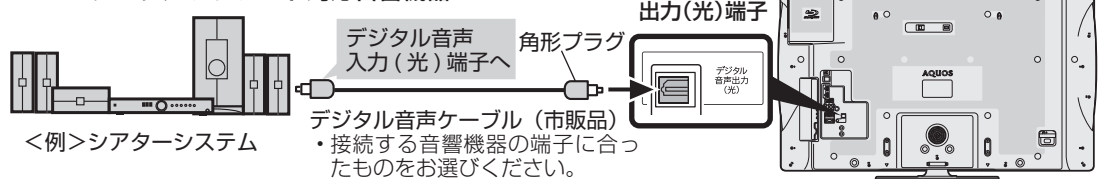
- 本機の入力 1（HDMI）端子は ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力 1（HDMI）端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能なため、デジタル音声ケーブルをつなぐ必要がありません。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。
- ARC に対応していない AQUOS オーディオを接続する場合は、デジタル音声ケーブルの接続も必要です。

本機の入力 2 または入力 3（HDMI）端子につなぐ場合

- 本機から AQUOS オーディオに音声信号を出力するために、本機と AQUOS オーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。

ゲーム機をつなぐ

- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- ３D 映像に対応したゲーム機をつなぐときは、HDMI1.4 に対応した HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。

オーディオをつなぐ

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器の場合

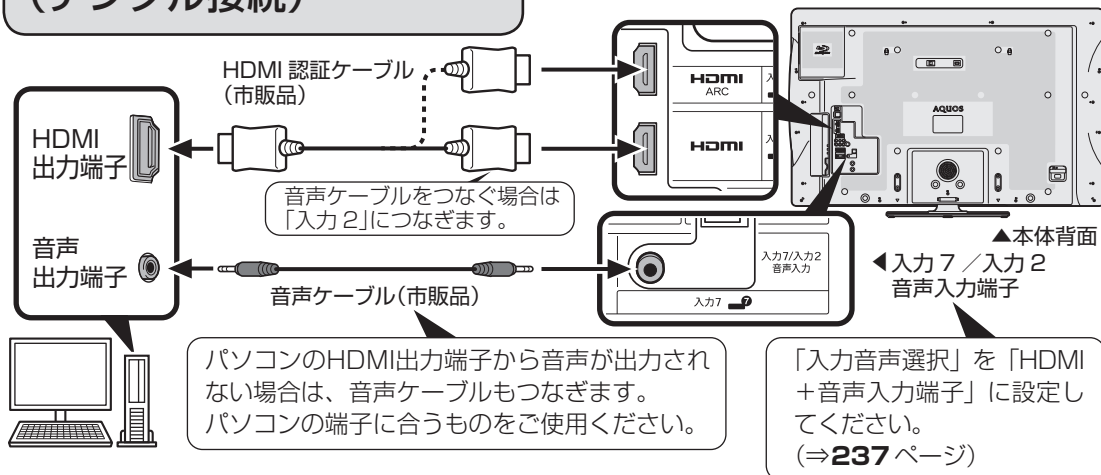
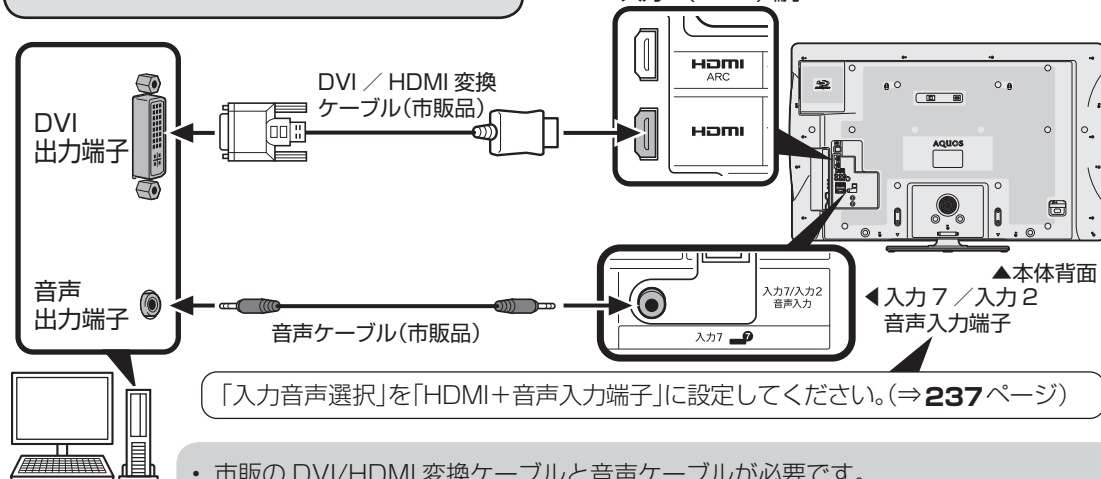
• 本機の入力６／音声出力端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

デジタル音声（光）端子が付いたオーディオ機器の場合

• 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC ／ドルビーデジタル／ dts 音声フォーマットを出力できます。AAC ／ドルビーデジタル／ dts 対応の音響機器を接続すると、迫力ある音声で楽しめます。

パソコンをつなぐ

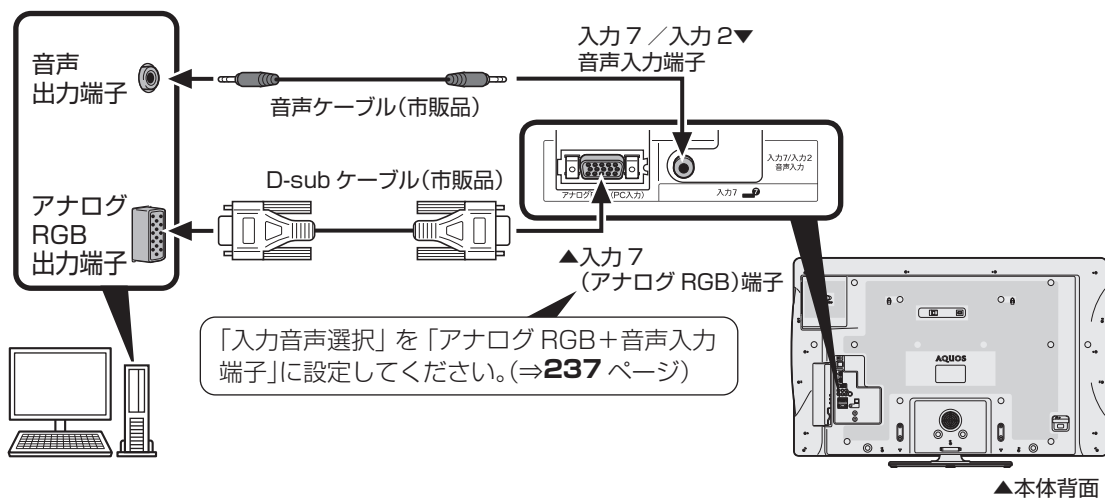
本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

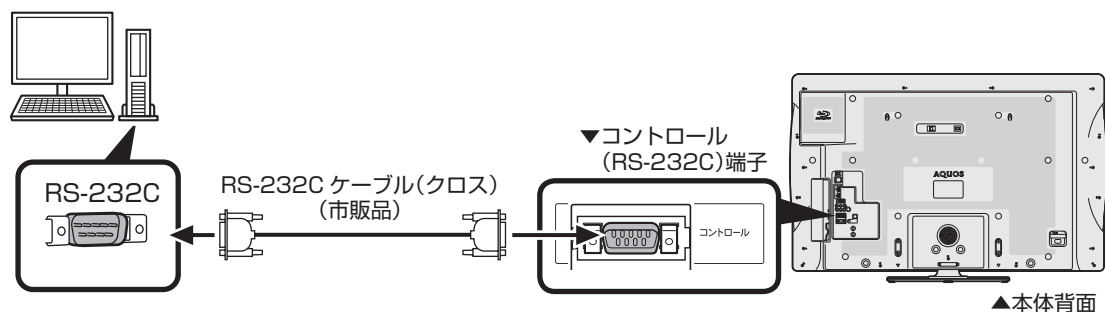
• 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

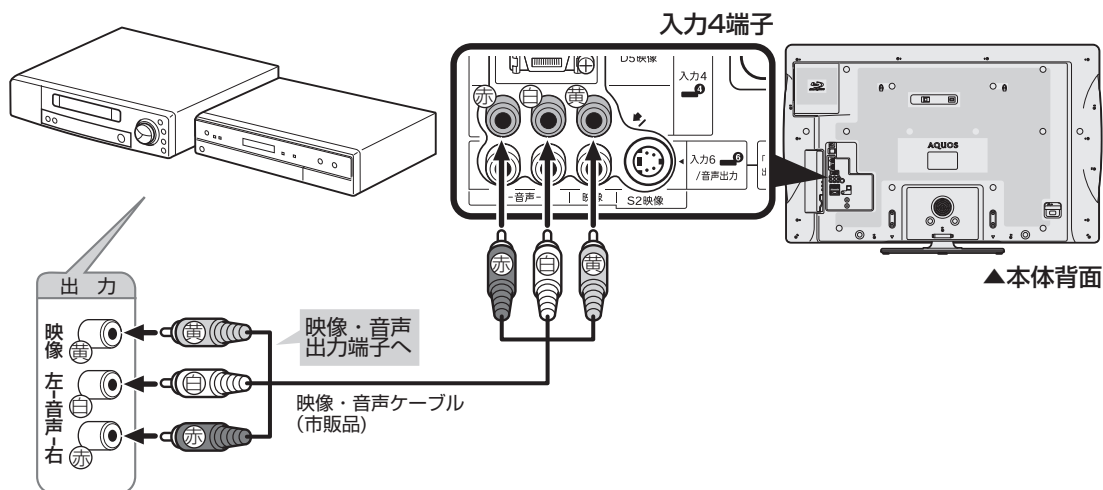
「入力音声選択」を「HDMI＋音声入力端子」に設定してください。(⇒**237** ページ)

• 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
• 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
• 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
• 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

本機をアナログ RGB 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）

- 市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

パソコンで本機を操作する場合（RS-232C 通信）

- ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作をするための接続です。

外部ビデオ入力の映像を BD に録画するときのつなぎかたについて

• 外部入力映像を BD に録画するときは、本機の入力 4 端子に接続します。

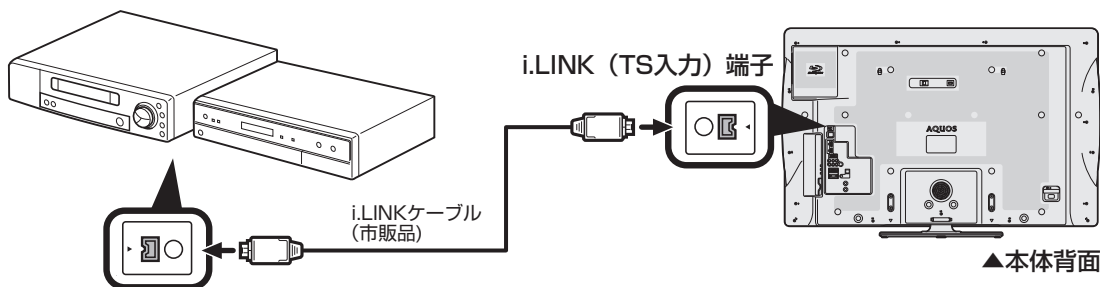
▼ビデオデッキやCATV（ケーブルテレビ）のSTB（セットトップボックス）など

◇おしらせ◇

• 本機の入力 4 端子※に接続した録画制限のないアナログ映像・音声は、録画できます。

※ D 端子からの入力は録画できません。

i.LINK 機器の映像を BD に録画するときのつなぎかたについて

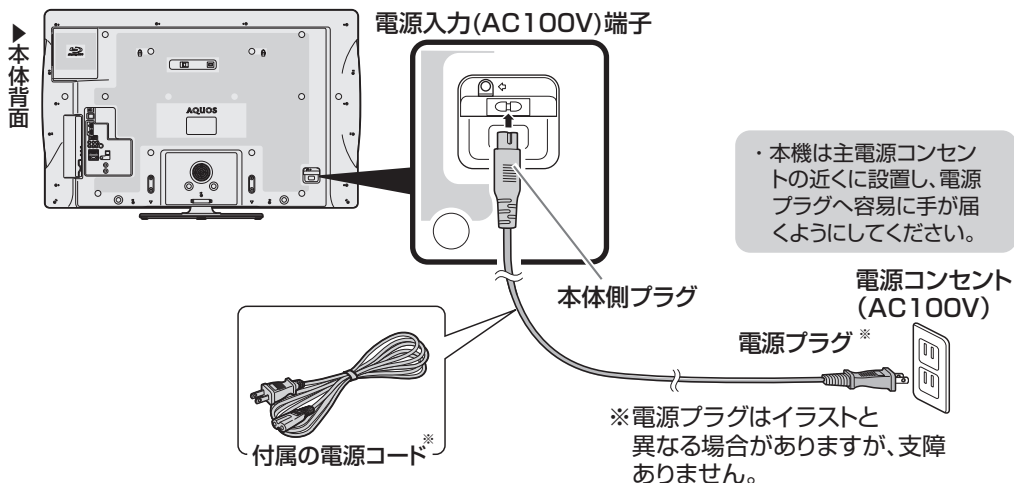
• i.LINK 機器の映像を BD に録画するときは、本機の i.LINK（TS 入力）端子に接続します。

▼i.LINK機器

i.LINK（TS）

• i.LINK とは、i.LINK 端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINK は、IEEE1394 をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE（米国・電気電子学会）によって標準化された国際標準規格です。
• TS とはトランスポートストリーム（Transport Stream）の略で、多重信号形式の 1 つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1 つのストリームとして伝送できるシステムのことです。
• 著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。この DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINK でのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLA のコピー·プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

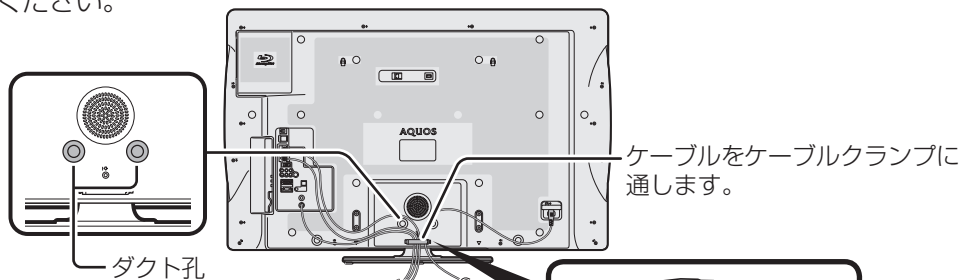
電源コードをつなぐ

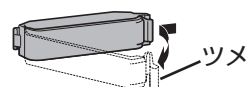
⚠注意　接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

・付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

◆ **重　要** ◆

・電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
・電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
・使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。
・録画可能な BD-RE または BD-R を挿入した状態や、本体の POWER（電源）ランプが消灯しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。ディスクが読めなくなったり、読み込みに時間がかかる場合があります。ディスクの読み込みが完了するまで 10 分以上かかる場合もあります。電源プラグを抜くときは⇒ **398** ページをご覧ください。

つないだケーブルやコードをケーブルクランプに通す

・本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルクランプで固定してください。

◆ **重　要** ◆

・ケーブルをまとめるときにダクト孔をふさがないように注意してください。

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意	• 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。 • 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。 また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

・ 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

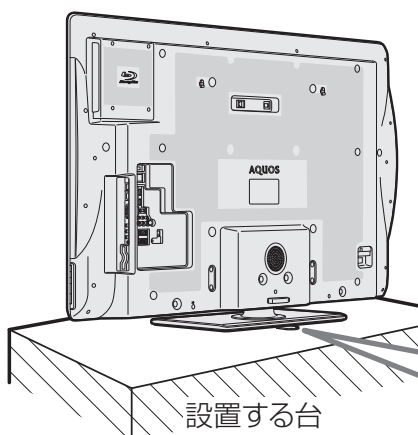
テレビ台などに固定する

◆ 重 要 ◆

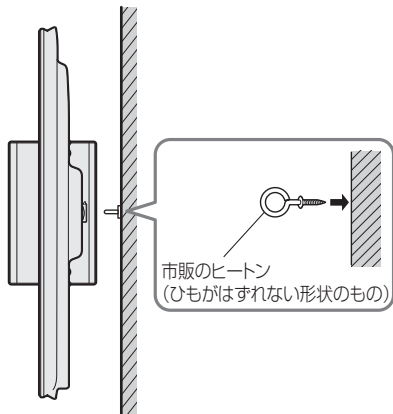
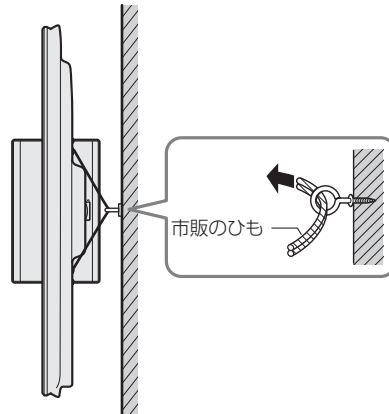
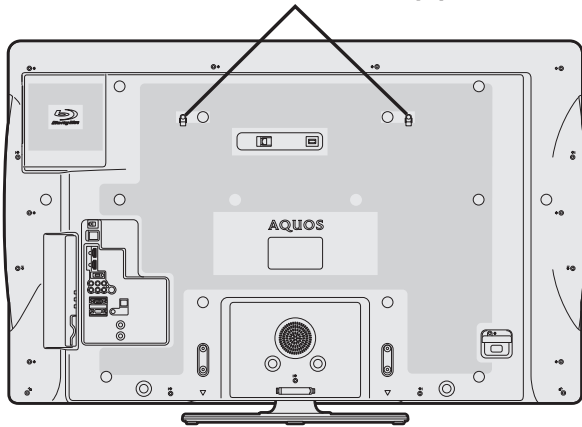
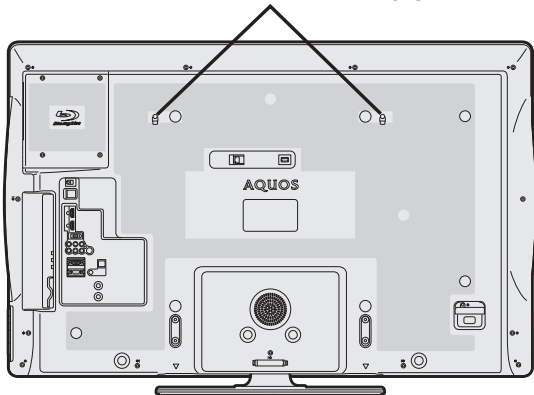
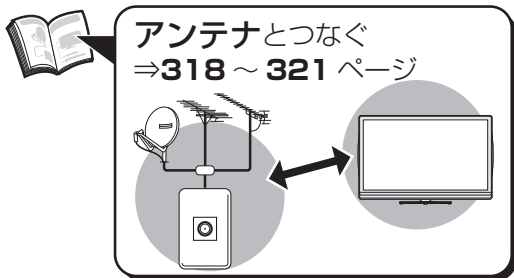
・ 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
・ 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
・ 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。（⇒**次**ページ）

1 設置する台などの上に位置決めする

2 市販のネジを使い、固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する

・ 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

壁や柱に固定する

1 **壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける**

- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。

2 **クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する**

放送を受信するために最初に必要な「かんたん初期設定」などの設定をする

B-CAS（ビーキャス）カード
⇒ **316** ページ

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- ホームメニューから「かんたん初期設定」を行ってください。（⇒ **339** ページ）

◇**おしらせ**◇

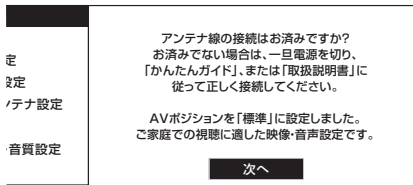
- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 メッセージを確認して決定する

を押す

アンテナ線の接続はお済みですか?
お済みでない場合は、一旦電源を切り、「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

途中で設定を中止するときは

- 電源をお切りください。再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。

B-CAS カードが正しく挿入されていないときは

- 「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。
  電源を切り、⇒ **316** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

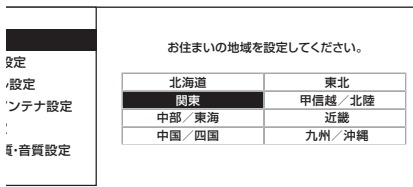
リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは

- 「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されます。
  ⇒ **401** ～ **402** ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

2 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

3 郵便番号を入力する

～ 10 で入力し 決定 を押す

- 「0」を入力するときは 10 を押します。

◆ チャンネルを設定する

4 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。
- 手順 **5** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

◆ BS･CSアンテナを設定する

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び
を押す

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 **7** に進みます。

- 「する」を選んだときは、「BS／CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。
- **まだ地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で、「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上アナログ放送を受信する場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 **5** へ進みます。

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選び決定ボタンを押してください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って、BS・110 度 CS デジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒ **319** ～ **321** ページ)
  電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

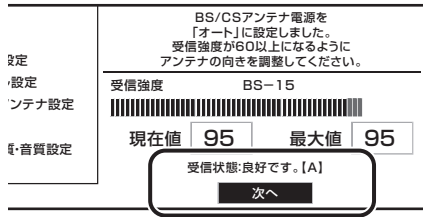
上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 **7** の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは (⇒ **341** ～ **342** ページ)

6 受信状態を確認して決定する

決定 を押す

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（⇒ **319**〜**321** ページ）

7 IPTV（ひかりTV）を見る場合は「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

IPTV（ひかり TV）を見るには

- IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。本機をブロードバンド環境につないでおいてください。

IPTVサービスの設定をしますか?
（IPTVサービスを提供する
光ファイバー回線の契約が必要です。）

する　しない

8 「次へ」を選ぶ

決定 を押す

IPTVサービス設定が完了しました。

次へ

9 画質や音質を設定する場合は「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- AV ポジション（⇒**84**ページ）がぴったりセレクトに設定されます。
「お好み画質・音質設定」は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

10 ①お好みの画像（または音質）を選ぶ

②「次へ」を選ぶ

で選び

を押す

11 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

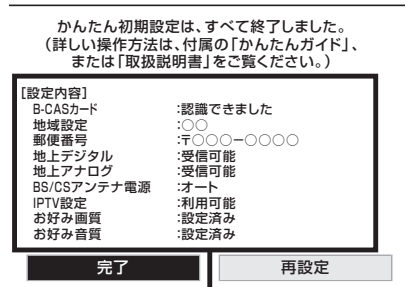
で選び

を押す

かんたん初期設定は、すべて終了しました。
（詳しい操作方法は、付属の「かんたんガイド」、
または「取扱説明書」をご覧ください。）

［設定内容］

B-CASカード	:認識できました
地域設定	:○○
郵便番号	:〒○○○−○○○○
地上デジタル	:受信可能
地上アナログ	:受信可能
BS/CSアンテナ電源	:オート
IPTV設定	:利用可能
お好み画質	:設定済み
お好み音質	:設定済み

完了　再設定

設定内容が表示されますので確認してください。

12 メッセージを確認して決定する

を押す

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。

番組を選ぶ（基本的な選びかた）
⇒ **46** ページ
放送が受信できないときは
⇒ **358** 〜 **361** ページ

◇**おしらせ**◇

- B-CAS カードが正しく挿入されているかをテストできます。
（「システム動作テスト」⇒ **394** ページ）

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

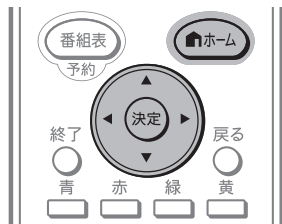
1 ホームメニューから「設定」を選ぶ

を押し
で選ぶ

2 「（視聴準備）」を選ぶ

で選ぶ

3 「かんたん初期設定」を選ぶ

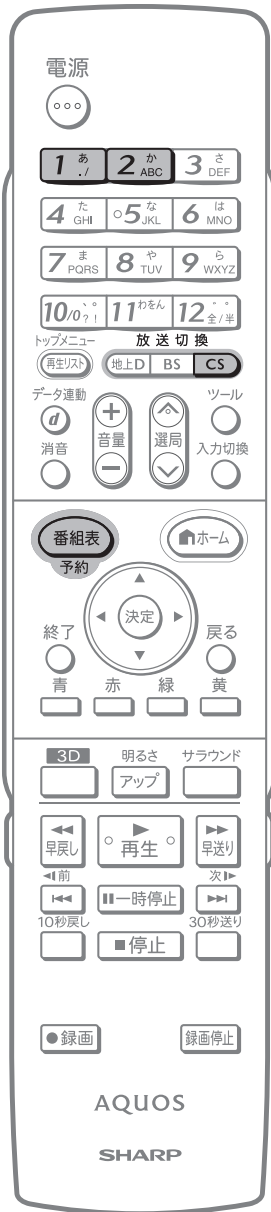
で選び
決定
を押す

- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。(⇒ **336** ページ)

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

- 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	• デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。(⇒ **341** ページ)
お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）	• デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。(⇒ **343** ページ)
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。(⇒ **345** ページ)
デジタル放送のチャンネルの個別設定	• デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。(⇒ **346** ページ)
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは	• 地上アナログ放送（従来のVHF･UHF放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。 • 受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。(⇒ **348** ページ)
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	• 地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。(⇒ **356** ページ)
CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定	• CATVチャンネルのスキップを解除します。(⇒ **357** ページ)
地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定	• BS291ch ～ BS298chは一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定(⇒ **347** ページ)で「BSデジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

110 度 CS デジタル放送を視聴するための準備

- 110 度 CS デジタル放送を初めて選局するときは、CS ネットワーク情報を取得する必要があります。次の手順で操作してください。

1 CSデジタル放送を選ぶ

CS を押す

2 100ch を選んで、約5秒待つ

1 を押す

3 001chを選んで、約5秒待つ

- 2010 年 10 月現在 CS001ch は放送されていません。

2 を押す

4 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する

番組表（予約）を押す

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

- 数字ボタン（チャンネルボタン） 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約 5 秒待ちます。（ 1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約 5 秒待ってください。そのまま待つことで CS ネットワーク情報を取得することができます。）

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

• デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒**336•339**ページ）を行ってください。）
• 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内　容
オート	• 個人でアンテナを設置しているときに選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

• 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
• アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

• アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ 重　要 ◆

• アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 BS を押す

BSデジタル放送を選ぶ

• 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定はできます。

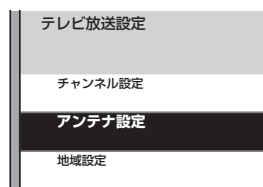
2 ホーム を押し　で選び　決定 を押す

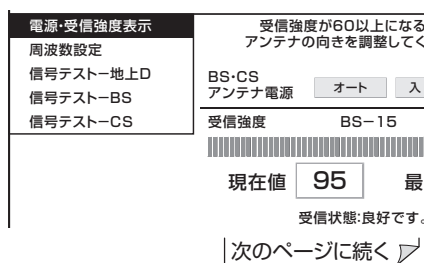
ホームメニューを表示して、「設定」ー「（視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選ぶ

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選び　決定 を押す

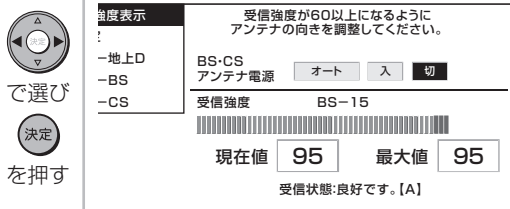
「アンテナ設定」を選ぶ

4 で選び　決定 を押す

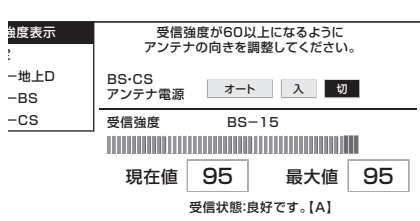
「電源・受信強度表示」を選ぶ

次のページに続く

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

で選び
を押す

強度表示
ー地上D
ーBS
ーCS
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS・CS
アンテナ電源　オート　入　切
受信強度　BS－15
現在値　95　最大値　95
受信状態:良好です。【A】

◆ 受信強度の調整

6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

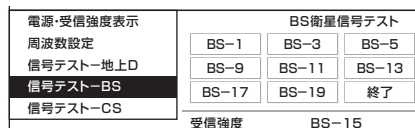
- 手順 **6** で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」(⇒ **381** ページ)をご覧になり適切な処置を行ってください。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

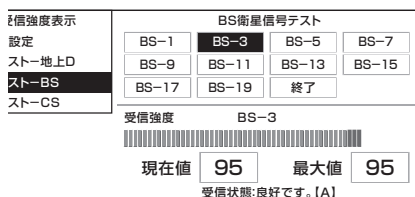
デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 **341**ページの手順**1**～**3**を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テストー地上D
信号テストーBS
信号テストーCS
BS衛星信号テスト
BS－1　BS－3　BS－5
BS－9　BS－11　BS－13
BS－17　BS－19　終了
受信強度　BS－15

2 カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。（2010 年 10 月現在）

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」(⇒ **381** ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 カーソルボタンで「終了」を選び、決定する

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

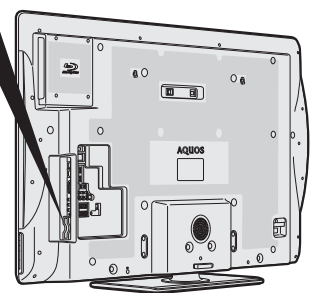
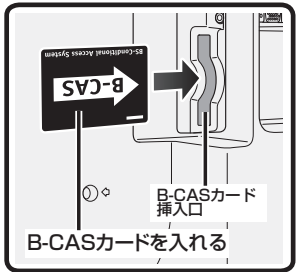
- 手順 **1**（**341** ページの手順 **4**）で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順 **1**（**341** ページの手順 **4**）で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

◆ 重 要 ◆

- B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（⇒ **316** ページ）

地域選択／郵便番号設定

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。
- チャンネル設定(⇒**345**ページ)の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客様がお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

◆ 地域選択

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

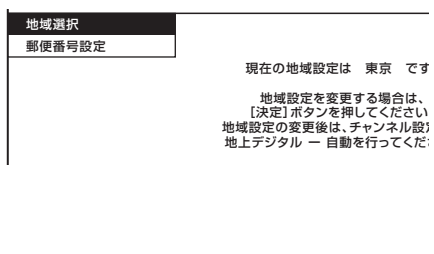
2 「地域設定」を選ぶ

で選び
を押す

テレビ放送設定
チャンネル設定
アンテナ設定
地域設定

3 「地域選択」を選ぶ

現在の地域設定は　東京　です

地域設定を変更する場合は、[決定]ボタンを押してください
地域設定の変更後は、チャンネル設定
地上デジタル － 自動を行ってくだ

で選び
を押す

◇おしらせ◇

- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル－自動」を行ってください。

次のページに続く

4 お住まいの地域を選ぶ

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

で選び 決定 を押す

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

お住まいの地域を設定してください。

茨城	栃木
群馬	埼玉
千葉	東京
東京 島部	神奈川

で選び 決定 を押す

◆ 郵便番号設定

6 ホームメニューを表示して、「設定」–「（視聴準備）」–「テレビ放送設定」を選ぶ

ホーム を押し で選び 決定 を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

7 「地域設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

8 「郵便番号設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

9 郵便番号を入力する

～ 10 で入力し 決定 を押す

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力をやり直します。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」(⇒ 343 ページ)をしてください。**

◆ 重 要 ◆

- 「地上デジタル－自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **4** －②で「地上デジタル－追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の CATV(ケーブルテレビ)放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF 帯)です。「トランスモジュレーション方式」の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

1 地上デジタル放送を選ぶ

地上D を押す

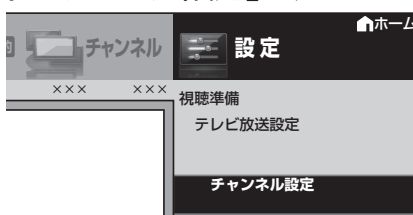
2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

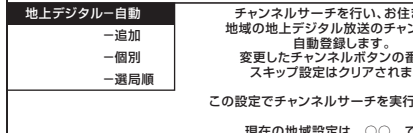
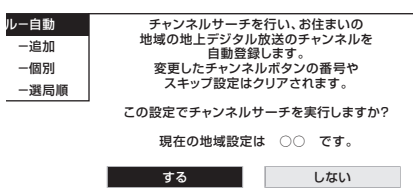
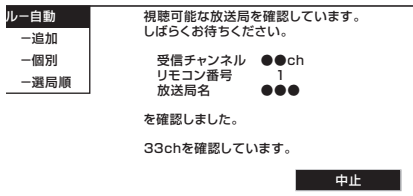
▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 ①「地上デジタル」を選ぶ ②「地上デジタル－自動」を選ぶ

で選び 決定 を押す

5 「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。 (地上デジタル放送の場合のみ)
スキップ	• 選局ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。 「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

（例）地上デジタル放送の数字ボタンを変更する

1 デジタル放送を選ぶ

地上D BS CS のいずれかを押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

を押し

で選び

を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

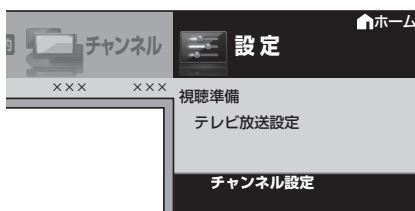
▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

ホーム
チャンネル
設 定
×××　×××
視聴準備
テレビ放送設定
チャンネル設定

4 「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ

で選び 決定 を押す

地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
地上アナログ

地上デジタル放送の受信チャンネルの
（チャンネル設定をする前に、必ず地
お住まいの地域に設定しておいてく

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、手順 **5** に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

5 「地上デジタル－個別」を選ぶ

で選び

を押す

地上デジタル－自動	チャンネル	3桁
－追加	テレビ 1 ●●●●●	051
－個別	テレビ 2 ●●●●●	061
－選局順	テレビ 3 ●●●●●	121
	テレビ 4 ●●●●●	041
	テレビ 5 ●●●●●	021

6 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び
を押す

7 「数字ボタン」を選ぶ

で選び 決定 を押す

ルー自動	チャンネル	3桁 スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051-1
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	051-2
ー選局順	テレビ 3 ●●●●●	121
	テレビ 4 ●●●●●	041
	テレビ 5 ●●●●●	021

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、**右記**のチャンネルスキップ設定と連動します。

8 入力欄に数字を入力して決定する

で入力し
を押す

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

  数字ボタンを置き換える場合
  手順 **9** に進みます。
  置き換えずに別の数字にする場合
  画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

9 「確認」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

チャンネルスキップ設定

1 「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ

選びかたは、**40**～**45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

番組表設定

3 上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する

4 上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する

5 上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されます。
- CS デジタルの場合、3 桁チャンネルの範囲を選び手順 **7** に進みます。

6 カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する

- 「一括設定」を選んだ場合、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されます。手順 **8** に進んでください。
- 「個別設定」を選んだ場合、手順 **7** へ進みます。

7 スキップしたいチャンネルを選び、決定する

8 カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する

両方する	・選局時と番組表のどちらもスキップします。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	・番組表のみ表示されなくなります。 ・選局時は表示されます。
選局のみ	・選局時のみ表示されなくなります。 ・番組表には表示されます。
両方しない	・選局時と番組表のどちらもスキップされません。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch～BS298ch）は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

地上アナログ放送の受信の設定を個別に行うときは

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

◆ **重　要** ◆

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行うと、現在登録されているチャンネルが消去され、新たにチャンネルが登録されます。

1 地上Aを押す

地上アナログ放送を選ぶ

2 ホームを押し、で選び、決定を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 で選び、決定を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び、決定を押す

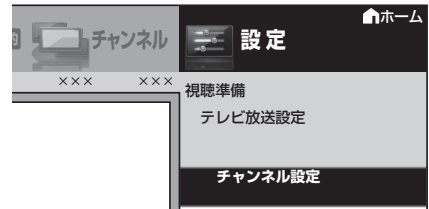
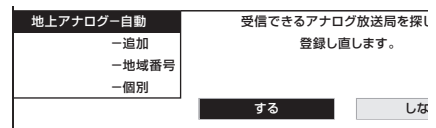
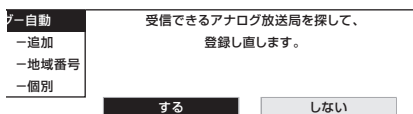
「地上アナログ」を選ぶ

5 で選び、決定を押す

「地上アナログ－自動」を選ぶ

6 「する」を選ぶ

で選び
を押す

ー自動　受信できるアナログ放送局を探して、登録し直します。
ー追加
ー地域番号
ー個別
する　しない

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順**3**の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（⇒**352**～**355**ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（⇒**前**ページの手順**5**）または「地上アナログー個別」（⇒**356**ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログー自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」（⇒**350**～**351**ページ）、「地域番号一覧表」（⇒**352**～**355**ページ）で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順**5**で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン（チャンネルボタン）または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順**5**で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

地域番号早見表／地域番号一覧表
⇒350～355ページ

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091

五十音	都市名	地域番号
お	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市１	060
	京都市２	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103

五十音	都市名	地域番号
く	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087
	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061

五十音	都市名	地域番号
た	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京23区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036

五十音	都市名	地域番号
は	八王子市	104
	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079

五十音	都市名	地域番号
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市1	107
	和歌山市2	099

次のページに続く

地域番号一覧表

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

		リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	37 ぎふチャン
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	41 ぎふチャン
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ~テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ~テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ~テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

次のページに続く

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
	京都 2	098	32 NHK 京都	2 NHK 総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
	姫路	062	1	50 NHK 総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK 教育
	明石	063	1	51 NHK 総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABC テレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK 教育
	川西	064	1	29 NHK 総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABC テレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK 教育
奈良	奈良	065	51 (NHK 総合)	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32 NHK 総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABC テレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK 総合	4 NHK 教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSS テレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK 総合	7	8	9	10 BSS テレビ	11	12 NHK 教育
	浜田	069	1	2 NHK 総合	54 日本海テレビ	4	5 BSS テレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK 教育	4	5 NHK 総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHK テレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK 総合	4 RCC テレビ	5	6	7 NHK 教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	5 NHK 総合	2	57 広島ホームテレビ	4	54 テレビ新広島	6	3 NHK 教育	8	9	7 RCC テレビ	11	11 広島テレビ
	呉	073	1 NHK 教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCC テレビ	10	11 NHK 総合	12
山口	山口	074	1 NHK 教育	2	3	4	28 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK 総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK 教育	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	33 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	39 NHK 総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK 教育)
	宇部	076	55 NHK 教育	2 九州朝日放送	3	4	24 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	44 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	58 NHK 総合	10 テレビ西日本	61 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK 教育	2	3	4 RCC テレビ	62 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK 総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	5	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	38 NHK 教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK 教育	4	37 NHK 総合	6	31 OHK テレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK 教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK 総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK 総合	3	4 NHK 教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK 教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK 総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 NHK 教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5	6 NHK 教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ 九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK 総合	7	8 RKB 毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK 教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	5	54 NHK 教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ 九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ 九州放送	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	5	50 NHK 教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TVQ 九州放送	36 サガテレビ	40 NHK 教育	38 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK 総合)	10	11 熊本放送	12

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
長崎	長崎	088	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	089	1	2 NHK 教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK 総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK 総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK 教育)	2	3 NHK 総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK 総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK 総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK 教育
	延岡	093	1	2 NHK 教育	3	4 NHK 総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK 総合	4	5 NHK 教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	095	1	17 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK 総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK 総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK 教育

◇おしらせ◇

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

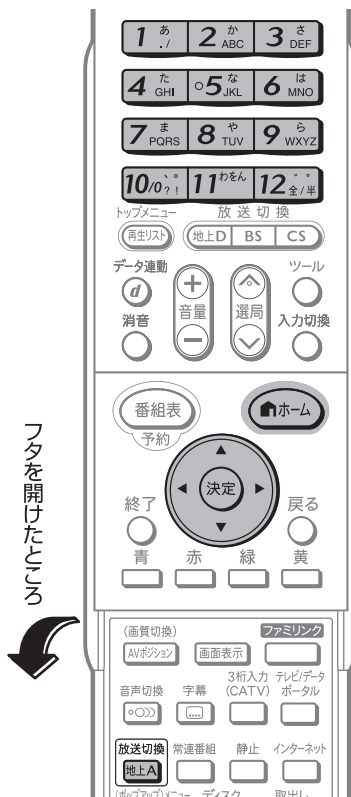
その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

- 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

- 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 • 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	• 画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	• 受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64～0～+63の範囲で調整できます。
スキップ	• 選局ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上アナログ放送を選ぶ

地上A を押す

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**40～45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 「チャンネル設定」を選ぶ

で選び

を押す

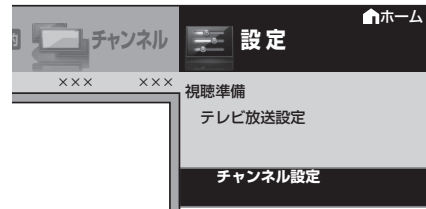
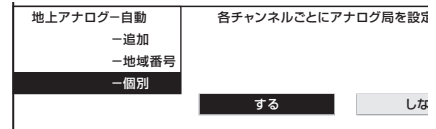
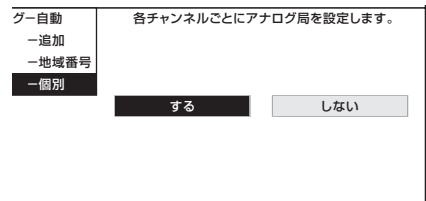
4 「地上アナログ」で決定する

決定 を押す

5 「地上アナログ－個別」を選ぶ

で選び 決定 を押す

6 「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

7 変更したい「リモコン番号」(放送チャンネル)を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号 5
受信チャンネル 5
チャンネル表示 5

- 地上アナログチャンネルは、「1」〜「20」です。
- CATV チャンネルは「C13」〜「C63」です。
- リモコン番号「1」〜「12」を変更するときは、リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押しても選べます。

8 変更したい項目を選ぶ

(例)受信チャンネルを変更する場合

で選ぶ

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

で選ぶ

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

選局ボタンで CATV チャンネルを選局したいときは(CATV スキップ解除)

- CATV チャンネル(C13 〜 C63)は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタンで選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順1〜6を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

で選ぶ

3 スキップを解除したい CATVチャンネルを選ぶ

(例)C13 チャンネルを選んだ場合

で選ぶ

4 「スキップ」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号 C13
受信チャンネル C13
チャンネル表示 C13
受信微調整 0 −64 +63
スキップ する しない

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

CATV(ケーブルテレビ)放送について

- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 〜 C63 チャンネルの範囲で選局できます。(「ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ」⇒**48** ページ)
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)で CATV チャンネルを選局できます。
- 手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

- 受信状態が悪い場合、右のような画面が表示されます。
- 右のような画面が表示されているときに決定を押すと、受信状態の一覧が表示されます。
- 受信状態の一覧（下の画面）では、デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが確認できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

受信状態一覧の画面を消すときは

- 終了を押します。

（画面は一例です。）

BS 103chが受信できません。【E202】
リモコンで放送切換や選局を確認ください。または
アンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪など
の影響で一時的に受信できない場合もあります。
決定 で受信状態一覧へ

現在放送されていません。【E203】
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。決定 で受信状態一覧へ

現在の受信状態の説明（画面は一例です。）　　**解決方法**

テレビ　受信状態一覧　　11/ 3 [火] 午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
決定 キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

<地上デジタル>

放送局	3桁		受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK教育･東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

☆が示されているチャンネルは隣接地域向け放送であるため、この地域では受信強度が十分確保できない可能性があります。

<BS･CSアンテナ>

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS–1	94	A
BS–3	94	A
BS–5	–	–
BS–7	–	–
BS–9	94	A
BS–11	–	–
BS–13	94	A
BS–15	94	A
BS–17	94	A

CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
CS–2	90	A
CS–4	86	A
CS–6	67	A
CS–8	69	A
CS–10	46	B
CS–12	45	B
CS–14	43	B
CS–16	56	D
CS–18	42	B
CS–20	31	B
CS–22	41	C
CS–24	1	C

[受信状態]
A アンテナ信号は良好です
B 受信強度が60以下です
C アンテナ信号が不足しています または、アンテナ信号が強すぎます
D 受信状態が良くありません
E 受信できません
※良好な受信には、受信強度が60以上必要です。

[設定内容]
地域設定 :○○
郵便番号 :〒000-0000
B–CASカード :OK
BS･CSアンテナ電源 :オート（切）
バージョン情報 :00000000 0000000

地上デジタル放送の受信状態一覧

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の受信状態一覧

受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BSデジタル」「110度CSデジタル」のいずれか一方）が表示されます。

現在の地域設定
お住まいの地域に設定されていない場合、地上デジタル放送を正しく受信できません。

受信できないチャンネルが あるときは

受信状態一覧の、【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

【ここをお確かめください】

テレビ　受信状態一覧　11/ 3 ［火］ 午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

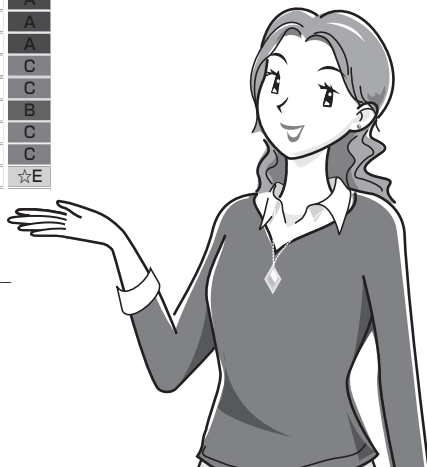
<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

- 地上デジタル放送用アンテナとの接続について⇒ **318** ～ **321** ページをご覧ください。
- BS･110 度 CS 放送用アンテナとの接続について⇒ **318** ～ **321** ページをご覧ください。
- 「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」⇒ **361** ページもご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **339** ページをご覧ください。
- 受信している放送局をリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。

▼地上デジタル放送の受信状態一覧

<地上デジタル>

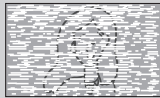
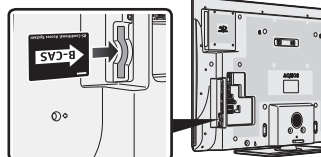
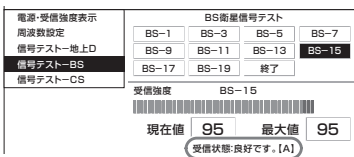
放送局	3桁		受信強度 2009/2/19	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK教育･東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

- リモコンの数字ボタンを割り当てるには
  ⇒ **346** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

BS デジタル放送の受信状態について

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。
  このため、「BS-5」「BS-7」「BS-11」「BS-19」の受信状態は表示されません。
  (2010 年 10 月現在)

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

（［E202］と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

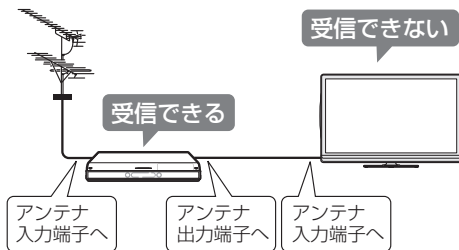
	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・アンテナケーブルが古くなっていませんか。	−
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。	−
		・アンテナの向きは正しいですか。	−
		・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	308
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。	318～321・361
		・端子を間違えて接続していませんか。	−
		・アンテナケーブルが切れていませんか。	−
		・BS･CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	341～342
		・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 ▼本体背面 B-CAS	316
	映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	・アンテナの向きは正しいですか。	−
		・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（⇒ **381** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 電源･受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テスト−地上D / 信号テスト−BS / 信号テスト−CS BS衛星信号テスト: BS−1 BS−3 BS−5 BS−7 BS−9 BS−11 BS−13 BS−15 BS−17 BS−19 終了 受信強度 BS−15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。【A】	341～342
		・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	−
	BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	317
		・地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570-08-2200）	347
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応のものを使用していますか。	318～321
	画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	−
		・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	318～321・361
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。	317
		・アンテナの受信強度を確認してください。	341～342

・アンテナの接続については、**318 ～ 321**、**361** ページをご覧ください。

アンテナ接続のワンポイントアドバイス

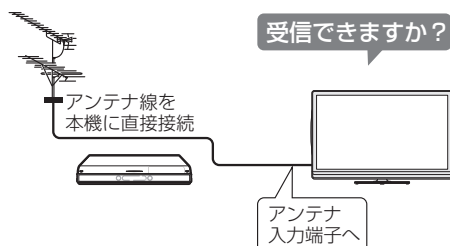
・お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

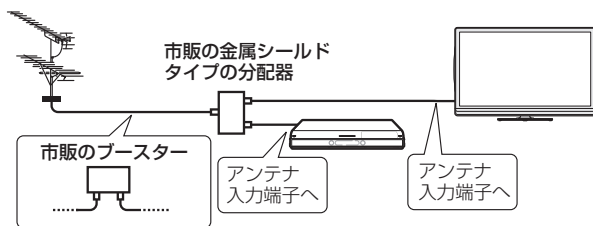
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

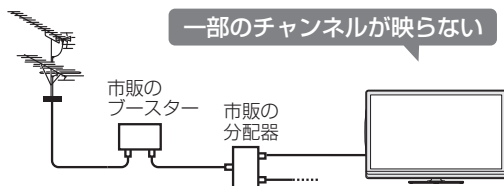
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

・レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…

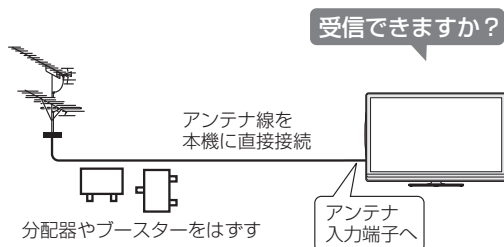
・アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。

（レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。

・分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

・ご購入のご販売店などにご相談ください。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **421** ページ）をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

▶本体背面

電源入力(AC100V)端子

電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください（⇒ 333 ページ）

・本機は主電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

本体側プラグ

電源コンセント（AC100V）

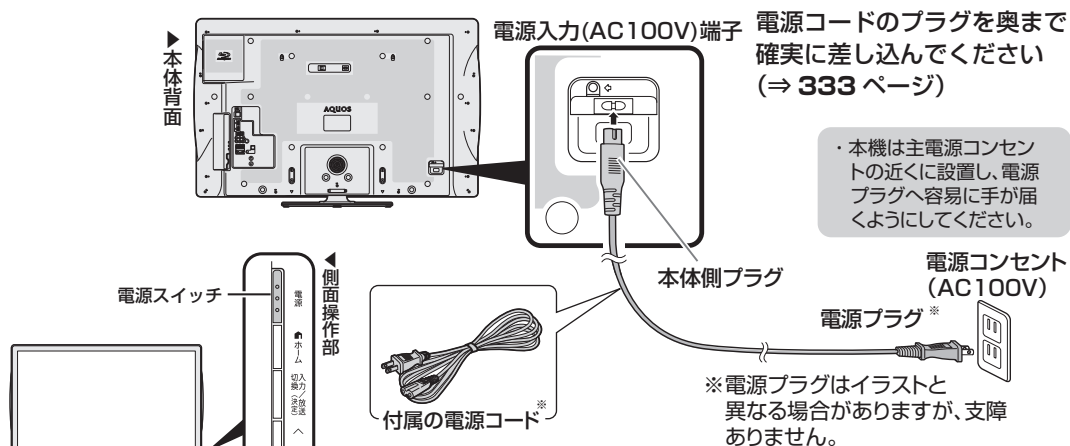
電源プラグ ※

付属の電源コード※

※電源プラグはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

◀側面操作部

電源スイッチ

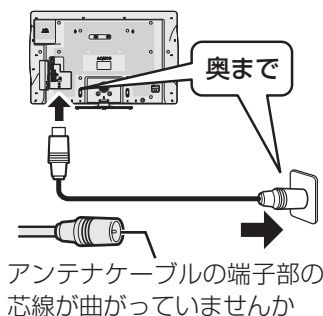
POWER（電源）ランプ
・緑色点灯：動作状態
・赤色点灯：待機状態

ランプが点灯していないときは、本体の電源スイッチを押して電源を入れてください。（⇒37ページ）

◇**おしらせ**◇

- 本機は本体の電源スイッチを押して切っても POWER（電源）ランプは消えません。リモコンでも電源を入れることができます。
- POWER（電源）ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、ホームメニューから設定を変更してください。（⇒ **52** ページ）

TV 放送が見られない

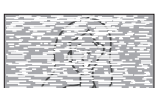
アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください（⇒ 318 ～ 321 ページ）

アンテナケーブルの端子部の芯線が曲がっていませんか

ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください（⇒ 228 ページ）

全般についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
？ 映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 • テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 • 接続ケーブルが抜けていませんか。	333 37 228 228 –
リモコンが動作しない	• POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 • 乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 • リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） • 電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。室温が極端に低下していませんか。	37 36 36 36 401~402 –
映像は出るが 音声が出ない	• 音量調整が最小になっていませんか。 • 「消音」状態になっていませんか。 • ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 • 入力／音声出力設定が「音声出力（可変1）」に設定されていませんか。 • D映像・S映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。 • 入力2の場合「入力音声選択」が「HDMI＋音声入力端子」になっていませんか。 • 入力7の場合「入力音声選択」が「アナログRGBのみ」になっていませんか。	46 46 33 232 322 237 237
ビデオが映らない、 ビデオが映らなくなった	• ビデオ機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • ビデオ機器の電源は入っていますか。 • ビデオ機器を接続している入力を選んでいますか。 • ビデオ機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – 228 –
音声は出るが 映像が出ない	• 映像オフが「する」になっていませんか。 • 映像ケーブルが抜けていませんか。	54 322
色が薄い 色あいが悪い	• 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	90～91

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面が暗い 黒色が潰れる	•「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	84〜85
画面が大きくなったり、小さくなったりする	• オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	82〜83
テレビの上部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	ー
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	ー ー ー
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • チャイルドロックが設定されていませんか。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	ー 103 401~402
ときどき「ピシッ」と音がする	• 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	ー
リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする（数回鳴る場合があります。）	• 本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 • デジタル放送の録画予約を実行している場合 • ダウンロードをしている場合 • 有料放送の契約情報を取得している場合 • 地上デジタル放送の番組表の情報を取得している場合	123・202~205 395~396 ー 58・64
時刻表示が画面に出ない	•「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	51
時刻表示が消えない	• リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	51
チャンネル表示が画面に出ない	• チャンネル表示は、ホームメニューで「時刻表示」の設定を「する」にしているときに表示できます。	50・51
字幕表示が画面に出ない	•「字幕表示」の設定は「常時表示」になっていますか。 •「字幕表示」の設定は字幕アウトスクリーンになっていますか。 •「字幕表示」の設定が「リモコン切換」の場合、字幕表示をする設定にしていますか。	71 71 71
入力切換をしても選べない	• 入力スキップが「する」に設定されていませんか。 • 入力4〜7、ホームネットワーク、USBは各端子に接続されていますか。 • 入力6は入力／音声出力設定が「入力」になっていますか。	230 243・302・325 232

デジタル放送関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	• 個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 個人でBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 • その局が放送していない時間帯ではありませんか。 • ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • B-CASカードは正しく挿入されていますか。	341 － 228 316
• 映像にノイズ（モザイク状／ブロック状）や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 受信状態を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。 • アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	－ 341~342･358 341~342･358 － 318~321
BSデジタル放送の一部が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。 • 有料放送を視聴するための契約はしていますか。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570 － 08 － 2200）	316 317 347
110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 • ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器をお使いですか。	318~321 318~321
BSデジタル･110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	• 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 • 春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	－ －
地上デジタル放送が受信できない	• お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 • 地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	－ － 318~321 343~344 345~347

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面にノイズが出る	• VHF/UHFのアンテナケーブルがBS･110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	−
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570 ー 08 ー 2200）	317 341~342･358 347
番組表が表示されない 番組表に表示されない番組がある	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップを「する」に設定していませんか。	64 − − 346~347
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	−
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS･110度CS共用アンテナ（市販品）およびBS･110度CSデジタル用アンテナケーブル（市販品）を接続していますか。	− −

地上アナログ放送についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像が出ず雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	318~321 318~321
画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	29
映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がありませんか。それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	ー
色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・古いアンテナケーブルは使わないでください。	ー 318~321
雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	318~321 ー ー 308
特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの「受信微調整」がずれていませんか。	356
アナログ放送が映らない	・アナログ放送が終了していませんか。アナログ放送は2011年7月24日までに終了することが、国の法令によって定められています。	314

IrSS™についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
IrSS™通信に反応しない	・送信機器の赤外線発光部の位置を取扱説明書で再確認してください。 ・送信機器をIrSS™の受光部に近づけて再度送信してください。 ・送信機器の赤外線通信がIrSS™通信に対応しているかどうか確認してください。	ー 263・297 ー

録画・再生についての故障かな？と思ったら

<table>
<tr><th>こんなときに</th><th>ここをお確かめください</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>BDやDVDディスクの画面が映らない</td><td>・BDやDVDディスクに指紋や汚れが付いていませんか。BDやDVDディスクをクリーニングしてください。</td><td>31</td></tr>
<tr><td>映像が停止する</td><td>・本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>スピーカーから音が出ない、音が歪む</td><td>・一時停止またはスロー再生/早送り（BDの早送り1は除く）/早戻し中は、音声が出ません。
・BDまたはDVDディスクをクリーニングしてください。
・BDまたはDVDディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。
・デジタル音声ケーブルを使ってオーディオ機器と接続したとき、デジタル音声設定を「ビットストリーム」に設定しているときは、「DTS－HD Master Audio」や「ドルビーTrueHD」など7.1ch音声は出力されません。
「コアストリーム（5.1ch）」音声のみ出力されます。
・市販のBDビデオの「ドルビーデジタルEX6.1ch」音声や「DTS･ES6.1ch」音声など6.1ch以上の音声は出力されません。5.1ch音声となります。</td><td>－
31
－
233
233</td></tr>
<tr><td>録画が中断されている</td><td>・録画中に停電などがありませんでしたか。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>録画ができない、録画が途中で止まる</td><td>・録画ができるディスクは、BD-RE Ver.2.1、Ver.3.0 ディスク、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3、Ver.1.3 LTH、Ver.2.0 ディスクのみです。DVD ディスクには録画ができません。
・ディスク保護が設定されている BD-RE Ver.2.1、Ver.3.0、BD-R Ver.1.1、Ver.1.2、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3、Ver.1.3 LTH、Ver.2.0 ディスクを使用したときは録画可能ディスクでも再生専用ディスクとなります。（録画や初期化は行えません。）
・電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。
・BD の空き時間は足りていますか。BD-RE の場合は録画された不要なタイトルを消去して、録画に必要な空き容量を確保してください。BD-R の場合は新しいディスクをご用意ください。
・BD 内に記録できるタイトル数やチャプター数は下記のとおりです。それ以上録画することはできません。<table><tr><td colspan="2">BDの場合</td></tr><tr><td>タイトル数</td><td>200タイトル</td></tr><tr><td>チャプター数</td><td>1タイトルにつき98チャプター
合計1000チャプター</td></tr></table>・本機が BD を判別し終える前に、録画の操作を始めませんでしたか。BD ランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。
・ディスク再生中は録画ができません。
・録画が禁止された映像は録画できません。
・BD をクリーニングしてください。
・傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用の BD と本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
・停電などがありませんでしたか。
・本体の電源スイッチで電源を切っていませんでしたか。</td><td>－
159
－
116･160
－
－
－
111
31
－
－
－</td></tr>
</table>

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BD-LIVE 機能が利用できない	• BD-LIVE 用 LAN 設定を再度確認してください。 • BD-LIVE 専用外部メモリー USB 端子に USB メモリーを接続していますか。USB メモリーは、USB2.0 に対応し、容量が 2GB 以上のものを準備してください。	142 –
予約したのに録画されていない、途中で切れている	• 予約待機中 / 録画中に停電がありませんでしたか。録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は正常に保存されません。 • 停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。 • BD の録画可能時間は十分でしたか。録画可能時間が少ない場合、不要なタイトルを消去してください。 • 放送時間が変更されていませんか。 • 番組が延長されていませんでしたか。 • 電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。 • 電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。 •「受信機レポート」を確認してください。 • 途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 • BD をクリーニングしてください。 • 予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。 •「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。 • レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。 • レポートに「予約の開始時間に電源が切れていた。」と書かれている場合は、「電源スイッチ設定」が「モード 2」の状態で本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。「電源スイッチ設定」が「モード 2」の状態で録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。	– – 116・160 – – – 333 400 111 31 – 400 – 37
番組表から予約したのに、途中で番組が終わっている	• デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。	–
BS デジタル放送のデータ放送が記録されていない	• データ放送は記録できません。	–

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
BD や DVD ディスクが再生できない	• BD ビデオまたは DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 リージョンコードが「A」、またはリージョンコードの記載がない（リージョンコードが設定されていない）BD ビデオが再生できます。 • BD-RE Ver.1.0 は再生できません。 • BD ディスクへダビングしながら、そのディスクを再生することはできません。 • DVD ディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。 • ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、クリーニングしてください。 • ディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 • 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。 • ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。 • 他の BD レコーダーで H.264 長時間録画された BD ディスクは再生できない場合があります。	**408** **–** **–** **–** **31** **38** **29** **–** **–**
市販の BD ビデオまたは DVD ビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	• 市販の BD ビデオまたは DVD ビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	**–**
市販の BD ビデオや DVD ビデオが再生できない	• 視聴制限が設定されていると、BD ビデオや DVD ビデオを再生できないことがあります。 BD ビデオの場合は、再生を停止し、視聴制限年齢を解除してください。 DVD ビデオの場合は、暗証番号を入力し、ホームメニューで視聴制限レベルの設定をやり直してください。 • ディスクのパッケージをご覧になり、リージョンコードをお確かめください。BD ビデオや DVD ビデオには、国によって再生を制限するためのリージョンコードが設定されています。日本で再生できるのは次のとおりです。 **BD ビデオ** → リージョンコード「A」またはリージョンコードの記載がないディスク **DVD ビデオ** → リージョンコード「ALL」または「2」 • PAL、SECAM 方式の BD ビデオは再生できません。	**154** **408** **–**
他の DVD レコーダーで録画・編集した DVD ディスクが途中で再生されなくなる	• 他の DVD レコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12 時間以上再生できません。 • DVD-R DL（2 層）ディスクは再生できない場合があります。	**–** **–**
つづき再生が働かない	• ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。 • その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。	**–** **–**
二ヶ国語の音声が切り換えられない	• オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。 アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。	**–**
マルチ音声（ステレオ二重音声）の副音声（音声 2）などが再生できない	• 7 倍、8.5 倍、10 倍で録画した番組は、「マルチ音声設定」で選んだ音声のみが記録されます。	**112・115**

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
再生リスト（録画番組一覧）が表示されない	• 一度ディスクを取り出し、再度挿入してみてください。 • 一度本体の電源スイッチで電源を切り、再度電源を入れてみてください。 • 上記を確認しても表示されない場合は、BD レコーダーの異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	**38~39** **37** **421**
再生リストのタイトル名に「＊」が表示される	• 他機で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」と表示されます。	–
録画した最後の数秒間が再生されない	• 再生した番組の終了位置は、他機で録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。 • 連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	– –
スロー再生がうまくいかない	• タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。 • タイトルをまたぐスロー再生はできません。 • BD ビデオの場合、逆スロー再生はできません。	– – –
一時停止／コマ送り再生がうまくいかない	• DVD-RW/-R ディスク（VR フォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。 • 市販の BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって一時停止／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。 • BD ビデオの場合、コマ戻し再生はできません。	– – –
早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 • タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用 CD は除く）BD・DVD ディスクの場合は、再生状態になります。	– –
他機で録画した DVD ディスクが本機で再生できない	• 録画した機器でファイナライズをしていない DVD ディスクは本機で再生できないことがあります。録画に使用した機器で、ファイナライズを行ってください。 • 本機で対応していないフォーマットで録画したディスクは再生できません。 • パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。	– – –
再生できない / 再生が中断される	• デジタル放送を BD に録画しているときは､再生はできません。 • 再生中に選局操作をしたときは､再生が停止します。 • 録画予約開始時刻になると､再生が停止し､録画が始まります。	– – –
再生できないタイトルがある	• 正常に録画されなかった映像は再生できません。 • 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。	– –
データ放送が再生できない	• 連動データ放送は、録画画質「5 倍」「7 倍」「8.5 倍」「10 倍」の場合は録画されていません。	**112**
ディスクを挿入しても出てきてしまう	• 市販の BD ビデオや DVD ビデオの場合、リージョンコードが一致しているか確認してください。 • 本機で再生できるディスクかどうか、確認してください。 • BD または DVD ディスクをディスク挿入口に正しく挿入してください。 • BD または DVD ディスクをクリーニングしてください。 • 録画されていない DVD-RAM を挿入していませんか。 • ディスク挿入時、表裏を間違えていないか確認してください。	**408** **408** **38** **31** – **38**

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ディスクが出ない	• 本体の電源スイッチが切のときは、ディスク取り出しはできません。 • 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。POWER（電源）ランプが点灯してから、本体のディスク取出しボタンまたはリモコンの取出しボタンを押してください。 • ホームメニューから「設定」ー「（機能切換）」ー「BD 設定」ー「ディスク管理」で「ディスク強制排出」を選んでください。 • ディスク録画中、ディスク初期化中、BD ドライブの起動中にはディスクの取り出しはできません。動作終了後に取出しボタンを押して取り出してください。 • 上記の操作を行ってもディスクが出てこないときは、お買いあげの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。	**39** **ー** **ー** **ー** **421**
ディスクを挿入すると「ピピッ」と音がする	• ディスクを読み込むための音で故障ではありません。	**ー**
録画時や再生時に「カチャ」や「コトコト」と音がする	• 本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。	**ー**
（ホーム）を押してもホームメニューが表示されない	• メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。	**ー**
MD レコーダーとデジタル接続をして CD から MD に録音したとき、CD と MD の曲番が合わない	• CD の曲間が短い場合は、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。 • 視聴メニューでトラックの指定を行った場合などは、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。	**140** **153**

インターネット関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
AQUOS.jpのページが表示されなくなった	•ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が切れていませんか。 •LANケーブルがはずれていませんか。 •「ネットサービス制限設定」－「インターネット接続制限」を「禁止しない」に設定してください。 •ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	－ 243 256 －
文字が読めない文字になった	•ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	265
カーソルボタンでページの続きを表示できない	•ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	－
インターネットに接続できない	•「双方向通信／インターネット／ホームネットワークの準備をする」をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 •【パソコンをお持ちの場合】 本機に差し込まれている LAN ケーブル (CAT5 以上) をパソコンに差し込み、パソコンでインターネットに接続できるかどうか試してください。 できる場合は、ブロードバンドルーターから LAN 側（本機側）の接続・設定を確認してください。できない場合は、ブロードバンドルーターから WAN 側（プロバイダー側）の接続・設定を確認してください。 •【停電などにより、モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルーターの電源をいったん切った場合など】 電源が再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。 •外部からのノイズなどにより、通信機能に障害が発生した可能性があります。本体の電源スイッチで電源を切り、1分間放置した後、再度電源を入れてください。	240～245 － － －
ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	•本機では、一部の形式の音声ファイル (WAV や AAC 形式の一部) については再生可能ですが、一般の Web ページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特に本機の機種名が対応機種としてその Web ページに明記されていないかぎりは、基本的に再生できないとお考えください。	－
パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	•本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて以下のような点などが異なりますので、ご了承ください。 •ファイルのダウンロードはできません。 •PDF（電子文書）を読み込む機能はついておりません。 •メールの送受信機能はありません。	－
フォトリモ TM 通信に反応しない	•携帯電話の赤外線発光部の位置を携帯電話の取扱説明書で再度ご確認ください。 •携帯電話を IrSSTM の受光部に近づけて再度送信してみてください。	－ 297

無線 LAN 関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
無線 LAN で接続できない	•「ブロードバンド環境と LAN 環境の用意のしかた」をご覧いただき、ブロードバンド環境をご確認ください。 •「無線 LAN 環境を用意する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 • 無線 LAN の接続設定を実施されましたか。「アクセスポイントに接続する」をご覧いただき、接続、設定状態をご確認ください。 • ブロードバンドルーターやアクセスポイントの設定は正しく設定されていますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 • 無線設定が有効になっているとき、USB 無線 LAN アダプター本体上部にある LED ランプは緑色に点灯していますか。点灯していない場合は、USB 無線 LAN アダプターもしくは本機の故障が考えられます。当社アフターサービスまでお問合せください。	241 246 249 － －
映像や音声がときどき停止する、または繋がらなくなった	• 無線 LAN アクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が小さくなり通信が途切れたり届かなくなります。「無線接続の設定を確認する」をご覧いただき、受信レベルが良好になるように設置位置を変えてみてください。 • ご使用の無線 LAN アクセスポイントが高速無線通信（802.11n/5GHz/40MHz）に対応していない場合、通信速度が足りず視聴ができない場合があります。無線 LAN アクセスポイントの対応方式と設定を確認してみてください。 • 無線 LAN アクセスポイントは、本機以外に、パソコン／ゲーム機などを無線 LAN で接続していますか。無線 LAN アクセスポイントに複数のネットワーク機器を同時使用する場合、通信速度が落ちて視聴に影響を与える場合があります。他の機器の接続を停止して本機だけ接続してみてください。 • 電子レンジ／他の通信機器などを使用していますか。同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉、電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の影響で、通信速度が落ち視聴に問題を与える場合があります。他の通信機器の電源を落として確認してみてください。またはアクセスポイントの設定で通信周波数を変更してみてください。 • 無線 LAN アクセスポイントに、本機および他の機器から無線設定を行うと、アクセスポイントの無線設定が変更される場合があります。アクセスポイントの設定を確認してみてください。	254 246・254 254 247 249・254
IPTV 動画サービスだけが受信できない	• お使いのブロードバンドルータおよび無線 LAN アクセスポイントは、IPv6 方式に対応していますか。IPv6 に対応していない場合は接続できない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書でご確認ください。	－
無線接続設定ができない（WPS、アクセスポイント選択、アクセスポイント登録、の方法で設定ができない）	• 無線 LAN アクセスポイントの設置場所は、本機から遠い場所に設置されていませんか。設置環境によっては、電波が弱くなり接続できない場合があります。本機の近くに設定して確認してみてください。	246

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
WPS プッシュボタン方式で接続できない	・無線 LAN アクセスポイントは WPS プッシュボタン方式に対応していますか。機器の取扱説明書をご確認ください。 ・無線 LAN アクセスポイントによっては、WPS ボタンを長く押し続ける（約 5 秒以上など）必要があります。機器の取扱説明書をご確認ください。 ・アクセスポイントの設置場所が本機から遠い場所にあるなどにより、メニューで「アクセスポイントの WPS ボタンを 5 秒以上押してください」が表示されてから、アクセスポイントの WPS ボタンが押されるまでに時間がかかると、接続に失敗する場合があります。アクセスポイントの設置場所を本機の近くに置いて、短時間で WPS ボタンが押されるようにしてから設定してみてください。	ー ー 246・249

アクトビラ関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像や音声がときどき停止する	• お使いのブロードバンド回線は光回線（FTTH）ですか。アクトビラ ビデオやアクトビラ ビデオ･フルをお楽しみになる場合は、光回線（FTTH）が必要です。	**242**
	• ご家庭のブロードバンド環境に接続しているパソコンで、大容量のファイルをダウンロードしたり、動画をストリーミング再生したり、別のテレビでもアクトビラ ビデオの再生をしたりしていませんか。回線の使用状況によっては、映像や音声が停止します。他の機器の使用を中断したあと、もう一度アクトビラ ビデオ･フルを再生してみてください。	**–**
	• 本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続していますか。無線LANなどLANケーブル以外の通信機器を使用している場合は、通信機器の性能により一時的に停止する場合があります。本機とブロードバンドルーターをLANケーブルで接続してください。	**243**
	• ブロードバンドルーターなどの機器の性能によっては、通信速度が足りない場合があります。回線事業者やプロバイダーから機器をレンタルしている場合は、ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	**–**
	• 光回線（FTTH）をご利用の場合でも、ご加入のプランによってはアクトビラ ビデオを再生するために十分な通信速度でない場合があります。ご加入の回線事業者やプロバイダーに確認してみてください。	**–**
アクトビラの画質が悪い	• デジタル放送とは異なる方式で映像を配信しているため、デジタル放送のハイビジョン放送と画質が異なります。	**–**
	• 映像の圧縮率が高いコンテンツの場合は、低画質になります。	**–**

IPTV 関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
ポータル情報が取得できない	• お使いのブロードバンドルーターはIPv6に対応していますか。本機とブロードバンドルーター間に、無線LANを使っていませんか。無線LANを使用していると、IPv6での接続ができない場合があります。LANケーブルで接続してください。	**–**
チャンネル登録で失敗する	• IPTVのマルチキャスト開通処理が完了していない可能性があります。ポータル画面で回線番号の登録をしてください。	**–**
テレビ放送やVODの映像が乱れる	• 使用している光回線をIPv4のインターネット接続と共用している場合は、家庭内の別の機器がインターネットに接続しているとテレビ放送やVODの映像が乱れることがあります。	**–**
ライセンスが無いと表示される	• 追加契約が必要なチャンネルです。契約状況についてポータルで確認するか、サービス事業者にご確認ください。	**–**

3D 映像についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
3D 映像にならない	・3D 映像に切り換わっていますか（3D 映像に切り換わっているときは、本体前面左下の 3D イルミネーションが点灯します）。3D 映像信号の中には、自動的に 3D 映像と認識されないものがあります。この場合は、3D ボタンを押し、適切な 3D 映像の表示形式を選んで 3D 映像に切り換えてください。 ・「3D 自動切換」が「しない」になっている場合は、3D ボタンを押して 3D 映像に切り換えてください。 ・3D メガネの電源は入っていますか。3D メガネの電源ボタンを 2 秒以上押し続けて、3D メガネの電源を入れてください。 ・3D メガネの動作が 2D 映像になっていませんか。3D メガネの電源ボタンを 2 回連続で押すことで、2D 映像と 3D 映像を切り換えることができます。 ・テレビとの間に物を置いていませんか。または 3D メガネの赤外線受信部にシールなどを貼りつけていませんか。3D メガネはテレビからの信号を受けて動作します。テレビと 3D メガネとの間に物がないか確認してください。	**212** **216・217** **214** **214** **212**
3D メガネの電源が勝手に切れる	・テレビとの間に物を置いていませんか。または 3D メガネの赤外線受信部にシールなどを貼りつけていませんか。テレビからの赤外線信号が途絶えると、3 分後に自動的に電源が切れます。テレビと 3D メガネとの間に物がないか確認してください。	**212**
3D メガネの電源ボタンを押しても電源ランプが点灯しない	・3D メガネの電池が消耗していませんか。電源ボタンを 2 秒以上押し続けても電源ランプが点灯しない場合は電池残量がありません。 ・新しい電池に交換してください。	**214** **213**
3D 映像が二重に見える	・テレビの使用環境や 3D 映像のシーンによっては、3D 映像が二重に見えることがあります。3D 明るさアップボタンを押し、「標準」や「弱」に切り換えて明るさを抑えることで、二重に見える症状を軽減することができます。それでも二重に見える症状が続く場合には、3D での視聴を控えてください。	**224**
3D 映像がおかしい	・3D 映像信号によっては、本機で 3D 映像が正しく表示されないことがあります。この場合は 3D での視聴を中止してください。	**－**
3D メガネをかけると、部屋の明かりがちらついて見える	・部屋の照明器具によっては、部屋の明かりがちらついて見えることがあります。この場合は、部屋の明かりを暗くするか、もしくは消して視聴してください。	**－**

USB ハードディスク関係についての故障かな？と思ったら

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	• USB ハードディスクの電源が入っていますか。 • 録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 • USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	– 166 –
USB ハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 168
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	• 本機に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外の TV 受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。 • 本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 168
USB ハードディスクが使用できない	•「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。 • 使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は、上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	168 – –
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	• USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。） • 異なる USB ハードディスクをつないでいませんか。 •「USB-HDD の選択」で異なる USB ハードディスクを選んでいませんか。	– – 168

エラーメッセージが出たら

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	＊＊＊＊	• B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入をやり直してください。	316
このB-CASカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	316
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	＊＊＊＊	• 本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	316
このチャンネルは契約されていません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	－
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	－
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	315
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	－
○○ ○○○chが受信できません。 リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • 受信強度を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	318~321 341~342·358 341~342 －

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	・番組表などで放送時間を確かめてください。 ・受信強度を確認してください。 ・雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	ー 341~342・358 ー
○○○チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	・番組表などでチャンネルを確かめてください。	ー
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	・電源を入れ直してください。 ・BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	ー 318~321・341~342
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	・選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	ー
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	・番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	ー
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	• 受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**341~342**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	**ー**
アンテナ信号が不足しています。【C】	• ブースターの調整や取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	**ー**
アンテナ信号が良くありません。【D】	• 受信強度が60以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	**ー**
受信できません。【E】	• アンテナが正しく設置されているか確認してください。 • アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**ー** **318~321** **341~342**

無線 LAN 接続に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
現在、無線設定できません。 **無線を利用する場合は、USB 無線 LAN アダプターを USB 端子に直接接続してください。（USB ハブは使用しないでください）**	• 無線 LAN アダプターの接続を確認してください。 • ご使用の無線 LAN アダプターの機種名が、（株）バッファロー製 WLI-UV-AG300S であることをご確認ください。 • USB ハブを接続している場合は、USB ハブをはずして本機と無線 LAN アダプターを 1 対 1 で接続してください。

双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	****	• 「ネットサービス制限設定」−「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	**256**
まだルート証明書※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	ー
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	ー
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	• アクセスしないことをお勧めします。	ー

※1 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。
有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

※2 ルート証明書……暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。
有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

ファミリンク録画時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	• 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06	• このネットワークは録画することができません。 • ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S07	
録画に失敗しました。	S09	• ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。	S10	
録画に失敗しました。	S11	
録画に失敗しました。	S12	
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13	• この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 • 「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S14	
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	• 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19	• 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」が書き込み禁止です。 • 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S21	• 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」に録画できません。 • 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」を確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	• 「記録メディア（HDD･BD･DVDなどの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

録画・再生・ダビングに関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
このディスクは再生できません。	・ディスクを確かめて入れ直してください。 ・録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。 ・ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。(⇒**31**ページ)
ディスクが読み込めませんでした。	
ディスクが挿入されていません。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
録画できるディスクが入っていません。予約の開始ができませんでした。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rを挿入してください。
この操作はできません。	―――
ディスクに保護がかかっています。 ディスクの保護を外すか、録画可能なブルーレイディスクを挿入してください。	・ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れ直してください。
ディスクが修復できませんでした。	―――
ディスクを確認しています。 完了まで10 分以上かかる場合があります。	・ディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は10分以上かかる場合があります。
初期化できませんでした。	・ディスクを確かめて入れ直してください。 ・ディスクに指紋や汚れが付いている場合は、ディスクをクリーニングしてください。(⇒**31**ページ)
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・不要なタイトルを消去してください。
DR以外でデジタル放送を録画しているときはこの操作はできません。	―――
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	―――
録画可能なディスクを挿入してください。	・録画用BD-REまたは録画用BD-Rの挿入をやり直してください。
ディスクが満杯なので録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・空き容量のあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 ・不要なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯なので録画を停止しました。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	・不要なタイトルを消去してください。
現在のBD 残時間では最後まで録画できない可能性があります。満杯まで録画します。	・空き容量が十分にあるBD-RE またはBD-R を入れてください。 ・不要なタイトルを消去してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 時計合わせを行ってください。
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。(⇒**393**ページ) 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター(⇒**421**ページ)にご相談ください。
録画禁止になりましたので、録画を停止しました。	―――
このディスクは保護されています。	• ディスク保護を解除してから行ってください。
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「録画禁止」の番組は、録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが1分未満の番組、長さが48時間超の番組は録画予約できません。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンふた上の録画ボタンで、直接録画してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大32番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
録画できない番組のため、視聴予約にしました。	• 録画禁止の番組は録画予約できません。 • 独立データ放送は、録画できません。
この番組をBD録画予約しました。 (録画番組の連動データは、記録されません)	• 連動データを録画したい場合は、録画画質を「標準(DR)」「2倍」「3倍」のいずれかに設定してください。
BDドライブがはずれているため、視聴予約しました。	• 内蔵のBDドライブがはずれている可能性があります。販売店またはシャープお客様相談センター(⇒**421**ページ)にご相談ください。
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「録画禁止」の番組は、録画できません。

IrSS™ に関する エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	• 規格外の写真は表示できません。
データの容量が大きすぎます。	• データの容量が約 3MB 以下のデータを送信してください。
写真のサイズが大きすぎます。	• 画素サイズ 4096 × 2160 以下のデータを送信してください。
このデータは表示できません。	• JPEG・MP フォーマット以外のデータや、壊れたデータは表示できません。なお、パソコンでは表示可能な場合があります。
送信機器を本機の受光部に近づけて、再度送信してください。(他の機器からは離してご使用ください)	• 送信機器を本機右下の IrSS™ 受光部の正面から上下左右 15 度以内、1m 以内に近づけて、再度送信してみてください。また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで送信機器を IrSS™ 受光部から離さないようにご注意ください。
ホームネットワークモードのときは IrSS 受信できません。 **IPTV のときは IrSS 受信できません。** **このデータは処理できません。**	• ホームネットワークモードやインターネット、IPTV 視聴中は IrSS™ 自動切換機能が働きません。IrSS™ モードに切り換えてから IrSS™ 送信してください。また、IrSS™ モードが入力スキップ設定されている場合、録画予約実行中も IrSS™ 自動切換機能が働きません。これらを解除してから IrSS™ 送信してください。 •「設定」−「(機能切換)」の「IrSS 自動切換」を「しない」に設定している場合は、IrSS™ モードに切り換えてから IrSS™ 送信してください。
IrSS 受信準備中です。しばらく待ってから、再度 IrSS 送信してください	• 電源を入れてすぐに IrSS™ 送信した場合に表示されます。数秒待ってから再度 IrSS™ 送信してください。
受信に失敗したため、切り換えることができません。	• IrSS™ の受信に失敗した直後は 3D モードを切り換えることができません。 • 写真を再度 IrSS™ 送信してください。

ホームネットワーク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この形式の写真データは表示できません。	・規格外の写真は表示できません。 なお、パソコンで写真を編集すると、本機で表示できない規格のデータ形式に変更される場合があります。
データの容量が大きすぎます。	・データの容量が6MB以下のデータとしてください。 ・デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズを小さくすると、6MB以下のデータで撮影できる場合があります。 例） 4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みのデータではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
写真のサイズが大きすぎます。	・画素サイズ4096×4096以下の写真にしてください。 ・デジタルカメラや携帯電話の撮影時の設定で画素サイズは変更できる場合があります。 例） 4300×3225 ⇒ 2048×1536 また撮影済みの写真ではデジタルカメラや携帯電話のリサイズ機能を使うと変更できる場合があります。
このデータは表示できません。	・本機で表示可能な仕様のJPEG以外のデータや、壊れたデータは表示できません。
次の写真を取得できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	・写真取得時サーバー機器に接続できなくなっています。 ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後ホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。	・サーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。 またSDカードを持つサーバー機器ではSDカード挿入後SDカードの内容をホームネットワークに公開するまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
印刷設定 機器が見つかりません。 対応プリンタの電源、接続を確認ください。	・プリンタの電源が入っていないか、プリンタがホームネットワークに接続されていないか、ホームネットワーク接続設定が正しくされていない可能性があります。 プリンタの電源、接続、設定を確認してください。
写真の印刷 印刷の準備をしています。	・プリンタに印刷指示を行っていますので、しばらくお待ちください。
写真の印刷 この写真の印刷を受け付けました。	・プリンタへの印刷指示を完了しました。 写真を表示することができます。
写真を表示できません。 フォルダが削除されたか、機器が再起動された可能性があります。	・サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。

次のページに続く

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによってはBD再生中や設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
印刷できません。 プリンタが使用中の可能性があります。	• プリンタが印刷実行中か使用中の場合にさらに印刷しようとすると、このメッセージが表示される場合があります。印刷完了または使用できるようになるまでお待ちください。
印刷を中断しました。 プリンタとの接続を確認してください。	• プリンタが何らかの原因で印刷を中断しました。プリンタの状態または正常に接続できているか確認してください。
印刷できません。 プリンタを確認してください。	• プリンタが何らかの原因で印刷できなくなりました。プリンタのインクや用紙が無くなっていないか、用紙が詰まっていないか、カバーが開いていないか、などを確認してください。
機器に接続できません。 接続機器選択へ移動します。	• 前回接続したサーバー機器の電源が入っているか、ホームネットワーク機器の接続設定を確認してください。
フォルダにアクセスできません。 トップフォルダへ移動します。	• サーバー機器によっては、サーバー起動直後やデータの追加削除を行うと本メッセージが表示される場合があります。故障ではありません。
接続できません。 接続機器から映像データを取得できません。	• サーバーの設定を確認してください。サーバーによっては設定画面にしていると取得できない場合や、インターネットを利用中は取得できない場合があります。
再生できません。 この形式の映像データは再生できません。	• 規格外の映像データは再生できません。 • 本機で再生できる映像データの形式か確認してください。
再生できません。 この形式の音楽データは再生できません。	• 規格外の音楽データは再生できません。 • 本機で再生できる音楽データの形式か確認してください。
データを取得できません。 フォルダが削除されたか再起動された可能性があります。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回再生したファイルが削除されたり、サーバーが再起動されたなどにより、データを取得できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
接続できません。 接続機器の接続や設定を確認してください。 初期画面に戻ります。	• メモリーモードを実行する際、前回接続したサーバーが起動されていないなどにより、接続できない場合に表示されます。初期画面よりご利用ください。
再生できません。 無線 LAN のセキュリティを設定してください。	• 手動で無線 LAN を設定する場合は、無線 LAN のセキュリティを WPA2 ／ WPA ／ WEP のいずれかに設定してください。ただし、WEP は WPA2 ／ WPA に比べ通信速度が低下します。

フォトリモ ™ に関する エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
期限切れのデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データが期限切れになっています。 • サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合にはフォトリモ ™ データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
期限前のデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データがまだ有効になっていません。 • サービスが提供中にもかかわらずこのメッセージが表示される場合には、サービス事業者に確認してください。
このデータは無効化されました。	• フォトリモ ™ データのセキュリティが保証できなくなったため、データが使えなくなりました。 • フォトリモ ™ データを再度入手していただくか、サービス事業者に確認してください。
このデータは処理できません。	• フォトリモ ™ データではない画像データは処理できません。 • フォトリモ ™ データが壊れている場合にもこのメッセージが表示されます。この場合にはフォトリモ ™ データを再度入手してください。
IrSS 受信できません。IrSS 自動切換で「する」を設定してください。	• 「設定」－「(機能切換)」－「IrSS 自動切換」で「する」を設定し、再度送信してください。
IrSS 受信できません。ブラウザ制限で「しない」を設定してください。	• 「設定」－「(視聴準備)」－「通信(インターネット)設定」－「ネットサービス制限設定」－「ブラウザ制限」で「しない」を設定し、再度送信してください。

USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。	• USB ハードディスクを本機に接続してください。また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが認識できるまで接続し直してください。
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク準備中のため録画できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を中断しました。	• USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	• 不要なタイトルを消去してください。
初期化中のため録画できません。	• USBハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。	• 録画可能な USB ハードディスクを本機に接続してください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。(録画可能なハードディスクが見つかりません。)	• 録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、BD 録画予約／視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	• 不要なタイトルを消去してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	• 録画する前に USB ハードディスクを本機に接続してください。また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、録画できませんでした。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが本機で認識できるまで接続し直してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	• USBハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	• USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに異常があり、録画を停止しました。	• USBハードディスクの故障の可能性があります。USBハードディスクの状態をお確かめください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	• 1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。	• 本機に USB ハードディスクを接続してください。また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、再生できません。ハードディスクを接続し直してください。	• USB ハードディスクが認識できるまで接続し直してください。
このタイトルは再生できません。	• 再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	• 本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	• 記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
ハードディスク準備中のため、再生できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
日付・時刻が設定されていません。日付・時刻を設定してください。	• 時計合わせを行ってください。
選局・再生に失敗しました。チャンネルを切り換えてください。	• 「電源スイッチ設定」(⇒ **52** ページ)を「モード 2」に設定して本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直してください。状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。

次のページに続く

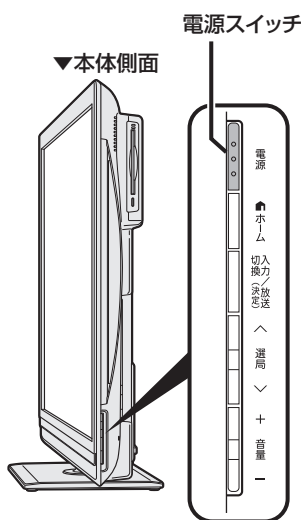
画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。 • USB ハードディスクはアナログ放送や IPTV は録画できません。
録画禁止の番組です。 録画できません。	•「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

USB
利用時に関する
エラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。	• USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 • 本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

・強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
このときは、本体の電源スイッチを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを 5 秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約 1 分待ってから電源スイッチを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

◇**おしらせ**◇

・再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります

・テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
・番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
・時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時計を合わせる ⇒ **76** ページ）
・停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画
  ・オフタイマー
  ・消音（消音ボタンによる）
  ・映像オフ
  ・2 画面

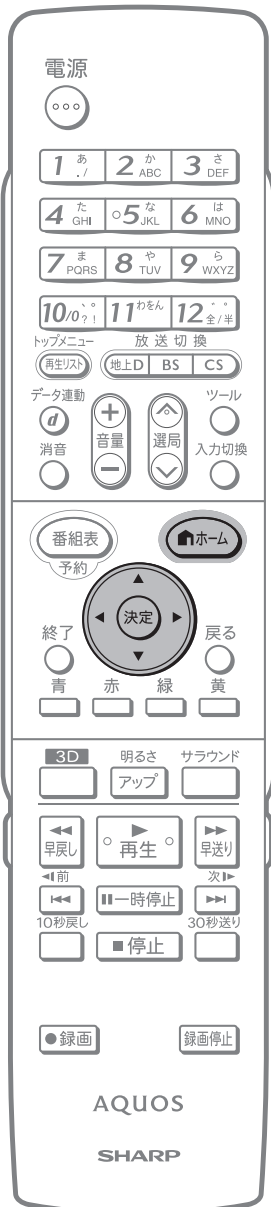
システム動作テスト

・本機は、B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストできます。

◇**おしらせ**◇

システム動作テストに失敗したときは

・B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。

ビーキャス
B-CASカード
⇒ **316** ページ

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「システム動作テスト」を選ぶ

を押し

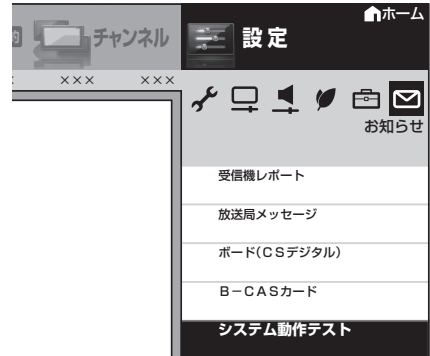
で選び

決定
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「テスト実行」で決定する

決定
を押す

バージョン番号	:	00000000　0000000
		E0000000
システム状態	:	
B−CASカード	:	
DRM番号	:	

テスト実行

・表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 結果を確認し、「テスト終了」で決定する

決定
を押す

バージョン番号	:	00000000　0000000
		E0000000
システム状態	:	0000−0000−0000−0000−
B−CASカード	:	0000−0000−0000−0000−
DRM番号	:	0000−0000−0000−000

テスト終了

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

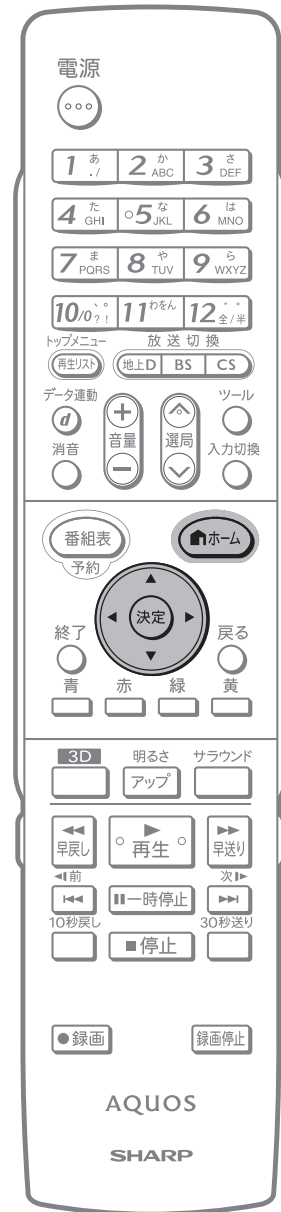
本機のソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについてのご注意

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（POWER（電源）ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。「電源スイッチ設定」を「モード 2」に設定しているときに、本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合は、ダウンロードは実行されません。

次のページに続く

自動ダウンロードを「しない」に設定する

• 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

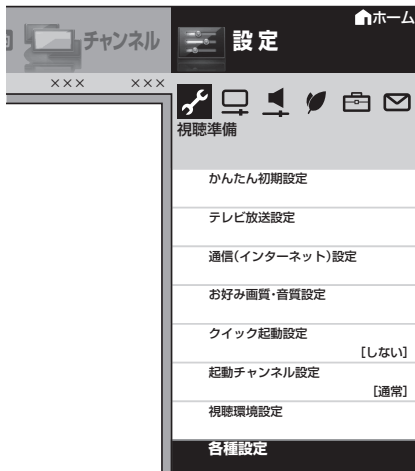
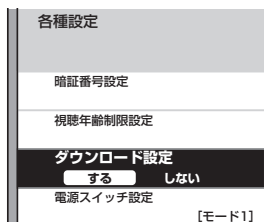
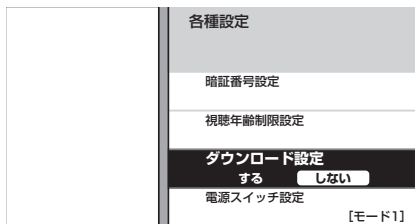
▼ ホームメニューの画面例

2 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選ぶ

3 「しない」を選ぶ

で選び
を押す

各種設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
ダウンロード設定
する　しない
電源スイッチ設定
[モード1]

• 操作を終了する場合には、ホームボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

• 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「(お知らせ)」−「放送局メッセージ」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40** ～ **45** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 ダウンロードに関する放送局メッセージを選ぶ

で選び
を押す

	受信日時	
未読	2/26［月］	ダウンロードのお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

3 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び
を押す

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」する事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。

する　しない

• ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。（画面右上の「お知らせ」の内容や B-CAS カードの番号を確認する ⇒ **400** ページ）

USB メモリーを使用して ソフトウェアを更新する

- USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
- ソフトウェアの更新をするときは、パソコンを使用して、あらかじめ更新用ソフトウェアを USB メモリーに書き込んでおく必要があります。更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、USB メモリーが空の状態で書き込んでください。

ソフトウェアの更新情報について

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。

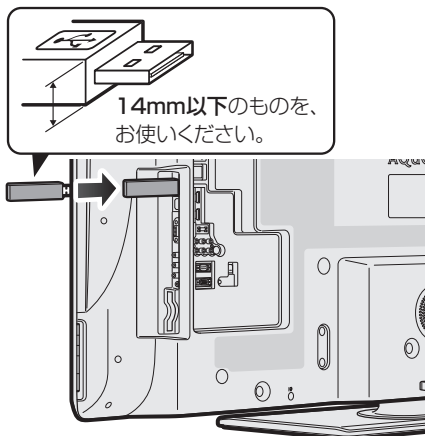
> AQUOS サポートステーション
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

◆ 重 要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。
- ソフトウェアを更新する前に BD などのディスクを取り出してください。

1 本機のUSB端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだUSBメモリーを取り付ける

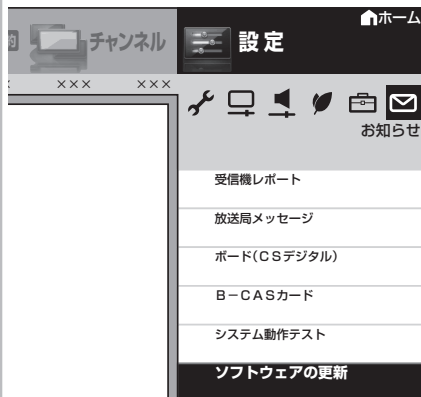
- USB メモリーは本体右側面の USB 端子に取り付けてください。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「ソフトウェアの更新」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号(⇒１０２ページ)を入力する

4 画面に従って操作する

5 「はい」で決定する

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

ソフトウェアの更新が正しくできないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中に見つからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

6 アップデートが完了するまで待つ

7 USBメモリーを本機から取り外す

本機を電源オフにするときは／電源プラグを抜くときは

- 本体の電源スイッチで本機の電源をオフにしたいときは、「電源スイッチ設定」を「モード 2」にしてください。
  「モード 1」に設定されていると、本体の電源スイッチを押しても「待機状態」となり、電源オフにはなりません。

「電源スイッチ設定」について

項目	内容
モード 1	• 本体の電源スイッチを押すと、本機が「待機状態」になります。BD や USB ハードディスクへの録画中や録画予約設定中に本体の電源スイッチを押しても、録画が正常に行われるための設定です。
モード 2	• 本体の電源スイッチを押すと、本機が電源オフになります。録画中の場合は録画が中断されます。録画予約が設定されている場合は録画予約が実行されません。

◆ 重　要 ◆

- 「モード 1」に設定されていて本機が待機状態のときに電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、内蔵レコーダー機能を正常に終了させるため、次の手順で操作してください。

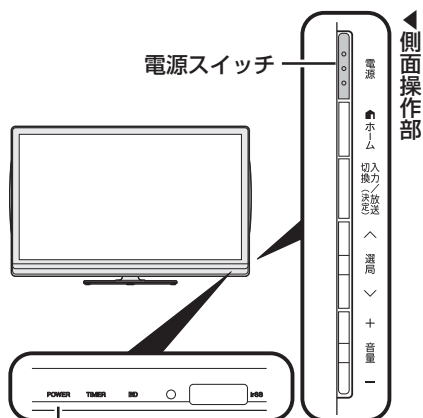
1 **BDやDVD、CDなどのディスクを取り出す**

2 **USBハードディスクを取りはずす（⇒165ページ）**

3 **電源スイッチ設定を「モード2」にする**

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」－「モード 2」を選びます。

4 **電源を切る**

- 本体の電源スイッチを押し、本体右下の POWER（電源）ランプが消灯していることを確認します。

5 **電源プラグを抜く**

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

・本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

◆ 重 要 ◆

・お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
・**この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

初期化すると
・本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

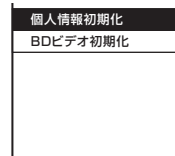
1 ホームメニューを表示して、「設定」－「（視聴準備）」－「個人情報初期化」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

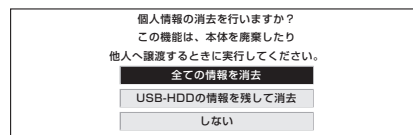
選びかたは、40 ～ 45 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「個人情報初期化」を選ぶ

個人情報初期化
BDビデオ初期化

で選び
を押す
3 「全ての情報を消去」または「USB-HDDの情報を残して消去」を選ぶ

で選び
決定
を押す

個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本体を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。
全ての情報を消去
USB-HDDの情報を残して消去
しない

・USB-HDD に録画したコンテンツの情報を初期化したくないときは、「USB-HDD の情報を残して消去」を選んでください。録画した番組、常連録画番組設定、機器の登録、USB-HDD の選択を残して消去されます。
・「全ての情報を消去」を選ぶと、USB ハードディスクに録画した番組も消去されます。

4 「する」を選ぶ

で選び
を押す

・表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。
・初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体の電源スイッチを押してください。

画面右上の「お知らせ」の内容やB-CASカードの番号を確認する

- 予約の失敗・変更が生じたときや、放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されたときなどは、画面右上に「お知らせ」が表示されます。
- 「お知らせ」の内容のほかに、B-CASカードの番号なども確認できます。

項目	内容
受信機レポート	• 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
放送局メッセージ	• 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード(CSデジタル)	• 送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 • ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 • 地上アナログ放送視聴中、録画予約実行中は選べません。
B-CASカード	• 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 • カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 • カードID……カード固有の番号です。

◇**おしらせ**◇

- 未読の放送局メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の放送局メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」を選ぶ

を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40**～**45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 見たい項目を選ぶ

で選び
を押す

- 項目によっては、このあとネットワーク（放送の種類）を選ぶ手順になります。

3 見たい情報を選ぶ

で選び
を押す

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

	受信日時	
未読	2/26[月]	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●
未読	2/26[月]	●●●●●●●

4 情報の内容を確認する

で選び
を押す

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

2台のAQUOSをそれぞれのリモコンで操作するには

• 2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

• リモコン番号には「1」「2」があります。リモコン側と本体側の番号を合わせてください。
• 2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
• 設定されている番号が本体とリモコンとで異なっていると、リモコンボタンを続けて押したとき、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。
• 個人情報を初期化すると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

本体側とリモコン側のリモコン番号を設定する

◆ **重　要** ◆

• 先にリモコン側の番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

本体側のリモコン番号を切り換える

1 ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「各種設定」を選ぶ

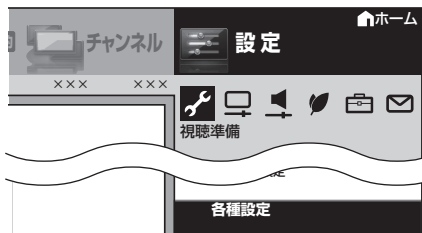
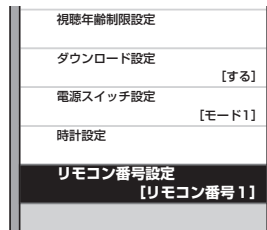
を押し
で選び
を押す

選びかたは、**40～45**ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び
を押す

視聴年齢制限設定
ダウンロード設定 ［する］
電源スイッチ設定 ［モード1］
時計設定
リモコン番号設定 ［リモコン番号1］

3 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選ぶ

で選び
を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

リモコン番号1　リモコン番号2

4 「する」を選ぶ

で選び
を押す

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

する　しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

◇**おしらせ**◇

• 工場出荷時の設定は、本体側・リモコン側ともリモコン番号「1」です。

次のページに続く

◆ リモコン側のリモコン番号を切り換える

5 **リモコンの「1」または「2」を押した状態で電源ボタンを5秒以上押す**

- 前ページ手順 **3** で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なるときは

- 本体側のリモコン番号を、リモコン側のリモコン番号に合わせます。

1 **リモコン番号が異なるときに、画面表示ボタンを5秒以上押し続ける**

を押す

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 **メッセージを確認し、「する」を選ぶ**

で選び 決定 を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機　：リモコン番号1
リモコン　：リモコン番号2

する　しない

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

◇おしらせ◇

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 20 秒以内に操作を行ってください。約 20 秒を経過すると、画面が消えます。
- 乾電池が消耗したり、乾電池を交換したときに、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ることがあります。

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

1. **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒以上押し続けて、リモコン番号切換メニューを表示する**
2. **本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号2」を選択する**
3. **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定する**

ホームメニュー項目の一覧

項目の内容は、本機をお使いになる条件によって異なることがあります。

設定

視聴準備

次のページに続く

視聴準備（つづき）

映像調整（⇒ 90 〜 92 ページ）

リセット	する、しない

音声調整（⇒ 93 〜 94 ページ）

オートボリューム	強、中、弱、切(⇒**95** ページ)
高音	−15 〜 0 〜 +15
低音	−15 〜 0 〜 +15
バランス	左 30 〜中央〜右 30
サラウンド	自動、入、切
3D サラウンド	標準、ムービーシアター、コンサートホール、切
音質補正	標準、映画、ダイナミック、ニュース
リセット	する、しない
声の聞きやすさ	標準、マイルド、くっきり、しない(⇒**96** ページ)

安心・省エネ

機能切換

項目	内容
視聴操作 (⇒**50、81、235**ページ)	番組情報、画面サイズ、テレビ / データ / ポータル、BD 状態、BD レコーダー操作、VOD 操作、静止、3 桁入力、CATV

BD 設定 → (BD/DVD)再生設定 / BD 録画設定 / ディスク管理

(BD/DVD)再生設定

項目	設定値
視聴制限レベル	変更する、初期化する(⇒**154** ページ)
DVD 視聴制限レベル設定	次へ
BD 視聴制限年齢設定	ＸＸ歳、無制限
国コード設定	完了
ディスク優先言語	変更する、初期化する(⇒**155** ページ)
字幕言語設定	次へ
音声言語設定	次へ
メニュー言語設定	完了
アングルマーク表示	する、しない(⇒**151** ページ)
BD-LIVE 設定	(⇒**143** ページ)
接続制限	許可する、制限付き許可、禁止する
BD-LIVE 用 LAN 設定	→ 現在の設定(設定の確認)、IP アドレス設定、DNS 設定、プロキシサーバー設定、詳細設定開始確認、ネットワーク接続スピード、ネットワーク設定確認
BD-LIVE 用プロキシサーバー設定	現在の設定、設定画面
音声設定	(⇒**148、149** ページ)
音声レベル	切、標準、シフト
セカンダリオーディオ設定	する、しない
3D 切換設定	自動、2D(⇒**217** ページ)
3D 通知設定	する、しない (⇒**135、138** ページ)

BD 録画設定

項目	設定値
デジタル録画画質	標準(DR)、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、8.5 倍、10 倍(⇒**114** ページ)
アナログ録画画質	SP、LP(⇒**114** ページ)
外部入力音声設定	ステレオ、二ヶ国語(⇒**157** ページ)
オートチャプター設定	おまかせ、しない、10 分、15 分、30 分(⇒**118** ページ)
録画先自動切換	する、しない(⇒**133** ページ)
マルチ音声設定	音声 1、音声 2、マルチ音声(⇒**115** ページ)
ケーブルテレビ設定	する、しない(⇒**122** ページ)

ディスク管理

項目	設定値
ディスク保護	保護する、保護解除(⇒**159** ページ)
BD 初期化	する、しない(⇒**162** ページ)
ディスク強制排出	する、しない(⇒**372** ページ)

3D 設定

項目	設定値
3D 自動切換	する、しない(⇒**217** ページ)
2D→3D 変換効果調整	＋1 〜＋16(⇒**222** ページ)
3D 視聴時間お知らせ設定	する、しない(⇒**225** ページ)
3D イルミネーション設定	する、しない(⇒**225** ページ)
3D テスト	(⇒**223** ページ)

次のページに続く

機能切換（つづき）

お知らせ

受信機レポート	(⇒**400** ページ)
放送局メッセージ	(⇒**396、400** ページ)
ボード(CS デジタル)	CS1、CS2(⇒**315、400** ページ)
B-CAS カード	実行(⇒**400** ページ)
システム動作テスト	テスト実行(⇒**394** ページ)
ソフトウェアの更新	(⇒**397** ページ)

ツール

項目	参照
2D→3D 変換効果調整	(⇒**222** ページ)
○○画面の操作	(⇒**139** ページ)
2 画面	(⇒**72** ページ)
操作切換	(⇒**74** ページ)
USB-HDD 設定	⇒**406** ページ「ファミリンク設定」の「USB-HDD 設定」
タイマー機能	→ オフタイマー (⇒**99** ページ) / おやすみタイマー (⇒**77** ページ) / おはようタイマー (⇒**78** ページ)
AQUOS インフォメーション	(⇒**267** ページ)
AV ポジション(画質切換)	(⇒**85** ページ)
番組情報	(⇒**50** ページ)
映像切換	(⇒**70**、**151** ページ)
画面サイズ	(⇒**81** ページ)
VOD 操作	(⇒**279**、**283**、**293** ページ)
お知らせ(受信機レポート)	(⇒**400** ページ)

リンク操作

項目	参照
レコーダー電源入／切	(⇒**197** ページ)
ファミリンクパネル	(⇒**173**、**181**、**186**、**198**、**210**、**221** ページ)
録画リストから再生	(⇒**207** ページ)
スタートメニュー表示	(⇒**200** ページ)
機器のメディア切換	(⇒**201** ページ)
リンク予約(録画予約)	(⇒**205** ページ)
音声出力機器切換	(⇒**208** ページ)
ファミリンク機器リスト	(⇒**206** ページ)
ファミリンク設定	(⇒**195**、**196**、**197**、**209** ページ)

リンク予約

項目	参照
レコーダーの番組表を表示	(⇒**205** ページ)

番組表（予約）

チャンネル（⇒ 47 ページ）

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類 ＼ 再生できる条件		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc BD-Video BDビデオ	リージョンコード（A）または、（A）を含む意味のもの 1層／2層、ブルーレイ3D™	12cm盤	BDMVフォーマット	音声＋映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 3.0、XL（3層）	12cm盤	BDAVフォーマット HDVフォーマット	音声＋映像（動画）
BD-R	Ver. 1.1、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3、SL（1層）／DL（2層） Ver. 1.3、LTH TYPE Ver. 2.0、XL（3層） Ver. 2.0、XL（4層）	12cm盤	BDAVフォーマット HDVフォーマット	音声＋映像（動画）
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョンコード（ALL）または、（2）の含まれるディスク 1層／2層	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声＋映像（動画）
DVD-RW DVD-R DVD-R DL（2層）		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク） AVCHDフォーマット※2	音声＋映像（動画）
			写真フォーマット	JPEGファイル※1
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL(2層)		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD-RAM	カートリッジからディスクを取り出せるタイプ	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット AVCHDフォーマット※2	音声＋映像（動画）
音楽用CD CD-R CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
			JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

- HDV方式のディスクは、再生できない場合があります。
- 他のBDレコーダーで録画されたBDディスクがH.264画質で長時間録画されているときは、本機では再生できない場合があります。
- 他機でダビングしたDVD-R DL（2層）ディスクは、本機では再生できない場合があります。
  - ※1 DVD-RWにJPEGファイルを記録できるシャープ製レコーダーで記録されたもの。
  - ※2 ビデオカメラで撮影された、8cm盤ディスクのみ対応。

本機で録画できるディスクについて
⇒ **409** ページ
本機で録画・再生できないディスクについて
⇒ **410** ページ

本機で録画できるディスク

下記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

- 本機で録画に使用できるディスクは、BD-RE Ver. 2.1 ディスク、BD-RE Ver.3.0 XL ディスク、BD-R Ver.1.1 ディスク、BD-R Ver.1.2 ディスク、BD-R Ver.1.2 LTH ディスク、BD-R Ver.1.3 ディスク、BD-R Ver.1.3 LTH ディスク、BD-R Ver.2.0 XL ディスクです。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

ディスクの種類 / ディスクの特長		Blu-ray Disc BD-RE（12cm盤）※1	Blu-ray Disc BD-R（12cm盤）※1
ディスクのバージョン		Ver.2.1（SL/1層およびDL/2層）Ver.3.0（XL/3層）	Ver.1.1（SL/1層およびDL/2層）、Ver.1.2（SL/1層およびDL/2層）、Ver.1.2 LTH、Ver.1.3（SL/1層およびDL/2層）、Ver.1.3 LTH、Ver.2.0（XL/3層およびXL/4層）
繰り返し録画		○	×
追加録画		○	
放送を録画	録画可能の番組の録画	○	
	ダビング10※3の番組の録画	○	
	1回だけ録画可能の番組の録画	○	
	録画禁止の番組の録画	×	
新品のディスクを使うとき		初期化が必要です。（自動で初期化されます。）	
再初期化		○	×
他の機器で録画したディスクを再生する		○※2	

※１　8cm 盤の BD-RE/BD-R は録画に使えません。
※２　BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
※３　ダビング 10 の番組は BD に録画すると、「1 回だけ録画可能」の番組として録画されます。オリジナルの映像は他の機器へダビングできません。

DVD ディスクの再生について

- 録画した機器でのファイナライズ処理が必要です。
- 他機で DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。
- 他機で DVD-R（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組も再生できます。（再生できない場合もあります。）
- 他機で録画した DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。

本機で記録した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

- ⇒ **112** ページをご覧ください。

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE（Ver.2.1/1x-2x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.2.1（1 層）	シャープ	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア
Ver.2.1（2 層）	シャープ	TDK			

BD-R（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、Ver.1.3/1x-6x、Ver.1.3 LTH TYPE、Ver.2.0 XL）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.1.1	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア	
Ver.1.2	シャープ	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア
Ver.1.3	TDK	パナソニック	ソニー	三菱化学メディア	
Ver.1.3 LTH	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア			
Ver.2.0 XL（3 層）	シャープ				

本機で録画・再生できないディスクについて

本機で再生できないディスク

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。
- 他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。

BD ビデオ	・リージョンコード「A」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	・BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 ・カートリッジタイプのディスクは再生できません。 ・8cm 盤の BD-RE/BD-R ディスクは、本機では初期化や録画ができません。 ・他の BD レコーダーで録画した BD-RE/-R には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できません。
DVD ビデオ	・リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ・PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） ・無許諾のディスク（海賊版のディスク） ・業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD - RAM DVD-R DVD+R	・データが記録されていないディスク ・記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ・ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** ・DVD-R（VR フォーマット）ディスク ・DVD-R DL（2 層）ディスク ・DVD+R DL（2 層）ディスク
HD DVD	・HD DVD 方式のディスクは再生できません。
音楽用 CD	・著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 ・DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できません。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
CD-R CD-RW	・データが記録されていないディスク ・ファイナライズされていないディスク ・音楽フォーマット、JPEG 以外のフォーマットで記録されたディスク ・音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。 ・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ・ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
ビデオ CD	・ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	・リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

本機で録画・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

BD-RE Ver.1.0、CDG※、フォト CD、CD-ROM、CD-TEXT※、CD-EXTRA※、VCD、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）、HD DVD

※ 音声のみ再生できます。

寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

(単位：mm)

LC-52LB3

正面 側面

1257 / 1152 (表示サイズ) / 648 (表示サイズ) / 454 / 821 / 779 / 480 / 1239

140 / 96 (最薄部) / 105 / 159 (ケーブルクランプ含む) / 293 / 358 (転倒防止金具含む) (取付時) 300 (収納時)

壁掛け金具取り付け時の寸法

428.5 / 400 / 428.5 / 400 / 207 / 193 / 434

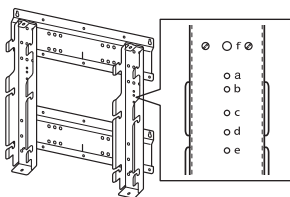
電源コード接続部

本機の金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

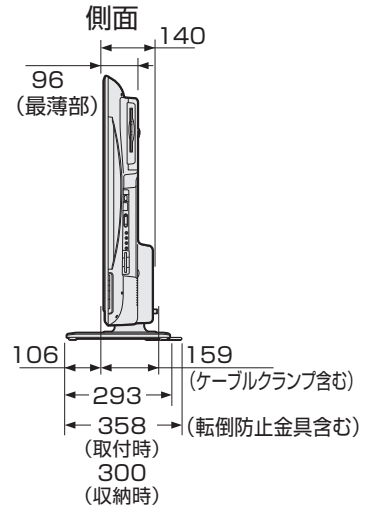
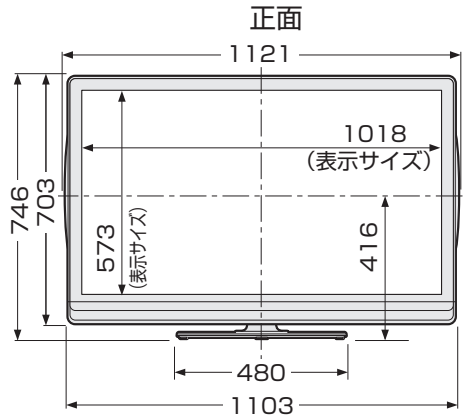
壁掛け金具AN-52AG6使用時

396 / 465 / 396 / 125 / 516 / 138

壁掛け金具AN-52AG6の壁用金具Bにある表示「d」の6mm上が画面の中心になります。

※取付位置を変更することで50mm変動します

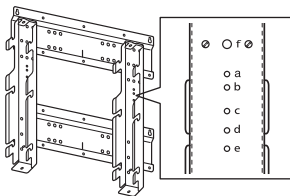
次のページに続く

（単位：mm）

側面
140
96
（最薄部）
106
159
（ケーブルクランプ含む）
293
358
（取付時）
300
（収納時）
（転倒防止金具含む）

壁掛け金具取り付け時の寸法

本機の金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

※取付位置を変更することで50mm変動します

壁に掛けて設置する場合は

スタンドをはずす

- 別売の壁掛け金具※で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。（壁掛け設置のしかた（例）⇒ **415** ページ）
  ※ LC-52LB3、LC-46LB3 は、AN-52AG6 に対応しています。

◆ 重　要 ◆

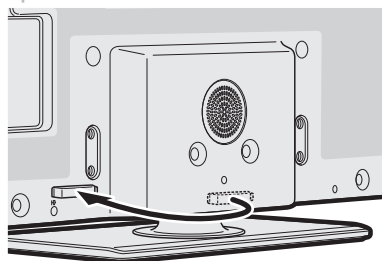
- **取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。

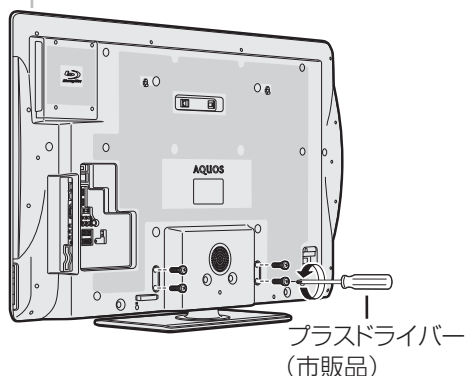
取り付け角度について

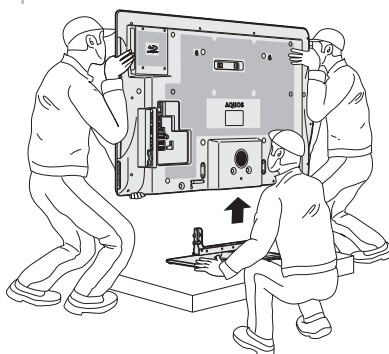
- 傾けて設置せず垂直になるよう設置してください。BD ユニットが傾き正常な録画・再生ができなくなったり、故障の原因となります。

準備する

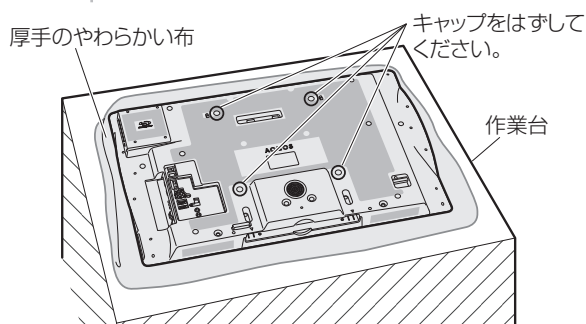
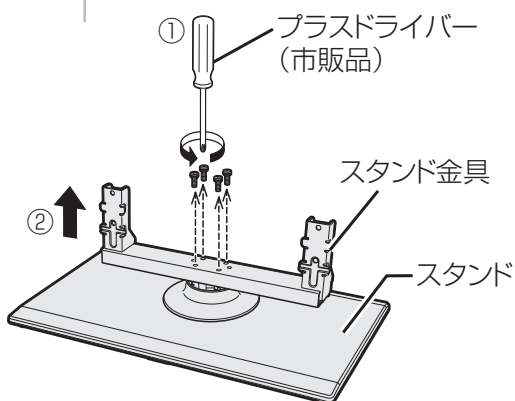
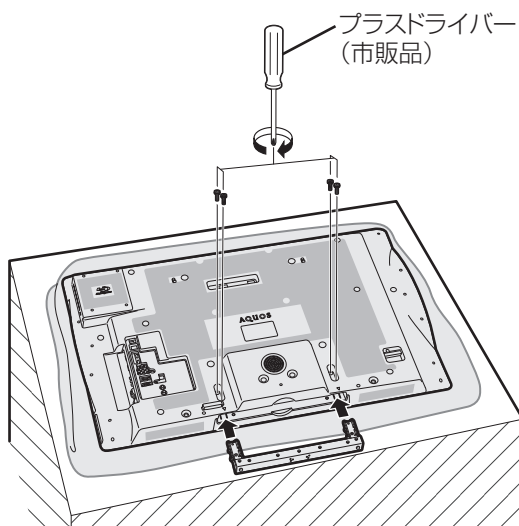
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルや LAN ケーブルは、相手の機器側をはずしておいてください。これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- BD-LIVE 専用外部メモリー USB 端子を使用する場合は、事前に全長 70mm 以下の USB メモリーを接続しておいてください。
- 本体背面のキャップ（4 箇所）をはずしておいてください。

1 ケーブルクランプの位置を変える

2 スタンド取付ネジ（4箇所）を取りはずす

- 市販のプラスドライバーを使います。

3 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。
- 液晶パネルに強い力がかからないように持ち上げてください。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

次のページに続く

4 本体を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせてください。

5 スタンド金具を、スタンドから取りはずす

6 本体にスタンド金具を取り付ける

7 本体を寝かせた状態で壁掛け金具ユニットを取り付ける

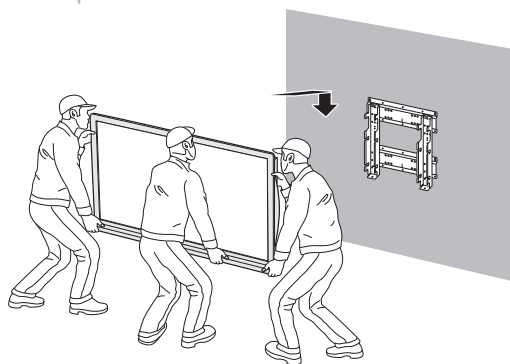
- 角度設定していない状態（0°設定）で取り付けます。

◇おしらせ◇

- 本機に、壁掛け金具AN-52AG6を取り付ける場合は、AN-52AG6に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ12mm）をご使用ください。

8 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け金具のユニットの角度を調整する

9 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置する

- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。
- 壁掛け設置については、次ページをご覧ください。
- 壁に掛けた状態で、本体背面のケーブルやUSBメモリーを抜き差ししないでください。

壁掛け設置のしかた（例）

- 本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置して使用することができます。スタンドを取り付けている場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす⇒**413**～**414**ページ）

◇**おしらせ**◇
- 本機に、壁掛け金具 AN-52AG6 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁に、壁掛け金具 AN-52AG6 の壁用金具を取り付ける場合は、市販のネジ（径 6mm）をご使用ください。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける
- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビの中心となる位置）に目印を付ける
- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける
- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

4 スタンドをはずす **（⇒413～414ページ）**

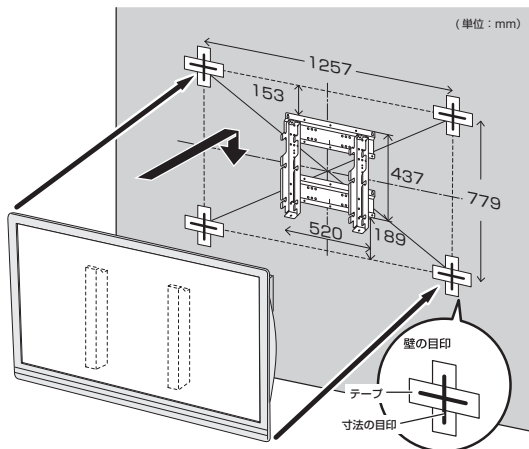
5 スタンドからスタンド金具を取り外し、本機にスタンド金具を取り付ける **（⇒414ページ）**

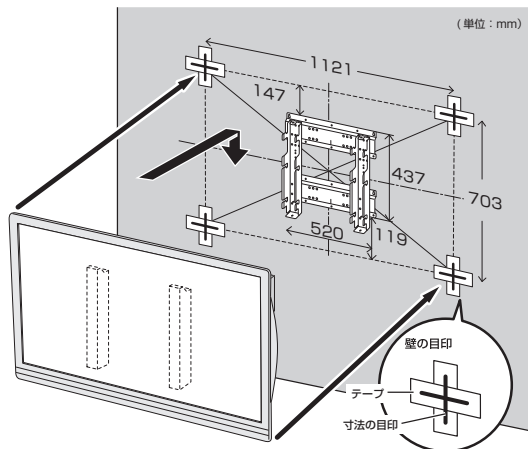
6 壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける

7 壁に掛ける
- 壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして取り付けます。

8 目印のテープ類を取り除く

LC-52LB3

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

LC-46LB3

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- uClibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

OpenSSL License

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Copyright: (C) 2000 Epinions, Inc.
Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

次のページに続く

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2010 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発した DTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

本機は、MPEG2 AAC に関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962 5,274,740
5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671 07/640,550
5,579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874
98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046
08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654
5,548,574 5,717,821

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-52LB3	LC-46LB3
液晶パネル	表示サイズ	52V型 (横1152mm×縦648mm／対角1322mm)	46V型 (横1018mm×縦573mm／対角1168mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素	
	使用光源	LED	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型(地上デジタル入力共用)、BS-IF 75Ω不平衡型	
スピーカー		2.0cm 丸型2個 4×10cm トラック型2個 1.5×2.5cm トラック型2個 5.5cm 丸型2個	
音声実用最大出力(JEITA)		30W (7.5W+7.5W+15W)	
使用電源		AC100V·50/60Hz	
消費電力		195W (待機時電力:0.1W※1、※2、 クイック起動「する」時電力:37W※1)	180W (待機時電力:0.1W※1、※2、 クイック起動「する」時電力:37W※1)
年間消費電力量		• 区分名:DG2 (FHD、液晶倍速、付加機能2) • 受信機型サイズ:52V • 年間消費電力量:165kWh／年 [標準時※3]	• 区分名:DG2 (FHD、液晶倍速、付加機能2) • 受信機型サイズ:46V • 年間消費電力量:140kWh／年 [標準時※3]
接続端子		HDMI入力3系統3端子、D5映像入力2系統2端子、S2映像入力1系統1端子、 ビデオ入力3系統3端子(入力6は音声出力兼用)、 音声出力1系統1端子(入力6兼用)、アナログRGB(PC入力)端子、 音声入力端子(入力7／入力2用)、デジタル音声出力(光)1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル／地上アナログ(VHF·UHF)端子、 アンテナ入力BS·110度CS端子、ヘッドホン接続端子、USB端子、AC入力端子、 コントロール(RS-232C)端子、i.LINK端子(TS入力)、 BD-LIVE専用外部メモリーUSB端子、 LAN2系統2端子(10BASE-T/100BASE-TX、LAN/BD-LIVE専用)	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch·UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル(ワンセグを除く)011～528ch (CATVパススルー対応)	
BS·110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	
記録	録画可能ディスク※4	BD-RE Ver.2.1(SL/1層、DL/2層)、BD-RE Ver.3.0(XL/3層)、 BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、 BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.3 LTH、 BD-R Ver.2.0(XL/3層、XL/4層)	
	連続可能録画時間	最大12時間	
	記録方式 映像	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264	
	記録方式 音声	MPEG2 AAC、ドルビーデジタル2ch	

次のページに続く

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-52LB3	LC-46LB3
再生	再生可能ディスク	BD-RE Ver.2.1※4(SL/1層、DL/2層)、BD-RE Ver.3.0(XL/3層)、BD-R Ver.1.1(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.2 LTH、BD-R Ver.1.3(SL/1層、DL/2層)、BD-R Ver.1.3 LTH、BD-R Ver.2.0(XL/3層、XL/4層)、BDビデオ(1層、2層)、DVDビデオ(1層、2層)、DVD-RW(1層)※5、DVD-R(1層、2層)※5、DVD+RW(1層)※6、DVD+R(1層、2層)※6、DVD-RAM(カートリッジから取り出せるもの)、音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)	
タイマー	予約番組数(最大)	32番組	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1257×奥行140×高さ779(mm)	幅1121×奥行140×高さ703(mm)
	スタンド装着時	幅1257×奥行300×高さ821(mm)	幅1121×奥行300×高さ746(mm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約26.5kg	約23.0kg
	スタンド装着時	約30.5kg	約27.0kg
使用温度		5℃～35℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
※1 ブルーレイディスク未挿入時。
※2 USB入力未接続時。
※3 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です。)
※4 BD-RE Ver.1.0は本機では使用できません。BD-RE Ver.2.1でも、カートリッジタイプのディスクは使用できません。
※5 ファイナライズ済ディスクのみ再生できます。
※6 ビデオフォーマットのファイナライズ済ディスクのみ再生できます。

BD の録画可能時間について

• 録画可能時間は目安です。テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など(ビットレートの高い映像)が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

			1 層 25GB 時	2 層 50GB 時	3 層 100GB 時
デジタル放送	標準(DR)	BS／CSハイビジョン画質	約2時間10分	約4時間20分	約8時間40分
		地上Dハイビジョン画質	約3時間	約6時間10分	約12時間
		標準画質	約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分
	2倍		約4時間20分	約8時間40分	約17時間20分
	3倍		約6時間30分	約13時間	約26時間10分
	5倍		約10時間50分	約21時間50分	約43時間30分
	7倍		約15時間10分	約30時間40分	約61時間10分
	8.5倍		約18時間	約36時間	約74時間20分
	10倍		約21時間40分	約43時間20分	約87時間20分
アナログ放送	SP		約8時間30分	約17時間	約34時間10分
	LP		約16時間40分	約33時間20分	約66時間50分

3D メガネの仕様について

品名	3Dメガネ
レンズ方式	液晶シャッター方式
使用電源	DC3V
電池	リチウムコイン電池　CR2032×1
電池持続時間	連続約75時間
端子	電源供給端子(USB(mini-B)端子形状)
外形寸法	幅172.7mm×奥行170.0mm×高さ47.5mm
本体質量	約65.0g(電池含む)
使用温度	10℃～40℃(低温では3Dメガネは十分な性能を発揮できません。使用温度をお守りください。)

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8 年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■ 「故障かな？と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒**362～392**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　名　:LC-52LB3
  LC-46LB3
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご住所
  (付近の目印もあわせてお知らせください)
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

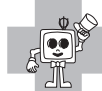
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

用語の解説

1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本(有効走査線 720 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。 デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、プログレッシブ方式。 デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本(有効走査線 480 本)、インターレース方式。 地上アナログ放送（VHF/UHF）やBS アナログ放送と同等の画質です。

1080p(24Hz)
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などは、この方式により毎秒24コマ(24p信号)で撮影されています。

110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴するしくみになっています。一部、無料放送もあります。

16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

AAC(Advanced Audio Coding)
デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声(5.1チャンネルサラウンドなど)にも対応できる方式です。

ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

AQUOS.jp
AQUOSのお客様のためのメンバーズサイトです。AQUOSに関する情報を公開しています。

AV
Audio Visual（またはAudio Video)の略で、音響と映像に関する技術や製品の総称です。
テレビやレコーダー、オーディオプレイヤーなどをAV機器と呼びます。

AVCHD
ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVDへの記録をH264/MPEG-4 AVC方式で行うものです。

AV-HDDレコーダー
テレビ放送を内蔵のAV-HDD（エーブイ-ハードディスクドライブ)に録画する機器です。
テレビ放送を放送画質のまま、長時間(数十時間)録画することができます。

B-CASカード(ビーキャスカード)
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。B-CASカードを受信機に挿入すると、接続されたデジタル放送の視聴が可能となります。また、有料放送の視聴を希望される場合は、放送局への申し込みが必要です。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

BD-LIVE(BDライブ)
インターネットに接続したブルーレイディスクプレーヤーを通じて、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできるサービスです。

BD-R
本機で録画用として使用できるディスクです。
一回だけ録画ができる、追記型のブルーレイディスクです。また、BD-R Ver.1.1ディスク、BD-R Ver.1.2ディスク、BD-R Ver.1.3ディスクには、SL/1層とDL/2層ディスクがあり、BD-R Ver.2.0ディスクにはXL/3層とXL/4層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

BD-RE
本機で録画用として使用できるディスクです。
繰り返し録画ができる、書き換え型のブルーレイディスクです。録画した番組を消去したり、録画済みのディスクを初期化することで、繰り返し録画ができます。
ディスクのバージョンにはVer.1.0、Ver.2.1、Ver.3.0があり、本機ではVer.2.1およびVer.3.0がご使用になれます。BD-RE Ver.2.1ディスクにはSL/1層とDL/2層ディスクがあります。BD-RE Ver.3.0にはXL/3層ディスクがあります。
必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。

BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、BS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

BONUS VIEW™（ボーナスビュー）
2画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

Cookie
Webサイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。
例えば、買い物ができるWebサイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

CPRM（Content Protection for Recordable Media）
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。

DL
デュアルレイヤーの略で、片面2層ディスクのことです。

DLNA（Digital Living Network Alliance）
デジタル機器の相互接続を実現させるための標準化活動を推進している団体です。
デジタルAV機器やPCなどがホームネットワーク内で画像や音楽などのデータをやり取りするためのガイドラインを定めています。

DTS
DTS Inc.社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DVI（Digital Visual Interface）
コンピュータとディスプレイを接続するための規格のひとつです。デジタル信号で映像データをやりとりするため、画質の劣化が少なく、高画質な表示ができます。DVI-Iは、デジタル信号に加え、アナログ信号での映像データのやりとりもできます。

D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1 ～ D5の規格があり（本機はD5に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした番組表のことです。本機では、番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

HTML
インターネットのページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

IP（Internet Protocol）
インターネットでの通信に関する規約のことです。ネットワークに接続された機器はIPを利用して通信していて、機器ごとにIPアドレス（住所のようなもの）が割り振られています。

LAN
Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

次のページに続く

NTSC（National Television System Committee）

日本のアナログ放送のカラーテレビ放送方式の標準規格です。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、有効走査線数480本のインターレース方式です。

PCM（Pulse Code Modulation）

音楽CDやDVDビデオなどは、音声がデジタルデータで記録されています。音楽CDで利用されているPCMは、音声などを数値に変換してデジタルデータにする方式のひとつです。圧縮を行わないので、原音に近い高品質な音を再現できます。本機とオーディオ機器をデジタル音声（光）端子で接続すると、音声をPCMとAACのどちらで出力するか設定できます。

S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

SL

シングルレイヤーの略で、片面1層ディスクのことです。

WAN

Wide Area Network（ワイド・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

Webサイト

サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jpもひとつのWebサイトです。

インターネット

世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

インターネットサービスプロバイダー

ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISPと表記されることもあります。

インターレース（飛び越し走査）

テレビやビデオの画像表示では、有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線を描きます（この1画面を1フィールドといいます）。次に偶数番めの有効走査線を描きます。これで、1枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

おしらせ

BS ／ 110度CS ／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

オリジナル／プレイリスト

オリジナル

テレビ放送などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト

オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（本機ではプレイリストは作成できません。

キャッシュ

ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。

ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、常にデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

高画質Wクリア倍速

動きの速い映像や撮影時にぼけてしまった映像をくっきりと見やすくします。

「映像調整」—「プロ設定」—「QS駆動（120Hz）」がアドバンスモードのときに有効です。（⇒**92**ページ）

高画質アクティブコンディショナー

見ている映像に応じて自動的にコントラストや色を調整し、ノイズを低減してみやすい映像が楽しめます。

「映像調整」—「プロ設定」—「アクティブコントラスト」が「する」、「デジタルNR」がアクティブのときに有効です。（⇒**92**ページ）

コピーガード（コピー制御信号）

複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像·音声端子の接続では、黄·白·赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

サーバー
コンピューター·ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。
インターネットの世界では、Webページのデータを保存しているWWWサーバー、指定したURLがどこにあるかを探すDNSサーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よくWebページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

再生リスト
再生できる番組が一覧で確認できる画面です。

視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やBDビデオ、DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

スキャン倍速
高画質Wクリア倍速に加え、LEDバックライトの高速オン／オフにより、動きの速い映像をさらにくっきりとキレのある映像にします。
「映像調整」―「プロ設定」―「QS駆動(120Hz)」が「アドバンス(スキャン)」モードのときに有効です。(⇒**92**ページ)

スプリッター
ADSL回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

セカンダリオーディオ
BDでは、第1音声(主音声、プライマリオーディオ)の他に、特典として第2音声(副音声、セカンダリオーディオ)が収録されているものがあります。BDによっては、インターネットからダウンロードして楽しむことができる場合もあります。

タイトルとチャプター、ディスク内の構成
BDやDVDディスクに録画されている番組のことを「タイトル(録画した番組)」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター（章·区切り)」という単位で構成されています。
タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- 再生リスト = もくじ

本機では、お好きな場所にチャプターマークをつけることはできません。

地上デジタル放送
2003年12月から東京·大阪·名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

特徴検索
デジタル放送の番組検索機能です。本機がご用意した検索条件からお好きなものを選択し、条件に当てはまる番組を検索することができます。

ドルビーデジタル(5.1ch)
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル(5.1ch)対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

ハブ
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

光回線
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。
ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

ビデオフォーマット
DVDの録画方式のひとつです。本機で再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ
DVD-RW/-Rディスクを、録画に使用した機器以外でも再生できるようにすることです。
本機では、ディスクをファイナライズすることはできません。ファイナライズは録画した機器で行ってください。

ブックマーク
ページのURLを記憶する機能です。
ブックマークに登録することで、URLを入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。
「お気に入り」と呼ばれることもあります。

ブラウザ
インターネットのページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

フルデジタル1ビットアンプ
シャープ独自の1ビットアンプは音声信号を直接1ビットのデジタル信号に変換し、そのまま高品質の電力増幅を行うアンプです。
これをフルデジタル化することによりさらに高効率・高性能アンプとして進化させました。
この「フルデジタル1ビットアンプ」は、デジタル放送などの音声信号を、アナログ処理することなく直接1ビット変換することにより、効率の良い増幅を行います。
1秒間に12,288,000回(12.288MHz…CDの約278倍)という超高速サンプリングから得られる高い分解能によって、「音の立ち上がりの速さ」や「音のつながりの滑らかさ」に卓越した再現能力をもつと同時に、「伝送経路においてノイズの影響を受けない」というフルデジタル化の特長と融合して高精細で原音に忠実な音の再生を実現しています。

ブロードバンド回線
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。
光回線、CATV回線、ADSL回線などがあります。

プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

マルチアングル
BDやDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。(マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。)

マルチ音声
デジタル放送やBD、DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

文字コード
コンピューターの内部は、すべて0と1の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も0と1の組み合わせになります。この0と1の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。
世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、インターネットのページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

リージョンコード(再生可能地域番号)
BDビデオやDVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクのコードをリージョンコードといいます。
本機では、BDビデオはリージョンコード「A」、DVDビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニアPCM音声
BD・DVD・音楽用CDに用いられている、非圧縮の信号記録方式です。

リンク
複数のものをつなぐことで、シャープ製の液晶テレビやレコーダー、AVアンプをつなぐ「ファミリンク」や、インターネット上で他のWebページをつなぐリンク機能などがあります。

索引

• 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒ **32** ～ **35** ページをご覧ください。
• 用語については、⇒ **422** ～ **426** ページをご覧ください。

英数字・記号

次のページに続く

あ行

か行

さ行

た行

次のページに続く

な行

は行

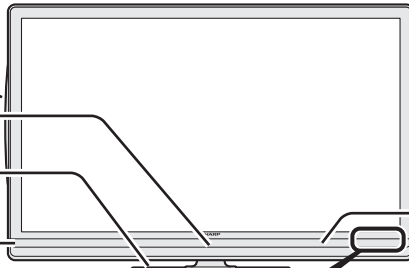
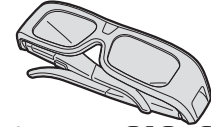
ま行

や行

ら行

わ行

English Guide
Part Names

- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle

- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Control panel

Right side view

Disc slot

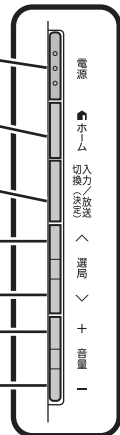
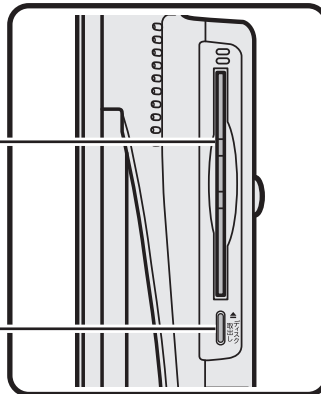
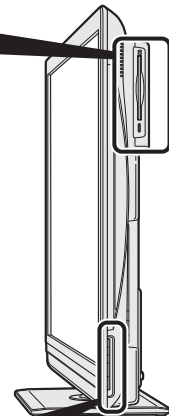
Disc EJECT

Main power switch 37

Home Menu 40

Input / TV select (Enter) button 228

Channel up (︿) /down (﹀) buttons

Volume up (+) /down (–) buttons

Back view

The illustrations below are those of LC-52LB3.
LC-46LB3 has the same layout of jacks and terminals as LC-52LB3.

Used only for the input terminal to connect an external equipment with i.LINK output function.

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1 and 2 (HDMI)
210 • 322 • 324 • 326 • 327 • 328 • 330

AV in 4
323 • 325 • 328 • 332

RS-232C
331

AV in 7 (PC)
331

LAN jack
(10BASE-T/100BASE-TX)
243 • 269

AV in 6/Audio out
323•325•328•329

Digital audio output jack
(optical) 327 • 329

PC input (audio)
330 • 331

BS·CS 110 antenna input terminal 318~321

VHF·UHF antenna input terminal 318~321

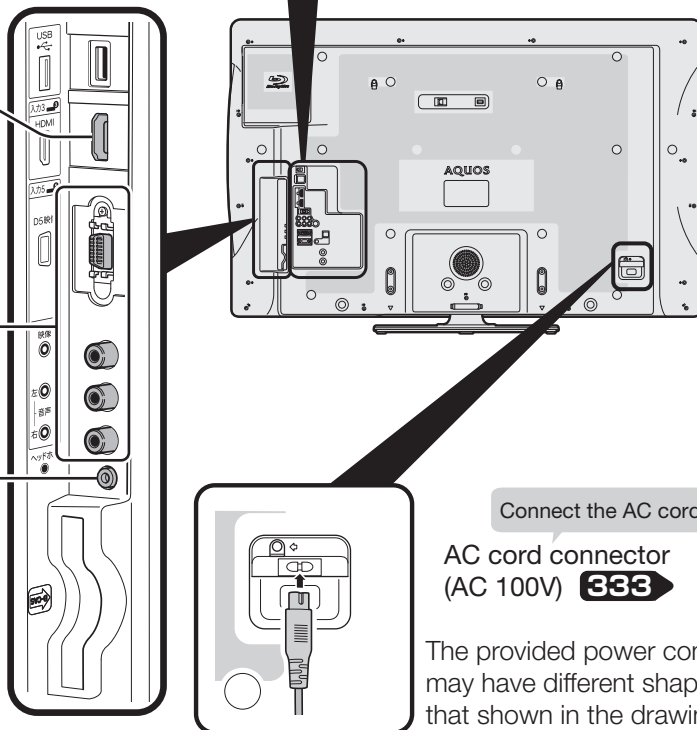
AV in 3 (HDMI)
210 • 323 • 324 • 326 • 327 • 328 • 330

Connect a video game equipment, video camera, etc.

AV in 5 (D5)
323 • 325 • 328

Headphones jack

Connect the AC cord

AC cord connector
(AC 100V) 333

The provided power connector may have different shape from that shown in the drawing.

Remote Control Unit

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

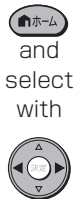
◇**おしらせ**◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「 (View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

1

Press and select with

Select "設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

2

Select with

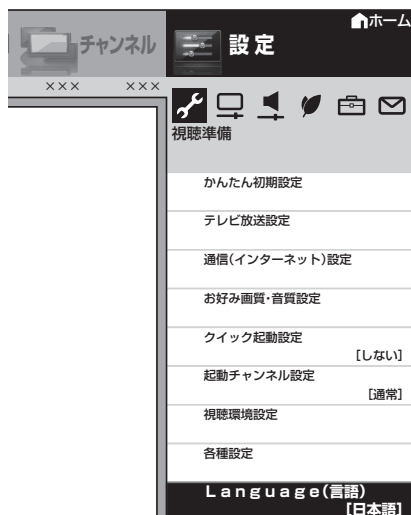
Select " (視聴準備)" (View Setting).
「 (視聴準備)」を選ぶ

3

Select with and press 決定

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

4

Select with and press 決定

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります

5

Press

Finish this operation.
終了する

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-52LB3／LC-46LB3

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。
この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などは
パソコンから検索できます ▶▶▶

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ 検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2010.10）

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は環境に配慮した森林認証紙を使用しています。

TINS-E908WJZZ⚠
10P11-JA-OS